

土坑一覧表9 (9区)

番号	グリッド	深度(-)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(-)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(-)	遺物図	時代・時期
357	257・277	0.18	〃	近世	418	233	0.1	〃	近世	481	274	0.1		中世
358	257	0.18		〃	419	233	0.17		中世	482	219	0.26	658	近世
359	257	0.54		中世か古代か	420	233	0.16		〃	483	175	0.35	〃	〃
360	257	0.68			421	233	0.27	656	現代	484	195	0.3	〃	〃
361	257	-		中世	422	213	0.34	〃	〃	485	198・218	0.25	〃	〃
362	257	-			423	213	0.23			486	294・295	0.1	〃	古代
363	257	-	655	中世	424	232	0.54	656		487	237	0.35	659	現代
364	256・257	0.63			425	212・232	0.55	〃	古代	488	251	0.2	〃	〃
365	256	0.1		中世	426	211・231	0.41	〃	〃	489	251	0.41		
366	256	0.13	655	〃	427	232	0.5		中世	490	191	0.08	659	古代
367	256	0.46		近世	428	212	0.11		〃	491	213	0.43		〃
368	236・256	0.53	655	16堀立	429	211	0.32	656	〃	492	236	-		中世か
369	236・256	-		近世	430	231	0.61	657	〃	493	237・257	-	659	〃
370	236・256	0.5		〃	431	253	0.64		16堀立	494	237	-	〃	〃
371	236・256	0.15	655	中世	432	253	0.52	657	中世	495	237	-		中世か
372	236	0.26	〃	〃	433	252・253	0.43	〃	〃	496	237	-		〃
373	237	0.15	〃	近世	434	252	0.25	〃	近世	497	9・240	-		
374	257	-	〃	古代	435	252	0.33		中世か	498	294	0.15		
375	258	0.46		17堀立	436	252	0.63		16堀立	499	250	-		
376	258	0.46	655		438	253	0.44	657	中世	500	176	0.25		古代
377	218・238	0.19	〃	中世	439	191	0.49	〃	〃	501	217	0.21	659	近世か
378	258	0.36		近世	441	191	-	〃	古代	502	200・220	0.22		
379	258	0.28		21堀立	442	191	0.09		〃	503	198	0.25		近世
380	258	0.13	655	近世	443	191	0.12		中世	504	280	0.53	659	中世
381	258	0.13	655	近世	444	171・191	0.37	657	古代	505	279	0.72		
382	259	0.27		27堀立	445	171	0.08		近世	506	279	0.63		
383	258	0.21		21堀立	446	171	-		近世か	507	278	0.42		
384	258	0.13		近世	447	171	-	657	近世	508	246	0.58		25堀立
385	258・259	0.43			448	171	0.35	〃	中世	509	252	0.08	659	
386	259	0.37		27堀立	449	151・171	0.33	〃	中世か	511	297		〃	近世
387	259	0.37		21堀立	450	151・171	-		中世	512	234	0.54		中世
388	279	0.42			451	172	0.34		〃	513	214・215	0.37		中世か
389	259	0.11		近世	452	219	0.37	657	古代	514	171・191	0.42	660	古代
390	259	0.27	655	〃	453	219	0.27		近世	515	28	0.33	659	中世前半
391	259	0.45		21堀立	454	218・238	0.1		中世	517	65	0.17	〃	近世
392	259	0.43	655	近世	455	218・238	0.17	657	〃	518	150・170	0.13		
393	239	0.16	〃	中世	456	217・237	0.29	〃	〃	519	81	0.1		現代
394	240	0.13		古代	457	237	0.22		近世	520	47	0.22		中世
395	-	-	655		458	237	-		古代か	521	203・204	0.33	659	〃
397	-	-	〃		459	218	0.3	657	近世	522	187	-	660	古代
398	219・239	0.15		近世	460	198	0.41	〃	中世	523	209	0.29	661	
399	219・239	0.26	655		461	215・216	0.26	〃	〃	524	246	0.4		
400	196・216	0.25	〃	中世	462	196・216	0.31	658	〃	525	205	0.2	661	
401	196・197	0.32	656	中世	463	216	0.4		〃	526	226	-	〃	近世
402	196	0.3		〃	464	216	0.31	658	〃	527	267	-	662	〃
404	176・196	0.3	656	中世	465	278	0.45		17・27堀立	528	268	0.1		近世か
405	194・195	0.35	〃	〃	466	317	0.54	658	近世	529	270	0.49		28堀立
406	214・215	0.08	〃	近世	467	317・318	0.23	〃	中世	530	291	0.19		古代
407	174・175	0.24	〃	古代	468	317	0.2	〃	〃	531	291	-		近世
408	235	0.17	〃	近世	469	317	0.2	〃	〃	532	314	-	662	〃
409	235・255	0.08		近代	471	296・297	0.3	〃	古代	533	291	-		28堀立
410	235・255	0.08		近世	473	253	0.67		16堀立	535	290	0.47		19堀立
411	235	0.08		〃	474	251	0.13			536	290	0.26		〃
412	255	0.44	656	中世	475	251	0.16			537	244	-	662	
413	256	0.21	〃	近世か	476	236・237	0.18	658	近世	540	267	0.45		25堀立
414	234・254	0.2	〃	中世	477	237	0.19	〃	〃	541	-	-	662	
415	234・254	0.2	〃	中世か	478	237	-			542	291・292	-	〃	古代
416	234	0.45	〃	〃	479	237	0.02	658		543	242	-		〃
417	234	0.12	〃	〃	480	240	0.11			544	268・288	-		25堀立

遺構計測値・土層説明

土坑一覧表10 (9区)

番号	グリッド	深度(-)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(-)	遺物図	時代・時期	番号	グリッド	深度(-)	遺物図	時代・時期
545	267	0.52		25堀立	24	341	0.45	〃	中世	74	381	0.1		中世
546	266	0.5		〃	25	341	0.23	〃	〃	75	361・381	0.24	665	〃
547	266	0.56			26	301・321	0.3		〃	76	361	0.15		〃
548	201	0.1	663	縄文時代	27	321	0.03		〃	77	361・381	0.37		〃
549	108・109	0.4			28	321	0.32		〃	78	361	0.28	665	〃
550	2	0.13	663	近世	29	343・363	0.08		〃	79	361・381	0.18	〃	近世か
551	297・317	-	〃	古代	30	322・342	0.09		〃	80	361・381	0.13		中世
552	297	-	664		31	343	0.47		〃	81	361・381	0.21		〃
554	1	0.04	〃	古代	32	321	0.49		〃	82	381	0.04		〃
555	1	0.11	〃	〃	34	322・342	0.06		〃	83	362	0.18		〃
556	1	0.15		〃	35	342・355	0.11		〃	84	362	0.31	665	〃
557	6-40	0.17	664	〃	36	342	0.09		〃	85	362	0.13		〃
558	6-20	0.25		〃	37	321	0.33	664	〃	86	362	0.08		〃
559	9-1	0.51	664	〃	38	321	0.28		〃	87	362・382	0.25	665	〃
560	1	0.05		〃	39	321	0.13		〃	88	362・382	0.07		〃
561	1	-		〃	40	321	0.27	664	〃	89	382	-		〃
562	1・2	0.1		〃	41	341	0.26		〃	90	382	0.15		〃
563	1・2	0.05		近世か	42	341	0.32		〃	91	382	0.04		〃
564	2	0.15		近世か	43	342	-		〃	92	362			〃
565	1・2	0.2		〃	44	342	-		〃	93	381	0.1		〃
566	1	0.04		〃	45	362	-	664	〃	94	362・382	0.25		〃
567	2・22	0.11		〃	46	361	0.05		〃	95	363	0.06		〃
568	141	0.43		近世	47	342	0.17		〃	96	363	0.26	665	〃
					48	342	0.17	664	〃	97	363・383	0.44		〃
					49	342	0.12	〃	〃	98	363			〃
10区土坑表					50	362	0.16		〃	99	382・383	0.29		〃
番号	グリッド	深度(-)	遺物図	時代・時期	51	342・362	0.05	665	近世か	100	383	0.31		〃
1	363・364	0.13		中世	52	362	0.2		中世	101	362・363	0.31		〃
2	363・364	0.1		〃	53	323・343	0.13	665	〃	102	363	0.32		〃
3	343・363	0.13	664	〃	54	343	0.04		〃	103	383・384	0.17		〃
4	343・363	0.12		〃	55	361	0.69	665	〃	104	383・384	0.29		〃
5	343	0.1		〃	56	361	0.11		〃	105	383	0.11		〃
6	323	0.24		〃	57	362	0.15		〃	106	383	0.46		〃
7	323	0.07		〃	58	342・362	0.13	665	〃	107	342	0.42		〃
8	343	0.05		〃	59	361	0.31		〃	109	382	0.13		〃
9	343	0.19		〃	60	361	0.27		〃	110	381・382	0.15		〃
10	343	0.07		〃	61	361	0.15		〃	111	381	-		〃
11	342・343	0.2		〃	62	361	0.37		〃	112	364	0.1		〃
12	342	0.33	664	〃	63	361	0.18		〃	113	363・364	0.07		〃
13	342	0.38	〃	〃	64	361	0.32	665	近世か	114	363	0.18		〃
14	341・342	0.3		〃	65	7-380	0.26		中世	115	363	0.11		〃
15	341	0.24		〃	66	362	0.32	665	〃	116	363	0.12		〃
16	341・361	0.33		〃	67	362	0.34		中世	117	363	0.1		〃
17	361	0.14		〃	68	361	0.37		〃					
18	361・362	0.34	664	〃	69	361	0.15	665	〃	11区土坑表				
19	362	0.23		〃	70	381	0.09		〃	番号	グリッド	深度(-)	遺物図	時代・時期
20	361・362	0.16		〃	71	381	0.1	665	〃	1	202・222	0.23	665	中世
21	341	0.21		〃	72	381	0.5		〃	2	202	0.27	〃	〃
22	341	0.07		〃	73	7-400	0.18		〃					
23	321	0.09	664	〃										

出土遺物觀察表

出土遺物観察表

1. 溝状遺構

第1号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
18-1	磁器 盃	覆土 破片	口・(7.2) 底・(2.7)	還元。締。釉・淡青、白磁・淡青白。胎・白	外面に玉と龍の手らしくし、内面に草の雲文と龍の手らしき染付。高台端をのぞき白磁釉。	19・20C 伊万里系
18-2	施釉陶器 徳利か	覆土 破片	厚・0.7	還元。締。釉・暗黄緑、胎・灰	外面に2～3条の沈線。施釉、内面露胎部、轆轤目、施釉あり。	18・19C 産不明
18-3	石器 砥石	覆土 1/2	ダイヤサイト 100	長・6.5、幅・3.0	表・裏・側部の4面を使用。小口に削り整形痕。手前小口は旧時欠損。使用面に刃傷あり。	

第2号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
18-4	土師質土器 皿	覆土 破片	口・(9.0) 底・(6.1)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。並、重い、白粒含・鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。全体に端正。口縁部は肥厚する。	粘・陶。
18-5	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(43.4) 底・(40.4)	中～還。並。黒5Y2/1。並、軽。褐粒多・他鉍物含。	底面に石目状の型膚あり。体部外面は横撫で、接合痕煤付着。内面に内耳跡と回転撫。	接・2点

第5号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
18-6	施釉陶器 碗	覆土 破片	厚・0.4	中。締。釉・白黄灰(透明調)。胎・黄灰。	内外面に施釉あり、細貫入あり、二重貫入気味。割れ消耗微。	18C 美濃
18-7	瓦 棧瓦軒	覆土 破片	厚・1.05	還元。硬。灰5Y5/1。粗、やや軟。白・黒・褐粒含。	巴文の棧瓦、軒瓦裏面に接合剥落あり。色調変化があり被熱色変か。割れ消耗少。	小泉・藤岡か

第7号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
18-8 133-1	磁器 猪口	覆土 2/3	口・6.6 高・4.6	還元。締。釉・染付青、白磁色白。胎・白。	外面に銅版摺絵で「寿」と三友の染付施文あり。下半隅丸の7角形をなす。	20C 伊万里系
18-9 133-2	磁器 皿	覆土 2/3	口・(14.4) 高・2.6	還元。締。染付紺、白磁色白、胎・白。	外面に唐草文、内面に三友文と外方に扇文など、外面は唐草文が印判で染付される。	明治印判 瀬戸か
18-10 133-3	施釉陶器 徳利	覆土 底部片	底・8.0	中性。締。釉・暗緑、淡茶。胎・灰。	外面上方に施釉、下方は酸化気味の鉄釉。内面は無釉で轆轤目見え。	18・19C 産地不明
18-11	軟質陶器 火入か	覆土 破片	口・(18.6)	還元。並。オリープ10Y6/1。並、やや軟。鉍物少。	外面に印文(絡状か)あり、内面轆轤目あり。内・外少し燻される。	小泉か
18-12	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	厚・0.8	還元。並。灰10Y4/1。粗、軽い。白粒・鉍物含。	外面に印文あり。口縁部少し剥落。内面左回転の撫あり。口縁部付近内外横撫。	18・19C 小泉か
18-13	軟質陶器 植木鉢か	覆土 破片	厚・0.8～1.0	還元。並。灰3.5Y6/10。粗、軽い。白粒・褐粒・黒色鉍物含。	内面撫痕あり、側部に篋撫様研磨少し入る。平縁部研磨。足部付着。	接・2点 小泉焼
19-1	軟質陶器 手焙	覆土 破片	口・(36.1) 底・(33.6)	還元。並。オリープ黒10Y3/1。並、軽い。白粒・鉍物含。	外面に口縁部粘土帯、中位に指などの圧痕。下方に篋削、内面荒い研磨。	18・19C 小泉か
19-2	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(42.3) 高・(11.7)	還元。並。黒2.5Y2/1。並、やや軽。褐粒含、鉍物少。	外面に把手獅頭あり、同には吊手穴あり。外面上方研磨と黒塗、下方に絡状様施文あり。	接・2点 小泉か
19-3	瓦 十能瓦	覆土 1/5か	長・11.0+ α	還元。並。黒褐2.5Y3/1。並、やや重。灰色円粒多、鉍物少。	凹面は荒い単位の横研磨。凸面縦撫。焼成は燻され、断面3層色変。燻は黒色味浅い。	19・20C 深谷か
19-4	瓦 十能瓦	覆土 1/5	長・12.0+ α	還元。並。灰5Y4/1。粗、軽い。鉍物含。	凹面は縦撫。凸面に石目状の型膚と離砂が端部際まで続き、焼成燻。断面5層色変。	19・20C 小泉焼
19-5	瓦 十能瓦	覆土 破片	長・19.3+ α	還元。並。黄灰2.5Y5/1。粗、軽い。黒・褐粒、鉍物含。	凹面小口横撫、他は縦撫。凸面は石目状の型膚あり、焼成燻。断面5層色変。	19・20C 小泉焼

第9号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
20-1 133-4	須恵器 杯	覆土 3/4	口・(13.5) 底・8.0	中性。並。灰黄2.5Y7/2。 密、やや軽。鈹物微。	口縁部は丸みを帯びる。轆轤成形 (右回転)。 底部は回転糸切り後、周辺を回転篋整形。	接・3点 笠懸

第11号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
20-2	施釉陶器 碗	覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。締。釉・透明調。胎・灰。	内外面に施釉。墨の入った細貫入あり。割れ 口の消耗微。	19・20C 産不明

第14号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
20-3	瓦 棧瓦か	覆土 破片	長・6.5+ α	還元。硬。灰7.5Y4/0。密、 やや軽。黒粒含、他鈹物少。	表面研磨状光沢あり。裏面、型状の粗雑感あ り。表・裏面黒色燻かかる。	藤岡か

第19号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
20-4 133-5	土師質土器 皿	覆土 3/4	口・8.6 底・5.8	酸化。並。橙7.5YR7/6。 粗、軽い。	轆轤成形 (右回転)。底部は回転糸切り。 内面中央を高める特徴あり。	接・2点 粘
20-5 133-6	土師質土器 皿	覆土 3/4	口・9.1 底・5.7	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽い。鈹物微。	轆轤成形 (左回転)。底部は回転糸切り。 全体に肉厚。口縁部は肥厚せず。	接・2点 粘
20-6 133-7	磁器 盃	覆土 1/3	口・(6.9) 高・4.5	還元。締。釉・染付濃紺、白磁 釉・白。胎・白。	外面にペロ藍による施文あり。白磁釉は高台 端部を除く。	20C 伊万里系
20-7	磁器 皿	覆土 破片	口・(14.0)	還元。締。釉・染付濃紺、口錆 茶褐。白磁色・白、胎・白。	内面に染付施文あり、口錆あり。白磁釉は全 面。割れ口鋭い。	19・20C 伊万里系
20-8 133-8	施釉陶器 碗	覆土 1/2	底・4.5	還元。締。釉・外面暗褐、内面 透明。胎・淡黄灰。	外面に回転削痕と鉄分の鉛釉あり。内面は淡 緑透明質の釉で、釉掛け分けの碗。	18C 美濃
20-9	施釉陶器 瓶子か	覆土 破片	厚・0.6	還元。締。釉・淡緑 (灰釉)。 胎・灰。	外面に4条の沈線と灰釉施釉あり。内面に紐 作痕と整形条線あり。	14C 瀬戸
20-10	軟質陶器 火鉢	覆土 底部片	底・(32.0)	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。 粗、やや軽。白・褐粒含、他少。	内外面に轆轤の回転条痕あり。焼成は燻弱い。 割れ口・器面消耗気味。	19・20C 小泉か
20-11	石製品 砥石	覆土 一部欠	砥沢石 重・62	遺存長8.2、幅2.8、厚2.7。	前端側に研ぎ減りが顕著、後端側も研ぎ減 るが、裏面の使用は殆ど認められない。	中世以降

第20号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
20-12 133-9	ガラス 瓶	覆土 底部片	底・6.7	ガラス 色調・濃暗緑。	底面は型膚状の凹凸面があり、外面に続く、 内面は平滑で光沢あり。型合わせ部なし。	19・20C
20-13	施釉陶器 播鉢	覆土 口縁片	口・(29.4)	中性。締。釉・暗茶 (鉄釉)。 胎・黄灰。	内外面に鉄釉。内面に8+ α 条を単位とする 釘目あり。	17・18C 美濃
20-14	瓦 瓦製円盤	覆土 一部欠損	径・7.5	還元。並。暗灰 N3/0。 並、軽い。鈹物含。	表面側は縦撫。裏面は石目状の型膚、離砂付 着。外面に燻かかり、断面5層色変気味。	19・20C 小泉か

第21号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
21-1 133-10	施釉陶器 蓋	覆土No14 2/3	口・(8.9) 高・2.0+ α	中性。締。釉・淡黄緑斑・黒絵、 淡黄透明。胎・黄灰。	土瓶蓋。外面天井部のみ黒色絵で、5弁梅花 (か) 郭線とその弁中央に黄緑斑あり。	19C 益子か
21-2	瓦 十能瓦	覆土No11 破片	長・9.5+ α	還元。硬。灰白5Y7/2。粗、軽。 白粒、黒色鈹物含、他少。	内面は、耳部に撫痕。裏面に石目状の型膚あ り。焼成は裏面のみ燻かかる。	小泉か

第22号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
21-3	軟質陶器 盤形	覆土No1 口縁部片	口・(32.4)	酸化。硬。鈍黄2.5Y6/4。並。 白、褐粒含、他少。	口縁部外面横撫。外面指圧痕。最下部から底 面にかけ型膚、焼芯黒色で断面3層色変気味。	県外搬入 か

第24号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
21-4	軟質陶器 甕	覆土 破片	厚・0.9~1.0	中~還。並。黄灰2.5Y5/1。 やや軽。白粒含、他鉱物含。	内外面に紐作の凹凸。割れ口にも紐作痕見える。器面少し消耗。	粘・陶

第33号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
21-5	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 口縁部片	口・(30.0)	中性。軟。灰7.5Y4/1。粗、軽。 褐粒、黒色鉱物、他含。	内外に回転痕あり。外面に指などによる凹凸あり。	

第40号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
21-6 133-11	施釉陶器 灯明皿	40・41溝付近 1/2	口・(9.0) 底・(4.2)	還元。締。釉・鉄錆。胎・灰。	外面上方と内面は全面施釉。外面下方と底面は横刷毛織に塗られる。内面輪トチン痕。	18・19C 産不明
21-7 133-12	磁器 小碗	覆土 2/3	口・(7.2) 高・5.7	還元。締。釉・染付淡い青、白 磁釉・淡々青白。胎・白。	外面に格子目状の染付施文。高台端部を除き白磁釉で細貫入あり。	18・19C 伊万里系
21-8	施釉陶器 灰釉皿	覆土 底部片	底・(7.0)	還元。締。釉・黄緑(灰釉調)。 胎・灰。	外面高台付近から底面は無釉。それを除き施釉。内面に重ね焼き痕。外面回転篋削。	17・18C 瀬戸
21-9	磁器 徳利	覆土 底部片	底・(6.4)	還元。締。釉・淡青(染付)、白 磁釉・透明白。胎・白。	外面に銅版刷絵による転写染付施文あり。内面と底面は無釉。内面に挽目あり。	19・20C 伊万里系
21-10	磁器 碗	覆土 口縁部片	口・(11.0)	還元。締。釉・透明調、暗褐(鉄 釉~胎釉)。胎・灰。	外面上方から内面に透明調釉、外面下半の4条の沈線以下に暗褐釉。	18C 美濃
21-11	施釉陶器 花生	覆土 底部片	底・(6.8)	還元。締。釉・暗青(透明調で 暗い青磁様)。胎・灰褐。	外面に4分割の稜花様の弁間凹みあり。露胎部の轆轤右回転で国産か。下地化粧、生掛け。	国産か不明
21-12	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(36.0) 底・(34.2)	中性。並。赤黒5R2/1。粗、軽。 白・褐粒含・黒色鉱物少。	内面に内耳剥落痕あり。外面下方から底面にかけ石目状の型腐痕。焼成断面5層色変気味。	18・19C 小泉か
21-13	石製品 砥石	覆土 完形	砥沢石 192	遺存長・12.35、幅・2.4、 厚・3.2	主使用は表・裏面と左側部。小口面に鋸目、側部に削目。使用浅い。	20C以降

第42号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
22-1	陶器 皿	覆土 口縁部片	口・(14.0)	還元。締。灰白5Y8/1。粗、やや 軽。白粒、白鉱物多、他少。	山茶碗か山皿。口縁部周辺に自然釉。胎土は粗質ながら耐火強。割れ口消耗あり。	東海搬入 13C

第43号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
22-2	土師器 破片	覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。橙5YR7/8。並、軽。 白、褐粒含、他少。	内面に不明の墨書。撫の中心部にあり。外面はほとんど剥落。	墨書-2

第45号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
22-3	土師質土器 皿	覆土 底部片	底・6.8	酸化。軟。橙5YR6/6。粗、軽。 金雲母含、他少。シルト質。	底部は回転糸切りらしき、右回転の痕跡と粘土巻き上げ接合痕。底面板状圧痕。	14・15C

第46号溝状遺構(1)

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
22-4	陶器 鉢	覆土 口縁部片	厚・1.1	中~酸化。締。 釉・錆茶(鉄釉)。胎・黄灰。	内外面に施釉。内面に卸目あり。外面に轆轤目あり。割れ口消耗。	17・18C 美濃
22-5	陶器 碗	覆土 底部片	底・(5.0)	中性。締。釉・透明調。胎・淡 黄灰。	高台端部を除き施釉。釉境は鉄足状に酸化。割れ口消耗。	18C 美濃
22-6	陶器 皿	覆土 底部片	底・5.2	中性。締。釉・淡黄緑(透明調)。 胎・黄灰。	外面上方と、内面に施釉あり。側部に打ち欠きらしき跡あり、円形加工の途中か。	18C 美濃
22-7	軟質陶器 火鉢	覆土 口縁部片	口・(47.0)	酸化。硬。鈍橙5YR6/4。粗、軽。 黒色鉱物含、鉱物粒子少。	内面研磨あり。内面黒色燻なし、被熱の感あり。外面に回転条痕あり。	小泉か

第48号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
22-8	土製品 円盤(縄文)	覆土内 完存	長・3.5 幅・3.4	酸化・並。鈍赤褐5YR4/3。 粗粒砂・細礫・黒色鋳物粒	深鉢の胴部片を転用する。上半部に波状沈線 文が認められる。	接・無し

第53号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
22-9	軟質陶器 内耳	覆土 破片	口・(35.9) 底・(35.0)	還元。硬。黒褐10YR3/2。 並、軽。白、褐粒、鋳物含。	口縁部周辺横撫。底面は石目状の型膚。外面 少し燻される。	小泉か
22-10	瓦 十能瓦	覆土 破片	長・11.2+α	還元。硬。黒7.5Y2/0。粗、軽。 白粒、黒鋳物含、他少。	表面耳部際は無。裏面は石目状型膚あり。耳 部は側部を含め撫。焼成表・裏面に燻あり。	19・20C 小泉焼
22-11	瓦製 円盤	覆土 一部欠損	厚・1.6	還元。並。褐灰10YR5/1。 並、軽。鋳物含。	表面は撫整形。裏面は石目状の型膚。砂付着。 焼成は外面に燻かかり、断面5層色変気味。	19・20C 小泉焼

第54号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
22-13 133-13	土師質土器 皿	覆土 完形	口・9.3 底・4.8	酸化。並。淡黄2.5Y8/4。粗、軽。 褐粒、鋳物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。全体 に黄味強い。形は少し歪む。	近世以降
22-14 133-14	土師質土器 皿	覆土 2/3	口・(10.1) 底・6.2	酸化。硬。鈍橙7.5YR7/4。並、 やや重。白粒含、黒色鋳物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 は工具による轆轤目。割れ口旧欠。	接・2点 近世
22-15	土師質土器 皿	覆土 底部片	底・(5.5)	酸化。並。明赤褐5YR5/8。並、 やや重。白、褐粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 底に轆轤目あり。割れ口消耗微。	17・19C か
22-16	施釉陶器 急須	覆土 破片	厚・0.5	還元。締。釉・透明調、白土掛。 胎・灰。	外面に寿?ほか文字を白土掛。内面にも白土 掛Nの刷毛目塗り文様。全体に透明調釉。	19・20C 関東か
22-17	施釉陶器 片口	覆土 破片	口・(17.1)	還元～中性。締。釉・淡褐(鉛 釉・調)。胎・黄灰。	外面に轆轤目多く、内外面施釉。片口は轆轤 成形の物を付す。口縁部内面に残り返り。	18・19C 美濃瀬戸
23-1 133-15	施釉陶器 徳利	覆土 胴から底部片	底・(11.4)	還元。締。釉・茶褐(鉄釉)光 沢。胎・淡黄灰。	内面全面に薄い茶褐釉。内面一部と外面に光 のある鉄釉。内外面轆轤目。底面削目。	18・19C 美濃
23-2 133-16	軟質陶器 釜輪	覆土 破片	口・(42.0)	酸化。硬。黒褐2.5Y3/0。粗、軽。 褐粒、黒色鋳物含、他少。	内外面に回転条痕あり。平部に「●岩崎」の 印銘2単位あり。全体に燻かかる。	19・20C 小泉か
23-3 133-17	軟質陶器 釜輪	覆土 小片	口・(39.2)	還元～酸化。並。灰黄2.5Y7/2。 並、やや重。鋳物微。	内面被熱色変。割れ口に接合痕あり。外面は 燻かかり、芯側は黒色、その間淡黄褐色。	19・20C 小泉か
23-4	瓦 十能軒瓦	覆土 破片	厚・1.8	還元。並。灰10Y5/1。粗、やや 重。白粒多、黒粒多。	文様面に糸切り痕らしき跡。瓦接合部に掻き 破り女型状あり。色変あり被熱か。	小泉か

第57号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
23-5	石製品 石臼	覆土 1/4	粗粒輝石安山岩 7049	口・(29)、高・15.35、 底・(28.6)	石材重く、硬質。ふくみ量多い。軸穴あり。 挽目大まか。白粒旧欠。	
23-6	石製品 茶臼(下臼)	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 1210	口・(19.0)、高・9.2、 底・(27.0)	石質硬く重い。欠損旧欠。はんぎり部有り。 挽目端正。整形は裏面を除き丁寧。	

第58号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
23-7	陶器 甕	覆土 頸部破片	厚・1.4	酸化。締。暗褐(内面)、淡緑(外 面自然釉)。胎・灰。	外面自然釉。内面酸化気味の焼成。割れ口に 紐作痕。内面撫整形。割れ口は消耗あり。	13・16C 常滑

第59号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
23-8	軟質陶器 焙烙か	覆土 底部片	厚・0.8	酸化。軟。鈍黄橙10YR6/4。 粗、軽。黒、白粒含、他少。	底面に石目状の型膚あり。内面に撫整形痕あ り、割れ口消耗少。	18・19C 小泉か

第60号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
23-9	軟質陶器 火鉢	覆土 底部片	厚・1.0	酸化。硬。鈍橙2.5YR6/4。 粗、やや軽。白、褐粒含、他少。	内面吸炭、外面撫と足付く。全体色調変化があり被熱か。	小泉か
23-10	羽口	覆土 破片	径・(11.5)	酸化～還元。締～硬。 橙5YR7/6 (酸化部)。	外面に珪化部があるものの、全体的に珪化部分多い。スサ少し入る。珪化中に小鉄滓含。	

第62号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
24-1 133-18	施釉陶器 碗	覆土 肩部片	底・4.2	還元。締。釉・外面黒褐、内面 黄灰 (灰釉透明調)。胎・黄灰。	内外面、釉種異なる。高台は削り出し不明。外面体部に轆轤目あり。高台端部無釉。	18C 美濃

第63号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
24-2	磁器 碗	覆土 破片	口・(11.0)	還元。締。釉・透明調 (白磁)。 胎・白。	内外面白磁釉で光沢強いが、口縁部内部に薄い釉溜まりあり、現代ではなさそう。	20Cか 伊万里系

第64号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
24-3 133-19	磁器 碗	覆土 底部片	底・3.9	還元。締。釉・染付淡暗青、白 磁色淡青白。胎・淡灰白。	外面に草花文の一部か、底面に文字の染付あり、高台に砂見えず。	18C 伊万里系
24-4 133-20	施釉陶器 水注し	覆土 底部片	底・7.2	酸化。締。釉・内面淡黄灰。 胎・黄灰。	内面に灰色の白土様の施釉あり。外面無釉で煤付着。体部外面は回転篋削り。	19・20C 伊万里系
24-5	施釉陶器 德利	厚・0.5	口・(3.8)	還元。締。釉・淡灰 (灰釉透明 調)。胎・淡灰。	頸の長い德利で、内外面施釉。口縁部は折り返しでその端部と頸部外面とに隙間あり。	19C 産不明
24-6 133-21	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(40.0)	酸化。硬。鈍橙7.5YR6/4。 粗、軽。鉍物微。	外面に煤付着。内面に接合面あり。口縁部の内外面横撫。底面に石目状の型痕。右回転。	19Cか 小泉か
24-7	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 口縁部	口・(36.0)	酸化。硬。灰5Y4/1。密、軽。 白、褐粒含。他鉍物少。	胎土は密の割に軽い。外面は撫と指などの圧痕疑似。内面撫。端部シャープ。表・裏に燻。	泉外搬入 か
24-8	軟質陶器 不明	覆土 破片	長・14.5+ α	還～中性。並。灰黄褐10Y6/2。 並、軽。白、褐粒含、鉍物含。	外面に撫跡と細かなハゼ多くある。裏面は接合面剝落が見える。焼成は芯側黒灰色。	小泉か
24-9	瓦 棧瓦	覆土 破片	長・16.2+ α	還元。並。灰5Y4/1。粗、軽。 割れ口、黒色鉍物、他少。	表面に撫。裏面は石目状の型膚あり。表・裏面燻かかる。	小泉か
24-10	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・4.4 重・3.89	酸化。並。鈍橙5YR6/4。 並。鉍物少。	片小口旧時欠損。器面滑らか。一部に削り後の撫あり。割れ口消耗。	
24-11	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・3.2 重・3.87	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 並、やや重。鉍物少。	両小口旧時欠損。器面消耗あり。器面滑らか。色調黄味強い。	
24-12	土製品 土錘	覆土 2/3	長・(2.9) 重・3.87	酸化。並。鈍橙5YR6/3。 並、やや重。鉍物少。	両小口旧時欠損。器面滑らか。全体に少し消耗。部分的に吸炭あり。	
24-13	土製品 土錘	覆土 2/3	遺存長・3.0 重・2.90	酸化。並。鈍橙7.5YR6/4。 並、重。灰鉍物含、他少。	両小口旧時欠損。器面滑らか。器面消耗あり。色調黄色味強い。	
24-14	埴輪 円筒	覆土 破片	厚・1.1	還～酸化。硬。鈍橙10YR6/4。 並、やや重。白粒、白鉍物含。	外面に刷毛目と突帯あり。内面に紐作痕と、指などによる掻目あり。割れ口消耗。	
24-15	埴輪 円筒	覆土 体部片	厚・1.5	酸化。並。鈍赤褐5YR4/4。 並、やや重。褐粒、鉍物多。	外面に刷毛目。内面に撫痕。全体に円弧の成り弱し、形象埴輪か。	
24-16	埴輪 円筒	覆土 体部片	厚・1.6	酸化。並。鈍赤褐5YR4/4。 並、やや重。白、褐粒含、他少。	外面に刷毛目あり、内面に接合痕と指などの掻目あり。割れ口の消耗少ない。	

第66号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
25-1 133-22	磁器 蓋	覆土 1/2	口・(8.4) 高・2.3	還元。締。釉・染付濃紺。白磁 色・白。胎・白。	外面に蛇行縞を残し、内面に雷文を染付。摘み端部を除き白磁釉。	20C 伊万里系
25-2	磁器 皿	覆土 底部片	底・(17.0)	還元。締。釉・淡青 (染付)。 白磁釉・淡々青白。胎・白。	内面に臨海図らしき染付あり。白磁釉は高台を除き施釉。内外に目跡・ハリ目あり。	18C 伊万里系
25-3 133-23	施釉陶器 碗	覆土 1/2	口・(12.0) 高・4.3	中性。締。釉・透明調。暗黒緑 (鉄絵)。胎・黄灰。	内面に鉄絵で臨海図様の施文あり。外面下方と高台裏を除き施釉。	18・19C 京焼系

第66号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
25-4	軟質陶器 播鉢	覆土 口縁部片	口・(33.0)	還元。酸化。締。釉・茶(鉄釉、 光沢強い)。胎・黒灰。	内外面に光沢の強い鉄釉かかる。内面に卸目 あるものの摩耗少ない。接・4点。	19・20C 産不明
25-5 133-24	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(40.0)	還元。硬。灰褐7.5YR6/2。 粗、軽。白粒含、鉍物微。	底面に石目状の型膚あり。外面と内面口縁側 に煤附着。口縁横撫。口縁内面にハゼあり。	20C 小泉か
25-6	土製品 円盤	覆土 完形	縦・3.8 横・4.0	還元。軟。暗灰黄2.5Y5/2。 並、軽。白粒含、他少。	打ち欠き、研磨による再加工円盤で、旧種は 棧瓦か十能瓦。片側に型膚様面、片方撫。	20Cか
25-7	瓦 棧瓦か	覆土 破片	縦・15.3+ α 横・11.8+ α	還元。硬。灰7.5YR4/1。 並、やや重。白粒多、他鉍物少。	表面に研磨状光沢と雲母状光沢あり。裏面に 撫痕あり。硬さのある地方瓦。	深谷か
25-8	瓦 棧瓦	覆土 1/4	縦18.0+ α 床18.5+ α	還元か。硬。灰7.5Y5/1。 並、やや重。白粒多、他鉍物少。	表面に研磨状光沢と雲母状光沢あり。裏面に 撫痕あり。硬さのある地方瓦。	深谷か
25-9	石製品 砥石	覆土 1/2	砥沢石 80	長・9.0、横・2.5、 厚・2.3	使用面は図表裏と左側部。右側部は削り整形。 小口は調査時以後の欠損。	

第70号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
26-1	施釉陶器 皿	覆土 破片	口・(10.0) 底・(5.5)	還元。締。釉・白浮濁。 胎・灰。	外面下方轆轤回転削削。高台は削り出し。施 釉全面。回転方向不明。	16末~17 C。美濃
26-2	施釉陶器 皿	覆土 破片	口・(26.0)	酸化。締。釉・白土、透明調。 胎・燕脂。	口縁に特徴あり。内面に白土の条線施文あり。 透明調釉全面。外面下方轆轤回転削削。	17・18C 唐津系
26-3	施釉陶器 皿	覆土 破片	口・(25.0)	酸化。締。釉・白土、透明調。 胎・燕脂。	口縁に特徴あり。内面に白土の条線施文あり。 透明調釉全面。外面下方轆轤目あり。	17・18C 唐津系
26-4	施釉陶器 播鉢	覆土 口縁部片	口・(34.0)	還元。締。鈍赤褐2.5YR4/4。 密、重い。白鉍物多、他少。	焼締か。片口部あり。内面に7条一単位の卸 目あり。外面に轆轤右回転条痕。内面研磨少。	16~18C 信楽
26-5	軟質陶器 播鉢	覆土 底部片	底・(10.0)	酸化。硬。鈍赤褐5YR4/3。 並。白粒含、他鉍物やや多。	薄手。内面に8+ α 一単位の卸目あり、使用 摩滅。外面指圧痕と煤。	16・17C
26-6	軟質陶器 植木鉢か	覆土 破片	厚・1.5	酸化。並。灰白2.5Y7/1。 並、軽。白、褐粒含、他少。	割れ口、器面消耗。側部に撫痕と石目状の凹 凸。平縁部は平滑。内面撫痕。足部欠損。	18・19C 小泉か

第81号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
26-7 133-25	土師質土器 皿	覆土 破片	口・(12.5) 底・(7.0)	酸化。並。浅黄橙10YR8/4。 粗、軽。白、褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は静止気味の糸切り。内面底 際に浅い凹みあり。内面に輪宝の墨書あり。	墨書-3
26-8	土師質土器 皿	覆土 破片	口・(9.3)	酸化。並。橙5YR6/6。粗、軽。 白、褐粒含、他鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内外面撫痕。	中・近世
26-9 133-26	磁器 小壺か	覆土 底部周辺	底・(4.0)	還元。密。釉・淡青(染付)、茶 (鉄)、白磁釉淡々青。	油壺・花生か。外面上方に染付施文あり。下 方露胎。内面鉄釉。高台内面に「字」か墨書。	墨書-4 伊万里系
26-10 133-27	施釉陶器 碗	覆土 1/3	底・4.4	還元。締。釉・暗淡青(染付)、 透明調。胎・灰。透明調。胎・灰。	陶器胎土の染付。外面に染付施文あり。さら に透明調釉、その下方に長石釉様下地掛。	18C 唐津系
26-11	施釉陶器 皿	覆土 底部片	底・(7.0)	中~還。締。釉・乳白(志野釉) 胎・黄灰。	底部は部分的に無釉があるものの他は施釉。 内面に目跡1カ所。	16C末 美濃
26-12	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(34.2) 底・(29.2)	酸~還元。褐灰10YR4/1。 並、軽。白、褐粒微、鉍物含。	内面に内耳有り。外面に撫痕あり。内外面に 燻かかり、断面5層気味色変。	小泉か
26-13	瓦 十能瓦か	覆土 破片	長・11.4+ α 幅・1.4+ α	還元。硬。灰5Y6/1。粗、軽。 白粒含、鉍物含。	表面に撫あり。裏面に石目状の型膚あり。 焼成は、表面のみ燻かかり裏面は弱い。	小泉か
26-14	石製品 砥石	覆土 完形	砥沢石 77	長・11.0、幅・2.4、 厚・2.2。	先尖りの刃付砥で、使用は表裏、左側部の3 面、主使用は表。部分的に削目あり。	中世以降
26-15	石製品 砥石	覆土 破片	砂岩 50	遺存長・6.3、幅・4.3、 厚・1.2。	使用面は、表裏、両側部の4面。奥の小口旧 欠後も使用。手前小口は旧欠。割れ口は消耗。	

第83号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
27-1 133-28	磁器 皿	覆土 1/3	口・(15.0) 底・(9.8)	還元。締。釉・淡暗青(染付)、 透明調。胎・白。	内面に草木様の施文あり。外面に唐草文、高 台裏に「福」銘あり。	18C 伊万里系
27-2	施釉陶器 播鉢	覆土 破片	口・(34.0)	酸化。締。器面暗褐7.5YR5/3 (釉か)。胎・淡褐。	内面に6条一単位の卸目が5単位。内外面轆 轤目。卸し研磨は微。焼締か施釉か不明。	17・18C 信楽

第85号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
27-3 133-29	磁器 蓋	覆土 1/2	口・(8.9) 高・2.8	還元。締。釉・染付暗青、白磁 淡青白、胎・淡灰白。	向付様小碗の蓋。内外面に染付施文あり。高 台端部を除き白磁釉。	18C 伊万里系
27-4	磁器 碗	覆土 1/4	口・(10.0) 底・(4.0)	還元。締。釉・暗淡青(染付)、 白磁釉淡々青。胎・灰白。	外面に丁寧な表現で梅花ほか施文あり。内外 面に白磁釉で高台端部のみに鉄足状。消耗微。	18C 伊万里系
27-5 133-37	磁器 碗	覆土 1/3	口・(10.0) 高・5.2	還元。締。釉・染付暗青、白磁 青白。胎・白。	外面と高台裏に染付施文あり。山呉須。高台 端部を除き白磁釉。	18C 伊万里系
27-6 133-31	磁器 碗	覆土 1/2	高台径・(3.9) 高・5.6	還元。締。釉・染付青、白磁・ 白。胎・白。	外面に「寿」と他施文あり。内面に桐文・口 縁加飾ほか染付。高台端部を除き白磁釉。	19C 伊万里系
27-7 133-32	磁器 碗	覆土 2/3	口・10.8 高・6.0	還元。締。釉・染付紺、白磁釉 白。胎・白。	外面に梅花文尽。ペロ藍染付で内面に帆掛舟、 口縁部加飾染付あり。	20C 伊万里系
27-8 133-33	磁器 茶碗	覆土 1/2	口・(11.0) 底・(3.8)	還元。締。釉・暗青(染付)、透 明。胎・白。	外面に柳茶碗風の染付施文。内面に圈線あり。 透明釉は高台端部を除いて施釉。	20C 伊万里系
27-9	磁器 皿	覆土 破片	口・(14.0)	還元。締。釉・濃紺(染付)、白 磁釉・淡々青白。胎・白。	内面ペロ藍による染付施文。外面にも条線の 施文あり。	20C 伊万里系
27-10 133-30	施釉陶器 蓋	覆土 1/4	径・(12.7) 底・(9.6)	中～還。締。釉・濃紺(染付)、 白土、透明調。胎・淡褐灰。	内面側無釉。外面はペロ藍による草文様の染 付。摘みは欠損。	19・20C 産不明
27-11 133-36	施釉陶器 ひょう燭	覆土 2/3	底・5.4 高・5.9	中性。締。釉・淡黄灰透明。 胎・黄灰。	外面体部際、内面状半にかけて施釉。底面回 転筥削。	18・19C 瀬戸美濃
27-12	施釉陶器 片口か	覆土 口縁部片	口・(18.0)	還元。締。釉・暗黄緑(淡い鉛 釉調)。胎・暗灰。	内外に施釉。外面下方回転筥削。上方轆轤目。 内面轆轤目。口縁部に擦り傷多い。	18・19C 産不明
27-13	施釉陶器 鍋	覆土 破片	口・(14.8)	中性。締。釉・外面暗茶(鉄釉 無光沢)、内面明茶。胎・黄灰。	内面施釉光沢あり。外面飛ガンナ施文と口縁 に煤付着。	19・20C 地方窯か
27-14 133-34	施釉陶器 徳利	覆土 底部片	底・7.9 高・(6.1)	中～酸。締。釉・淡緑。 胎・灰。	外面底際から施釉。内面に薄い鉄釉かかる。 外面上方飛鉋あり。底面筥削。	19C 産不明
27-15 134-1	施釉陶器 徳利	覆土 1/2	底・8.6	中性。締。釉・茶褐(鉛釉調) 白土様の掛流。胎・黄灰。	釉は濃淡。内面に茶褐色(灰釉～鉛釉調)の 有機質付着。釉は部分的に白土様の掛痕あり。	19・20C 美濃
27-16 133-35	施釉陶器 急須	覆土 破片	長・6.1	酸～中。締。釉・茶褐(鉄釉)	内面の一部と外面に鉄釉かかる。内面は下か 上へ釉の垂れ落ちあり。	19・20C 産不明
28-1	施釉陶器 搦鉢	覆土 破片	口・(32.0) 高・(6.2)	還～酸。締。釉・鉄錆。 胎・暗赤褐～黒灰。	外面口縁部下に3条の隆部あり。内面9+α を一単位とする卸目あり。	17・18C 東海以西
28-2	陶器 搦鉢	覆土 破片	口・(28.0)	酸化。締。釉・鉄錆。胎・明赤 褐。白磁物多。	全面に施釉。内面に卸目あり。口縁部外面に 3条の隆部あり。	17・18C 信楽か
28-3	陶器 搦鉢	覆土 破片	口・(22.0)	酸化。締。釉・自然釉か浅い鉄 釉か不明。胎・茶褐。	内面卸目あり、鋭い。胎土に白磁物を多く入 る。外面の口縁部帯に稜3条。	17・18C 信楽か
28-4 134-3	陶器 搦鉢	覆土 破片	口・(32.6)	酸化。締。明赤褐2.5YR5/8。 密、重。白磁物含、他少。	口縁部は外面に3段の隆部あり。以下筥撫。 内面に卸目、印銘あり。使用痕微。	17C 備前か
28-5 134-4	陶器 鉢	覆土 破片	高・(2.9) 底・(15.0)	中性。締。釉・茶褐(鉛釉光沢 あり。)胎・黄灰。	内面にトチン痕。高台と底外面を除き施釉。 釉は安定し、釉表面下は黒ガラス様。	19・20C 産不明
28-6	軟質陶器 火鉢	覆土 2/3	口・(43.2) 底・(27.5)	還元。並。オリープ黒7.5Y3/2。 胎・黒磁物含、黒粒含。	内外面に黒色物質(墨か)付着。内面ハゼ多。 底面石目状の型膚。体部外面轆轤目。	接・8点 小泉か
29-1	軟質陶器 焙烙	覆土 破片	口・(35.2)	酸化。硬。鈍橙7.5YR6/4。 粗、やや軽。褐粒、磁物含。	外面煤付着。底面に石目状の型膚。内面に轆 轤右回転条痕。焼成単一気味。	接・4点 小泉か
29-2 134-2	軟質陶器 焙烙	覆土 破片	厚・0.9	酸化。硬。暗黄7.5YR5/4。 粗、やや軽。褐粒、磁物含。	内耳か。底から体部外面にかけて石目状の型 膚。口縁部周辺内外横撫。	19・20C 小泉か
29-3	軟質陶器 焙烙	覆土 破片	口・(36.0) 底・(35.5)	還元。並。橙7.5YR6/6。 並、軽。褐粒含、他磁物微。	内外面回転による撫痕。底面いMJの型膚と 煤付着。	19・20C 小泉か
29-4	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	厚・1.0	還元。並。灰5Y6/1。並、軽。 褐粒含、他磁物微。	内面に研磨あり。内外面燻され断面5層色変 気味。割れ口少し消耗。	
29-5	軟質陶器 火鉢か	覆土 破片	口・(40.8) 高・(6.7)	還元。硬。黒2.5GY2/1。 並。やや軽。白粒、磁物含。	外面に接合面、割れ口に2カ所見える。内面 研磨、下方ハゼ剥落。内面燻の黒色化。	17・19C 小泉か
29-6 133-38	軟質陶器 釜輪	覆土 1/4	上径・(35.3) 下径・(30.6)	酸化。並。灰黄2.5Y6/2。 並、重。白、褐粒含、磁物微。	外面に煤付着。部分的に燻される。内外面に 轆轤目あり。断面3層色変気味。	接・3点 小泉か
29-7	軟質陶器 香炉手焙	覆土 破片	底・(19.0)	還元。硬。黒褐10YR3/1。 並、やや軽。白粒含、磁物少。	外面に押圧文(絡状)あり。内面に轆轤目。 焼成は芯黒色で燻がかかる。断面5層色変。	19・20C 小泉か
29-8	軟質陶器 香炉手焙	覆土 破片	底・(15.2)	還。並。オリープ黒7.5Y2/2。 並。褐粒、磁物微。	外面に押圧文(絡状か)あり。内面に轆轤目 あり。底面に半円形の三の一部。	19・20C 小泉か
29-9	軟質陶器 火入	覆土 1/5	横・14.0+α 高・9.0	還元。並。灰N4。粗、やや軽。 白粒含、他磁物少。	火入か行火か底面型膚。内面撫。表面も撫と 筥撫。焼成は芯黒色。内外面燻で5層色変。	接・2点

第85号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
30-1	軟質陶器 火入か	覆土 破片	長・8.6+ α	還元。並。灰7.5Y4/1。 並、やや軽。白粒微、鉍物少。	外面に石目状の膚あり。内面は撫。口縁は平縁となり撫。焼成外面黒色、芯黒で5層色変。	18・19C 小泉か
30-2	石製品 砥石	覆土 破片	珪質粘板岩 150	長・12.0+ α 、幅・6.2、 淡橙色。	仕上げの合わせ砥級。僅か条痕と合わせての使用。両側鋸目。裏面剥落。節理面あり。	桐生の砥石か
30-3	瓦 棧瓦	覆土 破片	長・9.6+ α	還元。並。灰7.5Y6/1。 並、やや重。灰色粒含、鉍物微。	凹面に雲母粒状の光沢。凸面に撫痕。胎土中に灰色円粒の粘土粒が目立つ。黒色燻。	19・20C 深谷か
30-4	石製品 石臼	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 1290	口・(27.6)、底・(26.0)、 高・7.5。	石材は軽く、柔らか。一部に供給孔疑似あり。目無し白となる。側部、周縁摩耗。	中世か

第87号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
30-5	施釉陶器 小甕	覆土 破片	口・(12.2)	酸～中。締。釉・茶(鉄釉)光 沢、黒(鉄)。胎・黄灰。	外面下方を除き施釉。口縁上面のみ黒釉。釉は光沢強い。	19・20C 産不明

第88号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
30-6	磁器 碗	覆土 1/3	口・(10.1) 底・(3.6)	還～酸。締。釉・白土様(刷毛 掛)、透明調。胎・灰～褐。	内外面に白土様の刷毛施文。高台端部を除き施釉。割れ口旧欠鋭い。	18C 唐津系
30-7 134-5	施釉陶器 変形皿	覆土 2/3	短径・(10.0)	還～中。締。釉・透明調。 胎・灰白。	高台端裏を除き施釉。向付か。釉は細かい貫入が生ずる。	18C 美濃
30-8	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・36.2 底・34.4	酸化～還元。黒褐10YR3/1。 並、やや軽。鉍物含。	内面に内耳の剥落と接合痕、横撫。外面に接合痕と底にかけ石目状の型膚。内外燻あり。	小泉か

第89号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
30-9 134-6	土師質土器 皿	覆土 1/2	口・9.0 底・5.5	酸化。並。鈍黄橙5YR7/3。 粗、軽。白粒、鉍物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面轆轤目目立たず。	接・4点 粘
30-10 134-7	土師質土器 皿	覆土 完形	口・8.5 底・5.0	酸化。硬。鈍黄橙10YR7/2。 粗、軽。鉍物粒含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。油煙付着。内面轆轤目あり。	近世か 粘
30-11 134-8	土師質土器 皿	覆土 破片	底・(6.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。 粗、軽。白、褐粒含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面一方向の指撫。割れ口消耗。	接・2点 中世
30-12	施釉陶器 茶入か	覆土 破片	口・(6.0)	酸化。硬。釉・淡黄褐(染焼釉 で低火土か)。胎・淡橙。	外面に刺突文の小施文あり。釉は内外全面にあり。全体に酸化気味。	19・20C 染焼
30-13	施釉陶器 碗	覆土 破片	厚・0.4	中性。締。釉・透明調。 胎・黄灰。	内外面施釉、細貫入あり。割れ口の大多数は旧欠。	18C 京焼き
30-14 134-10	施釉陶器 徳利	覆土 完形	口・4.7 底・18.5	中性。締。釉・乳濁淡灰。 胎・淡黄か。	外面に長石・石英分の多い刷毛塗施釉あり。内面は不明。外面下半に回転筧削目あり。	19・20C 産不明
30-15 134-13	焼締陶器 鉢	覆土 底部片	底・(12.3)	酸化。締。鈍黄橙10YR7/3。 密、重。白粒、鉍物多。	内面底側は使用摩耗。内外面撫あり。底面は砂付着。酸化は弱い。割れ口少し摩滅。	13～16C 常滑か
30-16	軟質陶器 火入か	覆土 破片	口・(18.0) 底・(12.8)	酸化。硬。鈍黄2.5Y6/3。 並、やや軽。白粒微、鉍物少。	内面轆轤目。外面に口縁部粘土帯接合面。研磨痕あり。焼きは芯黒色、外面燻5層色変。	17・19C 小泉か
31-1 134-14	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(37.7) 底・(35.0)	中～還。並。オリブ黒5Y3/1。 並、やや重。白、褐粒、鉍物微。	底～体部外面下方に石目状の型膚あり。体部外面中位に口縁部粘土帯接合面。焼3層色変。	接・4点 小泉か
31-2 134-9	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(39.4) 高・5.3	中性。並。黒5YR1.7/1。 並、やや軽。鉍物少。	底部粘土板か、石目状は型膚か。口縁粘土帯接合面、指圧痕、横撫あり。内面に内耳貼付。	焼成5層 小泉か
31-3 134-12	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	底・(36.0) 高・5.3	中性。並。黄灰2.5YR4/1。 鉍物含。	口縁部粘土帯、底部粘土板か、外面に接合痕。横撫、指圧痕あり。轆轤左回転。	
32-1 134-16	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(39.4) 高・5.0	中性。並。黒7.5YR2/1。 粗、軽。鉍物含。	轆轤成形(右回転)。口縁部粘土帯、底部粘土板、外面撫、接合痕、筧削。	18・19C 小泉か
32-2 134-11	軟質陶器 火鉢	覆土 1/5	口・(35.8) 底・(27.0)	酸～中性。並。黄灰2.5YR6/1。 並、やや軽。白、褐粒含、他微。	内外面に研磨あり。底面に石目状の型膚あり。体部外面下半指圧痕、筧削。断面3層色変。	接・3点 小泉か
32-3	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(30.0)	還元。硬。黒7.5Y2/1。 並、やや軽。白粒、鉍物微。	外面に轆轤目、小ハゼ。内面研磨と銀化様の光沢あり。焼成は芯黒色外面燻、5層色変。	17・19C 小泉か
32-4 134-15	軟質陶器 鍋	覆土 1/3	口・(35.6) 底・(17.0)	還元。硬。鈍黄2.5Y6/3。 並、白粒微。	外面に横撫・指圧痕・型膚。内面に回転条痕。外面に煤付着。内面研磨なし。	接・9点

第92号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
33-1 134-17	施釉陶器 碗	覆土 口縁部片	口・(15.0)	還元。焼締。灰白2.5Y7/1。 粗、やや重。白色鈹物含、他含。	口縁部付近の内外に自然釉。内外轆轤の回転 条痕あり。割れ口少し消耗。山茶碗。	13C 東海
33-2 134-18	須恵器 碗	覆土 破片	口・(15.2)	還元。締。灰白5Y8/1。 密、重。白鈹物含。	外面に浅い轆轤目。口縁～内面にかけ自然釉、 胎土は、石英、長石様鈹物多い。	13C 東海
33-3	施釉陶器 碗	覆土 破片	厚・0.6	中性。締。釉・黄灰透明調。 胎・灰。	外面下方の露胎を除き、内面とも施釉。露胎 部に回転窠削目見える。消耗少ない。	18C 産不明

第93号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
33-4	須恵器 甕	覆土 破片	厚・1.4	酸化。並。胎・7.5YR6/6。 並、やや重。	割れ口に紐作痕。外面笠撫。内面に回転擦痕 と撫痕。割れ口消耗大。	

第96号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
33-5 134-19	土師質土 器皿	覆土 2/3	口・(11.8) 底・(6.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。 粗。白粒、鈹物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。 内面不定方向の撫。やや大形。	接・2点 粘
33-6 134-20	磁器 碗	覆土 2/3	口・(10.6) 底・4.2	還元。締。染付濃紺、白磁色・ 白。胎・白。	外面に梅花文尽と松葉を施文。内面に帆掛舟 と口縁に松葉文加飾あり。	20C 伊万里系
33-7 134-22	磁器 碗	覆土 1/2	口・(10.1) 底・(3.9)	還元。締。釉・染付濃紺、白磁 色・白。胎・白。	外面に菊・萩文を中心にした染付施文あり。 内面口縁部に染付施文。白磁あり。	20C
33-8	磁器 皿	覆土 破片	底・(6.2)	還元。締。釉・染付濃青、白磁 色・淡青白。胎・白。	内面に草文らしきほかの施文。外面に圏線を 染付。高台蛇の目～端部を除き白磁釉。	20C 伊万里系
33-9 134-23	磁器 皿	覆土 4/3	口・(15.0) 底・(7.4)	還元。締。染付青、白磁色・淡 青白。胎・白。	全体は鮑型の変形皿で、鮑孔列を凹ませ、内 面に貝尽と海草を、外面にも施文。焼継記号有。	18C 伊万里系
33-10	磁器 皿	覆土 底部片	底・(11.0)	還元。締。釉・淡青(青磁)、 胎・白。	高台端部～蛇目部外周を除き青磁釉を施し、 少し厚い。高台は削り出す。	18C 伊万里系
33-11 134-21	施釉陶器 德利	覆土 破片	底・(6.8)	還元。締。釉・透明調の淡灰。 胎・淡白灰	外面中～上方施釉。下方露胎少し酸化。内面 轆轤目、無釉。底面に「酒□」墨書。産不明	墨書-5 19・20C
33-12	施釉陶器 香炉	覆土 破片	口・(16.0)	中性。締。釉・暗茶(鉄釉)鈍 い光沢。胎・黄灰。	内外面に鉄釉。外面に2条の沈線、以下窠削 目あり。外面口縁端部使用摩滅。	18Cか 美濃
33-13	軟質陶器 火入	覆土 小片	口・(22.8)	中性。並。オリープ黒5Y3/1。 並、軽。白、褐粒含、他少。	外面、絡状施文あり。内面回転条痕。口縁部 付近研磨あり。	19・20C 小泉か
33-14 134-24	軟質陶器 風炉	覆土 破片	口・5.1 底・(20.4)	還元。並。灰白5Y7/1。 並、やや重。黒粒含、鈹物微。	外面に押圧文様(絡状)。透かしあり。内面に 轆轤目あり。焼成は外面淡燻、5層色変。	18・19C 小泉か
33-15	軟質陶器 火入か	覆土 小片	最大径・ (23.0)	中性。軟。灰5Y4/1。並、軟。軽。 白、褐粒微、他微。	外面に破状施文あり。内面轆轤目あり。内外 面黒色燻あり。割れ口消耗微。	19・20C 小泉か

第97号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
34-1 134-25	磁器 碗	覆土 1/2	口・(6.8) 底・3.2	還元。締。染付濃紺、白磁色・ 白。胎・白。	外面に浅い針書沈線文で動物様の施文をし、 その上に濃紺の染付を行う。高台端除き施釉。	19・20C 伊万里系
34-2	磁器 碗	覆土 破片	口・(9.0)	還元。締。釉・青(染付)、 白磁色・淡青白。胎・白。	外面に瓔珞文、内面格子状の染付施文あり。 各々釉流れあり、そのため青色味強い。	19初 伊万里系
34-3	磁器 碗	覆土 破片	口・(9.0)	還元。締。釉・透明(白磁)、 緑(上絵、銅釉か)。胎・白。	内外面光沢のある透明釉あり。外面の下方に 上絵付あり。	19・20C 伊万里系
34-4 134-26	磁器 菓子入蓋	覆土 1/2	高・(4.1) 口・(11.6)	還元。締。染付淡青。白磁色・ 淡青白。胎・白。	外面に書物様の施文と摘みの貼付あり。口縁 端部を除き施釉。内面釉境は鉄足状に発色。	18C 伊万里系
34-5	磁器 碗	覆土 1/3	口・(11.0) 底・(4.0)	還元。締。釉・濃紺(染付)、 白磁色・淡青白。胎・白。	外面にペロ藍による施文。内面にも圏線の染 付あり。高台端部を除き白磁釉。	19・20C 伊万里系
34-6	磁器 浅碗	覆土 破片	口・(15.4)	還元。締。釉・白磁白、貫入墨。 胎・白。	内外面に貫入発達。貫入内は黒い。口縁若干 反る。	19・20C 県外搬入
34-7	軟質陶器 焙烙	覆土 破片	口・(31.3)	還元。硬。黒褐10YR3/2。 粗、軽。鈹物含。	底面に石目状の型膚あり。口縁部の内外面横 撫。外面被熱色変あり。	19・20C 小泉か
34-8	瓦 十能瓦	覆土 小片	長・10.1+α	還元。並、灰5Y4/1。密、やや軽。 白、褐粒含、鈹物少。	凹面に撫、裏面に石目状の型膚。縦撫あり。 表面から小孔があるが貫通せず。3層色変。	

第99号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
34-9 134-27	施釉陶器 鉢	覆土 底部片	底・(15.0)	中性。締。釉・淡黄灰で透明調。 胎・黄灰。	片口か。内面に施釉。内面にトチン痕あり。 外面轆轤右回転篋削。	18C 美濃
34-10	磁器 徳利	覆土 破片	底・(5.8)	還元。締。釉・透明(白磁釉)。 胎・白。	内面に白磁釉あり。底面に糸切条痕あり。白 磁釉の光沢強い。	19・20C 伊万里系

第100号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
34-11 134-28	施釉陶器 ひょう燭	覆土 1/3	底・4.9	中性。締。釉・透明気味。 胎・灰黄。	外面上方と内面上端に施釉。釉境は鉄足状に 発色。底面は回転篋削。	18Cか 瀬戸美濃
34-12	土師質土 器皿	覆土 底部片	底・(4.4)	酸化。並。明赤褐5YR5/8。 並、やや重。褐粒多、鋳物多。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。 欠損品の円盤加工。内外割れ口消耗。	粘

第117号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
34-13	土師器 杯	覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。橙2.5YR7/8。並、軽。 白、褐粒含、他含。	内外面横撫あり。外面に不明墨書あり。割れ 口少し消耗。	墨書-6
34-14	須恵器 埴	覆土 底部片	底・(9.5)	還元。硬。灰N5/0。密、やや重。 白粒含、他鋳物少。	轆轤成形(右回転)。高台は付け高台。内面に 轆轤目あり、外面滑らか。割れ口消耗微。	太田か

第121号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
34-15	土師質土 器皿	覆土 1/4	口・(8.8) 底・(5.0)	酸化。軟。浅黄橙7.5YR8/4。 粗、軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。やや粗雑な作 調。体部外面と内面に撫整形痕。	接・2点
34-16	土師質土 器皿	覆土 口縁部片	口・(9.0) 底・(5.3)	酸化。並。浅黄2.5Y7/3。 粗、軽。白粒、黒色鋳物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。 作調粗雑な感あり。割れ口少し消耗。	17Cか
34-19 135-2	磁器 碗	覆土 1/2	底・(4.3)	還元。締。釉・淡青(染付)、 透明。胎・白。	外面に柳茶碗様の染付施文あり。高台裏にも 施文あり。透明釉は高台を除く。	19・20C 伊万里系
34-21	施釉陶器 皿	覆土 口縁部片	口・(13.0)	還元。締。釉・淡灰緑(灰釉調) 胎・淡灰。	外面下方を除いて施釉。外面下方轆轤による 回転篋削。	17C 瀬戸

第122号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
34-17 135-1	磁器 坏	覆土 1/2	口・(6.8) 底・4.8	還元。締。染付青、白磁釉・淡 青白。胎・白。	外面に鶏と草文の染付施文あり。高台端部を 除き白磁釉施釉。	19C 伊万里系
34-18 134-30	磁器 猪口	覆土 2/3	口・(6.6) 底・2.6	還元。締。染付濃青、白磁釉・ 白。胎・白。	高台端部を除き白磁釉。内外面に染付施文あ り。そのうち内面に「太田」「前□」とあり。	昭和か
34-20	磁器 皿	覆土 1/2	口・(9.9) 底・2.2	還元。締。染付濃青、赤絵、茶 褐絵。胎・白。	押型成形か。内面色絵。染付で富士山、並。 形施文あり。形押成形らしき押圧文字あり。	昭和か
34-22 134-29	軟質陶器 焙烙	覆土 破片	口・(34.5) 底・(35.2)	酸化。硬。暗褐7.5YR5/3。 並、やや軽。白粒含、鋳物少。	底面に石目状の型膚。口縁部周辺の内外面に 横撫あり。内外面に黒斑あり。	19・20C 小泉か

第129号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
34-23	軟質陶器 内耳	覆土 口縁部片	厚・1.0	酸化。硬。黒褐2.5Y3/1。 粗、軽。白、褐粒含。	外面下方に石目状型膚あり。口縁部の内外面 に轆轤目あり。外面に吸炭あり。	18・19C 小泉か

第90号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
35-1 135-3	土師質土 器皿	覆土 1/3	口・(9.3) 底・(5.9)	酸化。硬。鈍黄橙10YR7/2。 粗、軽。白、褐粒含、他鋳物痕。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 土は粗質で近世以降か。内面底面回転撫痕。	17C以降
35-2 135-4	施釉陶器 碗	覆土 1/3	底・4.7	中性。締。釉・淡黄灰(透明調) 胎・黄灰。	釉は薄く貫入あり。高台端部を除き施釉。 欠損は旧時。高台は貼付か。	18C 京焼系

第90号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
35-3 135-5	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 1/6	口・(38.3) 底・35.0	還元。並。黒褐10YR3/1。 並、軽。鈳物少。	口縁部平ら。口縁部下方外面に粘土帯接合痕。 中位以下底面まで石目状型膚。煤付着。	接・7点 小泉か
35-4	軟質陶器 手焙	覆土 破片	口・(33.1)	酸化。並。灰黄褐10YR6/2。 並、やや軽。白粒含、鈳物少。	外面に大まかな研磨、口縁部粘土帯接合痕。 内面に研磨痕。焼成内外燻。断面5層色変。	17~19C 小泉か
36-1 135-6・7	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 ほぼ完形	口・(38.7) 底・35.7	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。 並。褐粒少、鈳物含。	内面に内耳3カ所。底~体部外面の一部に石 目状の型膚。内面に菊花印花3カ所。5層色変。	18・19C 小泉か

第86号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
37-1 135-9	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・8.9 底・5.0	酸化。並。鈍橙10YR7/2。 粗、軽。褐粒含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内外面ともに轆轤目立たず。	粘
37-2 135-8	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・9.4 底・6.6	酸化。並。灰白2.5Y8/2。 粗、軽。鈳物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内外面轆轤目の凹凸顕著。	粘
37-3 135-10	土師質土 器皿	覆土 2/3	口・9.4 底・6.3	酸化。並。鈍橙5YR7/4。 並、やや軽。鈳物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内底面際工具整形あり。その内外面轆轤目。	粘
37-4	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(10.0) 底・(6.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。 並、やや重。白、褐粒、他少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内外面煤付着。底面に焼成前付着の粘土あり。	中・近世
37-5 135-19	磁器 碗	覆土 2/3	口・(10.1) 底・4.3	還元。締。釉・淡暗青(染付)、 透明調。胎・灰白。	外面に草木花文染付、高台裏にもあり。 高台端部を除き透明調釉施釉。	18C 伊万里系
37-6	磁器 碗	覆土 1/2	口・(10.6)	還元。締。釉・淡暗青(染付)、 白磁釉・淡青。胎・淡灰白。	外面こんにやく判桐文あり。具須は暗い。 割れ口少し、鈍い。内面使用擦痕あり。	
37-7	磁器 碗	覆土 1/2	口・(10.4) 底・(3.9)	還元。締。釉・淡青~暗青(染 付)、白磁釉・淡青。胎・白。	外面に三友文染付、山具須。白磁釉は高台端 部を除き施釉。	
37-8 135-11	磁器 小皿	覆土 3/5	口・(10.3) 底・2.3	還元。締。釉・染付淡暗青、白 磁・淡青白。胎・灰青白。	内面に花文と垣・草文の施文。外側部に唐草 文、外面裏記号染付。高台端部を除く白磁釉。	18C 伊万里系
37-9 135-12	磁器 皿	覆土 1/2	口・10.8 底・6.4	還元。締。釉・淡青(染付)、 透明。胎・白	内面に草文・格子、中央にこんにやく判、外 面唐草文ほか施釉。高台端部を除き透明釉。	18C 伊万里系
37-10	磁器 皿	覆土 1/2	口・(14.7) 底・(9.0)	還。締。釉・灰白2.5Y8/1(透明)、 濃紺(染付)。胎・白。	内面に松・竹・梅(三友か)の施文。外面に唐 草を染付。高台端部を除き白磁釉。	18C 伊万里系
37-11	磁器 碗	覆土 破片	底・(6.7)	還。締。釉・灰白2.5Y7/1(白磁 釉)。胎・淡灰。	高台端部・底面を除き白磁釉。白磁釉は乳濁。 内面使用研磨あり。底面は回転篋削。	12・13C 中国製
37-12 135-13	施釉陶器 燈火皿	覆土 ほぼ完形	口・10.8 底・2.5	中~還。締。釉・淡黄褐、 胎・黄灰。	口縁部に持手あり。外面下方回転篋削。内面 口縁部被熱。外面露胎に煤付着、底基筋底。	18・19C 美濃
37-13 135-16	施釉陶器 瓶	覆土 1/5	底・8.3	中性。締。釉・茶(鉄釉)濃・ 薄淡褐(胎釉)。胎・灰。	外面に茶と淡茶の施釉。内面に胎釉調の施釉。 内面に轆轤目あり。底面に砂粘土小塊付着。	19・20C 産不明
37-14 135-14	施釉陶器 徳利か	覆土 1/2	底・10.3	中性。締。釉・淡黄灰。 胎・黄灰。	外面下方と高台裏を除き施釉。外面に回転篋 削目。内面に轆轤目あり。	18・19C 美濃か
37-15	施釉陶器 播鉢	覆土 破片	口・(30.0)	酸化。締。釉・茶褐(鉄釉)。 密、重。白粒多、他鈳物少。	外面に強い光沢があり、茶味強く鉄釉か。 内面卸目あり。石英粒多い。	17・18C 信楽か
37-16	焼締陶器 鉢	覆土 破片	径・(37.0)	還元。締。黄灰2.5Y5/1。 密、重。透明鈳物多、他微。	内外面に自然釉。内面摩耗微。外面に指跡な どの凹凸。石英・長石粒多く東海産か。	県外搬入 中世
37-17	軟質陶器 内耳	覆土 破片	厚・1.0	還元。並。黒褐2.5Y3/1。 並、やや重。鈳物少。	外面回転篋削。内面研磨、小ハゼ、黒色化と 使用摩耗。焼成外面黒色燻で断面5層色変。	16・18C 小泉か
38-1 135-17	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(37.0) 底・(32.4)	還~中性。並。灰5Y4/1。 並、やや軽。白、褐粒含、他微。	体部外面に回転篋削、石目状の型膚、轆轤目。 内面轆轤目。底面石目状型膚。断面3層色変。	接・2点 小泉か
38-2	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸~還元。硬。黒5Y2/1。 並、軽。白、褐粒微、鈳物少。	外面に流水文の櫛目入る。内面に轆轤目あり。 図天地不明、図の状態は轆轤左回転。	18・19C 小泉か
38-3 135-18	瓦 十能瓦	覆土 破片	長・13.2+α	還元。硬。灰5Y4/1。 並、やや重。白粒含、鈳物少。	裏面に石目状の型膚、ハゼあり。表面は縦撫。 焼成は表裏に浅い燻か断面5層色変。	20C 小泉焼
38-4 135-20	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(36.8) 底・35.0	中~還。並。灰黄2.5Y6/2。 並、軽。白、褐粒微、鈳物微。	内耳の旧欠部あり。外面上方横撫、以下型膚。 口縁部下方に粘土接合痕あり。断面3層色変。	接・2点 小泉か
38-5	軟質陶器 火入	覆土 破片	長・5.8+α	還元。硬。灰N4/0。並、やや重。 白、黒色鈳物含、他少。	全体に消耗。内面撫。口縁の平部と表面は光 沢があり篋撫か。	小泉か
38-6	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	底・(32.0)	還元。並。灰Y4/1。並、軽。 白粒含、鈳物少。	底面は型膚状の小ヒビ、研磨様の光沢あり。 外面回転篋削。内面横撫。内外少し燻し。	18・19C 小泉か
39-1 135-15	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 一部欠損	口・38.4 底・35.6	還元。硬。オリーブ黒5Y3/1。 粗、軽。鈳物含。	内面に研磨痕。内耳3カ所。口縁部下に接合 痕、外面中位に石目状の型膚、以下篋削。	接・27点 小泉か

第94号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
41-1 135-21	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.6 底・5.8	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。褐粒含、鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面轆轤目あり。黄斑あり。	接・3点 近世以降
41-2 135-22	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.65 底・4.9	酸化。並。灰白2.5YR8/2。	轆轤成形。底部は回転糸切り。口縁の内外面 に煤付着。内面の轆轤目立たず。黄味強い。	近世以降
41-3 135-23	土師質土 器皿	覆土 2/3	口・(8.8) 底・(5.6)	酸化。並。橙5YR6/6。 粗、軽。赤、褐粒微、鉍物含。	底部は左回転糸切り。内面にハゼ剥落多い。 全体に薄作り。	接・8点 近世以降
41-4 135-24	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・5.2	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。 粗、軽。褐粒含、鉍物少。	底部は左回転糸切り。口縁に灯芯油煙痕。 底面に焼成後の再調整あり。	灯明皿 16C以降
41-5 135-25	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・6.2	酸化。並。淡黄2.5Y8/4。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。 黄斑あり。内面底に轆轤目。	近世以降
41-6 135-26	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・5.0	酸化。並。鈍橙5YR7/3。 粗、軽。鉍物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄斑あり。内面に煤・油煙付着。	近世以降
41-7 135-27	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・5.4	酸化。並。浅黄橙10YR8/3。 粗、軽。鉍物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 底轆轤目おっとりしている。外面淡黄斑。	近世以降 粘
41-8 135-28	土師質土 器皿	覆土 完形	口・8.9 底・5.4	酸化。並。橙7.5YR8/6。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 赤味強い。あり。内面に轆轤目あり。	近世以降
41-9 136-1	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・8.95 底・5.2	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。褐粒含、鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄斑あり。内面底に轆轤目あり。	接・点14 近世以降
41-10 136-2	土師質土 器皿	覆土 1/4	口・(9.0) 底・(5.7)	酸化。並。鈍黄橙10YR6/4。 粗、軽。白粒含、他鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に墨痕・油煙らしき付着あり。内面被熱。	接・3点 16・17C
41-11 136-3	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.0 橙、2	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面轆轤目。黄斑あり。	近世以降
41-12 136-4	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(9.1) 底・(6.0)	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。 粗、軽。鉍物少。	底部は左回転糸切り。内面底工具による轆轤 目。形少し歪む。	近世以降
41-13 136-5	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.1 底・5.2	酸化。並。橙7.5YR7/6。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底轆轤目弱い。	接・4点 近世以降
41-14 136-6	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.1 底・5.2	酸化。並。淡黄2.5YR8/3。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底轆轤目。黄味強い。	近世以降
41-15 136-7	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(9.1) 底・(5.9)	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。鉍物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に工具による轆轤目あり。	接・3点 近世以降
41-16 136-8	土師質土 器皿	覆土 2/3	口・(9.1) 底・4.8	酸化。並。浅黄橙10YR8/4。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄斑あり。内面底の轆轤目立たず。	接・2点 近世以降
41-17 136-9	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.2 底・5.7	酸化。並。灰白10YR8/2。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 黄味強い。内面底に工具らしき轆轤目あり。	近世以降
41-18 136-10	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.2 底・5.4	酸化。並。淡黄2.5YR8/3。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底に轆轤目あり。黄味強い。	接・2点 近世以降
41-19 136-11	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・9.2 底・5.6	酸化。並。淡黄2.5YR8/4。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に轆轤目あり。黄味強い。	接・2点 近世以降
41-20 136-12	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.3 底・5.3	酸化。並。10YR7/4。 粗、軽。鉍物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内部に粘土擦れ痕あり。挽出原料硬めか。	粘・外面 淡黄斑
41-21 136-13	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.3 底・5.7	酸化。並。淡黄2.5YR8/3。 粗、軽。鉍物少。	底部は左回転糸切り。内外面に煤付着。 内面底に轆轤目あり。黄味強い。	近世以降
41-22 136-14	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.3 底・5.4	酸化。並。淡黄2.5YR8/3。 粗、軽。鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。黄味 強い。内面に轆轤目立たず。粘土塊付着。	近世以降
41-23 136-15	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.3 底・6.2	酸化。並。浅黄橙10YR8/4。 粗、軽。鉍物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面の轆轤目工具様。外面淡黄斑あり。	粘
41-24 136-16	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(9.4) 底・(6.3)	酸化。並。淡黄2.5Y8/3。 粗、軽。鉍物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 形に歪みあり。口縁部は肥厚。	接・5点 近世以降
41-25 136-17	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.4 底・6.1	酸化。並。浅黄橙10YR8/3。 粗、軽。白粒含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。 内面底轆轤目緩やか。形少し歪む。	粘・外面 淡黄斑
41-26 136-18	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.5 底・5.3	酸化。並。淡黄2.5YR8/4。 粗、軽。鉍物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面底の轆轤目はっきりあり。	粘
41-27 136-19	土師質土 器皿	覆土 1/4	口・(10.0) 底・(6.5)	酸化。硬。橙5YR6/6。 粗、軽。白粒、黒色鉍物多。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面轆轤目少し。酸化味強い。	接・7点 17C
41-28	土師質土 器皿	覆土 完形	口・(9.6) 底・(6.0)	酸化。硬。鈍黄2.5Y6/3。 粗、軽。白粒、黒色鉍物含。	轆轤成形(回転方向不明)。底部は回転糸切り。 内外面に煤付着。墨痕境明瞭。	17C
42-1 136-19	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.65 底・5.2	酸化。並。鈍黄橙10YR7/3。 粗、軽。鉍物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に轆轤目立たず。	粘

第94号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
42-2 136-20	土師質土 器皿	覆土 完形	口・9.7 底・5.2	酸化。並。明黄橙10YR7/6。 粗、軽。鈹物微。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。 内面底に明瞭な轆轤目あり。外面淡黄斑。	粘
42-3 136-21	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(9.7) 底・5.6	酸化。並。淡黄2.5YR8/3。 粗、軽。鈹物少。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。 内面底に轆轤目あり。黄味強い。	近世以降
42-4 136-22	土師質土 器皿	覆土 1/3	口・(9.8) 底・(5.8)	酸化。並。橙5YR7/6。 粗、軽。赤褐粒微、鈹物含。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。 内面底に轆轤目あり。形少し歪む。黄斑あり。	近世以降
42-5 136-23	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・9.8 底・5.8	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。褐粒、鈹物含。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。 内面底に墨らしき付着、内面にハゼあり。	16C以降 黄斑あり
42-6 136-24	土師質土 器皿	覆土 1/3	口・(10.0) 底・(6.0)	酸化。並。鈍黄橙10YR7/3。 粗、軽。鈹物含。	底部は左回転糸切り。内面底工具による轆轤 目、内面に少し燻。燈火皿か。	近世以降
42-7 136-25	土師質土 器皿	覆土 完形	口・10.1 底・6.7	酸化。並。淡黄2.5YR8/4。 粗、軽。白粒含。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り後、周 辺笥削。内面にハゼ剥落。	赤焼顕著
42-8 136-26	土師質土 器皿	覆土 1/3	口・(10.1) 底・(6.6)	酸化。並。鈍黄橙10YR7/2。 粗、軽。赤褐粒含、鈹物少。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。 内外面部分吸炭。内面底工具による轆轤目。	接・4点 近世以降
42-9 136-27	土師質土 器皿	覆土 完形	口・10.1 底・6.2	酸化。並。鈍黄橙10YR7/2。 粗、軽。鈹物含。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。 黄味強い。内面底に轆轤目あり。	接・10点 近世以降
42-10 136-28	土師質土 器皿	覆土 2/3	口・10.2 底・6.5	酸化。並。橙5YR6/6。 粗、軽。褐粒含、鈹物少。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。	接・2点
42-11 136-29	磁器 碗	覆土 1/2	底・(5.8)	還元。締。釉・淡青（染付）、 透明釉淡青白。胎・淡灰。	外面に染付施文見える。高台端部を除き透明 釉。高台端部酸化。広東碗。	19C 伊万里系
42-12 136-33	磁器 碗	覆土 1/3	口・(10.5) 底・4.1	還元。締。釉・淡青（染付）、 白磁釉・青白。胎・白。	外面に草文の染付施文。高台裏に判読不明文 字染付あり。	18C 伊万里系
42-13 136-36	磁器 碗	覆土 2/3	口・10.0 底・5.2	還元。締。染付施文、白磁釉・ 青白。胎・白。	外面に梅花様の染付施文。高台裏に判読不明 文字染付あり。	18C 伊万里系
42-14 136-34	磁器 碗	覆土 1/2	口・9.9 底・(4.6)	還元。締。染付淡青、白磁釉・ 青白。胎・白。	厚・施文で大形帆掛船を描く。白磁釉は青白 磁色を呈し、釉下に回転笥削目見える。	18C 伊万里系
42-15 136-35	磁器 碗	覆土 3/4	口・18.9 高・6.3	還元。締。染付青。白磁釉・ 青白。胎・白。	外面に、瓢箪・巻物・郭菱・唐草などの染付、 内面は無文。高台端部を除き白磁釉。	18C 伊万里系
42-16 136-37	磁器 碗	覆土	口・9.65 底・5.9	還元。締。染付青。赤絵、緑、 金彩。白磁釉・白。胎・白。	外面に赤絵、染付施文あり。内面口縁部周辺 に加飾染付施文。色絵は上絵。剥落気味。	19C前 伊万里系
42-17 136-30	施釉陶器 灯火皿	覆土 完形	口・11.0 底・2.35	還元。締。釉・暗茶。胎・灰、 重。	完形。油溜りあり。堤部に灯芯受けの切り込 みあり。外面下方以下轆轤右回転笥削。	18C 産不明
42-18 136-31	施釉陶器 皿	覆土 完形	口・10.3 底・2.0	還元。締。釉・淡茶褐。 胎・淡黄灰。	内面に目跡3カ所。外面回転笥削。外面下方 露胎部となる。底面碁笥底。口縁外面貼付1。	18・19C 美濃か
42-19 136-32	施釉陶器 皿	覆土 2/3	長・(13.9) 高・3.3	還元。締。釉・灰釉調で近透明。 胎・淡灰。	高台貼付。釉・は外面高台付近を除き施釉さ れ、端部が鉄足状に発色。	18C、瀬 戸美濃か
42-20	施釉陶器 天目碗	覆土 破片	口・(11.0)	中性。締。釉・白（長石か）、 暗褐（鉄釉）。胎・灰白。	内外面上方に透明調の灰白の釉が、外面下方 に3～4条の沈線と黒褐釉施釉。	18C 美濃
43-1 137-1	施釉陶器 德利	覆土 1/2	底・13.3 高・13.6+α	酸化。締。釉・光沢のある茶褐、 胎・淡灰。	底面を含め全面施釉。内面に轆轤目あり。 底面に焼成後、4.4cmの後穿孔あり。	18・19C 産不明
43-2 137-5	施釉陶器 鉢	覆土 破片	口・(39.7)	還元。並。灰白5YR7/2。 釉・緑、茶、透明調。胎・黄灰。	図中の釉溜り様が緑色（銅釉）か、線表現か茶 釉（鉄絵）の絵付。全体に透明調施釉。	18・19C 瀬戸美濃
43-3	焼締陶器 挿鉢	覆土 破片	口・(42.0)	酸～還元。締。釉・不明。 胎・黒灰～暗赤褐。	外面に降灰らしき釉が僅かかかき、内面に卸 目あり。体部外面に轆轤右回転無あり。	17・18C 信楽か
43-4 137-3	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(39.8) 底・(31.0)	還元。並。灰 N4/0。並。 やや重。黒色鈹物、他鈹物少。	外面横方向の研磨あり。内面底に研磨と使用 傷あり。底面の大半剥落。	
44-1 137-6	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 完形	口・40.8 底・36.2	中～酸化。暗赤灰2.5Y3/1。 粗。白粒。	外面体部に粘土紐接合痕、型膚、笥削あり。 底面は形押と板状の圧痕。内耳3。補修穴。	17・18C 小泉か
45-1 137-4・7	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 ほぼ完形	口・38.0 底・34.2	中～酸化。暗赤灰2.5Y3/1。 粗、軽。白粒。内外燻。	使用割れの補修孔2対4穴。不明孔1あり。 内面に菊花印門一単位あり。外面接合痕あり。	17・18C 小泉か
46-1 137-2	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 1/3	口・(39.6) 底・(36.4)	中性。並。暗赤灰2.5Y3/1。 粗、軽。白粒微。	外面に横撫、型膚、紐付痕、笥削あり。耳部 1残存。補修穴1あり。おおむね轆轤左回転。	18Cか 小泉か

第86号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
47-1 137-8	土師質土 器皿	覆土 3/4	口・(9.0) 底・6.0	酸化。並。橙7.5YR6/6。 粗、軽。白粒含、鈹物微。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。 内面に工具による同心円の凹みあり。	接・5点 粘

第86号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
47-2 137-9	土師質土 器皿	覆土 1/4	口・(9.0) 底・(6.4)	酸化。並。鈍橙7.5YR6/4。 粗、軽。白粒含。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内面は燻のため茶味を帯びる。	接・3点 粘
47-3 137-10	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・9.3 底・6.2	酸化。並。灰黄2.5Y7/2。 粗、軽。鈹物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に轆轤目あり。	粘
47-4 137-11	土師質土 器皿	覆土 一部欠損	口・9.4 底・6.8	酸化。並。橙7.5YR6/6。 粗、軽。鈹物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に工具による同心円の凹み。	粘
47-5 137-12	土師質土 器皿	覆土 3/4	口・(9.6) 底・6.0	酸化。並。橙7.5YR6/6。 粗、軽。鈹物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に轆轤目あり。	粘
47-6 137-13	土師質土 器皿	覆土 1/2	口・(10.0) 底・7.0	酸化。硬。鈍黄橙10YR7/3。 粗、軽。白粒含、鈹物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。 内面に工具による同心円の凹み。	粘
47-7 137-14	土師質土 器皿	覆土 ほぼ完形	口・10.0 底・6.2	酸化。硬。鈍黄橙10YR6/4。 粗、軽。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。口縁部に油煙付着。内面に轆轤目。少し歪む。	粘
47-8 137-15	土師質土 器皿	覆土 3/4	口・(10.0) 底・6.2	酸化。硬。かつ7.5YR4/4。 粗、鈹物微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面に煤付着。内面に工具による同心円の凹み。	粘
47-9 137-16	磁器 碗	覆土 2/3	口・(9.8) 底・4.6	還元。締。釉・青(染付)、 白磁釉・短青白。胎・白。	外面に菊花に見える花文と唐草文あり。外面底にも染付あり。施釉は高台端部を除く。	18C 伊万里系
47-10 137-17	磁器 碗	覆土 1/2	口・(10.8) 底・5.3	還元。締。釉・青白濁(染付)、 白磁釉、胎・白。	外面に山呉須に思える色調で梅花文ほかを描く。高台端部を除き白磁釉。	18C 伊万里系
47-11 137-18	磁器 皿	覆土 ほぼ完形	口・12.2 底・4.2	還元。締。釉・淡青(染付)、 白磁釉・淡青白。胎・白。	内面に線条の染付あり。さらに蛇目釉剥。外面下半露胎部となる。露胎部酸化気味。	18C前 伊万里系
47-12 137-19	施釉陶器 皿	覆土 破片	口・(14.0) 底・(8.5)	中性。締。釉・長石。 胎・黄灰。	高台端部は薄いが全面施釉。被熱のため胎土中まで灰色となる。外面篋削。	16C末 瀬戸美濃
47-13 137-20	施釉陶器 德利	覆土 口縁部片	口・(4.4)	外面被熱か。酸～還元。釉・灰青。 胎・暗褐～暗灰。	外面と内面上方に施釉。内面下方に轆轤目あり。釉表面は少し荒れ、褐釉二次被熱か。	18・19C 九州産か
47-14 137-24	施釉陶器 瓶	覆土 1/3	底・14.4	中性。締。釉・褐(胎釉)。 胎・灰。	外面褐釉で下半に卸目あり。内面に淡い褐釉と轆轤目あり。	18・19C 地方窯か
47-15 137-22	施釉陶器 碗・転用	覆土 底部片	底・5.4	中性。締。釉・透明調。 胎・黄灰。	高台端部を除き施釉。貫入あり。高台成りに体部側を打ち欠き円形に加工。	
47-16 137-26	施釉陶器 鉢	覆土 ほぼ完形	口・26.8 底・12.4	中性。締。釉・透明調と緑斑(銅 釉か)。	内面に波状文、トチン痕4カ所、緑釉列点斑。外面轆轤目あり。高台端4カ所にトチン痕。	18C 美濃
48-1 137-21	施釉陶器 揃鉢	覆土 一部欠損	口・33.3 底・13.0	中性。締。釉・茶褐(鉄光沢少) 胎・黄灰。	内面に15条を1単位とする卸目12単位あり。底面右回転糸切り。全面施釉。内面摩耗減り。	17・18C 美濃
48-2	軟質陶器 揃鉢	覆土 破片	底・(20.0)	酸化。並。橙5YR6/8。 密、重。白鈹物多。	外面に轆轤右回転の轆轤目。下方に篋削。内面に卸目あり。使用摩耗あり。	117・18C 信楽か
48-3 137-23	軟質陶器 火鉢	覆土 1/4	口・(33.2)	還元。硬。黒7.5Y2/1。並、やや 重。白、黒粒含、他鈹物少。	底面に研磨あり。内面に轆轤目あり。内外面とも黒色燻かかり、断面5層色変。	接・2点
49-1	軟質陶器 火鉢か	覆土 破片	口・(40.0)	還。硬。灰オリーブ7.5Y5/2。 並、重。白粒含、他微。	外面に突帯、研磨、小ハゼ。内面に轆轤右回転轆轤目。口縁部粘土帯接合痕あり。焼5層。	17～19C 小泉か
49-2	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(43.3) 底・(30.8)	酸化。並、褐灰10YR6/1。 並、やや軽。白粒含、他鈹物少。	外面に轆轤目後、横研磨あり。内面に研磨、ハゼあり。焼成は芯黒色味、断面5層色変。	17～19C 小泉か
49-3 138-1	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(33.8) 底・(30.4)	還元。並。黒褐2.5Y3/1。粗。 内外面燻。白粒含。	外面上位撫。中位削り。下位指頭痕。内面撫。底面型押の石目状痕あり。	接・2点 小泉か
49-4 138-2	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(38.6)	中性。並。黒褐2.5Y3/1。 並、軽。鈹物多。	外面に粘土帯、接合痕、石目状の型膚あり。内面に内耳剥落あり。轆轤左回転。	接・3点 小泉か
49-5	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(36.0) 底・(33.2)	還元。並。黒2.5Y2/1。 並、やや重。白粒含、鈹物微。	内面に耳あり。外面煤、粘土帯接合痕、横撫と一部型膚。底面石目状型膚、内面に轆轤目。	18・19C 小泉か
50-1 138-3	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 1/3	口・(39.6) 底・(36.0)	中～還。並。灰5Y6/1。 並、やや軽。白、褐粒、鈹物少。	底面と体部中位に石目状型膚。体部下半に回転篋削。部分的に接合痕。外面煤、焼成単質。	17～19C 小泉か
50-2 138-7	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(37.0) 底・(33.0)	還元。並。黒褐2.5Y3/2。 並。白粒含、鈹物少。	内面に内耳あり。体部に石目状の型膚あり。口縁部は粘土帯による。断面5層色変。	18・19C 小泉か
50-3 138-8	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(38.0) 底・(35.0)	還元。並。暗灰黄2.5Y4/2。 並。白、褐粒含、鈹物少。	内耳あり。底面石目状の型膚。口縁部の内外面に横撫。外面煤。内面にハゼ剥落少あり。	18Cか 小泉か
51-1 138-4・5	軟質陶器 内耳鍋	覆土 1/4	口・(40.8) 底・(37.4)	還元。並。黒7.5Y2/0。 並、やや軽。白粒含、鈹物微。	内耳あり。内面に「極□」印銘。底面に石目状の型膚。体部外面に接合痕、横撫痕。	接・7点 小泉か
51-2	石製品 砥石	覆土 一部欠損	砥沢石 65	遺存長6.9、幅・2.9、 厚・2.6。	使用面表裏2面。側部は削整形面。手前小口は旧欠で、刃付砥様に尖る。欠損は旧欠。	

第31号溝状遺構（第1号館跡）

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
52-1 138-9	土師質土 器皿	覆土 一部欠損	口・6.8 底・2.8	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。褐粒含、他鉱物微。	轆轤成形（左回転）。底部は回転糸切り。 内面底は、一方向の指撫。黄斑あり。	14・15C
52-2	陶器 不明	覆土 破片	厚・0.7	中性。並。灰白2.5Y8/2。 粗、軽。鉱物微。	内面に回転条痕。外面にコテ押整形の面あり。 不整な形か。	染焼調 産不明
52-3	陶器 不明	覆土 破片	最大径・ (16.5)	中。締。釉・暗緑（染付、ペロ 藍）白土様。透明調。胎・淡灰。	外面上方にのみ透明調釉とペロ藍施文。 内面は無釉。	19・20C 産不明
52-4 138-6	施釉陶器 皿	覆土 破片	底・11.0	酸化。締。釉・白土調、淡鉄錆。 胎・燕脂、酸化。鉱物含。	内面に象嵌印文と白土掛。外面白土掛とその 下地に鉄錆色釉。外面轆轤左回転の窠削。	17・18C 唐津系
52-5	軟質陶器 内耳鍋	覆土 底部片	底・(32.4)	中性。並。赤黒5R2/1。粗、軽。 白粒含、黒色鉱物多、他少。	外面下方から底面にかけ石目状の型膚。 外面上方横撫。内面に撫。外面に燻あり。	17~19C 小泉か

第2 F号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
53-1	土師質土 器皿	覆土 口縁部片	口・(10.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。粗、軽。 白、褐粒含、他鉱物多。	轆轤成形。内外面に轆轤の回転条痕あり。 焼成赤味強い。割れ口少し消耗。	16・18C

第2 E号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
53-2	施釉陶器 皿	覆土 口縁部片	口・(13.0)	還元。硬。釉・淡黄灰（灰釉）。 灰白5Y8/1。	外面に轆轤目。内面にに浸し掛目と灰釉あり、 外面無釉。割れ口少し消耗。	
53-3	施釉陶器 碗	覆土 破片	厚・0.5	還元。締。釉・灰黄透明調。 胎・灰黄。	内外面施釉。釉に細かな貫入あり。割れ口消 耗大。	18C 美濃
53-4	施釉陶器 皿	覆土 底部片	底・5.5	還元。締。釉・淡緑透明調。 胎・黄灰。鉱物やや多い。	高台裏～端部を除き施釉。内面に整形の轆轤 の回転方向は右回転。	18C 美濃
53-5	施釉陶器 碗	覆土 底部片	底・(7.6)	還元。硬。釉・無し（灰釉）。 灰白7.5YR8/1。胎・鉱物含。	施釉部欠損。内外共轆轤の回転条痕。底面は 高台貼付後の轆轤回転無。	東海搬入
53-6	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 底部片	厚・0.8	中性。軟。灰黄2.5Y7/2。 粗、軽。鉱物微。	内面に撫痕外面に石目状の型膚あり。焼成芯 黒く断面3層色変気味。割れ口少し消耗。	18・19C 小泉か
53-7	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 底部片	厚・0.8	還元。硬。灰5Y5/1。粗、軽。 黒粒、他少。	内面撫痕。外面石目状の型膚あり。焼成内外 少し燻。割れ口消耗少ない。	18・19C 小泉
53-8	軟質陶器 火鉢か	覆土 口縁部片	厚・1.7	酸。硬。鈍橙7.5YR7/4。粗、 やや重。白、褐粒、シルト質。	内外面に回転条痕。割れ口少し消耗。内面厚 い。	14~18C
53-9	軟質陶器 不明	覆土 破片	厚・0.8~0.9	還元。並。灰5Y4/1。粗、軽。 白、褐、黒粒含、他少。	外面に研磨、石目状の型膚。内面撫痕、ハゼ 剥離大。焼成芯黒。内外面燻。断面5層色変。	53

第67号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
54-1	施釉陶器 皿	覆土 口縁部片	口・(11.0)	中～還。締。釉・乳白（志野釉） 胎・黄灰。	外面に轆轤目あり。内外面施釉。割れ口消耗 あり。	16・17C
54-2	瓦 十能瓦	覆土 破片	厚・1.4	還元。並。灰10Y4/1。粗、軽。 白粒、黒粒含、他少。	表面側に撫痕。裏面に石目状の型膚あり。割 れ口少し消耗。焼成芯黒内外燻断面5層色変。	小泉か
54-3	瓦 女瓦	覆土 破片	厚・2.3	還元。硬。鈍黄。粗、軽。 白粒含、黒鉱物少、他少。	表裏面に糸切剥取、離砂、細砂付着。割れ口 消耗微。焼成硬質特徴的。	中世瓦か

第68号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
54-4 138-10	磁器 碗	覆土 底部片	底・(6.1)	還元。締。釉・青（染付）、 白磁釉・淡灰。胎・灰。	内外面に染付施文。白磁釉は暗く、高台端部 を除き白磁釉。具須は山呉須。	19C 伊万里系
54-5	施釉陶器 鉢	覆土 口縁部片	口・(13.5)	中～還。締。釉・茶褐（鈍光沢、 鉄釉）。胎・灰。	白色鉱物多い。内面に表面あり。内外面施釉。 外面轆轤目。割れ口消耗少。	17・18C

第69号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
54-6	磁器 盃	覆土 破片	口・(6.0)	還元。締。釉・口錆は暗茶、 白磁釉・淡々青白。	口縁部に口錆施釉。外面中位に低い稜あり。 白磁釉は全面。	19C 伊万里系

第72号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
54-7	土師質土 器皿	覆土 破片	口・(9.2) 底・(6.4)	酸化。並。浅黄橙10YR8/3。 m (-) m	轆轤成形 (左回転)。底部は回転糸切り。	
54-8 138-11	磁器 皿	覆土 底部片	底・(8.7)	還元。締。釉・濃紺 (染付)、 白磁釉・淡々青白。胎・白。	高台裏の蛇目中央と高台端部との間を除き白 磁釉。内面に笹文他、外面に圈線を染付。	19・20C 伊万里系
54-9	磁器 盃	覆土 破片	口・(6.3) 底・(2.8)	還元。締。釉・濃紺 (染付)、 白磁釉・乳白。胎・乳白。	外面に染付施文あり。具須はベロ藍。白磁釉 は高台裏から端部を除く。	20C 伊万里系
54-10 138-13	施釉陶器 碗	覆土 底部片	底・4.6	中性。締。釉・透明調、長石。 胎・黄灰。	高台端部を除き施釉。釉は薄く細貫入あり。 欠損は、旧時と調査時両方。	18C 京焼系
54-11 138-12	施釉陶器 碗	覆土 1/2	口・(11.1) 底・5.3	中性。締。釉・淡暗褐 (飴釉)、 乳白青 (口縁直下)。胎・黄灰。	外面下方を露胎とするほか飴釉調を施釉。外 面下方は笥削、上方轆轤目。削りは右回転。	18C 瀬戸
54-12 138-14	施釉陶器 碗	覆土 底部片	底・5.0	還元。締。釉・暗茶褐緑 (飴釉 調) 胎・灰。	全面に施釉。上方と内面に飴釉調の釉を施釉。 欠損部は旧時で、周辺を打欠円形加工。	再用円盤 加工
54-13	施釉陶器 天目碗	覆土 破片	底・(6.6)	中性。締。釉・黒 (鉄釉)。 胎・黄灰。	外面上方のみ施釉。割れ口旧時。轆轤右回転 の笥削目見え。	18Cか 美濃
54-14	石造品 空風輪	覆土 ほぼ完形	粗粒輝石安山岩 8,100	遺存長26.5、幅・16.4、 厚・14.2。	石材重く硬質のため、細かな突撃痕多く、精 加工。火輪への柄部は、ほぼ正円。	
54-15	石造品 火輪	覆土 3/4	粗粒輝石安山岩 8,100	幅・21.7、高・13.25。	欠損旧欠。裏面の整形やや粗。空風軸受け孔 やや深く工具痕明瞭。刻字無し。	

第101号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
55-1 138-15	土師質土 器皿	覆土 4/5	口・8.6 底・5.7	酸化。硬。橙5YR6/6。 並、やや重。白、褐粒、鉾物含。	轆轤成形 (左回転)。底部は回転糸切り。 外面に少粘土塊付着。内面底に轆轤目あり。	16・17C
55-2	瓦 女瓦か	覆土 破片	長・9.1+ α	還元。軟。褐灰10YR4/1。	全体消耗気味。燻焼で断面3層色変。凹面雲 母粒見える。凸面凍ハゼ。	19・20C 在地か
55-3	施釉陶器 皿	覆土 体部～底部片	底・(6.7)	酸～中。締。釉・薄淡黄褐で透 明。蛇目内鉄錆、白土。胎・黄。	内面に蛇目にベンガラ色。その上方に白土掛 で波状文、高台端部と蛇目部を除き透明調。	17・18C 唐津系

第103号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
55-4	軟質陶器 内耳鍋か	覆土 口縁部片	厚・0.9	還元。硬。黒N2/0。並、やや軽。 金雲母含、鉾物少。	内面に横撫あり。外面下方に笥の当たりあり。 外面燻か煤吸炭。	16・18C

第105号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
55-5	施釉陶器 碗	覆土 底部片	底・(5.2)	中性。締。釉・淡黄灰 (透明調) 胎・黄褐。	高台端部を除き施釉。釉は細かい貫入あり。 割れ口少し消耗。	18C 京焼系

第109号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
55-6	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(40.6) 底・(38.0)	還元。並、黒褐10YR2/2。 並、やや重。鉾物少。	外面に口縁部粘土帯接合痕。口縁部周辺横撫。 底面石目状の型膚。外面煤付着。	
55-7	土師質土 器皿	覆土 破片	口・(8.3) 底・(6.0)	酸化。並、淡黄2.5Y8/3。 並、軽。白粒、鉾物微。	底部は左回転糸切りか。割れ口消耗。	

第102号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
55-8 138-16	土師質土 器皿	覆土 2/3	底・4.3	酸化。並、鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。褐粒、シルト質。	底部は左回転糸切り。後板状圧痕あり。黄斑 あり。被熱色変。内面底一方向撫。	15C
55-9	磁器 皿	覆土 口縁部片	口・(14.0)	還元。締。釉・淡青 (染付)、 白磁釉・淡々青白。胎・白。	内外面に染付施文。白磁釉は青白磁色。染付 の発色良好。内面使用傷。割れ口消耗微。	16C後 景德鎮
55-10 138-18	磁器 碗	覆土 1/4	口・(10.0) 底・4.0	還元。締。釉・淡青 (染付)、 白磁釉・淡々青白。胎・白。	外面と底面に染付施文あり。高台端部を除き 白磁釉あり。	18・19C 伊万里系

第102号溝状遺構

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
55-11 138-19	磁器 碗	覆土 近完形	口・11.0 底・4.8	還元。締。釉・淡青(染付)。 白磁色・淡青白。胎・白。	外面に草木文あり。高台端部を除き白磁釉。 呉須は山呉須。高台端部砂付着。	18C 伊万里系
55-12 138-20	施釉陶器 碗	覆土 2/3	口・12.3 底・4.8	中～還。締。釉・黒褐。 胎・灰。	外面下方は露胎となり、轆轤左回転の窠削目 あり。高台は削出しか。	17・18C 美濃
55-13	施釉陶器 搦鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸～還元。締。釉・暗褐7.5YR 3/4(鉄釉)。	内外面に白磁物粒多く石英か。内面に卸目あ り。少し摩滅。外面指の圧痕。撫あり。	17・18C 信楽
56-1 138-17	施釉陶器 壺	覆土 1/4	底・15.0	酸化。締。釉・暗茶(鉄釉、焼 締色様)。胎・灰白磁物少。	外面に施釉。上方撫、下方削りと轆轤目。底 面小礫付着。内面紐作痕、指圧痕、撫など。	17C 常滑か
56-2	軟質陶器 香炉	覆土 破片	口・(14.0) 底・(10.0)	還元。並。黒5Y2/1。 並、やや重。磁物少。	内外面ハゼあり。外面轆轤目、三ツ足。内外 面燻焼、断面5層色変。	17～19C 小泉か
56-3	軟質陶器 鉢	覆土 破片	口・(30.0)	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。 並、やや重。白磁物少、他少。	口縁部摩耗。外面浅いハゼ剥落。内面の摩耗 は極めて少なし、轆轤目あり。	
57-1	軟質陶器 鉢か甕	覆土 破片	底・(14.0)	還元。硬。灰7.5Y6/1。 密、重。白粒微、白磁物含。	内面に摩耗痕無し。外面摩耗痕、外面は平滑 である。焼きは須恵器に近い。	太田か
57-2	軟質陶器 鉢	覆土 破片	底・(12.5)	還元。硬。灰7.5Y6/6。 粗、軽。白粒微、磁物含。	底面轆轤右回転の糸切り。内面には使用減り。 外面轆轤撫。割れ口旧消耗。内外面少し燻。	粘
57-3	軟質陶器 火鉢	覆土 破片	口・(30.0)	還元。硬。灰7.5Y6/1。 並、やや重。磁物含。	外面に研磨と燻かかる。内面に轆轤右回転に よる条痕あり。口縁部は平縁、ハゼ剥落多。	粘 小泉か
57-4 138-21	軟質陶器 内耳	覆土 破片	底・(31.2)	還元。並。褐灰7.5YR4/1。 並、軽。磁物含。	底面に圧痕。体部外面撫、その下方石目状の 型膚夾、窠削。焼成燻。断面5層色変。	17・18C 在地
57-5 138-22	軟質陶器 内耳	覆土 破片	口・(37.0) 底・(32.8)	還元。並。暗赤灰2.5YR3/1。 並、やや重。白粒微、磁物微。	内面に研磨、外面上方に口縁部粘土帯接合面。 下方から裏面に石目状型膚。断面5層色変。	小泉か
57-6	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(33.4) 底・(31.0)	還元。並。黒褐5YR2/1。 並、重。磁物微。	内耳付着痕。外面接合面、横撫痕、以下石目 状の型膚痕。轆轤左回転か。	接・2点 小泉か
57-7	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	底・(33.2)	還元。並。黒7.5YR2/1。 並。白粒、褐粒含、磁物少。	耳付着、内外面に接1カ所あり。外面上方轆 轤左回転の撫あり、中位に型膚あり。	18・9Cか 小泉か
58-1	石造品 穀白(上白)	覆土 1/3	粗粒輝石安山岩 2,370	径・(25.5)。	目無し白摩耗。供給孔、軸穴あり。周縁は極 めて浅い。側部の整形丁寧。旧欠。	近世以降
58-2	石造品 穀白(上白)	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 2,570	径・(30.5)。	挽手穴取り付け孔は2カ所。軸穴あり。挽目 は、広く、大まか。割れ口旧欠。	
58-3	石造品 穀白(上白)	覆土 1/3	粗粒輝石安山岩 2,980	径・(34.0)。	挽目無し。使用摩耗。周縁の残存長は数cmの み。整形粗雑な感あり。割れ口旧欠。	
58-4	石造品 穀白(下白)	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 4,150	径・(31.0)。	石質硬質。重い。挽目使用摩耗。目無し。割 れ口旧欠。裏面の整形は整う。	
58-5	石造品 石鉢	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 400	口・(30.0)。	口縁は平らで、内外面共整形丁寧。内面に下 方に使用摩耗。割れ口は旧欠。石質重く硬い。	
58-6	石造品 地輪	覆土 1/4	粗粒輝石安山岩 5,200	長・19.3+α。	4面残存、2面旧欠。上面は再用の研磨あり。 裏面の整形荒い。割れ口消耗。	
58-7	石造品 空風輪	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 7,000	長・28.3、径・14.0。	横断面、やや楕円形を呈する。軸そのほか作 調丁寧である。面均し良好	

2. 住居跡

第1号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量 目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
59-1 139-1	土師器 坏	貯蔵穴覆土 一部欠損	口・11.9 高・5.8	酸化。並。橙2.5YR6/8。 並、やや重。褐粒、磁物含。	底部は窠削、内外面ハゼ痕顯著。口縁部・器 内面は横撫整形。全体に被熱色変。	接・9点
59-2 139-2	土師器 坏	覆土 小片	口・(14.0)	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 並、軽。褐粒含、他少。	口縁部は内斜気味。丸底部は撫整形。体部に 型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・4点
62-1 139-3	土師器 皿	床直+貯蔵穴 一部欠損	口・10.8 底・2.3	酸化。並。鈍橙5YR6/4。 粗、やや軽。褐粒含、磁物少。	型紐作。各所に紐作痕。体部は指の撫。口縁 部・器内面は横撫整形。	接・2点 手捏様
62-2 139-5	土師器 高坏	貯蔵穴覆土 破片	脚径・(4.4)	酸化。並。橙2.5YR6/6。 粗、軽。茶褐粒多、磁物含。	外面研磨。内面に絞痕と紐作痕。全体に少し 風化気味。下端欠損部は接合面。	
62-3 139-4	土師器 埴	貯蔵穴覆土 1/3	口・(14.6)	酸化。軟。橙5YR6/6。並、 やや軽。白、褐粒含、磁物少。	外面被熱色変とハゼあり。器面整形は、外面 縦撫。内面に窠撫と撫。口縁部横撫。	
62-4 139-6	土師器 甕	床直 口縁部全周	口・16.2	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。 並、やや重。褐粒多、磁物含。	口縁は2段様である。器内厚い。口縁内外面 撫。内面にハゼ痕あり。割れ口も被熱色変。	接・14点
62-5 139-7	土師器 甕	窠周辺+貯蔵穴 覆土	底・7.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、軽。褐粒含、磁物少。	体部外面にハゼ、撫、黒斑あり。内面にの大 半はハゼ剥落。	接・12点

第2号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
63-1 139-8	土師器 高坏	床直層 破片	口・(18.2)	酸化。軟。橙5YR6/6。 並、軽。褐粒、鉍物含。	口縁部外傾気味。外面ハゼ。内面に消耗。 器肉極めて薄い。割れ口消耗。	接・8点
63-2 139-9	土師器 甕	床直層 破片	頸・(10.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並、やや軽。黒褐粒含。他少。	器外面は縦方向の筥削、器面少し荒れる。 内面紐作痕、筥撫痕。	接・7点
63-3 139-10	土師器 小形甕	床直 1/4	口・(13.2) 底・6.0	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。白、褐粒少、鉍物微。	部分的に紐痕あり。外面撫多い。内面は筥撫、 口縁部は横撫、外面被熱。	接・12点

第3号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
64-1 139-12	土師器 小形甕	床直 3/4	口・10.3 底・3.2	酸化。並。鈍橙5YR6/4。 並、やや重。褐粒微、鉍物含。	口縁部は「く」の字状に外反する。外面筥削。 内面は筥撫、口縁部は横撫。	接・12点
64-2 139-11	土師器 埴	床直層 1/3	高・(9.5) 底・(7.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、やや軽。褐粒、鉍物含。	内外面ハゼ小剥落。内面筥撫整形、外面撫整形。 底部は丸みを帯びる。全体に赤味強い。	接・14点
64-3 139-13	土師器 甕	床直層 破片	口・(17.7)	酸化。並。2.5Y 明赤褐5/8。 並、やや重。褐粒含、他鉍物少。	口縁部は「く」の字状に外反する。外面筥削。 内面は筥撫、口縁部は横撫。	接・8点

第4号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
67-1 139-14	縄文土器 深鉢	埋甕2 1/6	厚・1.0	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 白色粒子・赤褐色粒子・細砂粒	口縁部は隆帯施文。胴部は2本の平行沈線の 懸垂文を垂下させ、LR 原体を充填施文する。	接・24点
67-2 139-15	縄文土器 深鉢	埋甕1 1/2	頸部・43.5	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 白色鉍物・白色粒子・粗粒砂	頸部に横位の波状隆帯を横走させ、胴部に垂 下する波状隆帯を施し、竹管条線を施文する。	接・41点
67-3 139-16	縄文土器 深鉢	埋甕2 破片	厚・1.1	酸化・並。黄褐2.5Y5/3 赤褐色粒子・砂粒	懸垂文を垂下させ、懸垂文間に LR 原体を縦 転施文する。	接・8点

第5号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
68-1 139-17	土師器 坏	竈覆土 破片	口・(13.0)	酸化。並。7.5YR 橙7/6。 並、軽。白、褐粒含、他鉍物微。	口縁部は外反気味。型作り。底部は筥削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・5点
68-2 139-18	土師器 坏	床直層 1/4	口・(13.6)	酸化。並。橙5YR6/6。 並、やや重。褐粒含。	型作り。底部は筥削、体部に型膚。口縁部・ 器内面は横撫整形。	接・8点
68-3 139-19	須恵器 坏	竈底面	口・(13.6) 底・(8.3)	酸化。並。暗褐7.5YR5/3。 並、やや重。白粒、鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。被熱破片相互で色変。	接・6点 笠懸か

第6号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
69-1 139-21	縄文土器 深鉢	埋甕No.1 破片	口・(33.8)	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗粒砂・白色鉍物	口縁部は内湾する。口縁部の無文帯を沈線を 界し、RL 原体を縦位施文する。	接・9点
69-2 140-1	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。明黄褐10YR6/6 砂粒・白色鉍物・白色粒子	口縁部は内湾し口唇部は肥厚する。口唇直下 に隆帯を施し、LR 原体を充填施文する。	接・2点
69-3 140-2	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黄灰2.5Y4/1 細砂粒・白色粒子・白色微粒子	口縁部は内湾し口唇部は丸い。口唇部直下に 隆帯を施し、LR 原体を充填施文する。	接・無し
69-4 140-3	縄文土器 深鉢	炉周辺+覆土 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 白色鉍物・白色粒子・粗粒砂	縦位に蛇行隆帯を施し、半莖竹管による縦位 条痕を施す。4 住の埋甕と同一個体。	接・無し
69-5 139-20	縄文土器 深鉢	床直か 破片	底・5.2	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 白色鉍物・角粒粗粒砂・赤褐色	細片のため詳細不詳。 懸垂文間に LR 原体を縦転施文する。	接・10点

第7号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
72-1 140-4	縄文土器 深鉢	埋甕 1/3	最・43.5	酸化・並。7.5YR6/6 白色粒・赤褐色粒・細砂粒	口縁部は隆帯文、頸部は沈線による弧線文を 充填する。RL 原体を施文充填する。	接・65点

第8号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
73-1 140-5-1・5-2	縄文土器 深鉢	埋甕 2/3	厚・1.4	酸化・硬。鈍黄2.5Y6/4 黒色鈹物・白色粒・細砂粒	隆帯による楕円区画文内に RL 原体を縦転施文する。	接・26点

第9号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
74-1 140-6	縄文土器 深鉢	埋甕 4/1	厚・13.6	酸化・軟。橙5YR6/6 白色粒子・赤褐色粒子・細砂粒	外傾気味に立ち上がる。器内面は斜位に篋撫で上げ。RL 原体横転。	接・9点
74-2 140-8	縄文土器 深鉢	埋甕内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/6 白色微粒子・白色鈹物	器面の剥落が著しいため文様の詳細不詳。部分的に RL 原体の施文が認められる。	接・5点
74-3	土製品 不詳	覆土 破片		酸化・硬。橙7.5YR6/6 夾雑物は含まない	図化の面以外欠損し2面が残存。面は120度で接し内湾する。胎土は奈良時代以降を心象。	接・4点

第10号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
75-1 140-11	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/8 砂粒・赤褐色粒子・白色微粒子	RL 原体を縦位充填し、懸垂文を垂下させる。	個体5点
75-2 140-7	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明黄褐10YR6/6 黒色鈹物粒・粗粒砂	半裁竹管により弧線文・懸垂文を施文し、RL 原体を縦位充填する。	接・8点
75-3 140-13	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.7 底・5.2	酸化・並。明黄褐10YR6/3 黒色鈹物粒・粗粒砂	RL 原体を縦位充填し、懸垂文を垂下させる。	
75-4 140-12	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色粒子・砂粒	LR 原体を縦位充填させる。	接・4点
75-5	粘土塊	覆土内 完存	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 白色微粒子	裏面に指頭圧痕が残る。指先で押し潰した状態。	接・無し
75-6 140-9	石器 打製石斧	ピット3 覆土 破片	黒色頁岩 重・14.2	遺存長・3.4。残存幅・3.4 残存厚・1.1	打製石器の頭部と考えられる。片面に礫面を残し、小単位の加工を施す。	接・2点
75-7 140-14	石器 スクレイパー	覆土 完存	珪質頁岩 重・11.8	長・5.3。幅・3.1。厚・1.0	縦長剥片の1側縁部に刃部加工乃至使用に伴う剝離が認められる。	
75-8 140-10	石 剥片	覆土 —	珪質頁岩 重・7.15	長・2.5。幅・3.9。厚・1.0	剥片だが、縄文に伴う珪質頁岩は、本品が唯一である。	

第11号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
76-1 141-1	土師器 坏	床直層 2/3	口・13.3 底・3.3	酸化。硬。鈍黄橙10YR6/3。 並、やや重。鈹物含。	型作り。底部は篋削、体部に型腐指圧痕。口縁部・器内面は横撫整形、底に黒色物質付着。	接・5点
76-2	土師器 坏	竈堀方 1/4	口・(11.8)	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。 並、軽。雲母粒含、鈹物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削、体部に型腐。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
76-3 141-3	土師器 甕	覆土+床直層 1/3	口・(14.6)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、やや軽。褐粒、鈹物含。	台付甕か。内面はササラ様の篋削。内面は篋撫。口縁部は横撫。内外面ハゼ剥落。	接・23点
76-4 141-4	土師器 甕	床直 小片	口・(23.0)	酸化。並。橙5YR6/6。 並、やや軽。白粒含、鈹物少。	口縁部は外反する。器内面は篋削、器外面は篋撫、口縁部は横撫。	接・5点
76-5 141-5	土師器 甕	竈覆土 破片	底・4.4	酸化。軟。明褐7.5YR5/6。	器厚は薄い。外面は縦撫の篋削。底面篋削。内面に接合痕、指圧痕、篋撫あり。	接・13点
76-6 141-2	須恵器 坏	床直+覆土 1/3	底・6.8	中性。軟。灰白5Y7/1。粗。 軽。白鈹物多。	轆轤左回転か。底面は手持篋削整形。全体消耗。	接・2点 粘

第12号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
77-1 141-6	土師器 坏	堀方埋土+覆土 1/4	口・(13.3) 高・3.2	酸化。並。鈍橙5YR6/6。 並、やや重。鈹物微。	型作り。底部は篋削、体部に型腐。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
77-2	土師器 甕	竈+覆土 破片	口・(24.8)	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。 並。黒粒、白鈹物含、他含。	外面篋削。口縁部の内外面横撫。外面に部分吸炭があり。被熱か。割れ口消耗微。	接合痕2
77-3 141-7	須恵器 塊	堀方埋土 1/2	口・(12.8) 底・(8.7)	還元。並。鈍黄2.5Y6/3。 並、やや重。白粒多。	口縁部は短い。轆轤成形(右回転)。高台は付け高台。底部は回転糸切り。	接・4点 笠懸か

第13号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
78-1 141-8	土師器 坏	床直層 2/3	口・12.7 底・3.6	酸化。硬。鈍橙7.5YR6/4。 粗、やや重。金雲母含。	口縁型作り。底部は篋削、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形で内面撫整形標品的。	
78-2	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(22.9)	酸化。並。鈍赤褐5YR5/4。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口縁部は横撫。	接・2点
78-3	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(23.2)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並。白、褐粒含、鉍物含。	外面は篋削、指圧痕。内面は撫。口縁部は横撫。口縁部下外面に接合痕あり。	接・4点
78-4 141-10	縄文土器 深鉢	覆土+掘方 1/6	底・(7.4)	酸化・並。橙5YR6/8 白色粒子・白色鉍物	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位充填する。	接・19点

第14号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
79-1 141-9	土師器 坏	覆土 完形	口・13.3 高・3.0	酸化。並。橙7.5YR6/6。 粗、軽。白粒含、鉍物含。	型作り。底部は篋削、体部に型膚。口縁部・内面は横撫。	接・4点
79-2 141-11	土師器 坏	覆土 1/4	口・(12.6)	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4。 並、茶褐粒、鉍物含。	型作り。底部は篋削、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	
79-3 141-15	土師器 甕	竈 1/4	口・(21.4) 高・(29.5)	酸化。並。橙7.5YR7/6。粗、軽。 褐粒、鉍物含、シルト質。	外面はササラ様の篋削。内面は篋撫、口縁部は撫。外面煤付着、被熱変色。	接・29点
79-4	土師器 甕	床直 破片	口・(23.2)	酸化。並。暗褐7.5YR5/4。 並、やや軽。白、褐粒含、他少。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口縁部は横撫。	接・4点
79-5	土師器 破片	床直 破片	最大径・ (21.6)	酸化。硬。明褐7.5YR5/6。 並、やや軽。金雲母、褐粒微。	体部外面はササラ様の篋削。被熱吸炭。内面接合痕2段、少しカマド。割れ口少し摩滅。	接・12点
80-1	土師器 甕	覆土 破片	最大径・ (23.2)	酸化。硬。明赤褐10YR6/6。 並、軽。白、褐粒含、他含。	内外面消耗大。内面接合面あり。外面被熱変色あり。	接・10点
80-2 141-13	須恵器 坏蓋	床直+覆土 一部欠損	口・14.4 高・3.6	還元。並。5Y6/1。密、重。 白鉍物多、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。最上部は回転篋削。端部はやや鋭り、シャープ。重ね焼き色変。	接・6点 太田か
80-3 141-12	須恵器 坏	床直 ほぼ完形	口・13.2 底・8.0	還元。並。鈍黄2.5Y6/3。 並、やや軽。白鉍物。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。	接・6点 笠懸か
80-4 141-14	須恵器 埴	床直 2/3	口・10.6 底・7.2	還元。締。灰5Y6/1。密、重。 白鉍物含、他鉍物微。	口縁部外傾する。高台は付け高台。底部は回転糸切り。	接・7点 界外か
80-5	粘土塊	覆土	長・4.4 幅・4.0	酸化。軟。橙6/6。 やや軽。白、褐粒、他鉍物少。	表裏に単子葉植物の圧痕あり。内部にササの確認できず。捏ね固めの感あり。	

第15号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
81-1	土師器 坏	覆土 1/4	口・(12.8)	酸化。並。鈍橙5YR6/4。 並、軽。雲母粒微、鉍物少。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・4点
81-2 141-16	須恵器 坏	床直層+覆土 3/4	口・12.7 底・6.3	還元。並。鈍黄橙10YR6/3。 並、やや重。鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面に煤付着。	粘・陶 高・4.2
81-3 141-17	須恵器 埴内黒	覆土 1/2	底・11.0	酸化。並。褐7.5YR4/3。 並、褐粒含、鉍物少。	轆轤成形(右回転)で、高台は付け高台。底部は回転篋整形。内面研磨。	接・8点 粘・陶
81-4 141-18	須恵器 双耳埴	覆土 破片	口・(13.7) 底・(8.2)	還元。硬。灰5Y5/1。密、重。 白粒含、鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。耳は旧欠。内面底使用摩耗。	太田か 高・5.2

第16号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
82-1 142-1	土師器 甕	床直 口縁部のみ	口・20.6	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、やや軽。褐粒、鉍物少。	口縁外面に指圧痕。外面は篋削。内面は篋撫。口縁部は横撫。	接・14点
82-2 142-4	土師器 甕	覆土 破片	口・(21.4)	酸化。硬。鈍橙7.5YR6/4。	口縁部下に接合面あり。器厚は薄い。外面は斜位の篋削。内面に篋撫と横撫。	接・3点
82-3 142-2	土師器 甕	竈覆土 小片	口・(21.9)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや軽。白、褐粒、他鉍物含。	口縁外面直下に粘土帯。外面は篋削。内面は撫。口縁部は横撫。	接・9点
82-4 142-3	須恵器 坏蓋	覆土 2/3	口・15.5 摘み径・4.2	還元。並。灰5Y6/1。 並、軽。白粒多。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削。全に消耗多い。端部は丸みを帯びる。	粘
82-5 142-5	須恵器 坏	覆土 2/3	口・(12.7) 底・6.8	還元。軟。灰白7.5Y7/1。 並、やや軽。白粒含、鉍物少。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り。軟らかいためか消耗多い。	接・9点 粘・陶

第16号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
82-6	粘土塊	覆土 小片	長・3.6 幅・3.4	酸化。軟。橙5YR6/6。 粗、軽。白、褐粒含、鉍物微。	竈などの貼付粘土の焼土塊か。スサは不明。 鉍物は殆ど見えず。褐粒が多い。	

第17号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
85-1	土師器 坏	竈覆土 破片	口・(13.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。 並、軽。白、褐粒含、他少。	底部は筧削。口縁部・内面は横撫。内面は横 撫後研磨を施す。	
85-2	土師器 坏(墨書)	覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。 並、やや重。白、褐粒含、他少。	底面に「主」と読める墨書あり。底面は筧削。 内面に撫あり。墨痕薄く、全体に少し摩耗。	8~9C前 墨書-7
85-3	土師器 甕	竈内 破片	口・(24.4)	酸化。並。鈍赤褐5YR5/4。 並、やや軽。白粒含、他鉍物少。	口縁部は外反。外面は筧削・撫・被熱色変。 内面は筧撫。口縁部は横撫を施す。	接・2点

第18号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
87-1	土師器 坏	竈付近覆土 1/4	口・(12.0)	酸化。並。鈍褐7.5YR5/3。 並、やや重。白、褐粒、鉍物含。	口縁部は外傾。型作。底部筧削、体部に型膚。 口縁部・器内面は横撫整形。外面少し燻。	
87-2	土師器 台付甕か	竈覆土 破片	口・(17.2)	酸化。硬。橙5YR6/6。 並、軽。白、褐粒含、鉍物含。	口縁部下外面に粘土帯接合あり。外面は筧削。 内面は筧撫。口縁部横撫。	接・4点
87-3 142-6	土師器 甕	覆土 小片	口・(19.0)	酸化。並。橙5YR6/8。 並、やや軽。白粒含、鉍物少。	口縁部は外反。外面は筧削。内面は筧撫。口 縁部は横撫。少し消耗。	接・4点
87-4	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(21.0)	酸化。並。鈍赤褐2.5YR5/4。 並、軽。白、褐粒含、鉍物少。	口縁部は外反。外面は筧削。内面は筧撫。口 縁部は横撫。	接・10点
87-5	土師器 台付甕	竈覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。鈍橙台付甕6/4。 並、軽。白粒、他鉍物少。	割れ口消耗。内外面横撫。脚部外面に被熱色 変。脚内面少しハゼあり。	
87-6 142-7	須恵器 坏	覆土 破片	底・(7.0)	中性。並。灰黄2.5Y6/2。 粗、軽。白、褐粒多、鉍物含。	底部切り離しは不明。底面手持筧削。全体に 消耗。	接・3点 粘
87-7 142-8	須恵器 埴	床直層 3/4	口・11.0 底・(7.5)	還元。並。灰オリブ5Y6/2。 並、やや重。鉍物多。	轆轤成形(右回転)。高台は付け高台。底部は 回転糸切り後筧撫整形。高台旧欠。	粘
87-8 142-9	須恵器 埴	床直層 1/2	端部径・7.5	還元。硬。オリブ黄5Y6/3。 粗、軽。白粒含、鉍物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後、高 台貼付。さらに、撫整形。	粘

第19号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
88-1	土師器 坏	堀方埋土 破片	口・(14.3)	酸化。硬。鈍黄橙10YR6/4。 並、やや軽。白、褐粒含、他少。	型作り。体部に型膚。口縁部・器内面は横撫 整形。焼成は黄斑あり。	
88-2 142-10	須恵器 坏	床直層 1/3	口・(12.8)	酸化。並。鈍赤褐5YR5/4。 並、やや軽。鉍物少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 際に回転筧削目あり。	
88-3	須恵器 坏	床直層 1/4	口・(13.0) 底・(6.4)	酸。硬。明赤褐10YR6/6。並、 やや重。白、褐粒含、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。酸化色差あり。	接・2点 粘・陶

第20号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
89-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.0)	酸化。硬。鈍褐7.5YR5/4。 並、やや軽。雲母粒、鉍物微。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は筧削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
89-2 142-12	土師器 坏	覆土 1/3	口・(12.4) 高・(3.0)	酸化。硬。鈍黄橙10YR6/3。 並、軽。茶粒、鉍物含。	型作り。底部は筧削、体部に型膚。口縁部・ 器内面は横撫整形。内外面少し消耗。	
89-3 142-11	土師器 甕	堀方埋土 破片	口・(14.0)	酸化。並。7.5YR 鈍橙6/4。 並、やや軽。鉍物少。	口縁部は外反。外面は筧削。内面は筧撫。口 縁部は横撫。	接・2点
89-4 142-13	須恵器 埴	床直 底部のみ	底・9.3	還元。並。鈍黄2.5Y6/3。 密、やや重。白粒、鉍物微。	底部は右回転糸切り後、周辺高台と共に撫で 整形。上方は旧時欠損で、人為の打欠使用か。	笠懸 再用品
89-5 142-14	須恵器 瓶	床直 1/4	頸部・5.4	中性。締。暗灰黄2.5Y5/2。 密、重。鉍物粒殆どなし。	轆轤成形(右回転)。頸部接合面あり。外面に 沈んだ自然釉、少し酸化気味。	接・2点 東海

第21号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
91-1 142-15	土師器 坏	貯蔵穴底面直上 1/3	口・(13.3) 底・(6.9)	酸化。硬。鈍橙5YR6/4。 並、重。鈳物微。	型作り。底部は篋削、体部に型膚。内面に指 圧痕。口縁部・器内面は横撫整形。被熱。	
91-2	土師器 坏	堀方埋土 口縁部片	口・(16.0)	酸化。硬。橙7.5YR6/8。 並、軽。白、褐粒含、他少。	口縁部の内面に横撫。口縁部外面に下に接合 痕。体部外面に篋削目。内面にハゼ。	
91-3 142-16	須恵器 坏	貯蔵穴底面直上 1/3	口・(13.3) 底・6.4	酸化。硬。鈍褐7.5YR5/3。 並、軽。白、黒粒、鈳物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面使用摩耗、燻焼。	接・2点
91-4 142-17	須恵器 埴	床直+覆土 完形	口・13.9 底・	還元。並。鈍黄2.5Y6/3。 粗、軽。白粒、鈳物含。	轆轤成形(右回転)。高台は付け高台。底部は 回転糸切り。体部に轆轤目多い。	接・7点
91-5 142-21	土師器 甕	床直層+覆土 1/3	口・22.6 底・(9.0)	酸化。硬。鈍黄橙10YR7/3。 並、やや重。白、黒粒、鈳物少。	型作り。胴部・肩部は斜位の篋削。口縁部は 撫。内外面ハゼ多く、煤付着、被熱。	接・50点
91-6 142-19	土師器 甕	竈内+覆土 破片	最大径・ (16.8)	酸化。並。鈍褐7.5YR5/3。 並、やや重。鈳物微。	肩部片。外面に上位は斜位方向の篋削。中位 は、縦方向の篋削施す。外面に被熱変色と煤。	接・12点
91-7 142-18	土師器 甕	床直層+竈+覆 1/4	口・(21.2)	酸化。硬。2.5YR 橙7/6。 並、やや重。褐粒含、鈳物少。	口縁部下に粘土帯、外面は篋削。内面は篋撫 と撫。口縁部は横撫。旧欠後被熱変色。	接・9点
91-8 142-20	土師器 甕	竈	口・20.3	酸化。硬。鈍橙7.5YR7/4。 並、やや重。褐粒含、鈳物少。	「コ」の字状口縁。型作か。外面は篋削。内 面は篋撫、口縁部は横撫。外面に被熱。	接・25点
91-9	土師器 甕	覆土 破片	最大径・ (20.2)	酸化。硬。橙7.5YR6/6。 並、やや重。褐粒含、他鈳物少。	胴部片器内は薄い。外面には縦撫方向の篋削 を施す。内面に小ハゼ。外面に被熱変色。	接・6点
91-10 142-22	竈袖材	竈右袖	長・(20.1) 幅・(9.7)	酸化。軟。明赤褐7.5YR5/8。 並、軟。鈳物多、粘土粒大あり。	自然堆積物が、図平面に指に見える整形痕あ り。全体に被熱消耗あり。	

第22号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
94-1 143-1	土師器 甕	竈底面床上 破片	口・(16.2)	酸化。並。橙7.5YR6/6。 並、重。褐粒含、鈳物多。	口縁部は短く外反。外面は篋削、内面は篋撫。 口縁部は横撫施す。器面は消耗。外面に被熱。	
94-2 143-2	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(10.1) 底・5.3	酸化。硬。鈍橙7.5YR6/4。 粗、軽。鈳物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。破片色差あり。被熱。	接・2点 粘
94-3 143-3	須恵器 坏	竈堀方埋土 破片	口・(12.2) 底・(5.6)	酸化。硬。鈍橙7.5YR6/4。 並、やや重。鈳物含。	轆轤成形(右回転)。底部に糸切り痕。全体に 酸化味強い。	太田か
94-4 143-4	須恵器 埴内黒	堀方埋土 ほぼ完形	口・13.4 底・6.0	酸化。硬。鈍褐7.5YR5/4。 並、重。鈳物多。	轆轤右回転糸切り。内面に研磨を施すが、不 定方向が多い。付高台。内外面に轆轤目多い。	粘・陶
94-5	須恵器 坏(墨書)	堀方埋土 口縁部片	厚・0.3	酸化。並。鈍褐7.5YR6/6。 粗、軽。白、褐粒含、他鈳物含。	外面に轆轤目あり、墨痕らしき吸炭部が外面 に下方にあり。	10C後半 墨書-8

第23号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
95-1 143-5	土師器 坏(墨書)	竈右袖 3/4	口・12.7	酸化。並。鈍橙7.5YR6/4。 並、やや重。	口縁部は内湾気味。底部は篋削、口縁部・内 面は横撫、底面に「一」の墨書あり。	墨書-9
95-2 143-6	土師器 坏(墨書)	床直 4/5	口・14.5	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4。 並、やや重。褐粒含、他鈳物少。	底面に判読不明(「律令」か)墨書2文字。体 部外面に押圧整形痕。圏線暗文1条。	墨書-10 県外搬入
95-3 143-7	土師器 坏	床直+覆土 3/4	口・12.9 底・9.8	酸化。硬。明赤褐10YR7/6。 並、軽。褐粒含、他鈳物微。	口縁部は内湾。型作り。底部は篋削、体部に 型膚。口縁部・器内面は横撫整形。黄・黒斑。	接・7点
95-4 143-9	土師器 坏(墨書)	覆土 破片	口・(13.2)	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 並、軽。褐粒含、他微。	型作り。底部は篋削、判読不明墨書1文字。 体部に型膚。口縁部・内面は横撫整形。	接・3点 墨書-11
95-5	土師器 坏	堀方埋土 破片	口・(13.0)	酸化。硬。鈍橙5YR6/4。並、 やや重。白、褐粒含、鈳物含。	型作りか。底部は篋削、体部に指圧痕、型膚 か接合痕。口縁部・内面は横撫整形。	接・2点 市外か
95-6 143-8	土師器 坏	覆土 破片	口・(16.2)	酸化。硬。鈍橙7.5YR7/4。 並、軽。褐粒微、他微。	底部は篋削。体部に型膚。口縁部・器内面は 横撫。焼成黄斑あり。	接・2点
96-1	土師器 甕	床直 破片	口・(19.0)	酸。硬。鈍黄橙10YR6/4。並、 やや重。白褐粒含、他鈳物少。	口縁部は直立気味。外面は篋削。内面は篋撫。 口縁部は横撫。	
96-2 143-10	土師器 甕	竈+覆土 破片	口・(20.0)	酸化。硬。鈍赤褐5YR5/4。 並、やや重。白、褐粒微、他少。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口 縁部は横撫。	接・2点
96-3 143-11	須恵器 坏	覆土 完形	口・13.0	還元。並。灰黄2.5Y6/2。 密、やや重。白粒、鈳物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋整形。内外面に漆付着。	接・2点 笠懸
96-4 143-12	須恵器 坏内黒	覆土 3/4	口・14.6 底・8.5	酸化。並。明黄褐10Y6/6。 並、やや重。褐粒含、他鈳物微。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨を施す。内黒 は口縁部に及ぶ。内面・底面ハゼ多。	接・7点

第23号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
96-5 143-13	須恵器 坏(墨書)	床直 ほぼ完形	口・13.1 底・8.6	還元。並。褐灰10YR5/1。 並、重。白粒含、他少。	口縁部は外傾する。底部は回転糸切後、回転 篋削。さらに、「主」墨書あり。(笠懸)	墨書-12 粘・陶
96-6 143-14	須恵器 坏	覆土 口縁一部欠	口・12.8 底・7.8	還元。締。灰5Y4/1。密、重。 白鈹物、鈹物微。	口縁部は肥厚する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後、手持篋削を施す。	接・2点 県外か
96-7 143-15	須恵器 坏	床直R 1/2	口・(13.3) 底・(8.9)	中性。軟。灰黄2.5Y7/2。並。 並、軽。白、鈹物含。	轆轤右回転。底部は回転篋削か。外面重ね焼 き色変化。	接・3点 粘
96-8 143-16	施釉陶器 灰釉	床直 3/4	底・5.8 高・2.9	還元。硬。灰白5Y7/1。 密、重い。鈹物見えず。	口縁より胴部中央まで刷毛塗り様の灰釉。底 部に焼割れ、表面達する。	東海

第24号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
97-1 143-19	縄文土器 深鉢	埋甕1内 1/4	最・(17.0) 底・(6.4)	酸化・並。鈍黄橙5YR5/4 赤褐色粒子・白色粒子・砂粒	擦り消し縄文地紋原体はRL。小単位に懸垂 文を垂下させる。	接・18点
97-2	縄文土器 器台 破片	炉内 破片	口・(12.0)	酸化・並。橙7.5YR7/6 粗粒砂・白色鈹物	無文。「ハ」の字状に開く脚部片。	接・無
97-3	粘土塊	埋甕付近	長・4.1 重・18	中～酸。並。単黄2.5Y8/4。 粗、軽。褐粒微、鈹物含。	捏ねた土塊。砂を少し含む。全体は手掌中痕 と指の圧痕らしき跡2カ所。	
98-1 143-20	縄文土器 深鉢	埋甕1内 破片	口・(21.6) 最・(23.4)	酸化・並。暗灰黄2.5Y4/2 緻密・黄褐色粒子。	口縁部はキャリバー状を呈する。 地紋原体はRL。	接・7点
98-2 143-18	縄文土器 深鉢	埋甕2 胴下半部欠損	口・29.1	酸化・並。灰褐5YR6/2 白色鈹物・チャート・黒色鈹物	4単位の波状口縁。口唇直下に沈線WP巡ら す。沈線直下にRL原体を縦転する。	接・40点
99-1 143-17	縄文土器 深鉢	埋甕1	口・47.6 最・52.6	酸化・並。鈍黄2.5YR6/3 粗粒砂・白色鈹物・白色粒子	口縁部はキャリバー状を呈する。弧線隆帯を 4単位の施文し、RL原体を充填する。	接・60点

第25号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
100-1 143-22	須恵器 坏	床直 2/3	口・13.2 底・6.1	中性。並。鈍黄橙10YR6/3。 密、やや重。白粒微。	轆轤成形(右回転)。底部は右回転糸切り。内 外面煤付着。口縁部外面に重ね焼色変。	笠懸か
100-2 143-21	土師器 甕 破片	床直 破片	口・(13.7)	酸化。硬。鈍褐7.5YR5/4。 並、やや軽。鈹物少。	口縁に接合面。型作。胴部・肩部は斜位の篋 削。口縁部は横撫。	
100-3 143-23	土師器 甕 破片	床直 破片	口・(18.9)	酸化。硬。鈍赤褐5YR4/4。 並、やや重。褐粒含、他少。	外面はササラ状の篋削。内面は篋撫、指撫。 口縁部は横撫を施す。	接・1点

第26号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
102-1 143-24	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.1	酸化・並。明黄褐10YR6/6。 白色粒子・白色微粒子・細砂粒	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦転充填する。	接・6点

第27A・B号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
103-1 144-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 白色鈹物・黒色鈹物粒	口唇部は短く外反。LR原体を横転施文し、半 裁竹管による平行線を巡らす。	
103-2 144-25	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・硬。極暗赤褐5YR2/3 粗粒砂・白色鈹物・角礫	LR原体を縦転施文する。	接・10点

第28号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
104-1 144-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 金雲母・白色鈹物・白色微粒子	平縁の口唇部は肥厚する。口唇部直下に3条 の沈線文を施す。	接・無し
104-2 144-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。黒褐2.5Y3/2 金雲母・白色鈹物	楕円隆帯を施し、楕円区画の内側下端に沈線 を巡らす。	接・無し
104-3 144-28	縄文土器 深鉢	覆土 破片	底・8.8	酸化・並。明黄褐7.5Y5/6 白色粒子・金雲母・白色鈹物	文様部分の遺存は極一部。縦列単位の鋭い刻 みを施文する。	接・9点

第29号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
105-1 144-4	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。明赤褐5YR5/6 金雲母・白色鉱物	把手部か。2方向に窓状の透かしを施す。	接・5点
105-2 144-5	縄文土器 浅鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 金雲母・白色粒子	直立する口縁部で口唇部は肥厚する。半裁竹管による押引文を口縁部に平行して施文。	接・無し
105-3 144-6	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 粗粒砂・赤褐色粒子	沈線文区画内にLR原体を充填させる。	接・無し
105-4 144-8	縄文土器 深鉢	5-113坑 破片	厚・1.4	酸化・並。橙7.5YR7/6 角粒粗粒砂・赤褐色粒子	口縁部は直立する。口縁部無文帯の直下にLR原体を横転施文する。	接・無し
105-5 144-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR4/6 粗粒砂・白色鉱物	地紋にRL原体を横位に施文し、半裁竹管による連弧文を施文する。	接・無し
105-6 144-9	縄文土器 深鉢	5-111坑 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白7.5YR8/2 白色鉱物・角粒粗粒砂	弧線帯縄文。LR原体を充填させる。	接・無し
105-7 144-29	石器 石鏃	5-113坑 完形	チャート 重・0.82	長・2.6。幅・1.05。厚・0.35	無茎長平根三角形抉式。右持りの端部を欠損。	
105-8 144-30	石器 剥片石器	5-113坑 完存	黒色頁岩 重・16.48	長・3.55。幅・4.10。厚・1.45	スクレイパー。裏面加工が認められる。	
105-9 144-31	石器 打製石斧	5-93坑 完存	ホルンフェルス 重・112	長・10.6。幅・6.4。厚・1.4	分銅形打製石斧。片岩状の素材に加工を加える。	

第30号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
106-1 144-26	縄文土器 深鉢	壁溝内 破片	径・(36.0) 厚・1.2	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 含繊維・白色バミス・白色粒子	口唇部は尖り気味。羽状縄文を施文。	接・3点

第31号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
108-1 144-13	縄文土器 浅鉢	覆土 1/4	口・(36.0)	酸化・並。褐10YR4/4 金雲母・白色鉱物・粗粒砂	口唇部の内側は肥厚する。 文様は認められない。	接・7点
108-2 144-12	縄文土器 浅鉢	覆土 1/4	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/4 黒色鉱物・角粒砂・白色鉱物	文様は認められない。 108-3と同一個体。	接・5点
108-3 144-14	縄文土器 浅鉢	覆土 1/8	底・(12.0)	酸化・並。褐7.5YR4/4 黒色鉱物・角粒砂・白色鉱物	文様は認められない。 108-2と同一個体。	
108-4 144-27	縄文土器 浅鉢	床直層 小片	底・(13.0)	酸化。軟。鈍橙5YR6/4。	文様は認められない。	
108-5 144-10	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 含繊維・白色微粒子	半裁竹管による平行沈線文を施し、直下にコンパス文を施す。	接・無し
108-6 144-11	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4	横位・斜位の条痕文を施す。	接・無し
108-7 144-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/8 砂粒・白色鉱物	波状口縁の波頂部。冠部に2本の刻みにより波状を表出する。	接・無し
108-8 144-16	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 白色微粒子	半裁竹管による横位・縦位平行沈線文の区画内に連続爪形文を施文する。	接・2点
108-9 144-22	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	横位に隆帯を巡らせ、直下に押引文をT字状に施文する。	接・無し
108-10 144-17	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/4 砂粒・赤褐色粒子・砂粒角粒砂	半裁竹管による横位の平行沈線文を3条施す。	接・2点
108-11 144-19	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	縦位の波状沈線文を施す。	接・無し
108-12 144-18	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 金雲母・砂粒	楕円状隆帯が接する。隆帯直下に押引文を施文する。	接・無し
108-13 144-21	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 白色微粒子	縦横に刻隆帯を施し区画を構成し、隆帯に沿って押引文を施す。	接・無し
108-14 144-23	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/3	縦位の刻隆帯の際に連続爪形文を施し、更に周囲に半裁竹管による平行沈線文を施す。	接・無し
108-15	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 白色鉱物・砂粒角粒砂	眼鏡状隆帯を施す。	接・5点

第31号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
108-16 144-20	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐] 7.5YR5/3 白色鉱物・砂粒角粒砂	眼鏡状隆帯を施す。	接・5点
108-17 144-24	縄文土製品 円盤	ピット覆土 完存	径・4.2	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 赤褐色粒子・夾雑物少	大形深鉢の胴部下半部片を利用する。	
108-18 144-31	石器 打製石斧	床直 1/3	砂質頁岩 重・151	遺存長8.8。残存幅・6.4。 厚・2.7	分銅形と考えられる。欠損時の衝撃に起因する のか、全体的に脆い状態。	
108-19 144-31	石器 擦石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・353	長・9.7。幅・6.3。厚・4.2	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。側部にも敲打痕が認められる。	

第32号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
109-1 145-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。10YR4/6 含繊維・白色微粒子	口唇直下に横線を横走させ、半裁竹管により 鋸歯文を表出する。	接・無し
109-2 145-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	半裁竹管の横位沈線文・竹管の縦位刺突文を 施し、RL 原体を横転施文する。	接・無し
109-3 145-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒・砂粒角粒砂	横位の押引文を施し、竹管の刺突文を施す。	接・無し
109-4 145-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	地紋に LR 原体を横位に施文し、横位の押引 文を施す。	接・無し
109-5 145-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4	地紋に LR 原体を横位に施文し、横位の押引 文を施す。	接・無し
109-6 145-3	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	RL 原体を縦転する。	接・無し
109-7 145-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 含繊維・白色微粒子・石英	地紋に LR 原体を横位に施文し、横位の押引 文を施す。	接・無し
109-8 145-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	単軸絡条体 2 R を横転施文する。	接・無し
109-9 145-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	RL 原体を羽状施文する。	接・無し
109-10 145-4	石器 楔形石器	覆土 完存	チャート 重・6.57	長・3.3。幅・2.1。厚・0.95	上下・左右の表裏両面に使用痕乃至使用に伴 う剥離が認められる。	
109-11 145-5	石器素材	覆土 完存	頁岩 重・338	長・13.9。幅・6.4。厚・2.7	礫の裁断痕が認められる。打製石斧の素材と 考えられる。	
109-12 145-5	石器 擦石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・451	長・9.4。幅・7.3。厚・4.5	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
109-13 145-6	石器 石皿	床直 破片	粗粒輝石安山岩 重・784	遺存長・11.2。遺存高・6.9	成形時の敲打痕が僅かに認められる。底面に 孔が認められる。	
109-14 145-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	底・8.8	酸化・並。黄褐10Y5/6 白色粒子・赤褐色粒子・円粒砂	底部から強く外傾して立ち上がる。 RL 原体を横転施文する。	接・6点
109-15 145-2	縄文土器 深鉢	床直 1/3	底・9.3	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色粒・白色鉱物粒・細砂粒。	外傾し立ち上がる。絡条体 L を施文。	接・21点

第33号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
110-1 145-8	縄文土器 深鉢	床直層 1/4	口・(14.9)	酸化・並。灰褐5YR5/2 繊維・細粒白色鉱物・黄色細粒	口縁部に歪み乃至 1 単位程度の把手か。1 原 体を横転施文する。	接・15点
110-2 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒・赤褐色粒	口縁部は外傾し口唇部は尖る。LR 原体を横 転施文する。	接・無し
110-3 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	器面の風化顕ではないが、施文不鮮明により 文様は認識出来ない。	接・無し
110-4 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 含繊維・白色微粒子	ループ縄文を施文する。原体は RL。	接・無し
110-5 145-7	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	付加条第 2 種 LR+2L 原体を横転施文する。 110-6 と同一個体。	接・無し
110-6 145-7	縄文土器 深鉢	覆土+床直 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子・砂粒	付加条第 2 種 LR+2L 原体を横転施文する。 110-5 と同一個体。	接・3点

第33号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
110-7 145-7	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横転施文する。	接・無し
110-8 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横転施文する。	接・無し
110-9 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 含繊維・白色微粒子・細礫	粗い LR 原体を縦転施文する。	接・無し
110-10 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子・夾雑物少	粗い LR 原体を横転施文する。	接・無し
110-11 145-9	縄文土器 深鉢	床直層 1/5	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色鉱物粒子	LR 原体を横転施文する。	接・9点
110-12 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色粒子・チャート	羽状縄文を施文する。	接・無し
110-13 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子・細砂粒	RL・LR 原体を施文する。	接・無し
110-14 145-7	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR3/6 白色粒子・砂粒	地紋に RL 原体を横位に施文し、平行条線を横位に施文する。	接・無し 諸磯B
110-15 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	地紋に RL 原体を横位に施文し、半裁竹管による平行条線を施す。	接・無し
110-16 145-7	縄文土器 深鉢	覆土+床直 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	無節 R を横転施文する。 110-17と同一個体。	接・無し
110-17 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	無節 R を横転施文する。 110-16と同一個体。	接・無し
111-1 145-7	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子・粗粒砂	付加条第2種 RL+2L 原体を横転施文する。	接・無し
111-2 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 LR+2L 原体を横転施文する。	接・無し
111-3 145-7	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 LR+2L 原体を縦位施文する。 土器片加工の円盤の可能性もある。	接・無し
111-4 145-10	縄文土器 脚付深鉢	床直 脚部	高・(4.0) 底・13.2	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 含繊維・白粒・赤褐粒。	付加条 LR+L 原体の横転施文。	接・8点
111-5 145-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施す。	接・無し
111-6 145-7	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.2	酸化・並。明赤褐5YR5/6 白色鉱物・粗粒砂	文様は認められない。胎土は中期勝坂乃至阿玉台期に相当する。	接・無し
111-7 146-1	石器 剥片石器	床直 完存	チャート 重・108	長・9.2。幅・6.4。厚・2.1	剥片の2側縁に刃部加工を施す。	
111-8 146-3	石器 剥片石器	覆土 完存か	黒色頁岩 重・25	長・5.7。幅・4.0。厚・1.1	台形状の破片の2側縁に刃部加工を施す。 打製石斧の破片の可能性も考えられる。	
111-9 146-2	石器 剥片石器	覆土 完存	黒色頁岩 重・14.3	長・3.9。幅・3.3。厚・1.2	剥片の1側縁に刃部加工を施す。	
110-10 146-4	石器 叩石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・370	長・8.3。幅・6.9。厚・5.4	礫面全体に敲打痕が認められる。	
111-11 146-4	石器 擦石	床直 完存	かこう岩 重・520	長・9.1。幅・8.3。厚・5.2	両面の扁平面が磨滅し、敲打痕が認められる。 小口に集中打痕を残す。	
111-12 146-4	石器 擦石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・422	長・9.8。幅・7.7。厚・4.6	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。 小口・側部にも敲打痕が認められる。	
111-13 146-6	石器 擦石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・417	長・9.9。幅・8.4。厚・3.2	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。 小口・側部にも敲打痕が認められる。	
111-14 146-7	石器 擦石	床直 完存	ひん岩 重・428	長・10.8。幅・8.2。厚・3.1	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。 小口に敲打痕が認められる。	
111-15 146-8	石器 叩石	床直 完存	ホルンフェルス 重・471	長・13.0。幅・5.2。厚・4.4	小口に剝離が認められる。	

第34号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
112-1 146-11	縄文土器 深鉢	埋埋1内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 粗粒砂・細礫	弧線沈線文内に LR 原体を充填施文する。	接・2点

第34号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
112-2 146-11	縄文土器 深鉢	埋壘1内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 粗粒砂	弧線沈線文内にLR原体を充填施文する。	接・2点
112-3 146-11	縄文土器 深鉢	埋壘1内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・2点
112-4 146-12	縄文土器 深鉢	埋壘1内 1/8	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 粗粒砂・細礫・白色粒子	文様の施文は認められない。	接・11点
113-1 146-5	縄文土器 深鉢	埋壘 胴部中位3/4	最・28	酸化・並。鈍橙5YR6/3 白色粒子・赤褐色粒子・粗粒砂	5単位の「8」の字帯縄文内にS字文の施文 と考えられる。縄文はRL原体を縦転する。	接・19点
113-2 146-11	縄文土器 深鉢	床直 破片	底・(10.8)	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗粒砂・白色鉱物・パミス	LR原体の横転施文が認められる。	接・無し
113-3 146-11	縄文土器 深鉢	床直 破片	底・(11.3)	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗粒砂・白色鉱物	直立気味に立ち上がる。縦位に隆帯を施文後、 LR原体を横転施文し、横位の沈線文を施す。	接・無し
113-4 146-9	縄文土器 深鉢	埋壘 底部	底・8.6 厚・0.8	酸化・軟。淡黄2.5Y8/3 シルト質・円チャート・白色粒	文様の施文は認められない。器面の風化が顕 著。	接・無し
113-5 146-10	石器 石皿	床直 破片	粗粒輝石安山岩 重・280	遺存長・9.9。遺存高・5.1	使用面以外の整形面には、成形時の敲打痕が 顕著に認められる。	
113-6 146-10	石器 石皿	床直 破片	粗粒輝石安山岩 重・776	遺存長・10.7。遺存高・8.3	整形は比較的丁寧で、整形痕は殆ど認められ ない。縁辺に2つ孔が認められる。	

第35号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
114-1 146-13	縄文土器 深鉢	埋壘内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗粒角粒砂・白色鉱物	4単位の波状口縁、波頂部に「8」の字文を 表出する。帯縄文構成の文様構成か。	接・11点
114-2 146-14	縄文土器 深鉢	埋壘内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・赤褐色粒子・角礫	波状口縁。口唇部は肥厚し波頂部に円形刺突 文を施す。	接・無
114-3 146-15	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.0	酸化・硬。橙2.5YR6/8 白色鉱物・角粒粗粒砂	口唇部は肥厚し横位に丁寧な篋撫でを施す。 口縁部は、平行沈線内に列点刺突文を施す。	接・2点
114-4 147-1	縄文土器 深鉢	埋壘内 破片	厚・1.5	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 赤褐色粒・円粒砂・白色鉱物	内湾口縁の無文粗製土器。器面が風化する。 整形は斜位の撫でと考えられる。	接・無し
115-1 147-2	縄文土器 深鉢	住居内倒木 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍赤褐5YR5/3	縦位に沈線を垂下させ、沈線間に刺突文を施 す。	接・無
115-2 147-3・1・3・2	縄文土器 深鉢	埋壘 口・底欠損	最・(39.4) 厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 角粒粗粒砂・白色粒・赤褐色粒	胴部に最大径を有し頸部に向かい括れる。施 文は無く、強い斜位の撫で整形痕を残す。	接・14点

第36号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
119-1 147-7	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 含繊維・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し

第37号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
116-1 147-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 金雲母・白色鉱物・赤褐色粒子	口縁部は内湾し口唇部は丸味を帯外傾する。 隆帯を施し、下端に連続爪形文を施す。	接・無し
116-2 147-1	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 金雲母・白色鉱物	口縁部は内湾し口唇部に小単位に刻みを施 し、口唇部から縦位の刻隆帯を施す。	接・無し
116-3 147-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐5YR5/6 金雲母・白色鉱物・粗粒砂	縦位に楕円区画文を施す。	接・無し
116-4 147-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 金雲母・白色鉱物	縦位の楕円区画隆帯文が認められる。	接・無し
116-5 147-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 細砂粒・白色微粒子	横位波状山形文を施文する。	接・無し
116-6 147-4	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・軟。鈍橙7.5YR6/4 白色鉱物・粗粒砂・赤褐色粒	口縁下半は無文。横位隆帯を2条巡らせ、下 位に山形隆帯を施文し、連続爪形文を施す。	接・5点

第37号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
116-7 147-5	縄文土器 深鉢	覆土 破片	口・(30.0)	酸化・並。明褐7.5YR5/2 角粒粗粒砂・白色鉱物	4単位の波状口縁か。把手を刻隆帯で加飾し、 平行沈線文・キャタピラ文・三叉文を施す。	接・9点

第38号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
118-1 148-1	縄文土器 深鉢	埋塞 下半部残存	最・37.4 底・10.0	酸化・硬。鈍黄橙10YR7/2 暗赤褐色粒子・角粒粗粒砂。	縦位の楕円乃至弧条懸垂を配し、7本1単位 の条痕文を施文、主文間に重弧文を施文する。	接・45点

第39・40号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
117-1 147-7	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・硬。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は外反し、口唇部平ら。羽状縄文を施 文する。	接・2点
117-2 147-7	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・硬。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は外反し、口唇部平ら。羽状縄文を施 文する。	接・2点
117-3 147-7	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	RL原体を横転施文する。	接・無し
117-4 147-8	石器 打製石斧	床直 完存	黒色頁岩 重・113	長・9.4。幅・5.5。厚・2.0	撥形。表面に礫面を残す。成・整形の大半は 裏面側に集中する。	
117-5 147-8	石器 叩石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・76	長・7.1。幅・3.8。厚・2.1	小形の礫石器。扁平面の片面に敲打痕を残す。	
117-6 147-8	石器 擦石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・441	長・9.0。幅・8.5。厚・4.2	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
117-7 147-8	石器 擦石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・541	長・10.6。幅・8.6。厚・4.2	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を 残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
120-1 147-7	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	RL原体を横転施文する。	接・無し
120-2 147-7	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	無節LR原体を横転施文する。	接・無し
120-3 147-7	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	無節LR原体を横転施文する。	接・無し
120-4 147-7	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。黄灰2.5Y4/1 含繊維・白色微粒子	無節LR原体を横転施文する。	接・無し
120-5 147-7	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.9	酸化・並。褐灰10YR4/1 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
120-6 147-7	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐5YR4/6 含繊維・白色微粒子多	底部は上げ底。粗いLR原体を横転施文する。	接・無し

第41号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
121-1 148-2	縄文土器 深鉢	覆土+床直層 1/2	口・(14.0)	酸化・明赤褐2.5YR5/6 シルト質・白色微粒・赤褐色粒	4本1単位の条痕文を縦位に施す。	接・24点
121-2 148-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.3	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色微粒子・赤褐色粒子	口縁部は内湾する。隆帯文を施し区画内に RL原体を充填施文する。	接・無し
121-3 148-2	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。褐灰10YR4/1 赤褐色粒・白色粒・黒色鉱物粒	微隆線による区画内にRL原体を充填施文す る。	接・無し
121-4 148-2	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/6 白色鉱物・白色微粒子	縦位の懸垂文を垂下させ、縦位条痕文を施文 する。成形は粘土紐巻き上げ作り。	接・無し
121-5 148-2	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 白色微粒子・夾雑物少	11本1単位の櫛歯でコンパス乃至渦巻き文を 施す。	接・無し
121-6 148-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 シルト質・白色鉱物	懸垂文を垂下させ、LR原体を縦転施文する。	接・6点
122-1 148-4	縄文土器 深鉢	床直+床直層 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍橙5YR6/4 シルト質・白色微粒子	口縁部隆帯直下から懸垂文を垂下させ、沈線 間にRL原体を縦転する。	
122-2 148-5	縄文土器 深鉢	床直 底部欠損	口・19.3	酸化・硬。黄褐10Y5/6 白色粒子・細砂粒	口縁部はキャリパー状を呈する。隆帯は4単 位で隆帯間にRL原体縄文を充填施文する。	接・40点

第41号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
122-3 148-6	縄文土器 深鉢	床直+覆土 口縁部片	口・(24.5)	酸化。並。鈍黄橙10YR6/3 シルト質・白色微粒・赤褐色粒	口縁部はキャリバー状を呈する。連鎖状隆帯を施す。隆帯間にLR原体を充填する。	
122-4 148-9	縄文土器 深鉢	覆土+床直層 破片	口・(32.0)	酸化・並。黒褐2.5YR3/1 シルト粒・白色微・赤褐色粒子	キャリバー状口縁にRL原体を横転施文する。	接・8点
122-5 148-7	縄文土器 深鉢	床直 破片	底・5.6	酸化・軟。明黄褐10Y7/6 白色粒子・角粒砂	内湾気味に立ち上がる。7単位の平行懸垂文間にRL原体を縦転施文する。	接・9点
122-6 148-8	縄文土器 深鉢	床直+炉内 底部片	底・5.6	酸化。並。鈍黄橙10YR6/4 並。白色粒・赤褐色粒	内面に研磨を施す。	接・8点
123-1 148-10	石器 打製石斧	覆土 2/3	砂岩 重・114	長・9.3。幅・5.1。厚・2.2	表面に礫面を残す。均一的に側部・先端の加工を施す。	
123-2 148-10	石器 打製石斧	床直 完存	砂岩 重・230	長・11.6。幅・5.8。厚・2.8	表面は礫面を残す。比較的粗い加工成形を施し、刃部加工等は比較的少ない。	
123-3 148-10	石器 叩石	覆土 完存	チャート 重・880	長・12.0。幅・7.2。厚・6.7	角柱状の茶褐色チャートを素材にし、側部の角を叩き使用する。	

第42号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
124-1 149-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・夾雑物少	口縁部は外反し口唇部は格子刻みを施す。内外面に条痕文を施す。	接・無し
124-2 149-1	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 細礫・赤褐色粒子	横位に爪形文を施す。	接・2点
124-3 149-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 白色粒子・白色微粒・細砂粒	太い横線を平行に2条施し、上下に櫛目文を縦位施文する。0292と同一個体。	接・無し
124-4 149-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 白色粒子・白色微粒・細砂粒	太い横線を施し、下位に櫛目文を縦位に施す。0293と同一個体。	接・2点
124-5 149-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。暗灰黄2.5Y4/2 白色粒・白色鉱物・角粒粗砂	肩部に強い横線を施し、下位に櫛目文を施す。	接・無し
124-6 149-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐5YR4/6 砂粒・白色粒子	地文に絡条体LR原体を施文し、横位の波状沈線文を施文する。	接・無し
124-7 149-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 白色粒子・砂粒・赤褐色粒子	沈線文櫛目区画内にRL原体を縦位充填する。	接・無し
124-8 149-4	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.3	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/6 白色鉱物・角粒砂・赤褐色粒子	横線区画の上位にRL原体を横転施文する。下位に縦位の沈線を施す。	接・2点
124-9 149-3	石器 石鏃	覆土 2/3	チャート 重・1.96	遺存長・2.7。幅・1.45。 厚・0.6	平根三角形式の範疇に含まれるが、鏃根から茎部分を欠損するため詳細不詳。飛行機鏃か。	
124-10 149-5	石器 擦石か	覆土 完存	溶結凝灰岩 重・111	長・5.9。幅・4.9。厚・2.9	顕著な使用痕は認められないが、形状は擦石様を呈する。	

第45号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
125-1 149-7	土師器 坏	床直 一部欠損	口・12.3 底・11.0	酸化。並。橙7.5YR6/6。 並、やや重。褐粒微、鉱物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・28点
125-2 149-6	土師器 坏	床直+覆土 1/2	口・(14.0)	酸化。硬。灰黄2.5Y7/2。 並、やや重。鉱物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・7点 木葉底
125-3 149-8	須恵器 坏	床直 3/4	口・14.0 底・8.4	酸化。硬。鈍黄橙10YR6/3。 並、やや重。白、褐粒、鉱物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺を回転篋削。外面黒燻。	接・7点 笠懸
125-4 149-9	須恵器 埴	床直層 1/4	口・(13.0) 底・(9.0)	還元。締。黄灰2.5Y6/1。 密、重。白鉱物含、鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削。火襷、自然釉。	太田か
125-5 149-10	須恵器 坏か	覆土 口縁部片	口・16.9	還元。並。灰白7.5YR7/1。 並、やや重。白粒含、他鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部欠損のため切り離し技法不詳。	接・5点 太・笠

第46・47号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
126-1 149-11	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。坑7.5YR4/3 白色鉱物・砂粒	口縁部は「く」の字状に外反し口唇部は平坦横位のキャピラ文を施す。	接・無し

第46・47号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
126-2 149-12	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 金雲母・砂粒少	粗い爪形文を施す。	接・無し

第48号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
127-1	土師器 坏	床直層 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。鈍褐7.5YR5/4。 並、褐粒含、他少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋撫気味、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	
127-2	須恵器 蓋	床直層 破片	口・(12.4) 摘径・(2.4)	中性。軟。鈍黄2.5Y6/3。 並、軽。白粒含、他鈹物少。	轆轤成形。上半部は回転撫。内面回転条痕と 黒色化あり。外面に重ね焼き色変あり。	内黒須恵 器の胎土
127-3 149-13	石製品 砥石	床直層 1/2	砥沢石 重・85.7	幅・4.1。厚・3.5。	使用は、表・裏・側部の4面。奥小口には削 整形あり。手前小口は欠損再用の整形面。	中砥

第49号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
128-1	土師器 坏	床直層 口縁部片	口・(12.0)	酸化。並。鈍褐7.5YR5/4。 並。白、褐粒含、他鈹物少。	口縁部は内湾気味。型作り。体部に型膚、篋 削。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
128-2 149-14	土師器 甕	床直層 小片	口・(19.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、やや軽。褐粒含、鈹物少。	口縁部下外面に接合痕。外面は篋削。内面は 篋撫。口縁部は横撫。	接・2点
128-3 149-15	土師器 甕	床直層 小片	口・(21.0)	酸化。並。鈍橙5YR6/4。並。 白、褐粒含、鈹物少。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口 縁部は横撫。	接・8点

第50号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
129-1 149-18	縄文土器 深鉢	床直層+炉内 破片	口・(22.8)	酸化・並。橙5YR6/6 角粒砂・円粒チャート	「X」字状の沈線区画を基調とし、沈線間に 連続刺突文を施す。	接・7点
129-2 150-1	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白7.5Y8/2 粗粒砂・円粒チャート	「X」字状縄文を施す。 RL原体を充填する。	接・無
129-3 150-3	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.6	酸化・並。橙7.5YR6/8 赤褐色粒・微雲母	右周りの大形連続刺突文を施す。	接・無し
129-4 150-2	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.7	酸化・硬。浅黄橙7.5YR8/6 赤褐色粒子・粗粒砂	刻隆帯を垂下させ、帯縄文区画と沈線により 文様構成する。RL原体を充填する。	接・点13
129-5 149-19	縄文土器 深鉢	床直層+炉内 破片	厚・0.7	酸化・硬。浅黄橙7.5YR8/6 赤褐色粒子・粗粒砂	4と同一個体。	接・2点
129-6 150-4	石器 石核	炉内 完存	黒色頁岩 重・128	長・6.7。幅・5.4。厚・3.5	剥片の剝離に法則性は認められない。	
131-1 149-16	縄文土器 深鉢	炉内 1/2	口・36.1 厚・0.8	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/3 粗粒砂・細礫・チャート	口縁部は外傾し、口唇部に瘤状の貼付文を施 す。「X」字状文を5単位で、LRを施文。	接・36点
132-1 149-17	縄文土器 深鉢	炉内 1/3	口・(44.5) 口・1.2	酸化・並。鈍橙5YR7/3 細礫・暗赤褐色粒子・粗粒砂	楕円状隆帯を巡らせ、懸垂文を垂下させる。 RL原体を充填施文する。全体摩滅する。	接・40点

第51号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
133-1 150-6	縄文土器 深鉢	覆土+炉内 破片	口・(20.4)	酸化・硬。鈍橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	口唇部は尖る。RL原体を横転施文する。	接・7点
133-2 150-7	縄文土器 深鉢	覆土+炉内 口縁部のみ	口・26.7	酸化・並。明黄褐10Y6/6 含繊維・白色粒子	口唇部は平坦。LR+1の縄文原体による疑似 羽状縄文を施文する。	接・43点
133-3 150-9	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 含繊維・白色粒子・砂粒	口縁部は外傾し口唇部は尖る。無節L原体を 横転施文する。	接・2点
133-4 150-9	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 含繊維・白色微粒子	付加条第2種L+2L原体を横転施文する。	接・無し
133-5 150-9	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は内湾し口唇部は平坦。LR原体を縦 転施文する。	接・2点
133-6 150-10	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄2.5Y6/4 含繊維・白色微粒子	多条RL原体を斜位充填しループ文を施文す る。	接・無し

第51号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
133-7 150-10	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.7	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	RL 原体を横転施文する。	接・無し
133-8 150-9	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.7	酸化・並。明褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子・砂粒	羽状縄文を施文する。	接・無し
133-9 150-9	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 含繊維・白色微粒子	無節L 原体を横転施文する。	接・無し
133-10 150-9	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.8	酸化・並。暗褐10YR3/4	付加条第1種 LR+L 原体(?)を横転施文する。	接・無し
133-11 150-10	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・0.8	酸化・並。7.5YR4/6 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	無節原体を羽状施文する。	接・無し
134-1 150-5	縄文土器 深鉢	炉内 破片	底・(8.0)	酸化・並。明黄褐10Y6/6 含繊維・細砂粒・白色粒子	上げ底。1+LR 付加条第1種縄文原体を横転施文。	接合無し
134-2 150-10	縄文土器 深鉢	炉内 破片	底・(10.8)	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色粒子・砂粒角粒砂	無節R 原体を横転施文する。	接・無し
134-3 150-11	縄文土器 深鉢	名称未設定土坑 破片	最大径・25.6 厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色粒子・砂粒角粒砂	無節R 原体を横転施文する。	接・31点
135-1 150-8	石器 叩石	炉内 完存	ひん岩 重・301	長・12.6。幅・3.3。厚・5.5	礫の一方の側部に集中打痕を残す。	
135-2 150-8	石器 叩石	炉内 完存	粗粒輝石安山岩 重・438	長・15.5。幅・4.7。厚・3.7	細長礫の一方の小口に敲打痕が認められる。	

第53号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
136-1 150-12	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	口唇部直下にループ文を施す。付加条第2種 LR+2R・RL+2R の羽状施文。	接・無し
136-2 150-12	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。坑7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	LR 原体を横転施文し、施文間に原体端部を 押捺施文する。	接・無し
136-3 150-12	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	地文に RL 原体を横位施文し、横位平行沈線 の上位に半裁竹管平行線を菱形構成施文する。	接・無し
136-4 150-13	縄文土器 深鉢	覆土 把手破片		酸化・並。明赤褐2.5YR5/6 粗粒砂	環状把手の上半部。内側端部に刻みを施す。	接・3点
136-5 150-12	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒多・チャート	横位隆帯を施し、隆帯を挟み押し引文を施文する。	接・無し
136-6 150-14	石器 打製石斧	覆土内 完存	ホルンフェルス 重・131	長・8.5。幅・4.8。厚・2.1	短冊形基調か。表裏面に礫面を残し、左側部 の加工は認められない。	

第54号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
137-1 151-1	縄文土器 深鉢	ピット覆土 破片		酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 砂粒・白色微粒子	RL 原体を施文する。器面の風化顕著。	接・無し
137-2 151-2	縄文土器 深鉢	ピット覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
137-3 151-3	石器 剥片石器	ピット覆土 完存	黒色頁岩 重・38	長・5.5。幅・7.8。厚・1.3	縦長の「T」字状剥片の1側部に刃部加工を 施す。	

第61号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
138-1 151-4	縄文土器 深鉢	ピット1覆土 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR7/6 細砂粒・白色粒子	口縁部は内湾する。口唇部直下に無文帯を有し、 低い隆帯直下に RL 原体を横転施文する。	接・無し
138-2 151-5	縄文土器 深鉢	ピット1覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。明赤褐5YR5/6 細砂粒・白色鉱物	外傾気味の口縁部の上半部が内湾する。口唇部 は平坦。施文は沈線文だが風化で詳細不詳。	接・無し
138-3 151-7	縄文土器 深鉢	ピット6覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。暗赤褐5YR5/3 細粒白色鉱物多	付加条第2種 RL+R 原体を施文する。 胎土中繊維は認められない。	接・無し
138-4 151-6	縄文土器 深鉢	ピット6覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。暗赤褐5YR3/3 細砂粒・白色鉱物	平行沈線を綾杉施文する。	接・無し

第61号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
138-5 151-8	縄文土器 深鉢	ピット1覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色鈳物・白色微粒子・細砂粒	細い隆帯を弧状に貼付する。	接・無し

第55号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
140-1 151-9	縄文土器 ミニチュア	床直層 一部欠損	口・5.4 高・底・4.0	酸化・硬。黄灰2.5Y6/1 白色粒子・赤褐色粒子・砂粒	コップ形。器内面は平滑な撫で器外面は指頭 成形後寛撫で整形により平滑にされている。	接・8点
140-2 151-10	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.7	酸化・並。橙5YR7/6 砂粒・白色鈳物・赤褐色粒子	円管刺突文を伴う半裁竹管により、格子文を 表出する。	接・無し
140-3 151-11	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 砂粒・赤褐色粒子・雲母	刻隆帯を垂下させ、三角形の帯縄文・横位 の帯縄文等により文様構成すると考えられる。	接・無し
140-4 151-13	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄橙7.5YR1/4 粗粒角粒砂・赤褐色粒子	器面の風化顕著。口縁直下に横位の微隆起線 文を施し、胴部に楕円状に微隆起線を施す。	
140-5 151-17	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・1.0	酸化・並。灰褐5YR6/2 白色微粒・透明鈳物・チャート	波頂部に環状把手を配し、直下に孔を穿つ。 帯縄文は波頂部の直下から分割する。	接・2点
142-1 151-15	縄文土器 深鉢	床直層 5/1	口・28.0	酸化・軟。灰黄2.5Y7/2 粗粒砂・チャート・白色粒子	口縁部は内傾し、瘤付き隆帯を横走させる。 隆帯直下に RL 原体を縦転する。	接・17点
142-2 151-14	縄文土器 深鉢	炉内 3/1	口・32.4	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 チャート・白色粒・赤褐色細	口縁部直下に刺突隆帯を横走させる。 隆帯直下に LR 原体を縦転施文させる。	接・23点
143-1 151-12	縄文土器 深鉢	炉内 破片	口・(45.4)	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 白色粒・赤褐色細・砂粒	口縁部は開き気味に立ち上がり無文。口縁部 直下に隆帯を巡らせ、下位に LR を横位充填。	接・5点
143-2 151-16	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍赤褐5YR4/3 細砂粒・白色鈳物	内湾口縁。逆位の連弧文を半裁竹管で表出さ る。口唇直下には連弧文の施文が考えられる。	
143-3 152-1	縄文土器 深鉢	敷石下埋設土器 口縁部部分欠	底・6.3 最大径・25.6	酸化・軟。浅黄2.5Y7/3 白色粒・白色鈳物・赤褐色粒	双耳の深鉢。6本1単位の条痕を縦位に施文。 この個体と同時制作乃至類する個体がある。	
144-1 152-2	縄文土器 深鉢	床直層+炉内 破片	口・(50.8) 破片	酸化・硬。淡黄2.5Y8/3 黄褐粒・角粒粗粒砂・白色粒	口縁部は無文。口縁直下に隆帯を横走させ、 隆帯下位に LR 原体を充填させる。	接・11点
144-2 152-3	縄文土器 深鉢	炉内 1/4	口・48.5	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・角粒砂・白色粒子	口縁部は外傾する。把手から刺突隆帯を垂下。 三角形の帯縄文を施文。原体は RL。	接・30点
144-3 151-18	縄文土器 深鉢	床直層 1/8	口・39.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 白色粒子・赤褐色粒子・角粒砂	口縁部は外傾する。複雑な縦位帯縄文を施文。 地紋原体は RL。	接・2点
145-1 152-7	縄文土器 深鉢		最・14.2	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 粗粒砂・赤褐色粒子	4単位の垂下刺突隆帯の内2条は、環状隆帯 を口縁直下に配する。帯縄文の原体は LR。	接・26点 磨滅顕著
145-2 153-1	縄文土器 深鉢	炉跡覆土内 1/3	口・(20.8) 胴・(14.2)	酸化・並。灰白2.5Y8/2 赤褐色粒子・角粒粗粒砂	2対1単位の小把手を配する。口縁・胴部に 帯縄文の文様帯を構成する。LR 原体を充填。	接・21点
145-3 152-6	縄文土器 深鉢	埋壘 1/4	最・13.3	酸化・並。明黄橙10Y6/6 粗粒砂・赤褐色粒子	縦位の刺突隆帯は施文がなく、縦位の帯縄文 のみで構成。文様は5分割。縄文原体は LR。	接・9点
145-4 153-3	石器 打製石斧	覆土 破片	ホルンフェルス 重・48	残存長・5.7。幅・4.2。 厚・1.6	打製石斧の頭部側の残存。片岩状素材の礫の 縁辺を加工する。短冊形か。	
145-5 153-3	石器 打製石斧	床直層 2/3	ホルンフェルス	長・8.6。幅・4.6。厚・2.0	打製石斧の刃部側を欠損する。片岩状の素材。 加工は頭部側が尖り気味。縁辺の剥離が多い。	
145-6 153-3	石器 打製石斧	炉内 完存	ホルンフェルス 重・77	長・6.0。幅・7.3。厚・1.9	表面に礫面を残す。刃部加工は裏面側に施し、 単位は粗い。	
146-1 152-8	縄文土器 深鉢	床直層 4/1	口・(30.4)	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色粒子・細砂粒。	波状口縁。波頂部より刻隆帯を垂下させる。 隆帯間に「S」字状帯縄文を施す。	接・26点 接・10点
146-2 153-2	石器 石皿	埋壘 1/3	粗粒輝石安山岩 重・5115	遺存長28.2。残存幅・20.2。 厚・6.0	上側部に寄り孔・敲打痕孔が認められる。裏 面には、敲打痕孔が中央寄りに認められる。	
147-1 152-4	縄文土器 深鉢	炉内 3/1	口・48.5	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・角粒砂・白色粒子	口縁部は外傾する。把手から刺突隆帯を垂下。 三角形の帯縄文を施文。原体は RL。	接・30点
147-2 152-5	縄文土器 深鉢	炉内 1/3	口・48.5	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・角粒砂・白色粒子	口縁部は外傾する。把手から刺突隆帯を垂下。 三角形の帯縄文を施文。原体は RL。	接・30点
147-3 153-4	石器 叩石	床直層 1/2	粗粒輝石安山岩 重・122	遺存長7.2。幅・6.0。厚・2.6	両面の平坦面側が磨滅し、表面は集中打痕、 両面は孔を施す。小口・側部は敲打痕。	
147-4 153-4	石器 叩石	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・319	長・9.5。幅・6.1。厚・4.0	裏面に孔を施す。小口・側部は敲打痕が認め られる。左側部・表面に剥離が認められる。	
148-1 153-4	石器 叩石	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・362	長・8.8。幅・7.7。厚・4.0	両面の平坦面側が磨滅し、孔を施す。 器面の風化顕著。	

第55号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
148-2 153-5	石器 叩石	埋壙内 完存	粗粒輝石安山岩 重・564	長・11.0。幅・8.1。厚・3.6	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕を顕著に残す。	
148-3 153-5	石器 叩石	埋壙内 完存	粗粒輝石安山岩 重・513	長・12.5。幅・6.7。厚・3.9	両面の平坦面側が磨滅し、孔を施す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
148-4 153-5	石器 叩石	埋壙内 完存	粗粒輝石安山岩 重・409	長・7.4。幅・7.0。厚・5.5	両面の中央部に集中打痕が認められる。	
148-5 153-6	石器 多孔石	埋壙内 完存	粗粒輝石安山岩 重・3428	長・22.0。幅・21.5。厚・5.0	台石か。表裏面に敲打痕・集中打痕を残し、孔が1つ認められる。	

第56号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
149-1 153-7	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 角粒粗砂・円粒チャート	口縁はキャリパー状気味。微隆起線の楕円区画内にLR原体を縦転施文する。	
149-2 153-8	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・1.0	酸化・軟。浅黄橙10YR8/4 角粒粗砂・円粒チャート	風化顕著。RL原体を横転施文する。 149-3と同一個体。	接・2点
149-3 153-9	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰白10YR8/2 角粒粗砂・円粒チャート	149-2と同一個体。	
149-4 153-10	縄文土器 深鉢	炉内 破片	厚・1.1	酸化・並。明褐灰7.5YR7/2 粗粒砂・白色鉱物	弧線沈線文を施し、LR原体を縦転施文する。	接・無し

第57号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
151-1 153-11	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
151-2 153-12	石器 擦石	床直層 床直層	粗粒輝石安山岩 重・510	長・10.9。幅・8.0。厚・3.7	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
151-3 153-13	石器 叩石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 重・310	長・10.9。幅・5.0。厚・3.5	扁平面の片面に敲打痕が認められる。	

第58号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
152-1 153-14	縄文土器 覆土内 破片	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。暗褐色7.5YR6/3 金雲母・白色鉱物	波状口縁の把手部。冠部に刻みを施す。	接・無し
152-2 153-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 金雲母・白色鉱物	口唇部に刻みを施す。口縁部は横位の連続爪形文を施す。	接・無し
152-3 153-16	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。黒褐10YR3/2 金雲母・白色鉱物	横位隆帯を施し、直上に波状隆帯を貼付する。	接・無し

第59号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
155-1 154-1	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	口・(28.3)	酸化・並。浅黄2.5Y7/3	無節R原体を横転施文する。	
155-2 154-3	縄文土器 深鉢	床直層 1/4	口 (23.0)	酸化・並。鈍赤褐2.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	無節R結節縄文を横転施文する。	接・23点
155-3 154-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色鉱物・赤褐色	無節R原体を横転施文する。	接・8点
155-4 155-7	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・1.2	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	R原体を横転施文する。	接・6点
155-5 155-4	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・1.1	酸化・軟。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	R原体を横転施文する。	
155-6 155-11	縄文土器 深鉢	覆土 底部破片	底・(9.0) 厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR7/6 含繊維・比重軽い	無節Lを斜行施文する。 157-14と同一個体。	接・無し
155-7 154-6	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/6 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	口縁部は外反して立ち上がり、口唇部は尖る。	接・無し

第59号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
155-8 154-7	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.8	酸化・並。黒褐7.5YR3/1 含繊維・夾雑物無	受け口状口縁を呈する。文様の施文は認められない。	接・2点
155-9 155-11	縄文土器 深鉢	覆土 底部破片	底・(10.0) 厚・0.8	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6 含繊維・砂粒	LR 原体を横転施文する。	接・無し
155-10 154-6	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 含繊維・白色粒子・白色微粒子	口唇部は尖り気味。RL 原体を横転施文する。	接・無し
155-11 154-7	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は外傾する。L 原体を横転施文する。	接・無し
155-12 155-10	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.8	酸化・並。黒褐10YR2/3 含繊維・他の夾雑物無	粗い RL 原体を横転施文する。	接・無し
155-13 154-13	縄文土器 深鉢	床直層+覆土 胴部片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR7/3 含繊維・白色微粒子	胴部上半部。R 原体を横転施文する。	接・2点
156-1 155-2	縄文土器 深鉢	床直層 胴部片	厚・0.9	酸化・並。橙5YR6/6 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横転施文する。	接・6点
156-2 154-10	縄文土器 深鉢	床直層 胴部片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 含繊維・白色微粒子	上位に平行条痕を施文するが、半裁竹管か条痕文かは不詳。下位は RL 原体を横転施文。	接・3点
156-3 155-8	縄文土器 深鉢	床直層+覆土 底部～胴部	底・(9.4) 厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR6/6 含繊維・白色粒子・チャート	底部側は半裁竹管による連続刺突文。胴部は L 原体を縦転施文する。	接・19点
156-4 154-7	縄文土器 深鉢	覆土内 口縁部片	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/6 含繊維・白色粒子・白色微粒子	口唇部は尖り気味。LR 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
156-5 155-3	縄文土器 深鉢	覆土内 胴部片	厚・1.1	酸化・軟。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・6点
156-6 154-12	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子・砂粒	LR 原体による疑似羽状施文する。	接・4点
156-7 154-9	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.6	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・3点
156-8 154-14	縄文土器 破片	堀方埋土 破片	底・(10.4)	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 含繊維・砂粒	立ち上がり部に押引文を施し、上位に羽状縄文を施す。	接・無し
156-9 154-8	縄文土器 深鉢	床直層 口縁部片	厚・1.3	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	口唇部は尖り気味。絡条体 2 R を施文する。156-10 と同一個体。	接・3点
156-10 154-6	縄文土器 深鉢	床直層 口縁部片	厚・1.3	酸化・並。褐7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子	口唇部は尖り気味。絡条体 2 R を施文する。156-9 と同一個体。	接・2点
156-11 155-9	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・1.0	酸化・並。暗赤褐5YR3/6 含繊維・白色微粒子	絡条体 2 R を疑似羽状施文する。	接・無し
157-1 154-6	縄文土器 深鉢	床直層 口縁部片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子粗粒砂	口唇部は尖り気味。加飾結節付加縄文により「S」字状文を表出する。	接・無し
157-2~11 154-7 155-4~7 155-10~11	縄文土器 深鉢	床直層+覆土 破片	厚・1.0~0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 含繊維・白色微粒子	胴部下半は直線的に立ち上がり、上半部は内湾し口縁部は外傾して立ち上がる。胴部中位ループ文、付加条第 2 種 LR+ (L+R)・RL+ (R+L) 原体を羽状施文し、口縁部は外反して立ち上がり、同一原体によるループ状縄文を施文する。	接・無し
157-12 155-10	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・砂粒	絡条体 3 種。網目状燃糸を横転施文する。	接・無し
157-13 154-11	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・1.5	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 含繊維・夾雑物無・比重軽	無節 L のループ文を施す。155-6 と同一個体。	接・5点
157-14 154-4	縄文土器 深鉢	覆土 1/3	口・24.2	酸化・並。鈍赤褐5YR5/3 含繊維・白色鉱物	4 単位の波状口縁。上位は口縁に沿い 3 段に平行波状沈線文。下位に斜格子状に施文。	接・20点
157-15 154-5	縄文土器 深鉢	覆土 破片	口・(27.0)	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 含繊維・白色粒子	4 単位の波状口縁。上半部は波状口縁に平行し、下半部は水平に押引文を施す。	接・8点
157-16 154-7	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 含繊維・白色微粒子	波状口縁。平行沈線間に刻みを施し、「S」字状に施文する。刺突文・貼付文で加飾する。	接・無し
157-17 155-9	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.7	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色鉱物	括れを挟み半裁竹管の押引文を横位に施文し、上位に LR 原体を横転施文する。	接・無し
157-18 154-8	縄文土器 深鉢	覆土 胴部片	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	地紋に L 原体を横位に施文し、半裁竹管の押引文を施文する。	接・無し
157-19	縄文土器 深鉢	覆土 底部破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/8 含繊維・砂粒	半裁竹管による平行沈線文を横位乃至斜位に施文する。	接・無し

第59号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
157-20 154-6	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.7	酸化・並。褐7.5YR4/6 含繊維・白色粒子・砂粒	口縁部は外反し口唇部は尖る。平行する4条の押引文を施文する。	接・3点
157-21 154-8	縄文土器 深鉢	覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化・並。鈍赤褐5YR4/3 含繊維・白色微粒子	横位に半裁竹管による平行沈線文を施文し、口唇部に瘤状の貼付文を施す。	0456と同一個体。
157-22 155-4	縄文土器 深鉢	床直層+覆土 底部破片	厚・0.9	酸化・並。赤褐2.5YR4/8 含繊維・白色微粒子	幅広の半裁竹管により平行沈線文を施す。	接・3点
157-23 155-1	縄文土器 深鉢	床直層 覆。口~胴部片	厚・1.0	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	幅広の半裁竹管により平行沈線文を施す。157-21・23と同一個体。	接・12点
158-1 155-12	縄文土器 深鉢	床直層+覆土 胴部~底部破片	最・(32.5) 厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	筋状の付加状を横転施文する。大木b式か。	接・25点
158-2 156-1	石器 打製石斧	覆土内 完存	ホルンフェルス 重・55	長・7.4。幅・4.6。厚・1.2	撥形。先端側が欠損するの。裏面の中央部は被熱による剝離が認められる。	
158-3 156-2	石器 打製石斧	覆土 完存	黒色頁岩 重・107	長・10.5。幅・4.9。厚・2.0	撥形基調。表面は礫面を全面に残す。裏面に成・整形が施されている。	
158-4 156-3	石器 打製石斧か	覆土 完存	ホルンフェルス 重・269	長・10.7。幅・7.0。厚・3.2	撥形。表面に礫面を残す。加工の主体は裏面側に集中する。	
158-5 156-4	石器 スタンプ形	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・620	長・9.5。幅・5.4。厚・5.7	4面の扁平面が磨滅し、敲打痕が認められる。使用面は面取痕が残る。	
158-6 156-5	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・341	長・8.3。幅・7.3。厚・4.2	両面の扁平面が磨滅し、中央部・小口・側部に集中打痕が認められる。裏面に孔がある。	
158-7 156-7	石器 擦石	床直層 完存	粗粒輝石安山岩 重・358	長・9.5。幅・7.9。厚・3.0	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
158-8 156-6	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・161	長・9.5。幅・7.1。厚・1.7	両面の扁平面が磨滅する。	
158-9 156-6	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・461	長・10.4。幅・8.5。厚・4.1	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
159-1 156-7	石器 擦石	床直層 部分欠損	粗粒輝石安山岩 重・542	長・10.5。幅・8.2。厚・4.8	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。	
159-2 156-7	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・961	長・12.2。幅・10.1。厚・6.0	両面の平坦面側が磨滅し、孔を施す。小口・側部に集中打痕が認められる。	
159-3 156-8	石器 石皿	覆土 破片	粗粒輝石安山岩 重・1007	遺存長10.9。残存幅・10.5 厚・4.9	使用面に敲打整形痕が認められる。裏面には孔・敲打痕が認められる。	
159-4 156-9	石器 石皿か	堀方埋土 1/2	溶結凝灰岩 重・2503	遺存長17.6。残存幅・22.0 厚・6.2	中央付近が舌状に窪む。裏面には集中打痕が認められる。	

第58号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
160-1 156-13	石器 擦石	炉内(炉石) 完存	粗粒輝石安山岩 17300	長・35.6。幅・17.5。厚・18.5	礫の両小口側及び上面側が磨滅する。	

第62号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
161-1 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 粗粒砂・白色鉱物・チャート	外傾する口縁部。多条原体を羽状施文する。	接・無し
161-2 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子・細砂粒	外傾する口縁部。多条LR原体を横転施文する。	接・無し
161-3 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。暗赤褐2.5YR3/3 含繊維・白色粒子	口唇部は平坦。地紋にLR原体を横位に施文する。	接・無し
161-4 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。橙YR6/6 含繊維・細砂粒	口縁部は丸味を帯びる。RL原体を横転施文する。	接・無し
161-5 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐5YR3/3 含繊維・細砂粒・山土	地紋にLR原体を横位に施文する。	接・無し
161-6 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐5YR4/8 含繊維・白色微粒子	地紋にLR原体を横位に施文する。	接・無し
161-7 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。灰白2.5YR8/2 含繊維・白色微粒子	外反する口縁部。RL原体を横転施文する。	接・無し

第62号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
161-8 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.2	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・夾雑物少	RL 原体を横転施文する。	接・無し
161-9 156-15	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・0.6	酸化・並。2.5撚糸6/6 金雲母・細砂粒	異条縄文 RL (L + R + R) 原体を施文する。	接・無し
161-10 156-15	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維	外傾する口縁部。RL・多条 LR 原体による羽 状縄文を施文する。	接・無し
161-11 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 粗粒砂・白色鉱物・チャート	外傾する口縁部。多条原体を羽状施文する。	接・無し
161-12 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 含繊維・白色微粒子・細砂粒	多条原体を羽状施文する。	接・無し
161-13 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
161-14 157-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
161-15 157-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.2	酸化・並。2.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	撚糸 L を軸原体として無節 R を付加して施文 する。161-24 と同一個体。	接・無し
161-16 157-2	縄文土器 深鉢	覆土 底部破片	底・(9.2) 厚・0.9	酸化・並。7.5YR5/6 含繊維・夾雑物少	無節縄文による羽状縄文を施す。	接・無し
161-17 156-15	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	口縁部は直立気味。地文に多条羽状縄文を施 文し、口唇直下に半裁竹管の平行沈線を施文。	接・無し
161-18 157-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	地文に多条羽状縄文を施し、半裁竹管による 平行沈線文を施文する。	接・無し
161-19 15-2	縄文土器 深鉢	床直層 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/6 含繊維・白色微粒子	羽状縄文 (?) を施文する。	接・無し
161-20 157-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/8 含繊維・白色微粒子	絡条体 3 R 原体を施文する。 161-22 と同一個体。	接・無し
161-21 157-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	付加条第 2 種 LR + 2R を施文する。	接・無し
161-22 157-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	絡条体 3R 原体を施文する。 161-19 と同一個体。	接・無し
161-23 157-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	付加条第 2 種 RL + R + L 原体・LR + L + R 原体を施文する。	接・無し
161-24 157-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。明赤褐2.5YR5/8 含繊維・白色微粒子	撚糸 L を軸原体として無節 R を付加して施文 する。161-15 と同一個体。	接・無し
161-25 157-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。5YR6/8 含繊維・細砂粒	付加条 L + R 原体を施文する。	接・無し
161-26 157-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。黒褐7.5YR2/2 含繊維・白色微粒子・砂粒	半裁竹管による平行沈線を綾杉施文する。	接・無し
161-27 157-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐5YR4/6 含繊維・白色微粒子	コンパス文と、半裁竹管による平行沈線文を 施文する。	接・無し
161-28 157-2	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 含繊維・白色微粒子・砂粒	横位の棒状沈線文を施文する。	接・無し
161-29 156-10	石器	覆土 完存	ホルンフェルス 重・259	長・11.0。幅・5.7。厚・3.2	上面に礫面を残す。右側部に刃部加工が認め られる。	
161-30 156-14	石器 剥片石器	覆土 完存	ホルンフェルス 重・127	長・10.5。幅・4.9。厚・1.6	横長剥片に刃部加工を施すが、打製石斧使用 も考慮される。	
162-1 156-11	石器 叩石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・508	長・9.3。幅・7.6。厚・4.8	両面の坦面側が磨滅し、側部は敲打使用が顕 著。小口は叩き使用後平坦に成るように磨く。	
162-2 156-12	石器 擦石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・438	長・9.5。幅・6.9。厚・5.0	裏面の平坦面側が磨滅し、中央部に集中打痕 を残す。	

第60号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
163-1 157-2	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.6	酸化・並。褐10YR4/6 含繊維・白色微粒子	無節 RL 原体を縦転施文する。	接・7点
163-2 157-3	縄文土器 深鉢	床直 破片	底・(6.4)	酸化・並。鈍橙5YR6/4 含繊維・細砂粒	底部は上げ底。RL 原体を横転施文する。	接・無し

第63号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
164-1 157-6	縄文土器 深鉢	埋甕1	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 砂粒・白色鈹物	深鉢のくびれ部を利用する。 懸垂文内はRL原体を充填する。	接・30点
165-1 157-5	縄文土器 深鉢	埋甕2 破片	径・31.9	酸化・並。灰白5YR8/2 白色粒子・赤褐色・角粒粗粒砂	波状隆帯区画内にLR原体を充填。	接・17点

第65号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
166-1 157-7	土師器 坏	覆土 小片	口・(11.2)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 軽。褐粒少、鈹物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削、撫、 体部に型膚。口縁部周辺は横撫整形。	接・2点
166-2 157-10	須恵器 坏	床直 1/3	口・(13.0) 底・(8.0)	還元。硬。灰N5/0。並。やや重。 白粒、鈹物多、他鈹物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削。口縁部 に重ね焼きの色変。	接・3点 笠懸
166-3 157-8	須恵器 坏	床直 底部片	底・7.6	還元。硬。灰N5/0。密、重。 白鈹物、他鈹物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削。削目の回転速い。	太田か
167-1 157-11	須恵器 蓋	覆土+竈内 1/2	口・(18.0)	還元。軟。灰N6/0。粗、軽。 黒粒多、白粒微、鈹物少。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削。端は 尖り、轆轤目多。丁寧な作調。	接・9点 粘
167-2 157-9	須恵器 坏(墨書)	堀方埋土 底部2/3	底・8.0	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。白粒含、他鈹物少。	底部は回転糸切り後周辺を回転篋削。 底面に墨書「メ」かあり。	墨書-13 笠懸か
167-3	須恵器 甕	覆土 破片	厚・1.4	還元。硬。灰7.5YR5/1。密、 やや重。白鈹物、白粒多、他含。	外面には平行叩きの繰り返し、内面宛具は素 文。破片の再利用か、内面中央摩耗大。	太田

第66号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
168-1 157-12	土師器 坏	堀方埋土 破片	口・(12.0)	酸化。硬。鈍黄橙10YR6/4。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削、体 部に型膚。口縁・内面は横撫。外面燻かかる。	接・2点
168-2 157-13	土師器 甕	床直層+覆土 破片	口・(12.1)	酸化。並。橙5YR6/6。 並、軽。鈹物含。	「コ」の字状口縁。胴部・肩部は斜位篋削。 口縁部は横撫。	接・2点
168-3 157-14	土師器 甕	覆土 底部片	底・4.8	酸化。並。暗赤褐5YR3/2。 並、白粒含、鈹物少。	外面は篋削。底面は篋削。内面は撫整形。内 外面に燻あり。器面極めて薄い。	接・6点
168-4 157-15	須恵器 坏	覆土 底部片	底・8.0	還元。締。灰7.5YR5/1。 密、重。白鈹物含、他鈹物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削。内外面に重ね焼き色変。	太田か
168-5	須恵器 坏	覆土 破片	口・(11.9) 底・(7.5)	還元。締。灰N5/0。密、重。 白鈹物微、他鈹物微。	口縁部は肥厚する。轆轤成形。底部平滑である が高台付きか平底か不明。	埼玉搬入
168-6 157-16	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(12.8) 底・(7.9)	酸～還。軟。灰黄2.5Y6/2。 並、軽。鈹物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削。口縁部付近に重ね焼き色変。	笠懸か
168-7	須恵器 境内黒	堀方埋土 底部片	基・7.5	酸化。硬。橙5YR6/6。並、 やや軽。白、褐粒含、他少。	内面に研磨えお施すし黒色吸炭化。底面に轆 轤右回転回転糸切後、高台貼付。割れ口消耗。	
168-8	須恵器 蓋	覆土 破片	口・(17.0)	還元。締。灰N5/0。密、重。 白鈹物微、他鈹物微。	轆轤成形。上半部は回転篋削。内外面轆轤目 多い。重ね焼き色変。	県外か西 毛。陶
169-1 157-17	土製品 土錘	覆土 2/3	重・8.49	酸化。硬。橙7.5YR7/6。並、 やや重。白、褐粒微、他微。	鈹物は殆ど含まず、外面滑らか。半欠は旧時 欠損。割れ口の消耗少ない。	
169-2 157-18	土製品 土錘	覆土 1/4	重・3.84	酸化。硬。赤灰2.5Y4/1。並、 やや重。鈹物は殆ど無し。	半欠の割れ口に穿孔見え、直線的でほぼ同径、 挿入条線あり。少し吸炭。	粘
169-3 157-19	石製品 基石か	覆土 完形	砂岩 重・	径・2.0。厚・0.5。	素材は川原石で、表裏面手ずれ様の光沢があ り。自然光沢とは異なる。	
169-4	竈袖材か	覆土 破片	長・6.9+ α 重・215	酸化。軟。鈍橙7.5YR7/3。 粗、軽。粘土粒多、シルト質。	欠損後、図化平面上方小口を除き被熱あり。 各図の旧部は図中拓影部のみか。	
169-5	竈袖材か	覆土 破片	長・4.9+ α 重・125	酸化。軟。灰褐7.5YR6/2。	使用面は表面と左側部に被熱変色あり。割れ 口は消耗大。	

第67号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
170-1 157-20	土師器 坏	覆土 小片	口・(11.0) 底・(4.6)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 粗、軽。褐粒微、鈹物少。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削、体 部に型膚少。口縁部・器内面は横撫整形	
170-2 157-21	土師器 甕	床直 破片	口・(19.8)	酸化。硬。赤褐2.5YR4/8。 並。白粒多、鈹物少。	「コ」の字状口縁。横撫か内面と外面頸部ま であり。外面体部側は篋削あり。	接・2点

第67号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
170-3 157-22	土師器 甕	覆土 破片	口・(20.3)	酸化。並。橙2.5YR6/8。並、 やや重。金雲母、褐粒含。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口 縁部は接合痕2箇所、横撫、指圧痕あり。	接・2点
170-4 157-23	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(21.0)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。 並、やや重。金雲母、褐粒含。	口縁部下部外面に幅広の工具の凹み、多くの 指圧痕。さらに、内外面に横撫。赤味強い。	接・2点
170-5	土師器 鉢か	床直層 破片	底・(9.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 褐粒含、他鉱物少。	鉢の底部片か。丸底気味で外面に黒色斑あり。 外面篋削と篋削。内面篋撫。	
170-6	須恵器 坏(墨書)	覆土 口縁部片	口・(12.4)	還元。並。灰5Y5/1。密、 やや重。白粒含、他鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部欠損のため め切り離し技法不詳。墨書「主」の一部か。	笠懸か 墨書-14
170-7 157-24	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(11.4) 底・(7.0)	還元。締。灰N5/0。密、重。 白粒微、鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。重ね焼き色変。	接・2点 太田か
170-8 157-25	須恵器 坏	覆土 完形	口・12.6 底・6.3	還元。並。灰5Y5/1。密、重。 白粒含、鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面は使用摩耗あり。	接・3点 太田か
170-9 157-26	須恵器 坏	床直層 1/2	口・12.6 底・6.8	還元。並。灰5Y6/1。並。 白粒含、鉱物含。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面少し摩耗し平滑。	太田か 県外か。
170-10 157-27	須恵器 坏	覆土+堀方埋土 1/2	口・(13.1) 底・(7.0)	還元。並。灰10Y5/1。密、 やや重。白粒多。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。少し歪む。	接・3点 太田か
170-11 157-28	須恵器 坏	覆土 小片	口・(13.2) 底・(6.5)	還元。締。灰赤2.5YR4/2。 白鉱物含、他鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面少し燻かかる。	接・3点
170-12 157-29	須恵器 坏	堀方埋土 1/4	口・(13.6) 底・(8.0)	還元。並。灰N6/0。密、 やや重。白鉱物微、他極微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。胎土の目積み特異。	県外か
170-13 157-30	須恵器	覆土+堀方埋土 2/3	底・(8.6)	中性。軟。灰黄2.5YR6/2。 粗、軽。褐大粒含、鉱物含。	口縁部欠損。轆轤成形(回転方向不明)。底部 は手持ち篋削り。内外面燻かかる。	接・2点 粘
170-14 157-31	須恵器 坏	床直 2/3	口・12.6 底・6.6	還元。並。灰7.5Y6/1。密、 やや軽。白粒含、鉱物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。体部内面の轆轤目瞭。	接・3点 笠・太か
170-15 157-32	須恵器 埴	覆土 底部片	底・7.8	中性。並。暗赤褐5YR5/3。 並。やや重。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。高台は付け高台。	笠懸か
170-16 158-1	須恵器 皿	覆土 2/3	高・(13.8) 底・8.0	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 並、軽。鉱物多。	轆轤成形(右回転)。高台は付け高台。底面は 回転糸切り後、撫で整形を加える。	粘
170-17 158-2	須恵器 埴	覆土 底部片	底・7.5	還元。硬。灰5Y6/1。密、重。 黒粒含、他鉱物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削り。高台は付け高台。胎土精緻。	陶 県外か
171-1	須恵器 蓋	覆土 破片	口・(19.0)	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並、 軽。黒色、白粒含、鉱物少。	轆轤成形割れ口消耗。内面使用摩減か。	粘
171-2 158-3	土師器 坏内黒	覆土 3/4	口・14.2 底・8.2	酸化。硬。鈍橙5YR7/4。 並、やや重。鉱物少。	口縁部に粘土帯あり。内面に暗文。外面に指 頭痕。内黒は一部外面に及ぶ。	接・11点
171-3 158-4	須恵器 坏内黒	覆土 1/3	底・(10.0)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並、重。白粒、灰色鉱物含。	轆轤成形。内外面に研磨。内黒処理見えず。 被熱感薄い。外面に下地篋削。	接・2点
171-4	須恵器 埴	覆土 破片	口・(22.0)	酸。並。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。白粒、褐粒含、鉱物少。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨を施すが黒色 燻かからず本来的。外面に篋削、撫少。	
171-5	須恵器 坏	覆土 破片	厚・0.2~0.3	還元。軟。灰白2.5Y7/1。並、 やや重。針状鉱物多、他極少。	胎土中に1.5ミリ前後の針状鉱物を多量(28個 以上)含む。轆轤成形。割れ口消耗少。	9・10C 埼玉
171-6 158-5	土製品 土錘	覆土 完形	長・5.6 重・16.26	酸化。硬。灰7.5Y4/1。並、 やや重。鉱物粒殆ど見えず。	外面平滑であるものの小ハゼあり。穿孔小さ い。外面黒色燻され気味。	
171-7 158-6	土製品 土錘	覆土 1/3	重・4.74	酸化。硬。橙7.5YR7/6。 並、やや重。鉱物極少。	手前小口は旧時欠損。奥小口と、側部際に 篋削後撫整形あり。割れ口の消耗少。	
171-8 158-7	土製品 土錘	覆土 1/3	重・3.23	酸化。硬。褐灰7.5YR4/1。 並、やや重。鉱物極少。	手前小口は旧時の欠損。割れ口消耗あり。表 面滑らか。穿孔少し太い。	
171-9 158-8	土製品 土錘	覆土 1/2	重・6.25	酸化。硬。橙7.5YR7/6。 並、やや重。鉱物極少。	外面には平滑。穿孔直線的で小径。小口面旧 欠。割れ口少し消耗。	

第68号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
172-1 158-9	土師器 坏	覆土 1/4	口・(11.0)	酸化。軟。赤褐2.5Y4/6。並、 やや重。白粒、褐粒少、他微。	口縁部は内湾する。型作り。底部は篋削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	
172-2 158-10	土師器 坏	堀方埋土 破片	口・(12.0)	酸。並。明赤褐10YR7/6。並、 やや軽。白、褐粒含、鉱物少。	型作り。底部は篋削、体部に型膚。口縁部・ 器内面は横撫整形。割れ口少消耗。	接・点2
172-3 158-11	土師器 坏	覆土 1/2	口・(12.6) 底・(8.8)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、やや重。鉱物多。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	粘、陶

第68号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
172-4 158-12	土師器 坏	床直 1/4	口・(13.5)	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。並、 やや重。白、褐粒、鈹物含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
172-5 158-13	土師器 坏	床直 1/2	口・(13.8) 底・(10.8)	酸化。並。橙5YR6/6。 並、軽。褐粒微、鈹物含。	口縁部は内湾気味。底部は篋削、体部に型膚。 口縁部・器内面は横撫整形。体部外面に指撫。	接・2点 粘
172-6 158-14	土師器 坏暗文	覆土 1/2	口・(13.8) 底・(8.2)	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 並、軽。褐粒、鈹物多。	内面放射状暗文あり。型作。底部は篋削。体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	粘、陶
172-7 158-15	土師器 坏暗文	覆土+堀方埋土 一部欠損	口・13.8 底・8.8	酸化。並。橙7.5YR7/6。 密、重。鈹物含。	内面放射状暗文あり。型作。底部は篋削。体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・4点 粘、陶
173-1 158-16	土師器 坏	堀方埋土 1/2	口・13.6 底・10.0	酸化。硬。鈍黄橙10YR6/4。 並、軽。白、褐粒含、鈹物少。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
173-2 158-19	土師器 甕	覆土 小片	口・(12.3)	酸化。並。鈍褐7.5YR5/3。 並。やや軽。白粒含、鈹物多。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口 縁部は横撫。	
173-3 158-20	土師器 甕	堀方埋土 小片	口・(16.1)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並。やや重。白、褐粒含、他少。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口 縁部は横撫。	接・2点
173-4 158-17	土師器 甕	竈覆土 小片	口・(19.0)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 軽。白、褐粒含。	口縁部は接合痕。外面は篋削。内面は篋撫。口 縁部は横撫。	接・2点
173-5 158-18	土師器 甕	堀方埋土 小片	口・(22.0)	酸化。並。暗赤褐5YR5/4。 並。金雲母、鈹物少。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口 縁部は横撫。	
173-6 158-21	土師器 台付甕	堀方埋土 台部片	底・(9.9)	酸化。並。暗赤褐5YR5/4。 並。やや軽。褐粒含、他少。	台部内外面横撫。底部まで撫は続く。吸炭あ り。甕部内面に撫。	接・3点
173-7 158-22	土師器 台付甕	覆土 台部片	底・(10.1)	酸化。並。暗赤褐5YR5/4。 並。軽。細鈹物含。	台部外面に撫。内面に撫。底面細砂付着。甕 内部底面に撫。内外面に被熱吸炭。	接・2点
173-8 158-23	土師器 台付甕	覆土 台部片	基部・(5.0)	酸化。並。宇底・2.5YR6/6。 並。軽。白粒含、鈹物少。	台部内外面横撫。台部外面と外面底に細砂付 着。外面に被熱吸炭。甕部内面篋撫。	接・2点
173-9 158-24	須恵器 坏	覆土 完形	口・13.4 底・7.3	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。黒褐粒含。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後、周辺を回転篋削。	粘、陶 笠懸か
173-10 158-25	須恵器 坏	覆土 2/3	口・13.5 底・7.9	中性。並。鈍黄橙10YR7/2。 並。やや軽。白粒、鈹物含。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り後、 部分的に周辺を回転篋削。	接・5点 笠懸か
173-11 158-26	須恵器 坏	床直 1/2	口・(13.4) 底・7.7	中性。並。灰白5Y7/2。 並。軽。白粒、鈹物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後周辺を篋削。焼成色変あり。	接・2点 笠懸か
173-12 158-27	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(11.2) 底・(6.8)	還元。硬。灰10YR5/1。 並。やや重。白粒含、他微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削目あり。 口縁部に重ね焼き色変あり。底部に挽出の稜。	笠懸か
173-13 158-31	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(11.4) 底・5.7	中性。並。灰褐5YR5/2。 密、重。白粒含、鈹物微。	口縁部はする。底部は回転糸切り。重ね焼き 色変。内面使用の平滑さあり。	太田か
173-14 158-28	須恵器 坏	覆土 破片	口・(16.0)	還元。軟。灰白5Y7/1。並。 やや軽。白粒含、鈹物少。	口縁部は灰褐する。轆轤成形(右回転)。底部 欠損のため切り離し技法不詳。	笠懸か
173-15 158-33	須恵器 坏	覆土 1/2	底・(8.2)	還元。並。灰5Y6/1。並。 白、灰粒含、他鈹物少。	口縁部は欠損する。底部は回転篋削。底部際 に挽出の稜あり。内外面消耗。	接・2点 笠懸か
173-16 158-29	須恵器 坏内黒	覆土+堀方埋土 2/3	口・13.0 底・6.6	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。鈹物含。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨を施す。 底部回転糸切り。	接・8点 粘、陶
173-17 158-30	須恵器 坏内黒	覆土 2/3	口・(12.8) 底・7.1	酸化。並。鈍黄橙10YR6/4。 並。軽。鈹物微。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨を施す。底部 は手持ち篋削。外面に淡黄斑あり。	粘
173-18 158-32	須恵器 坏内黒	堀方埋土 小片	口・(15.6)	酸化。硬。暗赤褐5YR4/4。 並。軽。白粒含、鈹物微。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨を施す。外面 に轆轤目を残す。高台欠損。	接・2点
174-1	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(7.4)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。白、褐粒、鈹物含。	底部は右回転糸切り、さらに、不明墨書あり。 内面に密な研磨あり。少し摩擦。	墨書-15 粘
174-2	須恵器 坏	床直層 底部片	底・(8.0)	還。並。鈍褐7.5YR6/3。並。 やや重。白、褐粒、他鈹物多。	底面に轆轤右回転の糸切り後周辺回転篋削。 さらに墨字で「主」。割れ口少し消耗。	墨書-16 粘
174-3	須恵器 坏	堀方埋土 底部片	底・(7.2)	還。軟。鈍黄橙7.5YR7/4。並。 やや重。白含、褐少、鈹物微。	底部右回転篋削。さらに「主」墨字あり。外 面に少し燻かか。	粘、陶 墨書-17
174-4	須恵器 坏	堀方埋土 口縁部片	厚・0.3	還元。並。灰7.5YR6/1。 並。軽。白粒含、鈹物少。	口縁部内外面、轆轤の回転条痕。外面に黒色 漆付着。割れ口消耗あり。漆黒味強い。	
174-5 158-35	須恵器 蓋	床直 1/2	摘径・3.6	酸化。並。暗赤褐2.5YR4/4。 並。やや重。褐粒含、他少。	内面に研磨あるが内黒処理なし。外面に轆轤 右回転篋削。外面に黒斑あり。作調丁寧。	接・5点 笠懸か
174-6 158-36	須恵器 蓋	覆土 1/2	口・(17.1)	還～酸。並。鈍橙7.5YR6/4。 並。白、褐粒含。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削。 摘部欠損。内外面塊重ね焼き色変。	笠懸か
174-7 158-34	須恵器 蓋か	床直 小片	上部径・(8.0)	還元。硬。灰黄2.5YR7/2。 並。やや軽。黒褐粒含、鈹物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。上部 平部は回転篋削。割れ口少し消耗。	笠懸か

第68号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
174-8 158-38	施釉陶器 灰釉瓶	覆土 小片	口・(9.0)	酸。締。暗赤褐2.5YR5/3。 密、重。鉍物少。	内外面に轆轤目あり。外面に自然釉。胎土あ ずき色。接合法は胴部側が薄いのので3段か。	東海
174-9	須恵器 瓶	床直 破片	底・(9.7)	還元。締。青灰5PB5/1。密、 重。白鉍物含、他少。	轆轤成形(回転方向不明)。高台貼付。割れ口 の芯やアズキ色かかる。	接・2点 太田か
174-10 158-37	須恵器 瓶	覆土 1/3	底・(11.4)	還元。硬。灰N5/0。密、重。 白粒含、他鉍物微。	紐作後轆轤整形。下方の回転筺削は轆轤右回 転。割れ口に紐作痕。	接・2点 太・笠か
174-11 158-39	須恵器 瓶	覆土 底部片	底・(8.4)	還元。締。灰白7.5Y8/2。 密、重。鉍物粒見えず。	外面に右回転筺削後の轆轤目、内面には工具 による再調整。高台貼付。割れ口旧時。	東海
174-12 158-40	須恵器 円面硯	堀方埋土 2/3	径・11.7	還元。硬〜締。灰N5/0。 チャート、石英含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。内面摩耗光沢。墨液らし き黒味あり。裏面摩耗微。脚欠研磨後再用。	太田か

第69号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
175-1 159-7	須恵器 高坏	被覆土 1/2	口・(17.0) 底・(12.4)	還元。締。灰白7.5Y7/1。並。 やや軽。黒粒含、粘。	坏部は、坏蓋と疑似形。坏部中位に右回転の 筺削目あり。脚内面に絞目、外面に轆轤目。	接・3点 焼後筺削
177-1 159-1	土師器 坏	堀方埋土 1/2	口・(13.0) 底・(6.5)	酸化。並。鈍黄橙10YR7/4。 並。軽。鉍物含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は筺削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・3点 粘
177-2 159-6	土師器 甕	堀方埋土 小片	口・(19.2)	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 軽。白、褐粒含、鉍物少。	口縁部は外反。外面は筺削。内面は筺撫。口 縁部は横撫。	
177-3 159-2	須恵器 坏	床直 1/2	口・(12.4) 底・(7.6)	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。白粒、鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後筺整形。底部際回転筺削。	接・2点 太田か
177-4 159-4	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(12.6) 底・7.7	還元。並。灰5Y5/1。密、 やや重。白粒、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転筺削整形。裏面傷と研磨平滑。	笠懸か
177-5 159-5	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(12.9) 底・(6.7)	還元。並。灰5Y6/1。並。 やや重。白粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転筺削を底部周辺に施す。	接・5点 笠懸か
177-6	須恵器 坏(墨書)	床直 底部片	底・5.0~6.0	還元。軟。オリーブ灰10Y6/1。 並。軽。褐粒多、鉍物含。	底面回転、部分的に不定方向平滑。内面に墨 字不明あり。割れ口消耗。	墨書-18 粘
177-7	須恵器 坏内黒	覆土 破片	口・(17.0)	酸化。硬。鈍褐7.5YR5/4。 並。やや重。白、褐粒含、他少。	轆轤成形。内面に研磨を施す。口縁部外面に から下方に沈線一条あり。	接・2点
177-8 159-3	須恵器 坏内黒	堀方埋土 底部片	底・(9.1)	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4。 並。褐粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨内黒。底面に 回転筺削あり。割れ口少し消耗。	接・3点
177-9	須恵器 大形碗か	覆土 体部片	厚・0.9	酸化。並。橙7.5YR6/6。 並。軽。金雲母、白粒含、他少。	大形器。内面に横と斜山形の研磨あり。内黒 しかり。外面に裏面の回転糸痕あり。	

第82号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
178-1 159-8	土師器 坏	堀方埋土 1/4	口・(11.6) 底・9.0	酸化。並。暗赤褐2.5YR5/3。 並。褐粒含、鉍物少。	型作り。底部は筺削、体部に型膚。口縁部・ 器内面は横撫整形。内外面少し吸炭。	接・7点
178-2 159-9	土師器 坏	堀方埋土 1/2	口・(11.8)	酸化。並。鈍橙7.5YR6/6。 赤褐粒含、鉍物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は筺削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・点14
178-3 159-10	土師器 坏(墨書)	堀方埋土 1/2	口・(13.6)	酸化。硬。鈍橙5YR6/4。並。 金雲母、褐粒含、鉍物含。	型作り。底部は筺削、体部に型膚。口縁部付 近は横撫内面暗文。	接・3点 墨書-19
178-4	土師器 甕	堀方埋土 破片	口・(14.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。軽。白、褐粒含、他少。	口縁部は外反。外面は筺削。内面は撫。口縁 部は横撫、外面に少し黒ずむ。	
178-5	土師器 甕	堀方内 破片	口・(23.2)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。白、褐粒含。	口縁下外面に指圧痕。外面は筺削。内面は筺 撫。口縁部は横撫。	接・点6
178-6 159-12	土師器 甕	堀方内 破片	底・(6.0)	酸化。並。鈍黄橙10YR6/4。	肩部破片。器厚は薄い。外面は斜位の筺削。 外面被熱変色。	接・11点
179-1 159-13	土師器 甕	床埋設 一部欠損	口・22.8 底・6.3	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 粗、軽。茶褐粒鉍物含。	接合面2カ所。型作か。外面にはササラ状の 筺削。内面は筺撫。内面に漆しかり付着。	漆塗工具 痕見える
179-2 159-11	須恵器 坏	堀方内 3/4	口・13.2 底・7.8	中性。並。鈍橙5YR6/4。 密、やや重。白粒含。	口縁部は外傾する。底部は回転糸切り後回転 筺削整形。内外面に重ね焼き色変。	接・3点 笠懸
179-3 159-14	須恵器 坏	堀方埋土 2/3	口・(13.5) 底・8.3	還〜中。軟。鈍黄橙10YR7/2。 並。やや重。白、褐粒含、他少。	底面は轆轤右回転糸切後、周囲に回転筺削。 内面に不明墨字あり。割れ口消耗。	墨書-20 笠懸か
179-4 159-15	須恵器 坏(墨書)	堀方埋土 2/3	口・(12.7) 底・8.3	還元。軟。鈍黄橙2.5YR6/3。 粗、軽。小礫、鉍物多。	底面に轆轤右回転筺削。さらに不明墨字あり。 軟質のためか器面全体に消耗気味。	墨書-21

第82号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
179-5 159-17	須恵器 埴	堀方埋土 破片	底・(8.0)	還元。硬。灰白N7/0。密、 重。白粒含、鉾物多。	高台は付け高台。底部は右回転糸切り後、撫 整形。内外面に火禿あり。	太田か
179-6 159-16	須恵器 台付盤	堀方埋土 1/3	底・(15.0)	中性。軟。灰白5YR7/1。粗。 軽。白、褐粒微、鉾物少。	轆轤成形(右回転)。極めて軟らかく消耗大。 重ね焼き色変状態は、同級様の規模あり。	接・11点

第70号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
181-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.1)	酸化。並。鈍橙5YR6/4。並。 やや軽。金雲母微、鉾物微。	口縁部は外傾する。型作り。底部は篋削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形	接・2点
181-2 159-18	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.2)	中性。軟。灰黄2.5YR6/2。並。 軽。白、褐粒含、鉾物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。口縁部に重ね焼き色変。	粘
181-3 159-19	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.2) 底・(9.0)	還元。軟。灰黄2.5YR6/2。 並。軽。白鉾物、鉾物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。割れ口、器面消耗。	笠懸か

第71号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
182-1	須恵器 坏	覆土 破片	口・(11.2) 底・(7.0)	還元。縮。灰N6/0。密、重。 白粒多、鉾物少。	口縁部外面に重ね焼き色変。底部轆轤右回 の篋削目あり。	太田か
182-2	須恵器 坏	竈覆土 破片	口・(11.0)	還元。硬。灰5Y5/1。並。軽。 白粒含、鉾物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。外面 に重ね焼き色変。	接・2点 粘
182-3 159-22	須恵器 坏	覆土 小片	底・(8.0)	還元。並。鈍黄2.5YR6/3。 並。重。褐粒、鉾物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面に少し吸炭。	
182-4 159-23	須恵器 坏内黒	覆土 1/2	口・(18.8) 底・(8.2)	酸化。並。鈍橙7.5YR7/4。 並。軽。白、褐粒微、シルト質。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨。底面H糸切 後、篋整形(回転か不明)外面下半回篋削。	接・9点

第72号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
183-1 159-21	土師器 坏	竈覆土 破片	口・(13.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並。軽。褐粒、鉾物含。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2点
183-2 159-20	土師器 坏	竈覆土 1/3	口・(14.2)	酸化。並。暗赤褐5YR5/4。 並。褐粒微、鉾物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形	接・2点
183-3 159-24	土師器 甕	覆土 ...	口・(20.4) 底・(21.6)	酸化。硬。5YR6/6。並。 白粒含、褐粒少、鉾物少。	外面は篋削。内面はササラ状の篋撫。口縁部 は横撫。外面上方煤付着。	接・6点
184-1	土師器 甕	覆土 破片	口・(21.0)	酸化。並。鈍橙7.5YR6/4。 並。やや軽。白、褐粒含、他少。	口縁部は外反。外面は篋削。内面は篋撫。口 縁部は横撫。器面消耗。	接・3点
184-2 160-1	土師器 甕	堀方埋土 破片	口・(21.1)	酸化。硬。暗赤褐5YR5/4。 並。軽。褐粒、鉾物含。	外面はササラ状の篋削。内面は篋撫。口縁部 は横撫。最下部接合面。	接・2点
184-3	土師器 甕	覆土 破片	口・(21.8)	酸化。硬。鈍褐7.5YR5/4。 並。軽。白、褐粒含、鉾物少。	外面は篋削。内面はササラ状の篋撫。口縁部 は横撫。	接・3点
184-4 159-25	土師器 甕	竈+堀方埋土 胴部	底・(4.6)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 軽。褐粒含、鉾物少。	外面篋削。内面篋撫、撫。部分的に被熱変色。 内面に接合痕。底面篋削。	接・12点
184-5 159-27	須恵器 坏	覆土 完形	口・12.7 底・7.7	還元。並。灰7.5YR5/1。 密、重。白鉾物多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削。外面底部際も回転篋削。	太田か
184-6 159-26	須恵器 坏	覆土 完形	口・12.4 底・7.7	還元。並。灰7.5YR5/1。 密、重。白鉾物多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削。底面に墨書「保」か。	墨書-22

第73号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
185-1 160-4	土師器 坏	竈+竈内 ほぼ完形	口・12.2 底・8.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4。 並、やや重。白色粒含、鉾物微。	口縁部は内湾気味。底部は篋削り、体部に型 膚口縁部・器内面は横撫で整形内面に煤付着。	8片
185-2 160-8	土師器 甕	竈+竈内 1/2台欠	口・13.6	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4。 並、やや重。白色粒微。	「コ」の字状口縁。型作り。口縁部下に紐作 痕。胴部・肩部は斜位の篋削、口縁部は横撫。	接・41片
185-3 160-5	土師器 台付甕	覆土+床層 脚部1/2	高・(3.15) 脚端・(8.6)	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4。 並、軽。鉾物含。	内・外面に横撫あり。甕部との割れ口は旧時 欠損。	4片

第73号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
185-4 160-6	土師器 台付甕	竈覆土 脚部片	脚端・14.2	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3。 並、やや重。鉍物含。	付高台部を竈調整後、回転撫を加える。全体に被熱煤、燻付着。	
185-5 160-7	土師器 台付甕	竈覆土 脚部片	高・(3.9) 脚端・7.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3。 並、やや重。鉍物含。	付高台部を竈調整後、回転撫を加える。全体に被熱煤、燻付着。	4片
186-1 160-2	土師器 甕	竈+竈内 一部欠損	口・21.0 底・4.6	酸化・並。明赤褐5YR5/7。 並、やや軽。白色粒微、鉍物微	口縁部粘土帯、体部中央接合面。型作り。外面は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	接・97片 被熱色変
186-2 160-3	土師器 甕	覆+竈付近床直 ほぼ完形	口・20.2 底・5.0	酸化・硬。鈍褐7.5YR7/3。 並、やや重。鉍物少。	口縁部下に粘土帯。型作り。外面は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫で、外面煤付着。	接・105片 粘
186-3 160-9	土師器 甕	竈+竈内 ほぼ完形	口・22.0 底・4.6	酸化・硬。橙5YR6/6。並、 やや重。白色・褐粒含、鉍物少	口縁部粘土帯不明。型作り。外面は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。接合面3。	接・87片
186-4 160-10	土師器 甕	竈+竈付近床直 一部欠損	口・19.6 底・3.7	酸化・並。橙7.5Y6/6。並、 やや重。褐粒少、鉍物含。	口縁部粘土接合。型作り。胴部縦の篋削り、肩は斜の篋削り、口縁部横撫で。外面少し被熱。	接・71片
187-1 160-11	土師器 甕	床直+竈付近床直 一部欠損	口・23.0 底・31.2	酸化・硬。橙5Y6/6。並、 やや重。白色・褐粒、鉍物微。	「コ」の字状口縁。型作り。胴部縦位の篋削り、肩部斜位の篋削り、口縁部横撫で。外面煤付着。	接・48片
187-2 161-1	土師器 甕	竈覆+竈付近床直 1/4	口・20.2	酸化・軟。鈍黄橙10YR6/4。 並、やや重。鉍物含。	口縁部粘土帯不明瞭。器外面は篋削り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接・33片 被熱色変
187-3 160-12	土師器 甕	覆+竈付近床直	口・21.2	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4。 並、やや重。白色粒含。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、器内面下半はハゼ剥落。口縁部は横撫、口縁部粘土帯あり。	接・70片 下半被熱
187-4 161-2	土師器 甕	竈付近床直+覆 1/4	底・4.6	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3。 並、やや重。鉍物少。	型作りか。器外面は篋削り、器内面は篋撫。外面に煤少。内面にハゼ剥落。接合面1ヶ所。	接・20片 粘
187-5 160-14	須恵器 坏	床直 2/3	口・12.8 底・6.0	還元・硬。灰10YR5/1。密、 やや軽。白色鉍物多、他少。	口縁部は外反。底部は右回転糸切り。器内薄い。内面使用消耗あり。	接・5片 太田か
187-6 160-15	須恵器 坏	床直 1/4	口・(13.1) 底・(7.4)	還元・並。灰オリーブ5Y6/2。 密、やや重。白色粒含、他鉍物少。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削り。口縁部周辺重焼色変。	笠懸
187-7	土師器 坏・墨書	覆土 口縁部片		酸化・硬。橙5YR6/6。並、 軽。褐粒少、他鉍物少。	外面に横撫、篋削り、横撫、墨字不明あり。内面に横撫、全体に消耗ほとんどなし。	墨書-23
187-8 161-3	石器 磨石	床層 完形	粗粒輝石安山岩 588g	長・18.4。巾・5.6。厚・3.9。	側部に部分的な剝離が認められる。上端側に吸炭が認められる。	

第74号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
188-1 161-8	土師器 甕	覆土 破片		酸化・硬。鈍赤褐5YR5/3。 並、やや軽。鉍物微。	外面、篋削り後の撫、内面刷毛目様の篋撫。外面燻され、被熱のためか。	接・2片
188-2 161-4	土師器 甕	覆土+床直 1/2	口・19.5	酸化・並。鈍赤褐2.5YR4/4。 並、やや重。白色・褐鉍物含。	型作りか。口縁部粘土帯。器外面は篋削り、器内面は篋撫で。下半に再褐粘土貼りあり。	接・43片 煤付着
188-3 161-5	土師器 甕	竈覆土 破片	最・(23.3)	酸化・並。橙5YR6/6。並、 やや重。褐粒、鉍物含。	器厚は薄く接合面1ヶ所。器外面は縦位方向の篋削りを施す。内面にハゼ少。外面煤。	接・14片
188-4 161-6	須恵器 坏・墨書	床直 完形	口・12.4 底・7.0	還元・並。灰白2.5YR5/6。 やや重。灰・黒鉍物含、他少。	底面に轆轤右回転の糸切。口縁部下外面に重焼色変あり。体部外面に不明墨字あり。	粘・陶 墨書-24
188-5 161-7	須恵器 坏	覆土 坏	口・12.6 底・7.4	還元・並。オリーブ灰2.5GY 5/1。並、やや重。白鉍物含	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縁部に吸炭あり。	接・9片 笠か
188-6 161-11	須恵器 坏	床直 ほぼ完形	口・13.3 底・6.2	還元・硬。2.5Y6/1。並、 やや軽。白色粒含、シルト質。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。全体に少し燻。内面に重焼色変。	粘
189-1 161-10	須恵器 坏・墨書	床直+覆土 2/3存	口・(12.65) 底・7.0	還元・並。5Y6/1。並、やや軽。 白色粒多、灰鉍物含、他少。	外面に不明の墨字あり。内面底少し摩耗。底面に轆轤右回転糸切痕。口縁に重焼色変。	墨書-25 粘・笠か
189-2 161-9	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(12.8) 底・(7.6)	還元・軟。灰白7.5Y7/1。 並。白色粒含、鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面底際に挽出し稜あり。	笠懸か
189-3・4	須恵器 瓶	床直 破片		還元・硬。灰5Y6/1。密、重。 白色粒、鉍物多く、他少、珪質	紐作り後轆轤成形。外面浅い格子目状叩、内面素文当目と紐作痕。	県外近接 県か

第75号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
191-1 161-12	土師器 甕	掘り方 破片	口・(26.1)	酸化・並。橙2.5YR6/8。 並。白色・褐粒含。	「コ」の字状口縁。器外面は篋削りか。口縁部は横撫を施す。頸部に接合面か。	接・2片
191-2 161-15	土師器 甕	竈右側袖+床直 破片	口・(22.2)	酸化・硬。鈍橙7.5YR6/4。 並、やや軽。褐粒多、鉍物含。	口縁部は「コ」の字状。器外面は篋削り、器内面は篋撫、口縁部は横撫、頸部に接合面か。	接・13片

第75号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
191-3 161-21	土師器 甕	床直+覆土 胴部下半	底・(4.7)	酸化・並。灰褐5YR4/2。 並、重。金雲母含、他鉱物含。	台付か。外面下端に砂付着少量。外面に煤付着。外面寛削。内面寛撫と熨。	接・27片
191-4 161-13	須恵器 坏	竈内覆土 1/2	口・12.7 底・7.0	中性・並。鈍黄橙10YR6/4。 密、やや重。白色粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。器面少し消耗。	接・2片 笠懸か
191-5 161-14	須恵器 坏・墨書	床直 2/3存	口・(12.9) 底・6.6	還元・並。黄灰2.5YR6/1。 並、軽。白色粒多、他鉱物含。	底面に轆轤右回転の糸切りあり。内面に細砂付着。体部外面「山田」かもしくは不明の墨字。	粘 墨書-26
191-6 161-16	須恵器 坏	床直 1/2	口・13.4 底・7.3	還元・硬。灰7.5Y5/1。密、 やや重。白色粒微、鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。	接・5片 笠・太か
191-7 161-17	須恵器 坏	床直 一部欠損	口・13.6 底・7.3	還元・硬。2.5Y5/3。密、 重。白色粒微、鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。器面少し荒れ。	笠懸
191-8 161-18	施釉陶器 灰釉瓶	覆土 底部片	底・8.4	還元・締。釉淡緑。 胎土灰。	外面に灰釉と内面に落釉あり。底面に糸切痕あり。体部外面下方寛削目あり。	接・1片 東海

第76号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
192-1	須恵器 坏か	覆土 体部破片	厚・0.35	還元・硬。灰 N5/0。密、やや重。 白色粒含、鉱物粒少。	外面に轆轤目あり。薄作り。割れ口の消耗は少ない。	9 C か 笠か

第77号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
193-1 161-19	土師器 坏	床直+覆土	口・(12.0) 底・(10.5)	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4。 並。雲母粒含、鉱物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は寛削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接・5片
193-2 161-20	土師器 坏	床直 破片	口・(15.0)	酸化・並。7.5YR 鈍橙6/4。 並。雲母、褐粒含、鉱物少。	大形坏口縁部下粘土帯。底部は寛削り、体部に型膚。口縁部・内面は横撫で。	接・2片
193-3 161-22	須恵器 坏	床直 小片	口・(11.8) 底・(7.4)	還元・締。灰 N5/0。密、重。 白色粒・鉱物含、他鉱物微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺部回転寛削。口縁部に重焼色変。	太田か
193-4 161-23	須恵器 坏	覆土 底部片	底・6.4	還元・軟。灰 N6/0。並、やや軽。 白粒、白鉱物、鉱物含。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。器面・割れ口消耗。	笠懸か
193-5 161-24	須恵器 碗	覆土 底部周辺	底・8.5	中性・並。灰7.5Y6/1。 並、やや重。白色粒多い。	轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転撫整形。	笠懸か 粘・陶
193-6	須恵器 内黒碗	床直 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4。 並、軽。細砂含。	口縁部下の破片。外面上方に轆轤に伴う撫。内面に研磨と黒色煙あり。割れ口少し消耗。	
193-7	土師器 粘土塊	覆土	縦・3.2 横・4.3	酸化・軟。鈍橙7.5YR7/3。 粗、軽。シルト質、鉱物含。	スサ入る。図平面上方と裏面に捏ね固めたような痕跡あり。何か塑形物か。	被熱
193-8	土師器 粘土塊	覆土	縦・3.2 横・5.8	酸化・軟。鈍橙7.5YR7/3。 粗、軽。シルト質、粘土塊含。	スサの混入は不明瞭。塑形物か窠材か不明瞭。図表面右寄りに土師器片入る。	被熱
193-9	土師器 粘土塊	覆土	横・2.0	酸化・軟。鈍橙7.5YR7/3。並、 軽。シルト質、スサ含、他微。	粘土塊状で、割れ口にスサが多く混入され、表・裏面に少ないので造形物かもしれない。	被熱
193-10	土師器 粘土塊	覆土	横・3.0	酸化・軟。橙7.5YR6/6。粗、 軽。シルト質、スサ入、鉱物含	スサやや多く、酸化味強い。図平面左側部に捏ね固めたような表面質感あり。	被熱

第78号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
194-1 162-1	土師器 坏(平底)	床直+覆土 1/3	口・12.2 底・7.4	酸化・硬。明赤褐2.5YR5/8。 粗、軽。褐粒含、他微。	型作り。底部は寛削、体部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	接・4片
194-2 162-2	土師器 坏・墨書	覆土 1/2存	口・(12.8)	酸化・硬。鈍橙5YR6/4。並、 白色・褐粒含、他鉱物少。	外面底寛削、不明墨字あり。体部外面型膚、口縁部周辺横撫。内面撫整形。	墨書-27
194-3 162-3	土師器 坏	覆土 1/3	口・(12.8)	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。白色粒含。	口縁部内湾気味。型作り。底部寛削り、体部型膚。口縁部・器内面で横撫指圧痕。	粘
194-4	土師器 坏・墨書	覆土 底部片	厚0.45	酸化・硬。橙5YR6/6。並、 軽。白色粒含、鉱物少。	底部外面寛削と「主」かもしくは不明墨字あり。内面指などの圧痕と撫あり。平底的。	9 C 前 墨書-28
194-5 162-4	須恵器 坏・墨書	覆土 2/3存	口・(12.5) 底・7.8	還元・硬。オリブ灰2.5GY 5/1。並、重。白粒多、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後不定方向。寛調整。体部外面「主」墨字あり。	墨書-29 笠懸か
194-6 162-5	須恵器 坏	覆土 破片	底・(7.8)	還元・硬。灰白7.5Y7/1。密、 重。白色粒微、鉱物少。	轆轤成形。底部は右回転糸切り後回転寛削整形。底面整形異風で、市外製品か。	陶 産不明

第78号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
194-7 162-6	須恵器 内黒坏	覆土 底部片	底・8.7	酸化・軟。橙5YR6/6。粗、 軽。白色粒微、鉍物微。	轆轤成形。器内面に研磨を施す。底部はゆる やか篋削手持。内面少し荒れ。	
194-8	須恵器 内黒坏	覆土 破片	口・(16.5)	酸化・並。橙5YR6/6。並。 白色・褐粒含、他鉍物少。	器内面に研磨を施す。器面下方に篋削目あり。 黒色化は外面上方におよぶ。	
194-9	須恵器 坏蓋	覆土 破片	口・(15.0)	還元・並。黄灰2.5Y6/1。並、軽。 針状ではない褐粒含、鉍物少。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。そ の削面に砂付着。端部はやや丸い。	粘・陶
194-10 162-7	須恵器 蓋	覆土 口縁部片	口・(15.4)	還元・並。灰7.5YR7/0。 並、やや軽。鉍物微。	形状は皿か蓋か不明。轆轤成形。底部は回転 篋削。内面使用摩耗。	接・4片
194-11	須恵器 蓋内黒	覆土 破片	厚・0.4	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4。 並、軽。鉍物粒微。	内面に研磨と内黒化あり。内黒化は口縁部付 近外面におよぶ。割れ口摩耗。	
194-12	須恵器 坏蓋(内黒)	覆土 破片	径・(11.8)+α	酸化・並。橙7.5YR6/6。 並、やや重。褐粒含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。割 れ口は旧時欠損。	接・4片
194-13 162-8	須恵器 甕	床直 口縁部片	口・(17.5)	還元・硬。青灰5PB6/1。 密、重。白色粒含、鉍物少。	外面に、浅いカキ目様の条痕あり。内・外と もに整形良い。小形甕か。	太田
194-14 162-9	須恵器 甕	床直 口縁部片	口・(26.9)	還元・並。明オリーブ灰2.5GY 7/1。並、やや重。白粒含、鉍物微。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き、内面当 具は青海波文、頸から口縁にハゼ多い。	接・2片 太田か

第79号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
195-1 162-10	土師器 小甕	掘方覆土 破片	口・(11.8)	酸化・硬。明赤褐5YR5/8。 並、軽。鉍物粒多。	「コ」の字状口縁。器外面は篋削り、器内面 は篋撫、口縁部は横撫。台付甕か。	接・2片
195-2 162-11	須恵器 坏	掘方覆土 1/4	口・(13.6) 底・(8.6)	還元・並。灰褐7.5YR2/5。 並、やや重。白・褐粒含、他微	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削。割れ口、器面少し消耗。	接・4片
195-3 162-13	須恵器 坏	掘方覆土 破片	口・(16.1) 底・(9.0)	還元・硬。灰白7.5Y7/1。並、 やや重。白色粒含、鉍物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転篋削整形。底際 挽出し稜あり。内外轆轤目鋭い。	笠懸
196-1 162-13	須恵器 坏	覆土 底部片	底・6.8	還元・硬。灰 N6/0。並、 やや軽。白色粒含、鉍物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切。底部境に挽出し稜あり。	接・2片 笠懸
196-2 162-14	須恵器 碗	掘方 1/3	底・7.7	還元・硬。灰7.5Y6/1。並、 やや重。白色粒多。	轆轤成形。高台付け高台。底部は回転糸切り 後撫調整。	笠懸
196-3 162-15	須恵器 碗	掘方 底部片	底・7.6	還元・軟。灰5Y6/1。並、 やや軽。白色粒含、鉍物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸。内面に使用摩耗あり。	笠懸か
196-4	施釉陶器か 瓶	覆土 破片	厚0.35	還元・締。灰白5Y1/2。 密、重。鉍物溶解。	須恵器か不明。内外面に淡暗灰緑(オリーブ 調)釉あり。割れ口の消耗微。	東海搬入
196-5 162-17	須恵器 碗	掘方覆土 破片		還元・軟。灰オリーブ5Y6/2。 並、軽。白色粒多、他少。	円面硯。外面に沈線による格子目、長方形透 し。割れ口に紐作らしき跡。割れ口消耗。	粘
196-6	施釉陶器 瓶・灰釉	覆土 口縁部片	口・(9.0)	還元・締。灰白5Y1/2。 密、重。鉍物見えず。	内外面灰釉施釉、轆轤器肉薄く上手。割れ口 消耗少ない。釉は淡暗褐緑で、少し硬化。	東海搬入
196-7	須恵器 甕中形	覆土 破片	縦・7.2	還元・硬。褐灰7.5YR5/1。密、や やや重。白粒・白鉍物多、他鉍物含。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き、内面当 具は見えず、回転糸痕あり。内面使用摩耗。	3片 太田か
196-8 162-21	須恵器 甕	掘方覆土+掘方 破片	厚・0.8	還~酸化・締。灰5YR5/1。 密、重。白色粒多、他鉍物少。	内面に紐作痕当具不明。外面に浅い板目状叩 と撫。	接・3片 太田か
196-9 162-18	須恵器 紡錘車	覆土	長径・4.3	酸化・硬。鈍褐7.5YR6/3。 並、やや重。白粒、白鉍物含。	坏底部周辺を打ち欠き、穿孔し、紡錘車形を なす。糸切轆轤右回転。	粘
196-10 162-19	土製品 土錘	掘方 ほぼ完形	縦・4.4 横・1.1	還元・並。オリーブ黒5Y3/1。 並、やや軽。鉍物少。	全体吸炭黒ずむ。表面滑らかであるが少し荒 れる。穿孔形は、小孔で近円形。	
196-11 162-20	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・5.1 径・1.6	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3。 並、やや重。鉍物少。	全体酸化。表面滑らか。両小孔旧欠あり。穿 孔形は、小孔で近円形。	
196-12 162-16	須恵器 坏	覆土 3/4	口・12.5 底・7.0	還元・硬。褐灰7.5YR5/1。密、 やや並、軽。白色粒多、他少。	轆轤成整形右回転。底部は回転糸切り。	

第80号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
197-1	須恵器 坏	窠内	口・(13.2) 底・(8.2)	還元・硬。黄灰2.5Y5/1。密、 やや重。白色粒含、鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面に重ね焼色変あり。	接・2片 笠・太か
197-2 162-22	須恵器 坏	貯蔵穴内 一部欠損	口・12.6 底・7.0	還元・硬。黄灰2.5YR5/1。 密、重。白色粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面口縁部に重ね焼色変。	接・6片 笠懸

第80号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
197-3 162-23	須恵器 坏	貯蔵穴内+掘方 2/3	口・14.2 底・(8.0)	還元・硬。灰褐7.5YR5/2。 密、やや重。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面の轆轤目立つ。	接・2片 太田か
197-4	須恵器 坏?	貯蔵穴内 1/4	口・(15.0)	還元・並。灰5Y5/1。 並、やや軽。鈹物微。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。内外とも 使用の摩耗大。外面に煤のような黒色物附着。	接・2片 粘
197-5 162-24	須恵器 皿	掘方+貯蔵穴 一部欠損	口・12.3 底・7.2	還元・硬。灰黄2.5Y6/2。 密、やや重。白色粒多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接・3片 太田か
198-1	須恵器 双耳	貯蔵穴内 破片	口・(16.0)	中性・硬。灰N5/0。並、やや重。 白粒含、他鈹物少。	轆轤目、目立ず。外面に耳を張り付け、耳部 は細かな篋整形で、作調丁寧。	粘・陶
198-2	須恵器 坏双耳	掘方 破片		還元・軟。灰5Y6/1。並、軽。 白色粒含、他鈹物微。	耳片で各面拵は細かな篋仕立てによる。作調 は丁寧。胎土は軽く、緻密でない。	粘
198-3 162-25	土師器 台付甕	貯蔵穴内 1/2	口・(13.9) 底・(10.5)	酸化・硬。鈍赤褐5Y4/3。 並、やや重。近雲母、褐粒含。	型作りか。体部外面にササラ様の篋削。外面 中位下半に被熱と少し吸炭。内面篋撫で。	接・19片

第83号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
199-1 162-27	土師器 坏	竈右側袖 1/3	口・(13.0)	酸化・並。鈍橙5YR6/4。 粗、軽。白色粒含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接・2片
199-2 162-26	土師器 皿・墨書	竈覆土 2/3存	口・(15.45) 底・14.3	酸化・並。鈍橙5YR6/6。並、 やや軽。白色粒、黒鈹物、他微。	口縁部直口気味。外面型膚。底面に篋削、「土」 か墨字。口縁部、内外から内面に撫。	接・5片 墨書-30
199-3	土師器 甕	覆土 破片	口・(18.1)	酸化・硬。鈍橙5YR6/4。並、 やや重。白色粒含、鈹物少。	口縁部下外面に接合痕と指圧痕。体部外面は 撫で、口縁部は横撫で。	
199-4	須恵器 坏	覆土 底部片	底・7.8	還元・硬。褐灰7.5YR4/1。 並、やや重。白・褐粒含、他少	底面轆轤右回転篋削。内面使用摩耗あり。内 面に重ね焼色変あり。	笠か
199-5	須恵器 坏	竈右側袖 底部片	底・7.8	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4。 並、やや重。白・褐粒含、他少	内面研磨あり、内面摩耗、被熱黒色化焼失、 底面轆轤右回転糸切後周辺を回転篋削。	接・2片
199-6	須恵器 碗	覆土 底部片	底・(9.4)	還元・軟。灰N5/0。並、やや軽。 白・黒粒多、他鈹物少。	轆轤成形(右回転)。底部は糸切高台貼付後回 転撫。内面少し摩耗。	粘
199-7	須恵器 坏蓋	竈掘方 1/4	口・(14.4)	還元・硬。灰N5/0。並、軽。 白色粒多、他鈹物少。	上半部は轆轤右回転篋削り、下半轆轤目。器 面少し摩耗。	接・3片 粘
199-8	須恵器 短頸壺	掘方 破片	口・(13.0)	還元・並。灰5Y6/1。並、やや軽。 白色粒多、他鈹物少。	台付短頸壺の蓋か。割れ口は旧欠であるが、 消耗ほとんどない。	粘
199-9 162-29	土師器 紡錘車	床直	巾・5.0 厚・2.5	酸化・並。灰褐7.5YR4/2。並、 やや重。白色・褐粒含、鈹物粒少。	表面と裏面に調査時欠損の削あり。整形は側 部・表裏に細かな研磨有、さらに使用摩耗か。	
199-10 162-28	土製品 土錘	覆土 完形	長・5.0 重・14.2g	酸化・軟。鈍橙7.5YR7/4。 並、やや重。鈹物極めて少。	幅1.7、元径0.25で正円形。胎土は緻密。器面 も緻密である。	
199-11 162-30	土製品 土錘	覆土 1/2以上	直径・0.85 重・1.7	酸化・軟。鈍橙7.5YR6/4。並、 やや軽。鈹物粒はほとんどなし	菅玉状。元径は0.3cm正円形。外面は滑らか。 上・下端旧時欠損。	粘

第84号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
201-1 163-1	土師器 坏(平底)	床直 2/3存	口・(12.8) 底・7.5	酸化・硬。鈍橙2.5YR6/6。 並、やや重。白・褐粒含、他少	型作りか。底部は篋削り、口縁部・器内面は 横撫で、体部外面篋削りて「長」墨字あり。	接・2片 墨書-31
201-2 163-2	土師器 坏(平底)	床層 ほぼ完形	口・13.0 底・7.6	酸化・硬。鈍橙7.5YR5/4。 密、やや重。鈹物微。	口縁部は内斜。底部は篋削り。体部に指など の圧痕。口縁部・器内面は横撫で。	接・5片 粘・陶
201-3 163-3	土師器 坏(平底)	床直覆土 一部欠損	口・13.0 底・7.3	酸化・硬。橙2.5YR6/6。並、 やや重。白色粒含、鈹物微。	型作り。底部は篋削り、口縁部・器内面は横 撫で、特徴的に硬質、薄作り。	接・2片 粘・陶
201-4・5 163-4-14-2	土師器 甕	覆土 1/2	口・11.8	酸化・並。褐7.5YR4/3。 茶褐粒・鈹物多。	「コ」の字状口縁。型作り。器外面は篋削り、 器内面は撫、口縁部は横撫で。内面少しハゼ。	5片
201-6	土師器 甕	竈掘方覆土 破片	口・(11.6)	酸化・並。橙2.5YR6/6。 並、軽。白・褐粒含、鈹物少。	口縁部は外反、内側に接合面。器外面は篋削、 器内面は指撫、口縁部は横撫で。外面煤。	
201-7 163-5	土師器 台付甕	床層 1/2		酸化・硬。褐7.5YR4/4。並。 白色粒含、茶褐粒見えず。	口縁部・脚部欠損する。外面胴部は篋削・篋 撫。内面胴部は篋撫。	接・2片
202-1	土師器 甕	覆土 破片	口・(19.6)	酸化・硬。明赤褐2.5Y5/6。	口縁部下外面に接合痕。器外面は篋削り。器 内面は撫で、口縁部は横撫でを施す。	
202-2	土師器 甕	覆土 破片	口・(20.7)	酸化・硬。並、橙5Y6/6。	口縁部に粘土接合面。器外面は篋削り、器内 面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	

第84号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
202-3	須恵器 坏	掘方覆土 破片	口・(13.0) 高・(3.75)	中性・軟。黄灰2.5Y7/2。 並、軽。白色粒多、他鉱物微。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底糸切。 内外に黒色斑文。全体に消耗。	接・2片
202-4 163-6	須恵器 坏	床直 1/3	口・(13.4) 底・6.6	中性・並。灰白7.5YR7/2。 粗、やや軽。白色粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転か)。底部 は回転糸切。体部は轆轤左回転気味。	接・2片 粘
202-5	須恵器 坏	覆土 1/4	底・(5.1)	還元・硬。灰 N4/0。並、やや軽。 白色粒多、他鉱物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回糸切り。割れ口すこし摩耗。	接・2片 粘
202-6	須恵器 坏・墨書	覆土 破片	底・(6.0)	還元・並。浅黄2.5Y7/3。並、 軽。白色粒微、他鉱物微。	底面に轆轤右回転糸切あり。内面の轆轤目発 達せず。内面に不明墨字あり。	墨書-32 9 C粘
202-7 163-9	須恵器 碗	床直+覆土 3/4	口・(13.8) 底・7.7	中性・並。鈍黄橙10YR6/4。 並、やや重。シルト質近似。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。高台付高 台。底部は回転糸切り。弱い煙かかる。	接・2片 粘
202-8	須恵器 碗	覆土 底部片	底・(6.6)	酸~中性。灰黄2.5Y6/2。 並、やや重。鉱物微。	轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回 転糸切。外面煙。内面重ね焼吸炭部分あり。	
202-9 163-10	須恵器 碗	竈右側袖 破片	底・(7.4)	中性・軟。鈍黄橙10YR6/3。 粗、やや軽。鉱物微。	口縁部欠損。轆轤成形(右回転)。高台付け高 台。底部回転糸切り。全体消耗。	粘・陶
202-10 163-12	須恵器 瓶	覆土 口縁欠損	底・8.6	還元・締。灰 N5/0。並、やや重。 黒色粒多、鉱物含。	紐作り後轆轤成形。上半と内面に轆轤目、外 面下半回転篋削目あり。高台貼付。	接・10片 粘・陶
202-11	須恵器 高坏	床直 脚部片	高・(8.9)	還元・硬。灰 N6/0。並、密。 白色粒含、他鉱物含。	内外面とも、轆轤目は見えるが、平滑。内面 にしほり目少し立つ。上端部使用摩耗。	粘・陶
202-12 163-7	土製品 土錘	床直 完形	長・4.2。巾・1.2 重・5.0g	酸化・軟。黒2.5Y2/1。並。 鉱物粒少。	全体的に吸炭している。表面は研磨痕が見え るが摩耗のため不明瞭。	
202-13 163-8	土製品 土錘	床直 3/4	巾・1.0 重・3.0g	酸化・並。橙7.5Y6/4。並。 金雲母含、鉱物微。	表面緻密である。小口欠損。最大幅員部に摩 耗あり。	
202-14 163-11	石造品 円形石	覆土 完形	珪質頁岩 重・5.4g	長・2.4。巾・2.25。厚・0.65	表面は手づれ様の光沢あり。旧状は自然石。 燕脂色を呈し、平面形歪円形。	

第85号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
203-1 163-15	土師器 碗	竈左側袖 一部欠損	口・13.0 底・8.0	酸化・並。鈍赤褐5YR5/3。 並、やや重。白色粒含。	口縁部に粘土帯接合痕。器内面は左右不明の 撫で整形と小ハゼ。外面に指圧痕あり。	粘
203-2	土師器 甕	竈左側袖 破片		酸化・並。鈍赤褐5YR5/4。 並、やや重。白色・褐粒含。	器厚は厚い。外面に粘土付着その下に篋撫あり。 内面に接合痕、篋撫痕。	
203-3 163-16	須恵器 坏	床層 3/4	口・11.6 底・5.4	還元・硬。鈍黄橙10YR6/3。 並、やや重。白色粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面に黒色煙斑。	粘・陶
203-4	須恵器 坏	覆土 破片	口・(11.5) 高・(3.0)	酸化・並。橙2.5YR6/8。並、 やや重。白・褐粒含、他鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底面 に糸切あり。外面に赤斑と黒斑あり。	粘・陶
203-5 163-13	須恵器 坏	床直 一部欠損	口・11.4 底・5.4	中性・並。鈍黄2.5Y6/3。 並、やや重。白色粒微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内外に吸炭斑と煙かかる。	粘
203-6 163-14	須恵器 碗	床層 1/2	底・6.8	中性・並。鈍橙7.5YR6/4。 並、やや重。白色粒微。	轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回 転糸切り。	粘・陶
203-7	須恵器 坏・墨書	覆土 破片		還元・並。浅黄2.5Y7/3。 並、軽。黒鉱物含、他鉱物微。	内面に轆轤目と不明の墨字あり。外面に糸切 後、周囲を回転篋削し、さらに工具痕あり。	粘 墨書-33
203-8 163-17	土製 竈材か	床直	長(14.6) 1200g	酸化・軟。橙2.5Y6/6。並。 白色・褐粒多、鉱物多。	内外面に編物状圧痕あり。側部圧痕不明瞭で 撫痕あり。黄灰色土付着。被熱色変不明。	繊維見え ず

第86号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
204-1	土師器 坏小形	覆土 小片	口・(8.0)	酸化・並。鈍橙5YR6/4。 褐粒、金雲母含、シルト質。	底部は篋削り、体部に押圧痕。口縁部・器内 面は横撫で整形。割れ口は少し消耗。	
204-2 163-18	須恵器 坏	床直 ほぼ完形	口・11.2 底・6.1	還元・硬。鈍橙7.5YR6/4。 並、やや重。鉱物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。黒色の吸炭部斑あり。	接・4片 粘・陶
204-3 163-19	須恵器 坏	床直 ほぼ完形	口・11.6 底・5.8	還元・硬。灰黄2.5Y6/2。 並、やや重。白色粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。糸切りのろい。	接・4片 粘・陶
204-4 163-20	須恵器 坏	床直 3/4	口・12.6 底・7.1	還元・並。灰5Y6/1。密、重。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内外 面に重ね焼色変あり。全体に少し摩耗。	接・5片 笠懸
204-5 163-21	須恵器 坏・墨書	覆土下層 1/3	口・(12.6) 底・(5.6)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6。 並、やや重。白・褐粒含、他少	轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削。体部外 面に2~3字の墨字あり。	粘 墨書-34

第86号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
204-6	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(12.8) 底・(7.2)	還元・締。灰 N5/0。密、重。 白色粒含、他鉱物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面底使用時の摩耗あり。	太田か
204-7	須恵器 坏	掘方 底部3/4	底・8.0	還元・硬。灰 N5/0。並、やや重。 白色・黒・褐粒含、他鉱物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後、周縁部の回転削り。	笠懸か
204-8	須恵器 碗	床直 底部片	底・8.8	中性・並。オリープ黄5YR6/3。 並、軽。金雲母粒入、鉱物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転削り。	粘
205-1	須恵器 皿	掘方 口縁片	口・(14.0)	還元・硬。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。白色粒含、他微。	轆轤成形。轆轤目立ず、轆轤の回転条痕目立 ず、割れ口の消耗少ない。	粘・陶 0544同か
205-2	須恵器 皿	掘方 口縁片	口・(14.0)	還元・並。灰黄2.5Y7/2。並、 やや重。白色粒含、他微。	轆轤成形。轆轤目立ず、轆轤の回転条痕あり。 割れ口の消耗少ない。	粘・陶 0545同か
205-3	須恵器 内黒・坏	竈覆土 小片	口・(15.6)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6。 並、軽。白粒含、鉱物粒少。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。内 黒。内面は使用擦痕少。割れ口に被熱痕。	
205-4	須恵器 内黒・碗	覆土 底部片	底・6.6	酸化・並。橙5YR7/6。 粗、軽。褐粒含、シルト質。	轆轤成形。器内面に研磨を施す。高台は欠損 する。器内、割れ口少し消耗。	接・3片
205-5	須恵器 甕	覆土 破片		還元・硬。褐灰7.5YR4/1。 密、重。白色粒微。	紐作り後轆轤整形。外面に叩、内面の当目不 明瞭で撫あり。割れ口消耗少。	西毛〜埼玉
205-6	粘土塊	竈覆土	巾・2.8	酸化・並。灰黄褐10YR4/2。 並、軽。白・褐粒含、他少。	表面にスサが付着した痕跡。内部にスサ見え ず。手で捏ねて固めたような形。	
205-7	粘土塊	覆土	巾・2.6	酸化・硬。鈍橙7.5YR6/4。 並、軽。褐粒含、他少。	スサを多く外面に見え。手で捏ねて固めたよ うな形。色調は少し燻され気味。	

第96号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
206-1 163-23	土師器 甕	覆土 口縁部周辺	口・(18.0)	酸化・硬。明赤褐5YR5/8。 並、やや重。白・褐粒含、他微。	内・外ともハゼ剥落多。型作りか。外面は指 圧痕、篋削。内面は撫、口縁部は横撫。	接・8片
206-2 163-22	土師器 甕	86住竈右袖+覆 口縁部周辺	口・(19.8)	酸化・硬。橙5YR6/6。並、 やや重。白色・褐粒微、他微。	頸部外面に口縁部粘土接合。型作りか。外面 は篋削、内面は篋撫、口縁部は横撫。	接・6片
206-3 164-1	土師器 甕	床直 1/4	口・(19.5)	酸。並。にぶい赤褐2.5YR5/4。 並、やや重。金雲母暗赤鉱物	「コ」の字状口縁。接合面3カ所あり。外面 は篋削り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	接合29片
206-4 163-24	土師器 甕	床直 口縁部周辺	口・(20.0)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	頸部外面に粘土帯接合あり。型作りか。外面 は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	接合9片
206-5 164-2	土師器 甕	床直+覆土 口縁部周辺	口・(22.1)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	頸部に接合あり。型作りか。外面は篋削り、 内面は篋撫で、口縁部は横撫で。被熱少。	接合9片
206-6 164-3	土師器 甕	床直 底部片	底・4.0	酸化。軟。にぶい赤褐5YR5/4。	器肉は厚い。外面篋削り。内面は篋撫でを施 す。外面被熱色変と燻あり。	
206-7 163-25	須恵器 坏	床直 完形	口・12.6 底・7.0	酸化。並。灰黄2.5Y6/2。密。 やや重。鉱物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転削り。	
206-8 163-26	須恵器 坏	床直 一部欠損	口・12.6 底・7.0	還元。並。灰5Y5/1。並。 やや重。白色粒・鉱物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(左回転)。底部 は回転糸切り後回転削り。重焼痕。	口縁煤 笠・太田
206-9 163-27	須恵器 坏	床直 3/4	口・13.6 底・8.2	中性。並。灰白5Y7/2。並。 やや重。鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転削り。欠損旧時。	
206-10 163-28	須恵器 坏	床直 1/4	口・(14.0) 底・(7.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/8。並。 重。白・褐粒含、鉱物微。	口縁部は外傾する。底部は右回転削り。内・ 外面に轆轤目数多い。	接合2片 粘・陶
207-1 164-5	須恵器 坏	床直 破片	口・(15.0) 底・(9.0)	中性。軟。灰白5Y7/2。粗。軽。 茶褐粒含。鉱物多。	轆轤成形(右回転)。底部欠損のため切り離し 技法不詳。焼甘く、全体に消耗。	
207-2	須恵器 坏か	覆土 口縁部片		還元。並。にぶい黄2.5YR6/3。 並、やや重。褐粒含、他含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部欠損のた め切り離し技法不詳。割れ口消耗少。	粘
207-3	須恵器 坏内黒	覆土 底部片	底・(6.0)	酸化。並。橙5YR6/5。並。 やや軽。白色粒含。シルト質。	内面に黒色吸炭化、研磨あり。底面に糸切痕 あり。器面、割れ口とも消耗大。	粘
207-4 164-7	須恵器 皿	床直 完形	口・13.5 底・9.0	還元。並。灰5Y6/1。並。 やや軽。白色粒・鉱物微。	轆轤成形(右回転)。底部は糸切後回転削り。 内・外面に浅い轆轤目。	粘・陶
207-5 164-6	須恵器 皿墨書	床直 1/2	口・(15.1) 底・(10.7)	還元。軟。にぶい黄橙10YR7/2。 並、軽。白粒微、鉱物微。	高台内面に不明墨字あり。内面に使用摩耗あ り。部分的に吸炭あり。	粘 墨書-35
207-6 164-4	須恵器 鉢(転用)	覆土 完形	底・5.2	還元。硬。はい5Y5/1。並。軽。 白色粒、はい鉱物含、他微。	底面に轆轤右回転の糸切痕。荒ら割部分が2 カ所に残るほか側部を研磨面取り。	粘
207-7 164-8	須恵器 坏	床直 底部のみ	底・8.2	酸化。軟。灰黄褐10YR4/2。 並、やや軽。	底部は轆轤右回転糸切り後周囲を回転削り。 内面摩耗、「メ」の刻字あり。少削耗。	笠か

第87号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
208-1	土師器 甕	覆土 口縁部片	□・(22.0)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並。やや軽。白色粒・金雲母含。	頸部外面に接合面。型作りか。器外面は篋削り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片
208-2	土師器 台付甕	覆土 破片		酸化。並。黒褐5YR3/1。並。 やや重。白・褐粒含。他少。	割れ口摩耗。脚部の内・外面横撫。甕部外面も横撫。外面少し吸炭気味。	接合3片
208-3	須恵器 坏	覆土 1/4	□・(12.2) 底・(5.6)	中性。軟。灰黄2.5YR6/2。並。 軽。白色粒多、他鉍物少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。全体に消耗する。	粘
208-4 164-9	須恵器 埴	床直 3/4	□・14.6 底・8.8	中性。並。灰オリープ5Y6/2。 粗。軽。鉍物含。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転篋整形。内・外少し摩耗。	接合4片 粘
208-5 164-10	須恵器 埴	覆土 2/3	□・14.6 底・8.6	還元。硬。灰黄2.5YR6/2。密。 やや重。鉍物微。	口縁部は外傾。轆轤成形。高台付け高台。底部は右回転糸切り。外面小ハゼ多くあり。	接合7片 笠か
208-6	須恵器 小瓶 坏	覆土 胴部片 底部のみ		還元。並。灰白5Y7/1。密。重。 黒・褐粒含、他極めて微。 並。やや軽。	内面に水挽状の轆轤目、黒色漆付着。外面下半に回転篋削り、後撫痕あり。 内面摩耗、「メ」の刻字あり。少削耗。	県外搬入 か

第88号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
209-1	土師器 坏	覆土 小片	□・(10.4)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並。軽。鉍物含。	口縁部は内傾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合2片
209-2	土師器 坏	覆土 1/4	□・(12.0)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 褐粒多、他少。シルト質。	口縁部は外反する。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合2片
209-3 164-11	土師器 甕	覆土+竈内 1/3	□・18.7	酸化。並。にぶい橙7.5YR。 並。やや重。金雲母、鉍物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合21片
209-4 164-12	土師器 内黒皿	床直 3/4	□・(13.4) 底・3.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 密。やや重。褐粒微。	型作り。器内面に暗文を施す。器外面には型膚・指頭痕を残す。欠損は旧時。	粘・陶

第89号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
210-1	土師器 甕	覆土 口縁部1/3	□・(19.5)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。 並。やや重。金雲母含、他少。	器外面は篋削り、器内面は篋撫で、肩部に型膚。口縁部は横撫で。外面吸炭。	接合2片
210-2 164-18	土師器 甕	覆土+床直 胴上半	□・20.6	酸化。並。赤褐OR5/4。並。 やや重。金雲母、鉍物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面はササラ状篋削り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫	接合9片
210-3	土師器 甕	竈覆土 小片	□・(21.4)	酸化。並。赤褐2.5YR5/6。並。 軽。金雲母粒入、他鉍物含。	頸部内面に接合面。器外面は篋削り、器内面は篋撫で。口縁部は横撫で。外面に吸炭あり。	接合3片
210-4	土師器 甕	ピット覆土	□・(22.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/4。 並。金雲母含、鉍物含。	口縁部下外面に指の圧痕。外面は篋削り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫で。外面吸炭。	接合2片
210-5	土師器 甕	竈覆土 小片	底・(4.6)	酸化。並。赤10YR4/6。並。 白色粒・金雲母含、他鉍物少。	外面篋削。底面細砂付着後、一方向からの篋削。内面篋撫後、さらに撫がかかる。	接合2片
211-1 164-13	須恵器 坏	貯蔵穴内 完形	□・12.3 底・6.3	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。並。 白色粒子含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。火傷痕あり。	粘
211-2 164-15	須恵器 坏	床直 一部欠損	□・13.2 底・6.8	還元。軟。黄灰2.5Y5/1。密。 白色粒子含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。	接合2片 粘・陶
211-3 164-14	須恵器 坏	貯蔵穴内 完形	□・13.3 底・7.2	還元。軟。黄灰2.5Y4/1。並。 白色粒子多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。	笠懸か
211-4 164-17	須恵器 坏墨書	貯蔵穴内 完形	□・13.2 底・6.6	還元。締。灰7.5Y5/1。密。 やや重。白色粒・鉍物多、他少。	内・外面に轆轤目多。体部外面に「主」墨字。底面に不明墨字。底面は右回転糸切。	太田か 墨書-36
211-5 164-16	須恵器 坏墨書	貯蔵穴内 完形	□・13.2 底・7.0	還元。並。灰オリープ5Y6/2。 並。やや軽。白粒多、他鉍物少。	底面に轆轤右回転の糸切痕あり。体部外面に「主」墨字あり。内面少し使用摩耗。	粘 墨書-37
211-6 164-19	須恵器 坏墨書	床直 2/3	□・13.7 底・6.6	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。 やや重。白色粒多、鉍物少。	底部は轆轤右回転糸切り。さらに不明墨字あり。体部の内・外面轆轤目多	墨書-38 粘・陶
211-7 164-20	須恵器 坏墨書	貯蔵穴内 1/3	□・(13.4) 底・(7.0)	還元。並。灰5Y6/1。並。 白色粒含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部外面に「主」か墨字あり。	粘・陶 墨書-39
211-8 164-23	須恵器 坏	貯蔵穴内 一部欠損	□・13.8 底・7.4	還元。軟。灰白5Y7/1。並。 鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。轆轤目多い。	接合3片 粘
211-9 164-21	須恵器 坏墨書	貯蔵穴内+覆土 1/2	□・(15.4) 底・(9.1)	酸化。並。灰黄2.5YR6/2。 白色粒多、褐粒含、他鉍物少。	轆轤右回転。底部は右回転篋整形後、回転の高台貼付後撫。外「甲」か記号、文字らしき墨痕。	墨書-40 粘・陶
211-10	須恵器 内黒坏か	覆土 破片		酸化。並。5YR6/6。	器内面に研磨を施す。外面に不明墨字あり。内黒外面口縁部にもおよぶ。	9 C前 墨書-41

第89号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
211-11 165-1	須恵器 内黒坏	貯蔵穴内 3/4	口・13.8 底・7.4	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 粗。白色粒微	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。底 部は右回転糸切り。外面口縁部側も吸炭。	粘
211-12 164-22	須恵器 内黒坏	貯蔵穴内 3/4	口・16.0 底・7.9	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 粗。白色粒微。	轆轤成形。器内面に黒色処理と研磨を施す。 底部は右回転糸切り。	接合4片 粘
211-13 165-2	須恵器 坏蓋	掘方 1/2	口・13.0 高・2.9	還元。並。灰5Y6/1。並。軽。 白色粒子。	摘み貼付。轆轤成形(右回転)。上半部は回転 篋削り。内面ほか轆轤目。	接合4片 台地か
211-14	須恵器 蓋	覆土	口・(16.6)	還元。並。灰オリーブ5Y6/3。 並。軽。白粒・金雲母含、他鉄物多。	内・外面に轆轤目あり。外面上方に轆轤右回 転の篋削り。口縁部外面と内面に重焼色変。	粘
211-15 165-8	須恵器 皿	床直 一部欠損	口・14.2 底・7.5	還元。軟。灰白2.5Y7/1。粗。 白色粒多。	轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底は右回 転篋整形。	接合3片 粘
212-1	須恵器 おぼ(環?)	床直 破片	長・17.3 幅・9.3	還元。硬。灰5Y4/1。密。重。 白色粒・鉄物含、他少。	平行叩き、内面当具は青海波文で表面は摩耗 しているが墨痕なし。側部打ち欠き。	
212-2 165-9	土製品 紡錘車	確認面 完形	32.95g 径・4.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR。 白色粒多。	側部に使用摩耗光沢あり。表・裏にも使用傷 あり。裏面に圏線の正円の施文あり。	
212-3 165-3	石造品 砥石	覆土 中央部欠	砥沢石 340+α	長・12.2+α 幅・6.9	使用は表・裏・側部と奥小口の一部の5面に あり、手前の小口は、旧原石面か不明。	

第90号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
213-1 165-4	土師器 坏(平底)	床直 一部欠損	口・14.2 底・10.2	酸化。並。橙5YR6/6。並。	口縁部は外傾する。型作り。底部片は篋削り。 内面に放射状暗文あり。口縁部・内面は横撫。	接合6片 粘
213-2	土師器 坏	覆土 小片	口・(12.8) 底・(11.9)	酸化。並。明赤褐5YR6/8。並。 軽。白色粒微、他鉄物微。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に大きな型膚。口縁部・内面は横撫整形。	
213-3	土師器 甕	竈覆土 小片	口・(20.4)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。軽。白粒・金雲母含、他微。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、器内面 は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合3片
213-4	土師器 甕	覆土 小片	口・(21.0)	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 やや重。金雲母含、他鉄物少。	口縁部下内面に接合面。頸部外面指圧痕。外 面は篋削り、内面は篋撫で。口縁部は横撫で。	接合2片
213-5	土師器 台付甕	床直+覆土 脚部片	底・(10.8)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。 並。やや重。金雲母含、鉄物微。	脚部内・外面に横撫あり。外面少し被熱、器 面消耗あり。甕部内面は篋撫気味。	接合2片
213-6 165-5	須恵器 坏	床直 3/4	口・12.0 底・6.0	還元。硬。灰5Y5/1。密。白色 粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。器内やや厚い。	接合3片 太田か
213-7 165-6	須恵器 坏	床直+覆土 1/2	口・(12.3) 高・ 3.8 底・(8.0)	還元。締。暗青灰BB4/1。密。 重。白色粒・鉄物含。	轆轤成形(右回転)。底面糸切。内・外面の轆 轤目大まか。外面底際に糸切そこねあり。	太田か
214-1 165-7	須恵器 坏墨書	床直 ほぼ完形	口・12.3 底・7.3	還元。軟。灰7.5Y5/1。並。や や重。白色粒、褐粒多、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面 に「福」墨字あり。内面底に使用摩耗。	粘・陶 墨書-42
214-2 165-10	須恵器 坏	覆土 一部欠損	口・12.4 底・6.4	還元。硬。灰10Y5/1。密。重。 鉄物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合4片 太田・笠
214-3 165-11	須恵器 坏	覆土 1/3	口・(12.5) 底・(8.0)	還元。並。灰5Y6/1。粗。白色 粒子多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合7片 粘
214-4 165-12	須恵器 坏	覆土 2/3	口・13.0 底・7.3	還元。軟。灰白5Y7/1。軟。軽。 鉄物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。使用の摩耗らしき消耗あり。	接合3片 粘
214-5 165-15	須恵器 坏墨書	床直 ほぼ完形	口・13.0 底・7.8	還元。軟。灰7.5Y6/1。密。重。 白・暗褐粒含、他鉄物少。	底部は右回転糸切り。体部外面に不明墨字あ り。口縁部外面に重焼色変あり。割れ口消耗。	粘・陶 墨書-43
214-6 165-14	須恵器 坏	覆土 2/3	口・13.1 底・7.7	還元。並。にぶい黄橙10YR6/3。 密。白色粒微	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。底面に傷痕あり。	接合3片 粘
214-7 165-16	須恵器 坏墨書	床直 完形	口・13.1 底・8.1	還元。軟。灰5Y6/1。密。重。 白・暗褐粒含、他鉄物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部 外面に「主」墨字あり。内面底使用摩耗。	粘・陶 墨書-44
214-8	須恵器 甕	覆土 破片	厚・0.7	還元。締。灰N5/0。並。やや軽。 白色粒、白鉄物多、他含。	紐作り後叩き整形。外面は格子叩き、内面宛 具は青海波文。割れ口少し消耗あり。	太田
214-9	須恵器 甕	床直 破片	厚・1.2	還元。締。灰7.5Y6/1。密。重。 白鉄物極多、他少。	紐作り。外面平行叩き、自然釉、内面は素文 の当て目、中央に欠損後使用摩耗痕光沢。	東海搬入

第91号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
215-1	土師器 坏	覆土 小片	口・(10.8) 底・(9.4)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並。軽。白色粒含。他微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合4片

第91号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
215-2	土師器 甕小形	覆土 小片	口・(13.0)	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6。 並。軽。白粒含、他鉱物少。	口縁部は外反。器外面は篋削り、器内面は篋 撫で、口縁部は横撫でを施す。割れ口消耗。	
215-3	土師器 甕	覆土 小片	口・(21.0)	酸化・並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。軽。白・褐粒含。他少。	口縁部下外面に接合面。器外面は篋削り。内 面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。外面煤。	接合2片
215-4 165-17	土師器 台付甕	覆土 脚1/2	脚端・(8.4)	酸化・並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。白色粒子含。	内外面横撫で。甕底面に篋撫。脚部内面に甕 との接合痕あり。	
215-5 165-18	土師器 坏(平底)	床直 一部欠損	口・14.0 高・5.0	酸化・硬。橙7.5YR6/6。並。 白色粒微。	口縁部は外傾。型作り。底部は木葉痕と篋削 り。内面に研磨痕。口縁部・器内面は横撫で。	接合5片 粘
215-6 165-19	須恵器 坏	床直 1/2	口・(11.8) 底・7.1	還元・並。灰7.5Y5/1。密。 白色粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削り整形。	接合4片 笠懸
215-7 165-20	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(12.4) 底・(7.3)	中性・並。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。白粒微。鉱物少。	底部は右回転糸切り後回転篋整形。外面に漆 状物質。	接合3片 笠懸か
216-1 165-21	須恵器 坏	覆土 1/3	口・(13.0) 底・(9.0)	還元・硬。灰白7.5Y7/1。並。 やや軽。白粒含。鉱物少。	底部は右回転糸切り後回転篋整形。外面底際 に1条の回転削稜あり。	太田か 粘・陶
216-2 165-22	須恵器 堿(硯)	床直 底部	底・10.2	還元・硬。灰10Y5/1。並。 白色粒子。	底部裏面に墨痕。轆轤成形(右回転)。高台付 け高台。底部は回転篋削り。	転用硯 笠懸か
216-3 165-23	須恵器 内黒坏	掘方 1/4	底・(9.0)	酸化・軟。明赤褐2.5YR5/8。 並。やや重。白・褐粒少。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨。内黒。底 面に糸切りと周辺に回転篋削りあり。	粘・陶
216-4	須恵器 内黒坏	掘方 底部片	底・(8.2)	酸化・硬。明赤褐5YR5/6。 並。やや重。白・褐粒含、他微。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。底 部は回転糸切り後周辺を回転篋削り。	接合3片 粘
216-5	須恵器 内黒堿	覆土 底部片	底・(8.0)	酸化・並。明褐7.5Y5/6。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。器内面に研磨を施す。高台は付け 高台。割れ口少し消耗。	粘
216-6 165-24	須恵器 坏蓋	覆土+床直 1/2	口・(12.8) 高・2.5	還元・並。灰5Y6/1。白色粒含、 鉱物粒多く、黒褐大粒多い。	轆轤成形(左回転)。上半部は回転篋削り。下 半部は轆轤目。端部は尖る。	2片
216-7 165-25	須恵器 長頸壺か	覆土 頸部片	頸・4.3	還元・硬。灰7.5Y4/1。密。重。 白色粒含。	外面轆轤目。内面工具による掻き上げ痕あり。 頸部内面側は旧割り痕あり。高坏脚かも。	太田か
216-8	須恵器 甕	掘方 破片	厚・0.8	還元・締。灰オリーブ7.5Y6/2。 密。重。白粒・白鉱物粒含。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き、自然釉。 内面当具は青海波文。割れ口消耗微。	太田
216-9	須恵器 甕	覆土 破片	厚・1.0	還元・硬。灰7.5Y5/1。並。 やや軽。白粒・白鉱物含。	紐作か。外面平行叩と浅い沈線。内面に当具 不明瞭で撫あり。	太田か
216-10	施釉陶器 瓶	覆土 体部片	厚・0.5	還元・締。釉淡黄緑(灰釉)。 胎土淡灰白。	外面に灰釉掛あり。内面に轆轤目あり。割れ 口少し消耗。灰釉の掛け方技法不明。	東海搬入

第92号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
218-1 165-26	土師器 坏(平底)	竈内+掘方 一部欠損	口・13.5 底・5.4	酸化・波。にぶい赤褐5YR5/4。 並。	口縁部は外反する。底部は篋削り。平底。口 縁部・器内面は横撫で。内・外ハゼ多。	接合5片 粘
218-2 165-27	土師器 壺	竈+掘方 1/3	底・6.3	酸化・並。灰褐5YR4/2。並。 白色粒含む。	底部篋削。体部外面篋削り。内面篋撫。内・ 外面にハゼあり。外面被熱。	接合5片 粘
218-3 165-29	土師器 高坏	床直 脚部	基部・3.0	酸化・並。橙7.5YR6/6。並。 白色粒子含む。	脚部外面研磨あり。内面粘土のしぼり跡と工 具のおさえ痕あり。下方紐1単位。	粘
218-4 165-30	土師器 高坏	床直 脚部	基部・3.2	酸化・並。にぶい褐7.5YR5/4。 密。重。白色鉱物含。	脚部外面研磨あり。内面粘土のしぼりと紐作 痕。内面下方と外面下方に横撫。	粘・陶
218-5 165-31	土師器 高坏	掘方 脚部片	基部・3.3	酸化・並。にぶい橙7.5YR6/4。 密。重い。白色粒子含。	脚外面研磨あり。下方に横撫で。内面に紐作 痕あり。	粘・陶
218-6	土師器 高坏か	掘方覆土 脚部	外稜部・10.8	酸化・並。にぶい赤褐5YR5/3。 並。白・褐粒含、他微。	内・外面に撫あり。割れ口に接合見え。外面 被熱色変。割れ口消耗。	
218-7 165-28	土師器 甕	覆土 破片	口・(22.3)	酸化・軟。並。にぶい橙7.5YR 7/3。並。やや重。褐粒多、他少。	外面篋整形。内面は篋撫で、口縁部は横撫で を施す。全体に消耗。	接合6片
218-8 166-1	土師器 甕	床直 破片	口・(22.4)	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6。 並。白・黒褐粒含、他鉱物微。	器肉は薄い。器外面は縦方向の撫でを施す。 内面に指圧痕あり。焼芯黒の3層。	接合14片

第93号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
220-1	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.1)	還元・硬。灰N5/0。密。重。 白粒含、他鉱物微。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部は回 転篋削り。口縁部付近に重焼色変あり。	接・2片 西毛~埼玉

第93号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
220-2	須恵器 坏	覆土 小片	口・(12.0)	還元。締。暗緑灰10GY。密。 重。白粒含。他鉱物微。	轆轤成形(右回転)。底部欠損のため切り離し 技法不詳。	西毛〜埴 玉
220-3	須恵器 坏	竈 口・底部片	底・(7.0)	酸〜中性。硬。明黄褐10Y6/6。 並。やや重。白・黒鉱物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削り。内黒 坏近似の胎土。割れ口消耗少。	粘
220-4 166-2	須恵器 坏蓋	覆土 1/2	口・(13.8)	中性。並。にぶい橙10YR6/3。 並。やや重。鉱物含。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。端 部丸みあり。内面に重焼の色変か燻しあり。	接合2片 粘・陶
220-5	埴輪 形象	覆土 破片	厚1.1	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。やや 重。白粒含、褐粒少。他少。	全体に扁平。外面に刷毛目、隆帯。内面撫で 整形。焼成は芯まで単一気味。割れ口消耗少。	粘

第94・98号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
221-1 166-3	須恵器 坏	床層 1/2	口・(13.2) 底・(6.8)	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 白色粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	笠懸か・ 太田
221-2 166-4	須恵器 坏	覆土 2/3	口・(13.9) 底・5.7	中性・並・にぶい黄2.5Y6/3。 粗。白色粒含。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。黒斑外面にあり。	接合2片 粘
221-3	須恵器 埴	覆土 小片	底・(6.4)	還元。並。灰黄2.5YR/2。並。 軽。白粒含、他鉱物含。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。付け高台。 底部は回転糸切り。内・外面被熱吸炭。	粘
222-1 166-5	須恵器 埴	床層 底部	底・7.0	中性。硬。にぶい黄褐10YR6/4。 粗。白色粒含。	口縁部は欠損する。轆轤成形。高台付け高台。 底部は左回転撫整形。	粘
222-2	須恵器 埴	覆土 小片	底・(8.4)	還元。並。浅黄2.5YR7/3。 密、重。白粒含、他鉱物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。外面黒斑。	県外か
222-3 166-6	土師器 甕	床直 1/4	口・(12.9) 高・(13.1)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。金雲母褐粒含。他少。	口縁部に粘土帯。外面は篋削り、内面は篋撫 と接合面1カ所。口縁部は横撫。外煤付着。	接合13片
222-4 166-8	土師器 甕台付か	床直 2/3	口・18.8	酸化。口。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含、他鉱物微。	接合面3カ所あり。型作りか。外面は篋削り、 内面は篋撫で、口縁部は横撫で。外面煤。	接合38片 外面に煤
222-5 166-7	土師器 甕	覆土+床層 破片	口・19.0	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白色粒含。	型作り。外面は篋削り、内面は篋撫で紐作痕。 口縁部は横撫で、紐接合2段。	接合7片

第94号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
223-1 166-9	土師器 坏	覆土 1/4	口・(11.8)	酸化。硬。にぶい黄橙10YR7/3。 並。やや重。褐粒含。シルト質。	口縁部は内気味。型作りか。底部は篋削り。 口縁部・器内面は横撫で整形。	5片。県 外搬入か
223-2	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.7) 高・(3.9)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR。 並。軽い。褐粒含、シルト質。	作調異風。型作り。底部は篋削り、体部に型 膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	県外搬入 か
223-3 166-10	土師器 坏	覆土 1/4	口・(12.5)	酸化。硬。浅黄橙10YR8/3。 並。褐粒含。シルト質。	作調異風。型作り。底部は篋削り、体部に型 膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	4片。県 外搬入か
223-4 166-12	土師器 坏(平底)	覆土 1/2	口・12.4 底・8.2	酸化。硬。にぶい黄橙10YR7/3。 並。やや重。茶褐粒含。	型作り。底部は篋撫で。体部に型膚を残し、 口縁部・器内面は横撫で。	接合10片
223-5 166-15	土師器 埴墨書	No.1 完形	口・15.5 底・7.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。重。黒鉱物多、他鉱物含。	土師・須恵作調。体部外面篋削り、横撫で、「山 刀」か墨字。高台内面指圧痕。少し燻。	墨書-45
223-6	土師器 坏墨書	覆土 底部破片	厚0.3	酸化。硬。にぶい黄橙10YR7/3。 並。軽。褐粒多、他鉱物少。	底部は篋削り。内面に撫整形痕と不明墨字あり。 器肉は極めて薄い。	9 C 墨書-46
223-7 166-13	土師器 坏手捏	覆土 1/3	口・(7.4) 底・(5.4)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 粗。軽い。茶褐粒含。	底部は篋削り、体部に型膚か手捏小ヒビ。口 縁部・器内面は横撫で整形。少しシルト質。	
223-8 166-11	土師器 甕	覆土、他 口縁部片	口・(17.4)	酸化。灰。橙5YR7/8。並。 やや軽。茶褐粒。鉱物含。	口縁部は粘土帯あり。型作り。器外面は篋削 り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	粘
223-9	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(8.0)	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。黒粒多。他鉱物含。	墨痕らしき箇所あり。底部は轆轤右回転篋削り。 内面に轆轤目。割れ口消耗。	粘 墨書-47
223-10 166-16	須恵器 埴墨書	掘方 1/3	口・(17.6)	還元。軟。灰白5Y7/2。並。軽。 白・黒粒含、他鉱物含。	高台周囲は回転撫。体部内・外面に轆轤目、 外面に「主」の墨字。	粘 墨書-48
223-11 166-14	須恵器 埴	床層 1/2	底・6.3	中性。並。にぶい黄褐10YR5/3。 粗。白色粒微。シルト。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り後撫で。	接合3片 粘県外
223-12 166-17	須恵器 双耳坏	覆土 口縁片	口・(14.0)	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや重。白粒多。他鉱物含。	内・外轆轤目少ない。回転は轆轤右回転。底 面に高台が付くか不明。割れ口少し消耗。	笠か

第98号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
224-1 166-19	土師器 坏墨書	貯蔵穴内 完形	口・11.3 高・3.1	酸化。硬。にぶい黄橙10YR7/4。 並。重。褐粒多、他鉱物微。	口縁部下外面に接合あり。底部は篋削りと2 字の墨字。口縁部・器内面は横撫で整形。	県外搬入。 墨書-49
224-2 166-20	土師器 坏	貯蔵穴内 1/2	口・16.2 底・13.0	酸化。並。橙7.5Y7/6。粗。軽。 シルト質。鉱物微。	口縁部は外反気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
224-3 166-21	土師器 台付甕	覆+掘方+貯内 脚底部のみ	底・9.0	酸化。並。橙5Y6/6。	器内面に篋撫で整形。	接合4片
224-4 166-22	須恵器 内黒坏	覆土 1/2	口・13.0 底・7.0	酸化。硬。橙2.5YR6/6。粗。 軽。白色粒含。シルト質	轆轤成形(右回転)。器内面研磨。底部消耗の ため整形不明。黒色化は口縁外面に及ぶ。	接合6片
224-5 166-23	施釉陶器 瓶	貯蔵穴内 底部片	高台径・8.8	酸化。締。釉部欠。器面にぶい 黄褐10YR5/3。	体部に回転篋削痕あり。内面に轆轤目あり。 高台は貼付。器面内・外酸化。	9~10C 東海

第95号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
225-1	土師器 甕	覆土 小片	口・(14.0)	酸化。並。にぶい赤褐2.5YR 5/4。並。軽。金雲母含。他少。	口縁部下外面にハゼ。器外面は篋削りと被熱。 内面は篋撫でと接合面。口縁部は横撫で。	接合2片
225-2 166-18	土師器 甕	覆土甕 胴下半	底・(10.8) 高・(9.4)	酸化。並。にぶい橙5YR6/3。 粗。軽。茶褐粒・鉱物含。	器厚は薄い。器外面は縦位方向の篋削りを施 す。内面は撫整形。内・外ハゼ。被熱色変。	接合5片
225-3	土師器 坏(平底)	甕覆土 口縁片	口・(13.4)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。 白・褐粒含。他少。	口縁部は外傾する。型作りか。口縁部・内面 は横撫で。体部外面に指圧痕。	
225-4	土師器 坏(平底)	甕覆土 口縁片	口・(13.2)	酸化。並。橙7.5Y7/6。並。 白・褐粒含。他鉱物少。	口縁部は外傾する。型作りか。口縁部・内面 は横撫で。外面に黒斑。	接合2片
225-5	須恵器 境	覆土 1/4	底・(7.8)	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白粒多、小礫少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後高台 貼付け、撫整形。割れ口消耗微。	
225-6	須恵器 境	覆土 底部片	底・(8.0)	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。黒鉱物多。他少。	高台付け高台。底部は轆轤右回転篋削。割れ 口消耗大で旧欠。	粘
225-7	須恵器 坏蓋	覆土 口縁片		還元。軟。灰。オリーブ5Y6/2。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。 摘み、割れ口は旧欠で消耗あり。	

第97号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
226-1	土師器 甕	掘方覆土 口縁片	厚・0.8	酸化。並。7.5YR5/3。並。 やや軽。鉱物少。	口縁部の内・外面横撫。割れ口消耗少。器肉 やや厚い。	
226-2	土師器 小形甕	掘方覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや軽。鉱物微。	「コ」の字状口縁。台付甕か。外面は篋削り。 内面は撫で。口縁部は横撫で。	
226-3	須恵器 坏	覆土 底部1/2	底部・(4.2)	酸化。並。明赤褐。5YR5/6。 並。やや軽。鉱物粒少。	底部に糸切りあり。内面回転条痕あり。割れ口 消耗あり。酸化味強い。	
226-4	須恵器 皿	掘方覆土 破片	口・(13.0)	還元。硬。灰 N5/1。密。重。 白粒・白鉱物多、他少。	外面に轆轤目、内面やや滑らか。口縁部周辺 の内外に重ね焼色変あり。	太田か

第99号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
228-1 167-1	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 角粒粗粒砂・白色微粒子	口縁部は内湾し把手を配する。渦巻き隆帯文 懸垂文を施す。RL 原体を縦位充填する。	接・4点
228-2 167-2・6	縄文土器 深鉢	覆土+覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 砂粒角粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位充填する。	接・5点
228-3	縄文土器 深鉢	覆土+覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 砂粒角粒砂・白色粒子	228-2と同一個体。	
230-1 167-4	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 角粒粗粒砂・白色微粒子	キャリパー状口縁。口唇部を欠損する。隆帯 文を弧状に配する。	接・無し
230-2 167-5	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・赤褐色粒子・白色微粒子	口縁部は内湾する。口唇部は丸く直下に横線 区画を施し、RL 原体を縦位充填する。	
230-3 167-3	縄文土器 深鉢	床直 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 角粒粗粒砂・シルト縞	口縁部から上端で弧状に連接する懸垂文を垂 下させ、RL 原体を縦位充填する。	接・3点
230-4 167-9	縄文土器 深鉢	覆土内 大形破片	口・(50.4)	酸化・硬。鈍橙7.5YR7/4 白色粒子・細砂粒・赤褐色粒子	口唇部に山形状の小把手を配する。 胴部は渦巻き隆帯を配する。原体はRL。	接・23点

第99号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
231-1 167-8	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 角粒粗粒砂・白色粒・白色鈹物	口縁部は内湾気味で口唇部は肥厚する。隆帯 区画内に RL 原体を縦位充填する。	接・3点
231-2 167-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦転施文する。	接・2点
231-3 167-11	縄文土器 深鉢	覆土 底部1/3	底・7.6	酸化・並。明黄褐10Y6/6 粗、軽。鈹物含。	縦位に条痕文を施す。	接・3片
231-4 167-10	縄文土器 有孔罽	覆土内 破片	口・15.0 罽・20.2	酸化・硬。橙7.5YR6/6 金雲母・角粒砂	口縁部は直立し把手状の罽を巡らし、罽の直 上に孔を穿つ（8カ所）。	接・無し
231-5 167-12	土製品 円盤	覆土内 完存	長・3.3 幅・3.5	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 白色鈹物・角粒粗粒砂	深鉢の胴部片を利用する。表面に平行の波状 沈線文が認められる。	接・無し
231-6 167-13	土製品 円盤	覆土内 完存	長・4.1 幅・3.5	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 白色鈹物・粗粒砂	深鉢の胴部片を利用する。	接・無し
231-7 168-1	石器 石鏃	覆土内 完存	黒曜石 重・0.55	長・1.7。幅・1.35。厚・0.35	無茎平根三角形抉式。	
231-8 168-2	石器 石鏃	覆土 完存	チャート 重・1.42	長・2.4。幅・1.75。厚・0.4	無茎平根三角形抉式。鏃先は再調整か。	
231-9 168-3	石器 石鏃	覆土 完存	チャート 重・5.44	長・3.7。幅・2.25。厚・0.85	無茎平根五角形式。	
231-10 168-4	石器 石鏃	覆土内 完存か	チャート 重・5.08	長・2.4。幅・2.45。厚・0.9	剥片の縁辺に小単位の剥離が認められるが、 刃部を構成するのは1側縁である。	
231-11 168-5	石器 打製石斧	覆土内 破片	ホルンフェルス 重・71	遺存長5.8。残存幅・6.8。 厚・1.3	撥形の破片と考えられる。扁平面に磨滅が認 められる。	
231-12 168-6	石器 石皿	覆土 細片	粗粒輝石安山岩 重・195	—	石皿の掻き出しぶの破片。本体の大半を欠損。	

第100号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
232-1	土師器 罽	竈 破片	口・(12.2)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。白・褐粒微、他微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
232-2	土師器 罽	掘方 破片	口・(12.0)	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや軽。	口縁部は外反気味。型作りか。底部は篋削り。 口縁部・器内面は横撫で整形。	
232-3	須恵器 罽(墨書)	掘方 口縁片	厚・0.3	中性。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。鈹物少し含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部外面に「山」 か墨字あり。割れ口消耗。	粘 墨書-50
232-4 168-7	須恵器 罽	覆土 3/4	口・12.6 底・7.1	還元。硬。灰7.5Y6/1。並。重。 白・白鈹物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切りで周辺回転寛整形。	接合6片 太田
232-5	須恵器 罽	床直 破片	厚・0.8	還元。硬。灰10Y5/1。密。重。 白粒・白鈹物含、他少。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き、内面当 具は無により不明瞭。割れ口消耗微。	

第101号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
233-1 168-15	土師器 罽	覆土 2/3	口・19.5 底・6.0	酸化。並。橙2.5YR6/6。並。 重。褐粒含、鈹物多。	口縁部は横撫で。胴部篋削り、胴下半篋撫で。 内面篋撫。内・外ハゼ多。旧欠後被熱色変。	粘・陶
233-2 168-8	須恵器 罽	掘方 完形	口・10.7 底・ 5.4 高・3.0	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 密。やや重。鈹物粒多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。極めて粗雑な作り。	粘
233-3 168-9	須恵器 罽	床直 一部欠損	口・13.9 底・7.5	酸化。硬。明灰黄2.5Y4/2。 密。重。鈹物粒多。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は右回転糸切り。	太田か
233-4 168-10	須恵器 罽	床直 1/3	口・(13.9) 底・6.7	酸化。並。にぶい黄褐10Y5/4。 密。重。鈹物多。透明粒入。	口縁部は外傾する。轆轤成形。高台付け高台。 底部は撫整形。	太田か
233-5	須恵器 罽	覆土 底部1/2	底・(7.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。高台付け高台。底部回転糸切り。 全体に燻かき、割れ口消耗少。	接合2片
233-6 168-11	須恵器 罽	掘方 底部のみ	底・7.5	中性～酸。軟。灰黄褐10YR6/2。 粗。軽。白粒多、他鈹物含。	口縁部は旧欠損。轆轤成形(右回転)。高台付 け高台。底部は回転糸切り。全体に消耗。	
233-7 168-12	施釉陶器 稜花皿	竈内 1/2	口・(13.5) 高 ・2.9 底・6.4	中性。締。釉黄灰(灰釉)。 胎土淡灰。	内・外に浸掛による灰釉あり。稜花は3～4 単位。内面に乾燥時か焼成時の重焼痕。	10C 東海

第102号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
234-1 168-13	須恵器 坏	床層 一部欠損	口・12.2 底・8.0	還元。並。灰7.5Y5/1。並。 黒粒多、白粒含。他多。	底部は轆轤右回転糸切り後、回転篋削。口・ 内底使用摩耗。割れ口摩耗。外面「三」墨字。	粘 墨書-51
234-2 168-14	土師器 坏	床層 3/4	口・12.7 底・11.0	酸化。並。橙。7.5Y7/6。粗。 やや軽。白色粒・鉍物含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	

第103号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
236-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(11.2)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。やや軽。金雲母含、他少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁・内面は横撫。内面小ハゼ。	
236-2	土師器 坏	覆土 破片	厚・0.35	酸化。並。橙5Y6/6。並。やや 軽。白粒・他鉍物微。	型作り。体部に型膚と「主」墨字あり。内面 は横撫で整形。	墨書-52
236-3	須恵器 坏	竈+覆土 破片	口・(12.8)	還元。並。灰白。5Y7/2。粘。 軽。白・灰鉍物含。他少。	全体に少し消耗。轆轤成形(右回転)。底部欠 損のため切り離し技法不詳。	接合 2片 粘
236-4	須恵器 坏	竈+覆土 破片	口・(13.1)	還元。並。灰オリーブ5Y7/2。 並。白粒含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部欠損のため切り離し 技法不詳。口縁部下外面に重焼色変あり。	接合 2片 粘・陶
236-5 168-16	須恵器 碗	覆土 2/3	口・(11.0) 底・7.8	還元。硬。灰オリーブ。5Y6/2。 密。やや重。白・黒粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部回転篋削整形。	接合 4片 笠か
236-6 168-17	須恵器 台付皿	覆土 1/4	口・(19.6) 底・(12.5)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。白色鉍物含。	短い口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。 高台付け高台。底部は高台接合後の回転篋撫。	接合 8片 太田。

第104号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
238-1	土師器 坏(平底)	覆土 破片	口・(13.0) 底・(8.4)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並。褐粒多、白粒含、他鉍物含。	口縁部は外傾。底部に木葉痕。口縁部下外面 に接合痕。口縁部・器内面は横撫で。	
238-2	土師器 破片	覆土 破片	口・(14.5)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/3。 並。軽。褐粒多、白粒含、他少。	口縁部は外傾気味。体部に篋削。口縁部・内 面は横撫で。内面に若干研磨、割れの消耗少。	
238-3 168-18	土師器 甕	床直 ほぼ完形	口・20.2 底・3.8	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒微、鉍物含。	型作りか。口縁部粘土帯2段か。外面はササ ラ様の篋削り。内面は横撫で。口縁部横撫で。	接合94片 煤付着
238-4 168-19	土師器 甕	覆土掘方 ほぼ完形	口・20.2 底・4.7	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/3。 並。やや重。褐粒・鉍物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面はササラ 状の篋削り、内面は篋撫で。口縁部は横撫で。	接合35片
238-5 168-20	須恵器 坏	床直 3/4	口・12.6 底・7.8	酸化。軟。にぶい黄橙6/4。並。 白粒微、褐粒多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は手持ち篋削、「主」墨字、黒色吸炭あり。	墨書-53
238-6 168-21	須恵器 坏	床直 1/4	口・(13.2) 底・(8.8)	酸化。並。にぶい黄橙10Y6/4。 密。やや重。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋整形。	接合 2片 笠懸か
238-7	埴輪か 形象か	覆土 破片	縦・4.1	酸化。軟。橙5YR6/6。並。 軽。白・褐粒含、他鉍物含。	外面に刷毛目。内面に刷毛目と撫痕・紐作痕 あり。割れ口少し消耗。	
238-8 168-22	石造品 砥石	覆土	珪質準片岩 72g	長10.2、幅2.2	使用面は表・両側部の3面。表面使用中の節 理面・奥小口は原石時の節理、手前は旧欠。	右側部に 鋸目

第105号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
240-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(14.8)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。 やや軽。褐粒多。他鉍物少。	口縁部は内湾気味。体部は篋削り、口縁部・ 器内面は横撫で整形。器面と割れ口消耗。	
240-2	土師器 坏	覆土 口縁片	口・(15.8)	酸化。硬。赤褐5Y4/8。並。重。 白・褐粒含、他鉍物含。	口縁部は直口気味。型作りか。体部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合 2片
240-3	土師器 坏	覆土 口縁片	口・(17.5)	酸化。硬。赤褐5Y4/8。並。重。 白・褐粒含、他鉍物含。	口縁部は直口気味。型作りか。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合 2片
240-4 168-23	土師器 坏	覆土 破片	口・(15.0)	酸化。並。10YR 浅黄橙8/3。 粗。軽。褐粒含、他鉍物少。	底部は篋整形。口縁部・器内面は横撫で整形。 割れ口消耗。	接合 2片
240-5 168-25	土師器 坏	床直 1/4	口・(15.1) 最大・(15.2)	酸化。並。明赤褐5Y5/6。密。 やや重。鉍物粒含。	口縁部直立気味。内面放射状研磨。底部篋削。 口縁部・器内面は横撫で整形	接合 4片
240-6	土師器 甕	覆土 口縁片	口・(15.5)	酸化。並。橙5Y6/6。並。軽。 白・褐粒含、他鉍物少。	「く」の字口縁。外面は篋削り、内面は篋撫 で、口縁部は横撫でを施す。被熱・消耗あり。	接合 2片
240-7 168-24	土師器 甕	床直 口縁部のみ	口・16.2	酸化。並。橙7.5Y7/6。粗。軽。 鉍物粒多。	口縁部は外反する。内・外面に浅いハゼ多い。 口縁部は横撫でを施す。	

第105号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
240-8	土師器 甕	覆土 破片	口・(18.1)	酸化。並。にぶい橙7.5Y6/4。 並。軽。赤褐粒含。他鉱物含。	「く」の字口縁。器外面は撫。器内面は篋撫。 口縁部は横撫でを施す。	
240-9	土師器 甕	覆土 口縁片	口・(18.2)	酸化。硬。にぶい橙7.5Y6/4。 並。やや重。白・褐粒含。他含。	「く」の字口縁。外面は篋削り、内面は篋撫 で、口縁部は横撫で。内面燻かかる。	
240-10	土師器 甕	覆土 破片	口・(13.2)	酸化。硬。明褐7.5Y5/6。粗。 軽。白・褐粒含。他鉱物含。	口縁部は外反する。器外面体部は刷毛目。器 内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	接合2片
240-11 168-26	土師器 甕	覆土 破片	口・(26.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。褐粒多、他鉱物少。	口縁部粘土帯合せ目。外面篋撫。内面手掌指 撫、接合痕3カ所。焼成黒斑あり。	接合8片

第106号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
241-1 169-1	土師器 坏(平底) 墨書	床直+覆土 1/2	口・12.6 底・6.0	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。重。 白粒含。褐粒微、他少。	型作りか。底部は平底砂付着。体部に指圧痕、 篋削、「東」墨字。内面は横撫で。	接合6片 墨書-54
241-2	土師器 甕	旧竈掘方 口縁片	口・(12.8)	酸化。並。橙5Y6/6。並。軽。 褐粒含、他鉱物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片
241-3	土師器 甕	覆土 口縁片	口・(16.7)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。軽。 白・褐粒多、他鉱物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
241-4 169-3	土師器 台付甕	覆土 破片	底・9.0	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。白褐粒含、鉱物微。	内・外面横撫で。割れ口少し消耗。端部少し 尖り、内面に浅い段あり。	
241-5 169-5	須恵器 坏	床直 1/3	口・(13.1) 底・6.0	酸化。並。明黄褐2.5Y6/6。密。 重。鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。体部に轆轤目強い。	笠・太田 か
242-1 169-7	土師器 甕	床直 1/4	口・19.5	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。白・褐粒、鉱物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は篋削り、 内面は篋撫、口縁部は横撫。外面被熱・煤。	接合28片
242-2 169-4	土師器 内黒皿	床直 3/4	口・13.4 底・(16.0)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。 やや重。白色粒・鉱物含。	型作り。器内面に暗文を施す。器外面には横 撫・指頭痕を残す。	
242-3 169-2	須恵器 碗	旧竈掘方 1/3	口・(14.8) 底・7.5	酸化。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。軽。鉱物含。	口縁部は外反する。轆轤成形(両回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合5片 粘
242-4 169-6	須恵器 碗	不明 1/3	底・6.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 粗。軽。鉱物粒含。	体部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台付 け高台。底部は回転糸切り。	粘
242-5	石製品 小円礫	覆土 完形	石英 8.0g	横・2.1	乳白色を呈し、旧時は自然材、全面に摩耗光 沢あり。白のため陽石としての利用もあらか。	

第172号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
243-1 169-8	須恵器 坏	覆土+177住覆土 1/4	口・(12.8) 底・(7.2)	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 やや重。白色微、黒色粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削り。器面、割れ口消耗。	接合3片 粘

第177号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
244-1	土師器 甕	床直 胴下半1/2	底・(4.8)	酸化。硬。暗赤褐5YR3/2。 並。白粒含。褐粒微、他鉱物含。	内面に篋撫痕。外面に篋削、煤付着。底面篋 削。器肉薄く型作りか。	接合2片
244-2 169-9	須恵器 坏	床直 完形	口・12.4 底・ 7.7 高・3.3	還元～中性。軟。灰10Y6/1。 並。軽。白・褐粒含、他多。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り後篋 削り。体部に不明墨字あり。	墨書-55
244-3 169-10	須恵器 坏	床直 ほぼ完形	口・12.6 底・7.6	中性。軟。にぶい黄橙10YR6/4。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 回転篋整形。重ね焼色変。	内面漆 笠懸か
244-4 169-13	須恵器 坏	掘方 完形	口・12.8 底・ 8.0 高・3.5	酸化。硬。黒褐7.5YR3/1。並。 やや重。雲母、褐粒、他少。	底部轆轤右回転糸切後、周辺回転篋削。不明 墨字。体部外面も同一墨字。内・外ハゼ多燻。	粘 墨書-56
244-5 169-12	須恵器 坏	覆土+172住覆土 1/2	口・(12.9) 底・(7.8)	中性。並。にぶい黄橙10YR7/3。 並。やや重。鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切後回転篋整形。内・外少し摩耗。	接合3片 笠懸
244-6 169-11	須恵器 坏	床直 1/4	口・(13.8) 底・(8.5)	中性。硬。にぶい褐7.5YR5/3。 並。やや重。褐粒。鉱物微。	轆轤成形(右回転)。底部欠損のため切り離し 技法不詳。少し燻される。内面ハゼ少。	粘陶
244-7	須恵器 坏	覆土 底1/2	底・(7.7)	酸化。軟。橙5YR6/6。並。やや 重。白・褐粒含、他鉱物少。	少し消耗。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸 切り。内面工具による轆轤目。	粘

第107号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
245-1 169-16	土師器 甕	覆土+竈付近 1/2	口・19.5 底・9.0	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。重。白粒、鉍物微。	「コ」の字状口縁。口縁型作り。外面は篋削、 煤付着。口縁部は横撫で。	接合34片 シルト縞
245-2	土師器 甕	覆土+竈付近 口縁片	口・(13.0)	酸化。並。にぶい褐5/4。並。 軽。白・褐粒含、他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合5片
245-3 169-14	須恵器 坏	床直 一部欠損	口・13.1 底・6.5	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 密。重。白色粒・鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面轆轤目顕著。	接合3片 太田か
246-1	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(12.4) 底・(5.9)	酸化。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。軽。褐粒含。鉍物含。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 回転糸切り。全体に粗雑な感あり。	粘
246-2 169-15	須恵器 碗	床直 一部欠損	口・13.6 底・6.4	酸化。軟。明黄褐10Y6/6。並。 鉍物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合7片 煤付着
246-3 169-17	須恵器 碗	竈内 1/3	口・14.5 底・7.1	還元。並。灰7.5Y6/1。粗。 やや軽。白色粒含。鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合6片
246-4	施釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.3	還元。締。灰オリーブ7.5Y5/2。 密。重。鉍物溶解。	外面に自然釉あり。内面に轆轤目あり。割れ 口の消耗あり。	東海搬入
246-5	緑釉陶器 器種不明	覆土掘方 破片	厚・0.2+ α	還元。軟。釉淡黄緑(浅黄7.5Y 7/3)。胎土黄灰(チョーク状)	平らな箇所の破片。内面に淡緑色釉、回転か 否か不明の研磨あり、多面剝落。	
247-1 169-18	石造品 袖石	床直	デイスait質凝 灰岩3045g	長・11.5+ α 。幅・18.5。 厚・7.9	自然材に見える。粘土粒、白・褐粒多い。被 熱硬化し、部分的に燻。削目疑似あり。	接合3片
247-2 169-21	石造品 電架材か	覆土	デイスait質凝 灰岩1260g	長・19.7+ α 。幅・17.5。 厚・8.5	自然材に見え、粘土粒、白・褐粒多い。全体 に被熱酸化し、両小口は欠損。削目疑似あり。	
247-3 169-20	石造品 袖石	覆土	デイスait質凝 灰岩4045g	長・27.7+ α 。幅・18.2。 厚・7.9。	自然材に見える。粘土粒、白・褐粒多い。被 熱酸化し部分的に燻。削目疑似あり。	接合2片

第108号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
248-1	土師器 坏	覆土 口縁片	口・(14.3)	酸化。並。褐7.5Y5/6。並。 やや重。褐粒含。他鉍物微。	口縁部は直立気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合3片
248-2 170-1	土師器 甕	床直+覆土 口縁上半	口・(20.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR6/3。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は篋削り、 内・外面に煤。内面は篋撫で、口縁部は横撫。	接合8片
248-3 169-22	須恵器 坏(墨書)	床直 完形	口・12.9 底・7.6	酸化～還元。並。灰7.5Y6/1。 並。やや重。白粒多、鉍物含。	口縁部は外傾する。底部は轆轤右回転糸切り。 体部外面に「主」墨字と火禱あり。	墨書-57
248-4 170-2	須恵器 坏(墨書)	床直 1/4	口・(12.9) 底・(7.5)	還元。並。灰5Y6/1。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削り。体部 外面に「主」墨字あり。割れ口少し消耗。	笠か 墨書-58
248-5 169-23	須恵器 坏	床直 完形	口・12.9 底・7.6	中性。軟。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。白粒含。鉍物微。	燈火皿。底部は右回転糸切り。口縁部に油煙。 燈芯痕。底・内面とも摩耗。	接合5片 粘
248-6 170-3	須恵器 坏	覆土 1/3	高・3.8 底・(8.9)	還元。硬。灰白7.5YR7/1。 密。重。黒粒含、白鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋調整。重焼色変あり。	接合3片 笠懸か
248-7	須恵器 坏	覆土 口縁片	厚・0.3	還元。並。灰5Y5/1。並。 やや重。白粒含、黒粒微、多微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部外面に「主」 の墨字あり。割れ口消耗。	笠か 墨書-59
248-8 170-4	須恵器 坏刻書	竈 底部のみ	基部・9.0	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 やや重。黒・褐粒含。他含。	内面底摩耗あり、さらに2カ所に斜書、小ハ ゼあり。高台は旧時に剝落。墨痕は見えない。	
248-9	須恵器 坏蓋	竈 口縁片	口・(16.7)	還元。並。灰7.5Y6/1。密。 やや重。白・黒粒含。他少。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。 下半部と内面に轆轤目あり。	埼玉か

第109号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
250-1 170-5	土師器 坏(平底)	覆土+竈左側袖 1/2	口・12.0 底・6.3	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。やや軽。褐粒・鉍物含。	口縁部は粘土帯。型作り。底部は篋削り、体 部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	接合4片
250-2 170-9	土師器 坏(平底)	床直 ほぼ完形	口・(12.2) 底・7.5	酸化。硬。灰褐7.5YR4/2。並。 軽。	型作り。底部は篋削りと中央に砂付着。体部 に篋削。型膚。口縁部・器内面は横撫で。	接合4片 粘
250-3 170-10	土師器 坏(平底)	覆土 1/2	口・(13.8) 底・9.45	酸化。硬。橙7.5YR6/6。粗。 軽。褐粒、鉍物含。	内面暗文あり。型作り。底部は篋削り、体部 にも篋削。口縁部・器内面は横撫で。	接合5片 粘
250-4 170-6	土師器 内黒坏	床直 一部欠損	口・11.8 底・7.6	酸化。硬。褐7.5YR4/3。並。 重。鉍物含、粘・陶。	型作り。内面に暗文を施す。器外面には型膚・ 指頭痕を残す。外部横撫部を除いて全型膚。	接合2片 型跡標品
250-5	土師器 小形甕	覆土+掘方 口1/6	口・(12.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。褐粒、鉍物含。	「コ」の字状口縁。型作り。器外面は篋削り、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片

第109号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
250-6 170-11	土師器 甕	覆土 破片	口・(12.7)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 白・褐粒含、鉍物少。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、器外面は篋撫で。口縁部は横撫でを施す。	接合3片 粘・陶
250-7 170-7	土師器 台付甕	覆土+掘方 脚部片	底・7.2	酸化。並。赤褐2.5YR4/6。並。 やや軽。白粒・鉍物含。	脚内・外面横撫。底部外面篋撫。外面被熱色変。端部内面にやや返りあり。	
250-8 170-13	須恵器 内黒 坏	覆土+掘方 1/3	口・(12.0) 底・6.0	酸化。並。にぶい橙5YR6/3。 並。やや重。鉍物粒含。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。底部は回転糸切り。轆轤目発達せず。	接合5片 粘・陶
250-9 170-12	須恵器 内黒 坏	覆土+掘方 底部のみ	口・(12.3) 底・5.5	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。鉍物粒含。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。底部は回転糸切り。外面全体に撫あり。	接合3片 粘・陶
250-10 170-14	須恵器 坏	覆土 1/2	口・12.4 底・5.6	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。重。 白色鉍物多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外面の轆轤目多い。	接合3片 太田
250-11 170-15	須恵器 坏	床直 2/3	口・13.1 底・5.6	還元。軟。灰白7.5Y7/2。粗。 軽。白粒、鉍物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。焼ムラあり、部分的に黒い。	粘
250-12	須恵器 坏(墨書)	覆土 口縁片	厚・0.5	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。白粒多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。切り離し技法不詳。体部外面に不明墨字あり割れ口消耗。	墨書-60
251-1 170-16	須恵器 内黒 坏	覆土 3/4	口・(12.7) 底・6.1	酸化。硬。赤褐2.5YR4/6。並。 やや軽。	器内面に研磨を施す。底部は右回転糸切り。内面摩耗。漆付着。被熱色変。	接合3片 粘
251-2 170-8	須恵器 皿	覆土+不明 1/2	口・13.5 底・7.7	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並。鉍物粒多、金雲母含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は撫で整形。	接合4片 粘・陶
251-3	須恵器 坏	覆土 底部片	厚・0.6	還~中性。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや軽。白・褐粒微、他微。	底部は轆轤右回転の篋削。底面に墨液、割れ口消耗、墨液明瞭。	粘 墨書-61
251-4	施釉陶器 瓶	覆土掘方 破片	最大・12.5	還元。締。灰オリーブ5Y5/2。 密。重。鉍物溶解気味。	外面オリーブ色の自然釉・釉溜まりあり。内面轆轤目あり。割れ口の消耗少。	東海搬入
251-5	須恵器 広口甕	覆土 破片	口・(23.6)	還元。硬。灰5Y5/1。並。重。 白・灰色粒含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。内・外面撫整形。割れ口少し消耗気味。	粘・陶
251-6	須恵器 短頸壺	床直 破片	径・(27.4)	還元。締。灰5Y6/1。密、やや重。 白微粒、黒粒含、他微。	自然釉あり。外面上方轆轤目下端'回転篋削。内面轆轤目シャープ。	産県内
251-7	須恵器 短頸壺	床直 1/4	底・(16.2)	還元。締。黒褐2.5Y3/1。	自然釉あり。内面の轆轤目シャープ。台部内面撫整形。-6と同一個体。	産県内
251-8	瓦 本瓦 女瓦	覆土 破片	横・(6.5) 厚・2.9	還元。締。並。やや重。白粒極多。	表面に角ばりのある砂付着。粘土板剥取りなし。表面撫痕。焼きヒビ入る。	陶・粘 中世か
251-9 170-17	石器 こも編石	覆土 完存	ホルンフェルス 720g	長・17.5、幅・6.5、厚・4.8	側部・小口に剥離が認められる。	

第110号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
252-1 170-18	土師器 坏	掘方覆土 1/2	口・(12.0) 底・(8.5)	酸化。並。明褐7.5Y5/6。粗。 軽。鉍物粒含。	口縁部は直立気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合4片
252-2 170-19	土師器 坏(平底)	覆土 1/4	口・(12.1)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。 やや重。鉍物粒微。	口縁部は内湾する。型作り。底部は篋削り、体部に型膚を残し、口縁部・器内面横撫。	接合6片
252-3 170-20	土師器 坏	覆土 1/2	口・12.2 底・6.5	酸化。並。明黄褐10Y6/6。粗。 軽。鉍物粒微。	口縁部は外傾気味。型作り。底部篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合3片
252-4 170-21	土師器 坏	竈内 一部欠損	口・12.2 底・7.8	酸化。並。明褐7.5Y6/6。並。 やや重。鉍物粒少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
252-5 170-22	土師器 坏	覆土 一部欠損	口・12.4 底・6.9	酸化。並。橙5Y6/6。並。 やや重。鉍物粒微。	口縁部は外反気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
253-1 170-23	土師器 坏	覆土 一部欠損	口・12.4 底・6.8	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。 やや重。鉍物粒少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	口縁粘土 帯か
253-2 170-26	土師器 坏	床直 完形	口・13.0 底・8.2	酸化。並。明黄褐10Y6/6。並。 やや重。鉍物粒微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
253-3 170-24	土師器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 高・(3.4)	酸化。硬。鈍赤褐5YR5/3。 並。白粒含、他鉍物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、指圧痕。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合5片
253-4 170-27	土師器 坏	覆土 3/4	口・13.0 底・9.5	酸化。並。橙7.5Y7/6。並。 やや重。鉍物粒含。	内面放射状暗文と篋記号。体部、底部は篋削り、口縁部・器内面は横撫で整形。	接合6片 篋記号
253-5 170-25	土師器 坏	覆土+掘方 2/3	口・14.0 高・2.7	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4。粗。 やや重。褐粒、鉍含。ルビー入。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合8片
253-6 170-29	土師器 皿	床直 1/2	口・(13.4) 底・(10.7)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。白粒含、鉍物多。	口縁部は端反り気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合3片

第110号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
253-7 170-28	土師器 皿	掘方覆土 1/3	口・(14.3) 底・(10.0)	酸化。硬。橙5YR6/8。並。 やや重。暗褐粒少、鉾物含。	口縁部は端反り気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合3片
253-8 170-31	土師器 台付甕	覆土 1/4	口・(12.8) 底・(8.8)	酸化。並。灰赤2.5YR5/2。並。 やや軽。褐粒・金雲母・鉾物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
253-9 170-30	土師器 甕	覆土 口縁部周辺	口・(12.0)	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 やや重。白・褐粒、他含。	頸部に粘土接合。型作りか。外面は篋削り、 内面は篋撫で、口縁部は横撫で。外面被熱。	
253-10 171-1	須恵器 坏	覆土 1/3	口・(13.0) 底・(6.0)	還元。並。灰10Y6/1。並。軽。	口縁部は外傾する。底部は轆轤右回転糸切り、 さらに「乙」か墨字あり。	接合4片 墨書-62
253-11 171-4	須恵器 坏	床層 2/3	口・13.0 底・5.4	還元・並。オリーブ灰2.5GY5/1。 並。やや重。黒粒微、鉾物少。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り。全 体的に吸炭。外面に油煙か漆付着。	接合4片 笠懸か
254-1	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(13.8) 高・(3.5)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。やや重。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は欠損する。轆轤目多く特徴的。	接合3片 粘・陶
254-2 171-2	須恵器 碗	床層 一部欠損	口・15.4 底・9.0	還元。軟。灰白7.5YR7/2。並。 やや重。白粒、鉾物微。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。高台付け 高台。底部は回転糸切り。内・外轆轤目多。	接合3片
254-3 171-5	須恵器 碗	床直 1/4	口・(15.8) 底・(8.8)	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや軽。白・黒粒含。他少。	口縁部は外傾する。高台付け高台。底部は轆 轤右回転糸切り、不明墨字あり。割れ口消耗。	墨書-63 粘
254-4 171-3	須恵器 坏(墨書)	覆土 底部片	底・(6.0)	酸～還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り、不明 墨字あり。割れ口消耗。内面摩耗あり。	墨書-64 粘
254-5 171-6	須恵器 坏(墨書)	覆土 底部片	底・(6.0)	還元。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 並。やや重。褐粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り、不明 墨字あり。割れ口消耗あり。	墨書-65 粘
254-6 171-7	石製品 紡錘車	床直 完形	蛇紋岩 4.6g	縦-4.5 横-4.4 厚-1.4	表面に文字、側部にも長銘の斜書あり。裏面 に使用摩耗あり。文字も使用摩耗。判読困難。	文字あり
254-7 171-8	土錘	覆土 ほぼ完形	長・(4.8) 4.8g	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや軽。鉾物少。	上の小口欠損。表面少し使用摩耗。胎土軽。 穴中に穿孔の縦方向の条痕あり。	
254-8 171-9	土錘	覆土 完形	長・4.5 巾・ 1.85 11.5g	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。鉾物少。	表面は滑らか、少し使用摩耗。穿孔はほぼ均 等のようなものである。	
254-9 171-10	土錘	覆土 一部欠損	長・(3.7) 巾・1.3 5.1g	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/6。 並。軽。鉾物少。	手前小口は旧字欠損。表面使用摩耗。穿孔は ほぼ同じ直径。	

第111号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
255-1 171-11	土師器 坏(平底)	床直 完形	口・13.5 底・4.3	酸化。軟。赤褐2.5YR4/8。並。 白粒、鉾物多。	口縁部は内湾気味。口縁部粘土帯接合面。底 部は篋削、体部に型膚。口縁部・内面は横撫。	接合3片 被熱酸化
255-2 171-12	土師器 坏(平底)	床直 2/3	口・15.4 底・6.2	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 粗。軽。白・褐粒含、鉾物多。	口縁部は直立気味。型作り。底部は篋削りで、 体部に型膚篋削。口縁部・器内面は横撫で。	接合5片 粘
255-3	土師器 内黒 坏	覆土 1/4	口・(13.7)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 白・褐粒微、他鉾物多。	型作り。器内面に研磨を施す。器外面には型 膚・指頭痕、下方に斜方向の篋削目。	
255-4 171-13	土師器 小形壺	覆土 3/4	最・15.9	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 並。やや重。鉾物含。	外面におおまかな研磨あり。内面に紐作痕、 篋撫痕あり、紐は内面左上り。外面被熱。	接合14片
256-1 171-14	土師器 高坏	竈内 一部欠損	口・16.0	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。 並。茶褐粒、鉾物多。	口縁部に粘土帯1条。外面横撫、接合痕、指 等圧痕、小ハゼ。内面小ハゼ。脚内紐作痕。	接合8片 被熱色変
256-2 171-16	土師器 甕	床直+覆土 3/4	口・14.8 高・18.1	酸化。並。橙2.5YR6/6。粗。 軽。白色粒微、鉾物粒微	体部下半に紐作痕。器内・外面は篋撫で、口 縁部は横撫でを施す。外面ハゼ、被熱色変。	接合32片
256-3 171-15	土師器 甕	竈掘方 1/4	口・15.7	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。	器外面はササラ様の篋削り。器内面は篋撫で、 紐作痕。口縁部は横撫、頸部外面篋傷多い。	接合7片
256-4 171-17	土師器 甕	床直 一部欠損	口・17.5	酸化。硬。橙7.5YR6/8。並。 やや重。白・褐粒含、鉾物微。	外面に撫、篋撫、石目状の型膚疑似。内面篋 撫、接合痕。外面下半煤付着。	接合45片
257-1 171-18	土師器 甕	床直+床層 2/3	口・17.2 底・7.4	酸化。硬。にぶい橙5YR6/3。 並。やや重。白色粒含。	口縁部は「く」の字状で外反。器外面は篋撫 撫で、器内面は篋撫、口縁部は横撫を施す。	接合36片
257-2 172-1	土師器 甕	竈内 破片	最大径 (27.6)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 並。やや重。白色粒含。	頸・体部片。器厚は厚い。器外面は斜位方向 の篋削り、篋撫で。外面に紐作の凹凸あり。	接合44片
257-3 171-19	土師器 甕	覆土 1/2	口・14.0 底・5.2	酸化。軟。明赤褐2.5YR5/6。 粗。軽。白色粒含。	紐作り、内面に接合痕あり。口縁部丸味あり。 外面は指・篋撫で。内面は指圧痕。	接合10片
257-4 171-21	石器 叩石	覆土 完存	粗粒輝石安山岩 710g	長・10.3、巾・6.9、厚・5.7。	小口の両端が顕著な使用痕を残す。	
258-1 171-20	土師器 甕	掘方 1/2	底・8.5	酸化。硬。橙7.5YR7/6。粗。 重。褐粒他、白・鉾物少。	外面は篋撫で後おおまかな研磨。内面に接合 面、直上に刷毛目、以下に篋撫で、ハゼ。	接合28片 外被熱

第112号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
259-1	土師器 坏	竈覆土 破片	口・(14.0)	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 軽。雲母粒含、鉍物微。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合2片
259-2 172-2	土師器 坏	竈付近+覆土 1/3	口・(13.6) 底・6.0	酸化。軟。橙2.5YR6/6。粗。 軽。白色粒微。シルト質。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。素地2種混じりの縞あり。	接合4片 粘
260-1	土師器 甕	覆土 口縁部破片	口・(20.6)	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや重。鉍物少。	口縁部周辺横撫。体部外面篋削。内面篋撫と 小ハゼあり。	
260-2 172-3	土師器 甕	竈付近+竈覆土 1/3	底・(4.0)	酸化。硬。にぶい褐7.5YR6/3。 並。やや重。褐色粒微。	外面は篋撫・篋削りを施し、内面下方はハゼ 痕多あり。割れ口に紐作痕。外面被熱色変。	接合22片

第113号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
261-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.4)	酸化。軟。橙5YR6/8。並。 やや軽。白・褐粒含、他微。	口縁部は直立気味。底部は篋削り、口縁部・ 器内面は横撫で整形。割れ口消耗大。	接合3片
261-2	土師器 短頸壺	床直 破片	口・(11.0)	酸化。軟。赤10R5/8。並。軽。 褐粒多、他鉍物少。	外面にハゼ多く、口縁部下外面から内面にかけ 横撫。割れ口少し消耗。	
261-3 172-4	土師器、小形 粗製、土鈴か	床直+覆土	底・2.5	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。 並。軽。白粒含。他鉍物少。	上面に鈴のワニ口のような孔らしい個所あり。 鈴の可能性あり。外面撫痕。否埴輪。	接合3片
261-4 172-5	土師器 小形壺	床直 3/4	底・3.2	酸化か。硬。赤10R4/6。密。 やや重。黒褐粒含、鉍物粒少。	赤味強い。外面丁寧な研磨。頸部は旧欠後、 磨き再用。底部も研磨。	
261-5 172-6	土師器 甕	床直 1/4	口・(20.3)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。褐粒、鉍物多。	口縁部は外傾する。器外面は篋削り、器内面 は篋撫で、ハゼ多い。口縁部は横撫でを施す。	接合11片
263-1	土師器 高坏	床直 坏部片	口・(17.8)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他多。	脚部欠損。内・外面ハゼ多。外面下方に接合 面、撫あり。この撫は研磨か。	接合4片
263-2 172-7	土師器 高坏	床直 脚部欠損	口・21.8	酸化。並。橙2.5YR6/8。粗。 やや重。褐粒多、他多。	外面暗文を2段に施す。脚部旧欠。外面の下 地は横撫。内面丁寧な全面研磨。芯黒褐色。	接合22片
263-3	土師器 甕	床直+覆土 頸~脚部片	最大径・(25.4)	酸化。並。褐7.5YR4/3。並。 やや軽。白・褐粒含、他多。	器厚は厚い。器外面は斜位方向の刷毛目、煤 付着。内面指圧痕、ハゼあり。	接合10片
263-4 172-8	土師器 壺	床直+覆土 底部片	底・7.5	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。茶褐含。	外面は篋撫で篋削りを施す。内面は篋撫でお よびハゼ痕多あり。外面被熱色変。	接合20片
263-5 172-9	土師器 甕	床直 1/4	口・(25.1) 底・6.7	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。褐粒多、鉍物少。	遺存不良、図推奨できず。口縁部は外反。内 面指撫。外面撫と工具擦痕。底1・2孔不明。	接合24片
263-6 172-10	土師器 甕	床直 1/4	口・(23.8)	酸化。硬。橙5Y6/6。並。 やや重。褐粒含。鉍物少。	外面指頭痕。篋削り。型膚あり。内面に浅い ハゼ。旧割れ後被熱。内・外煤付着。	接合23片
263-7	土師器 甕	床直 破片	厚・0.9	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	外面に刷毛目、内面に擦痕と指撫あり。割れ 口消耗少。外面煙吸炭あり。	

第114号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
264-1 172-15	須恵器 坏	床直 完形	口・12.5 底・5.0	還元。軟。灰白7.5Y7/2。並。 軽。白粒含、鉍物微。	全体に凹凸多く、硬い生地の部分が膨れる。 底部は右回転糸切。焼ムラあり部分的に黒い。	接合3片 粘
264-2 172-14	須恵器 坏	覆土 1/2	口・12.85 底・5.2	還元。並。灰黄2.5YR7/2。並。 軽。黒粒含、鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外使用摩耗あり。	接合2片 粘
264-3 172-16	須恵器 坏	竈+覆土 2/1	底・5.8	酸化。軟。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面全体にハゼしている。	
264-4 172-13	須恵器 埴	竈覆土	底・7.1	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。鉍物粒少。	轆轤成形(右回転)。高台付け高台。外面に小 角礫を多く含む淡黄粘土付着。被熱色変。	接合2片
264-5	須恵器 甕	床直+床層 口縁片	口・(28.5)	還元~中性。軟。にぶい黄2.5Y 6/3。並。軽。暗褐粒含、他少。	外面ハゼ多。内面と外面鏝上方は回転撫。外 面下方は回転弱い撫。外面被熱吸炭。	接合4片 粘
264-6	施釉陶器 灰釉埴	覆土 破片	口・(15.0)	還元。締。釉淡黄緑(灰釉)。 胎土灰。	内・外面施釉。外面轆轤目。内面滑らか。内・ 外面施釉。割れ口少し消耗。	接合2片 東海搬入

第115号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
265-1 172-11	須恵器 埴	床直+掘方 一部欠損	口・14.2 底・6.9	還元。並。灰白7.5Y7/1。並。 重。鉍物粒少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は高台貼付後整形。全体被熱、黒色色変。	接合3片 粘・陶

第115号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
265-2 172-12	須恵器 埴	床直 1/2	底・8.0	還元。軟。灰白5Y7/2。並。重。 白粒・白鈹物他多。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は高 台貼付後撫整形。	粘
265-3	施釉陶器 灰釉 皿	覆土 破片	口・(13.0)	還元。締。釉淡暗黄緑(灰釉)。 胎土灰。	内面施釉。外面轆轤目。口縁部周辺摩耗あり。 割れ口消耗微。	内面赤色 煤付着
265-4	施釉陶器 灰釉 皿	覆土 底部片	底・(7.0)	還元。締。釉淡乳白一透明。	内面に施釉。外面釉見えず。底面に糸切痕跡 があり、高台付近撫。割れ口少し消耗。	東海搬入
265-5		覆土 粘土塊	巾・4.5	酸～還元。にぶい橙7.5YR7/4。 粗。軽。茶褐粒微、他微。	手で握ね固め潰したような粘土塊。表・裏面 に単子葉の圧痕。芯一裏面にかけ少しの吸炭。	
266-1 172-17	施釉陶器 灰釉 瓶	床直 破片	最大・19.0	還元。硬。灰白7.5Y7/1。密。 重。白色鈹物含、鈹物微。	外面上方と内面は、速い轆轤右回転の篋削り、 轆轤目。外面下方は遅い回転の篋削り。	接合7片
266-2	施釉陶器 灰釉 瓶	床直 胴部片	最大・21.4	還元～中世。締。釉淡暗黄緑 (灰釉)。胎土灰。密。	外面に釉溜り、部分的に縞。下地は回転篋削。 内面轆轤目。内面工具痕で、保修か。	接合2片

第116号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
267-1	土師器 坏	覆土 1/4	口・(9.6)	酸化。並。明赤褐5Y5/6。並。 白・褐粒含、他鈹物少。	口縁部は外傾気味。型作りか。底部は篋削、 口縁部・内面は横撫整形。内面少し吸炭気味。	接合2片
267-2 173-1	土師器 甕	床直 破片	口・(13.6)	酸化。硬。にぶい赤褐5Y4/4。 並。軽。白・褐粒含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面に撫でと接合痕。口縁部は横撫を施す。	接合2片
267-3	土師器 甕(小形)	竈内 一部欠損	口・(11.8)	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや重。雲母含。鈹物少。	型作りか。器外面は篋削り、口縁部横撫でを施 す。焼成後穿孔。上部は旧欠、その後も使用。	接合9片
268-1	須恵器 坏	竈覆土 1/4	口・(13.2)	還元。並。灰5Y5/1。並。やや重。 白粒含、他鈹物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部欠損切り 離し技法不詳。内・外面少し吸炭。	笠か
268-2	須恵器 坏蓋	覆土 1/2	摘・2.6	還元。並。灰5Y6/1。並。やや重。 白粒含、黒粒・他少。	轆轤成形(右回転)。上半部回転篋削り。端部 尖り、少し旧時の摩耗あり。	笠か 粘・陶
268-3	石造品 円磔	覆土 完形	石英 288g	遺存長・1.9 幅・1.5 厚・0.55	白色の、旧材自然円磔で、表・裏に使用の摩 耗光沢あり。扁平な材で石英に見える。	

第117号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
270-1 173-2	土師器 内黒・坏	床直 1/4	口・(12.8) 底・(6.9)	酸化。硬。にぶい赤褐5YR4/3。 粗。軽。鈹物含。	器内面に研磨・内黒を施す。器外面には型膚・ 指頭痕を残す。内黒は吸炭浅く、茶味強。	接合3片 粘
270-2 173-9	須恵器 坏	覆土 破片	口・(14.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。白・褐粒含、鈹物少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。内面 に漆付着。底部は回転糸切り。被熱色変。	接合2片 粘
270-3 173-4	須恵器 埴	床直 1/3	口・(17.3)	還元。硬。灰N5/。並。やや重。 白色粒微、鈹物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 糸切り。高台貼付。内・外面に轆轤目多い。	接合4片 粘・陶
270-4 173-3	須恵器 皿	竈+床直 1/4	口・(16.4) 底・8.2	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。密。 重。鈹物粒多。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は右回転 糸切り。胎土中に透明鈹物粒含。	太田か
270-5 173-7	土師器 台付甕	床直 脚部欠損	口・12.8	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。少し重。鈹物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫と撫。口縁部は横撫を施す。	
270-6 173-5	土師器 甕	床直 破片	口・(14.1)	酸化。並。赤褐5YR4/6。並。 やや重。白粒微、他鈹物少。	頸部外面に粘土帯の接合痕。型作りか。外面 は篋削、内面は撫と接合痕。口縁部は横撫で。	接合3片
270-7 173-6	土師器 甕	竈+床直 破片	口・(19.2)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 白・褐粒含、鈹物少。	口縁部外面に接合面。型作りか。外面は篋削 り、内面は撫で、口縁部は横撫で。	接合4片
270-8 173-8	土師器 甕	覆土+床直 1/3	口・(21.1)	酸化。硬。にぶい黄橙10YR7/3。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	内面と頸部外面に接合痕あり。器外面は篋削 り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合17片
270-9	土師器 甕	覆土+床直 胴～底部1/3	底・(5.4)	酸化。並。灰黄褐10YR6/2。 粗。軽。茶褐粒含、鈹物少。	器厚は薄い。器外面は縦位方向の篋削りを施 す。外面全体的に被熱。下方に煤付着。	接合19片

第118号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
271-1	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(12.2)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。	型作りか。外面は篋削り、頸部指圧痕。内面 は撫で、口縁部は横撫で。器面消耗。	接合3片
271-2	土師器 甕	掘方覆土 破片	口・(15.1)	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 並。白・褐粒含、鈹物少。	「コ」の字状口縁。型作り。外面は篋削、内 面は撫、口縁部は横撫で、内・外面に接合痕。	接合4片

第118号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
271-3 173-10	土師器 台付甕	覆土 脚部片	底・7.1	酸化。硬。にぶい橙5YR6/4。 粗。軽。鉍物粒なし。	内・外面に横撫であり。外面少し燻される。 欠損部は旧欠。	
272-1 173-11	土師器 甕	覆土 破片	口・(18.4)	酸化。硬。にぶい黄橙10YR6/4。 並。軽。褐粒少、鉍物微。	「コ」の字状口縁。口縁部の内・外に横撫で あり。外面下方篋削。頸部に接合痕。燻少。	
272-2 173-12	土師器 甕	覆土 破片	口・(19.0)	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 やや重。褐粒。鉍物微。	作調異風。口縁部下方外面に指圧痕。外面は 篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫を施す。	接合3片
272-3	土師器 甕	覆土 破片	口・(20.0)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部外面に型膚。器外面は篋削り、篋撫少。 器内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	接合2片
272-4 173-16	土師器 甕	床直 口縁部片	口・19.0	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 粘。やや重。茶褐粒微。	口縁部粘土帯。型作り。外面は篋削、内面は 篋撫で、接合面あり。口縁部は横撫で。	接合23片
272-5 173-13	土師器 甕	覆土 破片	口・(21.3)	酸化。硬。橙7.5YR6/8。並。 やや重。白粒含、鉍物少。	口縁部一頸部に接合面2カ所。器外面は篋削 り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫で施す。	
272-6 173-17	土師器 甕	覆土 底部片	底・4.4	酸化。硬。橙2.5YR6/6。粗。 やや重。鉍物粒微。	外面は篋削り、篋撫で、内面は指の圧痕あり。 外面被熱色変と若干の燻あり。接合面あり。	接合8片
272-7 173-14	須恵器 埴	覆土+床直 一部欠損	口・14.2	還元。並。にぶい黄橙10YR7/2。 密。やや重。鉍物粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 は欠損する(付高台)。底部糸切。	接合5片 笠・太田
272-8 173-15	須恵器 埴	床直 1/2	口・(15.1) 底・6.6	還元。硬。にぶい橙7.5YR7/3。 並。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合5片 粘
272-9 174-1	須恵器 埴	床直 2/3	口・15.05 底・5.4	還元。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 並。鉍物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。少し燻し。	接合2片 粘
272-10 174-4	須恵器 埴	覆土 1/4	口・(15.8) 底・6.8	酸化。並。にぶい黄橙10Y6/4。 並。軽。白粒含、他鉍物少。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。高台付高 台。底部回転糸切。体部に「大力」か墨字。	墨書-66 粘
272-11 173-18	須恵器 埴	覆土 3/4	口・15.7 底・7.4	還元。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 密。鉍物粒微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。少し燻あり。	接合2片 笠・太田
272-12 174-2	須恵器 内黒 埴	覆土 2/3	底・6.1	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並。鉍物粒微。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。高 台は付け高台。回転糸切り(右回転)。	粘
272-13	土師器 坏	覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。橙5Y6/6。並。軽。 白粒、白粘土縞、他鉍物含。	口縁部は外傾気味。体部に篋削り、不明墨字。 口縁部・回転糸切り。内面は横撫で整形。	墨書-67

第119号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
273-1	土師器 坏	覆土 小片	口・(12.8)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや軽。白・褐粒含、他微。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
273-2	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(12.4)	酸化。並。暗赤褐5YR3/4。並。 やや重。白・褐粒含、鉍物少。	「コ」の字状口縁。器外面は篋削り、器内面 は篋撫で、口縁部は横撫で施す。	
273-3	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(13.2)	酸化。並。橙5YR6/6。	「コ」の字状口縁。外面は篋削りと黒斑。内 面は撫で、口縁部は横撫でを施す。	
273-4	土師器 甕	覆土 小片	口・(13.6)	酸化。硬。にぶい橙5YR6/3。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	頸部外面に指圧痕。外面は篋削り、内面は撫 で、口縁部は横撫で。内面被熱。	接合2片
273-5	須恵器 坏	覆土 小片	口・(13.1) 底・(6.0)	還元。軟。灰白5Y7/1。並。 やや軽。白粒含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部 外面に轆轤目多い。	粘
273-6	須恵器 埴	覆土 1/4	底・6.5	還元。軟。黄褐2.5YR5/3。並。 軽。白粒含、他鉍物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	粘
273-7	須恵器 蓋、内黒	覆土 破片	厚・0.4	酸化。軟。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。白粒含、他少。	内面黒色処理と研磨あり。割れ口少し消耗。 黒色化は外面にもおよぶ。	粘
273-8	瓦 男瓦	覆土 小片	長・5.7+ α 厚・1.8	還元。硬。灰7.5YR5/0。粗。 やや軽。白粒含、鉍物含。	白粒は石英か。小片のため男瓦は不確実。布 目圧痕あり。表面撫。消耗少ない。	粘・陶 9C後
273-9	瓦 男瓦	覆土 小片	長・5.0+ α 厚・1.1	還元。硬。灰N6/0。並。軽。 白粒多、鉍物粒含。	内面布目。外面撫。薄作。焼成は高いが、生 地は合成土らしく、微クラック入る。	粘・陶 9C後

第120号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
274-1 174-5	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(15.2) 底・(7.0)	還元。並。灰白2.5YR7/1。並。 軽。白粒含、鉍物含。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面の轆轤目条数多い。	
274-2	土師器 甕	覆土 小片	口・(20.4)	酸化。並。にぶい橙5YR7/4。 並。軽。白・褐粒含、鉍物粒少。	口縁部下外面に接合面。型作り。外面は篋削 り、内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	接合3片

第120号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
274-3	施釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.4	還元。締。釉淡黄緑(灰釉)、 胎土。	外面にやや厚い施釉あり。内面無釉。胎土は 灰白地白味強。割れ口消耗。	東海搬入
275-1	土師器 甕	覆土 小片	口・(20.6)	酸化。並。橙2.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	内・外面に接合2段分あり。型作り。外面は 篋削り、内面は撫で、口縁部は横撫で。	
275-2	土師器 甕	床直 口縁～体部	口・(20.9)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。金雲母含、鉍物粒含。	器外面はササラ状の篋削り、器内面は撫で、 口縁部は横撫でを施す。	
275-3	土師器 甕	床直 小片	口・(21.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/3。	口縁部外面に粘土帯接合面。型作りか。外面 は篋削り、内面は篋撫で。口縁部は横撫で。	接合2片

第121号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
276-1	土師器 甕	床直 口縁部片	口・(19.2)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。金雲母粒・白粒含。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、器内面 は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
276-2	土師器 甕	床直+覆土 底～体部片	底・(3.4)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。	口縁部は欠損する。器外面は篋削り、器内面 は篋撫で、外面に被熱色変あり。	接合2片
276-3	土師器 甕	床直 小片	底・(4.2)	酸化。硬。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。白・褐粒含、他含。	口縁部は欠損する。器外面は篋削り、器内面 は篋撫で、外面被熱色変。割れ口消耗気味。	
276-4	須恵器 坏	竈掘方+覆土 口縁部片	口・(13.3)	還元。軟。灰白2.5YR7/1。並。 軽。白・褐粒含、他鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 欠損のため切り離し技法不詳。	粘
276-5	須恵器 坏	覆土 破片	底・(8.0)	還元。軟。灰オリープ5Y6/2。 並。軽。褐粒多。	轆轤整形。底部は回転糸切り。体部外面轆轤 目。割れ口の消耗大。	粘
277-1 174-3	須恵器 坏蓋	床直 1/2	口・(13.4)	中性。並。にぶい黄2.5Y6/3。 密。やや軽。鉍物少一微。	上半部は轆轤右回転篋削り。外面に重焼吸炭、 「刀」墨字。内面黒色化。割れ口消耗微。	接合3片 墨書-68
277-2	須恵器 坏蓋	竈+覆土 1/3	厚・0.8	中性。粘。灰黄2.5Y7/2。並。 やや軽。黒粒多、褐粒含、他少。	外面は轆轤右回転篋削り、轆轤目。内面使用 摩耗。重焼色変。割れ口消耗。	粘
277-3	須恵器 盤	覆土 破片	厚・0.8	還元。並。灰N5/0。並。軽。 白粒多、他鉍物含。	付高台。底部轆轤右回転篋削り。割れ口消耗 あり。高台端部使用摩耗か。	粘
277-4	須恵器 甕	竈掘方 口～頸部片	口・(23.8)	還元。締。灰N4/0。密。重。 白色小粒子、同鉍物多、他微。	紐作後轆轤成形か。器面少しザラつく。口縁 部付近に自然釉かかる。	太田
277-5 174-6	土製品 塑物	覆土 破片	巾・(2.4)	酸化。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 軽。褐粒多、他微、シルト質。	外面は球状をなし、内部に管状の小穴あり。 管中にスサ様の圧痕状態は見られない。	水に沈む
277-6	石製品	掘方	蛇紋岩	径・4.55 穴径・0.85	裏面、旧欠剥落。側部は再整形の罫目状擦痕。 表面(拓)は罫目状は摩耗があり旧面か。	欠損後再 加工
174-7	紡錘車	1/2?	重・26.8g			

第122号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
278-1	土師器 坏	覆土 小片	口・(13.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR6/3。 並。軽。白・褐粒含、他少。	口縁部外面に吸炭あり。底部は篋削り、体部 に篋削。口縁部・器内面は横撫で整形。	
278-2	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(18.0)	酸化。硬。にぶい黄褐10YR5/4。 並。軽。金雲母、鉍物含。	口縁部は「コ」の字状口縁。器外面は篋削り、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
278-3	土師器 甕	床直 口縁部片	口・(19.8)	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。白・褐粒含、鉍物粒少。	頸部に型膚。型作りか。外面は篋削り、内面 は横撫で。外面煤。	
278-4 174-8	土師器 台付甕	床直 脚部片	底・11.0	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。鉍物粒含。	内・外面に横撫あり。内・外面にハゼと被熱 と考えられる色変あり。	
278-5 174-9	須恵器 坏	覆土 3/4	口・12.1 底・6.2	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 鉍物粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合3片 笠・太田
278-6 174-10	須恵器 坏	覆土 1/2	口・12.6 底・8.2	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 鉍物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後周辺を篋整形。	笠・太田 か
279-1 174-11	須恵器 坏	床直+覆土 3/4	口・12.9 底・7.8	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 鉍物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は右回転 糸切り。内面の轆轤目高い。	接合4片 笠・太田
279-2 174-12	須恵器 坏	床直+覆土 一部欠損	口・13.0 底・7.0	還元。硬。にぶい橙7.5YR7/3。 並。やや重。鉍物粒含。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り。外面底部際に挽出し陵あり。	接合2片 笠懸
279-3	須恵器 坏 墨書	覆土 口縁部片	口・(13.2)	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや軽。白粒微、他鉍物微。	轆轤成形。内・外面轆轤目少ない。外面に不 明墨字あり。割れ口消耗少。	笠か 墨書-69
279-4	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(7.3)	還元。軟。灰5Y6/1。並。軽。 白粒多、他少。	底部は轆轤右回転糸切り。乾燥時のヒビ割れ あり。割れ口消耗大。	接合2片 粘

第122号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
279-5	須恵器 坏	覆土 底部片	底・7.2	還元。並。灰5Y5/1。並。軽。 白粒多、他鉱物含。	底部は轆轤右回転糸切り。内面に摩耗。割れ 口の消耗大。	粘
279-6	須恵器 坏 墨書	床直 底部片	底・6.6	還元～中性。並。にぶい黄6/3。 並。やや重。白・褐粒含、他微。	轆轤成形(右回転)。底部は轆轤右回転糸切、 「一」か墨痕。内面使用摩耗。割れ口消耗。	墨書-70
279-7	須恵器 墨書	覆土 破片	底・(7.2)	酸化～中性。軟。淡黄5Y8/3。 密。重。白粒含、鉱物粒少。	底部右回転篋削り、さらに「伴」墨字あり。 内・外面ともハゼあり。焼成不良。	笠 墨書-71
279-8	須恵器 坏	覆土 底部片	底・7.4	中性。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並。やや重。白粒含、他鉱物少。	底部は轆轤右回転糸切り。内面底にハゼ多。 割れ口の旧消耗に新・古あり。	粘
279-9 174-13	須恵器 内黒 坏	覆土 1/4	口・(12.7) 底・(6.3)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 粗。軽。鉱物粒微。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨黒色処理。 底部は回転糸切り。	粘
279-10	須恵器 内黒 塊	覆土 口～底部片	口・(16.0)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含。	轆轤成形。器内面に研磨を施す。底面は手持 篋削り。	

第123号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
280-1	須恵器 坏	覆土 口縁部片	口・(12.7)	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。 やや重。白粒多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。体部 外面に「山」墨字あり。割れ口摩耗微。	太田か 墨書-72
280-2 174-14	須恵器 坏	覆土+床直 ほぼ完形	口・13.1 底・6.0	還元。並。灰白5Y7/2。並。 鉱物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。部分的に黒色斑文あり。	粘・陶
280-3	土師器 甕	掘方 小片	口・(13.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。軽。	「コ」の字状口縁。型作り。外面は篋削り、 内面は篋撫で、口縁部は横撫で。外面被熱。	
280-4	土師器 甕	覆土 小片	口・(20.0)	酸化。並。橙5YR7/6。並。軽。	型作りか。外面は篋削り、内面は撫で、被熱、 小ハゼ。口縁部は横撫で。	接合3片

第124号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
281-1 174-15	土師器 坏	床直 1/4	口・(12.0) 高・4.0	酸化。並。にぶい赤褐5YR6/4。 並。軽。鉱物粒少。	口縁部は直立気味。底部は篋削り、体部に型膚。 口縁部・回転糸切り。内面は横撫。底面吸炭。	接合1片
281-2 174-16	須恵器 甕	覆土他 1/3	口・(26.1) 底・(8.6)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。茶褐粒・鉱物多。	紐作り。器外面篋削り。器内面は浅い櫛撫で。 口縁部周辺は横撫で。部分的に紐痕。	接合14片 粘
281-3 174-17	土師器 紡錘車	床直 1/2	長・5.0 短・2.5	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。やや重。褐粒、他鉱物少。	割れ口新古不明。広端部側部やや摩耗。撫篋 形を主とする。焼成芯黒く周囲酸化。	土師器質

第125号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
282-1	土師器 坏(平底)	覆土 破片	口・(12.0) 底・(8.4)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	
282-2	須恵器 坏	覆土 1/2	底・5.8	酸化。軟。にぶい橙7.5Y6/4。 並。軽。金雲母含、鉱物粒少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。全体に消耗。	粘
282-3	須恵器 塊	掘方 破片	底・(7.1)	中性。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。高台付け高台。底部は回転篋と撫 整形。内・外面重焼色変。割れ口消耗。	粘

第126号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
283-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.2)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。 白色・褐粒含、他鉱物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
283-2 174-19	土師器 台付甕	覆土 3/4	底・10.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR4/4。 並。やや重。鉱物粒微。	内・外面に横撫あり。外面にハゼおよび被熱 と考えられる色変あり。	接合2片
283-3 174-18	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(13.4) 底・6.5	還元。軟。灰白5Y7/2。粗。軽。 鉱物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転篋削り。	粘
283-4 174-20	須恵器 塊	覆土 2/3	口・(12.0) 底・(8.4)	還元・並。暗オリーブ灰2.5YR 4/1。並。やや重。白含、鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付高台。底部は回転撫整形。少し燻される。	接合2片

第128号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
285-1 174-22	土師器 小甕	覆土 破片	口・(11.0)	酸化。並。暗赤褐2.5YR3/4。 並。やや軽。鈳物粒含。	「コ」の字状口縁。外面は篋削り、内面は篋撫。口縁部は横撫。台付か。内・外燻される。	接合3片
285-2 174-25	土師器 甕	床直 1/2	口・(21.0) 底・(4.4)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。並。 やや重。白・褐粒微、鈳物含。	「コ」の字状口縁。型作り。外面篋削。器外面は火を受けている。口縁部は横撫で。	接合98片
285-3 174-21	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(13.45) 底・6.5	還元。並。灰白2.5YR7/1。並。 やや軽。鈳物粒含。	口縁部は外傾する。轆轤整形。底部は右回転糸切り。内・外面轆轤目やや多い。	笠懸か粘
285-4	須恵器 坏	床直 1/4	底・(6.5)	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。全に消耗し内面底は顕著。	
285-5 174-23	石製品 紡錘車	覆土 完形	径・5.0	流紋岩か。灰褐5YR4/2。軟質。	平面近円であるが少し歪む。裏面に研磨条痕。隅・角部は使用摩耗あり。穿孔は両側から。	

第129号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
287-1 174-24	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(21.9)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。やや重。鈳物粒多。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片
287-2	土師器 甕	床直 破片	口・(21.4)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。重。金雲母含。鈳物粒多。	口縁部は外反する。外面は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。外面被熱色変。	接合2片
287-3	須恵器 羽釜	床直 破片	口・(18.2)	酸化。並。赤褐10YR5/4。並。 重。褐粒多、鈳物粒多。	口縁部の内・外面横撫で。外面鏝以下に篋削り入る。割れ口に接合痕あり。	接合2片 粘・陶
287-4 174-26	須恵器 坏	床直 3/4	口・(10.5) 底・6.4	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/6。 粗。軽。鈳物粒少多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縁部・器内面は横撫で。	接合14片
287-5	須恵器 内黒 坏?	床直+覆土 破片	口・(14.0)	酸化。並。にぶい褐7.5YR6/3。 並。軽。褐粒含、鈳物粒少。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨。内黒は口縁部周辺外面にも。破片相互被熱色差あり。	接合3片
287-6 174-28	土師器 羽釜	床直 破片	口・(24.0)	酸化。硬。黄橙7.5YR7/8。並。 やや軽。茶粒、鈳物多。	轆轤右回転主体。全体としては紐作か。口縁部付近に接合面。内面指などの圧痕あり。	接合4片 粘
287-7 174-27	須恵器 羽釜	床直 破片	口・(26.0)	中性。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。褐粒多、鈳物粒微。	口縁部粘土帯。鏝以下縦方向の篋削り。内面に紐作後の横撫あり。	粘
287-8 174-29	土師器 羽釜	床直 破片	口・(27.0)	酸化。並。にぶい橙5YR7/3。 並。軽。褐大粒多、鈳物粒多。	全体に作調粗雑。内・外面轆轤目あり。内・外面紐作痕あり。口縁部粘土帯あり。	粘
287-9	須恵器 釜か	覆土 底部片	底・(11.0)	酸化。軟。明赤褐5YR5/6。並。 軽。褐粒極多、他含。	体部外面篋削後撫。底面凹凸多。内面底指などによる搔撫。	粘

第130号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
288-1 175-1	土師器 坏	掘方 ほぼ完形	口・13.2 底・3.9	酸化。硬。橙5YR6/8。粗。 やや重。鈳物粒含。	口縁部は外傾気味。底部は篋削り、口縁部・内面は横撫で整形、放射状研磨。	接合7片

第131号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
290-1 175-5	土師器 甕	竈 覆土 2/3	口・19.4 高・(25.5)	酸化。並。鈍橙7.5YR6/4。	「コ」の字状口縁。型作り。外面は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫。体部に接合面。	接合46片 外面煤

第132号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
291-1 175-2	土師器 坏	覆土+床直 2/3	口・11.4 底・8.7	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 軽。赤鈳粒・鈳物含。	型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。外面煤付着。	接合5片
291-2	土師器 坏(墨書)	床直 1/4	口・(12.0)	酸化。並。明褐7.5Y5/6。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	型作り。底部は篋削り、体部に型膚「主」墨字。口縁部・内面は横撫で整形。	墨書-73
291-3 175-3	土師器 坏	掘方 覆土 1/2	口・11.8 高・3.7	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。 鈳物粒含。	型作り。底部は篋削りと篋撫で、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合3片
291-4 175-4	土師器 坏	床直 ほぼ完形	口・12.4 底・10.2	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合5片
291-5 175-6	土師器 坏(墨書)	床直 一部欠損	口・13.0 底・9.3	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。軽。 白粒微。鈳物粒含。	型作り。底部は篋削り、内面底に「鳥」墨字。体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合5片 墨書-74

第132号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
292-1 175-7	土師器 甕	床直 底部片	高・(5.65) 底・3.8	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。金雲母、暗赤鉾物含。	胴部片、器厚は厚い。器外面は縦方向の篋 削りを施す。外面は被熱煤付着。	接合8片
292-2 175-8	土師器 甕	竈覆土、他 1/4	口・(18.2) 高・(16.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや重。鉾物粒含。	器外面はササラ様の篋削り。器内面は篋撫で、 頸部外面に型腐様。	接合21片 破片色差
292-3 175-9	須恵器 坏	竈内 3/4	口・12.4 底・8.0	還元。軽。灰オリープ5Y6/2。 並。軽。白粒含、他少。	底部は轆轤右回転糸切り、焼成後周辺を平ら に磨く。割れ口消耗。	接合3片
292-4 175-10	須恵器 坏(墨書)	床直 一部欠損	口・12.6 底・7.6	還元。硬。灰10Y6/1。並。 やや重。白粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切後回転篋。 体部外面に不明墨字。	笠か 墨書-75
292-5	須恵器 坏	床直+覆土 1/2	口・(12.8) 底・(7.4)	還元。並。灰5Y5/1。並。軽。 白粒含、鉾物粒含。	口縁部は外傾する。底部は右回転篋調整。内 面底少し使用摩耗あり。	接合2片 粘
292-6 175-11	須恵器 坏(墨書)	床直 1/2	口・(13.0) 底・(7.4)	中性。並。灰オリープ5Y6/2。 並。軽。白粒少、他微。	轆轤成形(右回転)。底部は手持篋削り。体部 外面に「主」墨字あり。内面底使用摩耗。	墨書-76
292-7 175-12	須恵器 坏	床直 3/4	口・12.95 底・7.5	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。重。 鉾物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は右回転 糸切り後篋整形。外面底際に挽出し稜。	接合5片 笠懸
292-8 175-13	須恵器 埴	床直 ほぼ完形	口・11.3 底・7.6	還元。硬。オリープ灰2.5GY。 密。やや重。白粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。重ね焼痕。	笠・太田

第133号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
293-1	土師器 高坏	覆土 口縁部片	口・(18.4)	酸化。並。赤褐5YR4/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	外面におおまかな研磨と、内面にも暗文状研 磨らしき条痕あり。器面少し消耗。	接合4片
293-2 175-14	土師器 高坏	床直 脚部片	高・(8.2) 底・(13.0)	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。 シルト質。鉾物粒含。	外面上方に篋研磨、下方に篋撫あり。内面上 方紐作の紐5段以上、下方横撫。	接合6片
293-3 175-15	土師器 小形甕	床直 1/2	口・(14.1) 底・(4.5)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。白・褐含、鉾物含。	口縁部は外反する。外面は篋削り、内面は篋 撫で、口縁部は横撫で。内・外面にハゼ多い。	接合24片
294-1	土師器 小形甕	床直 1/4	口・(11.0)	酸化。軟。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白・褐粒含、鉾物粒微。	内・外面ハゼあり。内面紐作痕と指圧痕あり、 外面に撫痕多いが、単位不明瞭、消耗。	接合5片
294-2 175-16	土師器 甕	床直 口~胴1/2	口・(20.6)	酸化。並。明黄褐10Y6/6。並。 白粒含。	「く」の字状口縁。器外面は篋削、篋撫で、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合15片 煤付着
294-3 175-17	土師器 甕	床直 底部、2/3	高・(6.7)+ α 底・6.4	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 軽。白・褐粒含、鉾物粒少。	外面に接合痕多くあり。器面消耗。少しシル ト質。	接合3片
294-4 175-20	土師器 甕	床直 破片	口・(17.2)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。金雲母、褐粒、鉾物微。	口縁部から胴部破片。器外面は縦方向の刷 毛目様の撫削。割れ口に接合面。	

第134号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
295-1	須恵器 羽釜	覆土 破片	口・(15.4) 高・(8.3)	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや重。鉾物粒含。	外面少し吸炭、篋削後の横撫。内面篋撫、横 撫。やや酸化味強く、口作りも甘い。	接合2片 粘・陶
295-2	須恵器 羽釜	覆土 小片	口・(19.6)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。重。褐粒多、他少。	紐作後、轆轤整形か。口縁部の内面横撫。割 れ口の消耗少。	粘・陶
295-3	須恵器 羽釜	床直 破片	口・(21.8)	酸化。並。にぶい橙10YR5/4。 並。やや軽。褐粒含、他鉾物少。	内面に回転らしい横撫あり。口縁部内・外面 横撫。外面鏝部以下不定方向の指撫。	粘・陶
295-4	須恵器 羽釜	9-568坑内 胴部破片	最・(25.0)	酸化。硬。赤褐3.5YR4/6。並。 重。白・褐粒含、鉾物粒少。	器肉厚く、割れ口に紐作痕。外面は縦位方向 の篋撫。内面は横撫。	接合4片 産不明

第135号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
296-1	土師器 埴?	覆土 口縁部片	口・(12.0)	酸化。並。赤褐5YR4/8。並。 白粒少、鉾物粒含。	内・外面にハゼあり。器面整形は部分的に撫 の痕跡が見える。	
296-2 175-18	土師器 高坏	竈内+竈右側 袖脚部欠損	口・6.8 高・(5.8)	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 軽。茶褐粒、鉾物粒含。	内・外面研磨痕あり。煤少量付着、被熱色変。 「コ」の字状口縁。小ハゼが内・外あり。	接合10片
296-3	土師器 高坏	竈掘方 口縁部片	口・(18.0)	酸化。軟。橙7.5YR7/6。粗。 軽。白・褐粒含、鉾物粒微。	内・外面割れ口消耗。外面被熱らしい色変あ り。器肉薄い。整形不明瞭。	接合7片
296-4 175-19	土師器 高坏	竈内 破片	口・(18.6)	酸化。硬。橙5YR6/8。並。 褐粒含、他鉾物少。	内・外面に放射状暗文、小ハゼあり。内・外 面横撫あり。器肉の取り方端正。	接合6片

第135号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
297-1 175-21	土師器 甕	竈内+竈掘左 袖破片	口・(17.1)	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/3。	口縁部は外反する。外面は撫整形、小ハゼ、器内面は篋撫、接合面あり。口縁部は横撫で。	接合10片
297-2 175-22	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・17.2 高・(4.6)	酸化。並。褐10YR4/4。粗。やや重。鉍物粒多。	器外面は紐作痕、撫であり。口縁部は横撫を施す。全体に小ハゼ多。	接合8片
297-3	土師器 甕	竈掘方右袖 底部片	底・(7.4)	酸化。並。にぶい黄褐10YR6/4。並。軽。白・褐粒、金雲母含。	内・外面に撫整形あり。内面篋撫と篋痕あり。外面紐作痕あり。器面少し消耗。	

第136号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
299-1 176-1	土師器 坏(平底)	竈、覆土 1/2	口・(13.5) 底・(7.2)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。やや重。白・褐粒、他鉍物含。	口縁部は外傾する。型作り。底部は篋削り、体部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	接合3片
299-2	土師器 坏(墨書)	覆土 1/3	口・(15.6)	酸化。硬。橙5Y6/8。並。やや軽。白・褐粒含、他少。	内面に針書様の細い放射状研磨。外面には篋削りあり、部分的に研磨。外面「口徳」墨書。	市外~県外 墨書-77
299-3	土師器 甕	136住覆土 口縁部片	口・(17.6)	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。並。やや重。金雲母粒、他含。	「コ」の字状口縁。口縁部は横撫でを施す。内・外被熱色変あり。	
299-4	土師器 塊	覆土 底部片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。やや重。白・褐粒含、他含。	大形坏か塊、底部は篋削り。口縁部・器内面は横撫で。内面研磨なし。	
299-5 176-3	土師器 甕	№3・4・覆土 口縁部片	口・19.5	酸化。硬。橙5YR6/6。並。やや重。茶褐粒多、鉍物粒含。	口縁部は紐作2段。器外面は篋削り、篋撫。器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合23片
301-1	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(12.8) 底・(6.0)	還元。並。灰オリーブ5Y5/2。並。軽。白粒多。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外面とも轆轤目多い。内面底墨痕疑似。	
301-2	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.2)	還元。硬。黄褐2.5Y4/1。密。やや重。白粒。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。全体に消耗あり。	接合2片 太田か
301-3 176-2	須恵器 内黒 坏	覆土 1/3	口・(15.7) 底・7.0	酸化。並。橙7.5YR6/5。粗。軽。鉍物粒含。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨。底部は回転糸切り、少しハゼ。全体に消耗。	粘
301-4	須恵器 坏	覆土 口縁部片	厚・0.4	還~中性。並。にぶい黄2.5Y6/3。並。やや重。鉍物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部外面に「主」かの墨字あり。割れ口消耗微。	笠・太田 墨書-78
301-5	須恵器 坏	覆土 底部片	厚・0.6	還元。並。灰オリーブ5Y5/2。並。やや重。鉍物粒微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り、不明の墨字あり。	笠・太田 墨書-79
301-6	須恵器 坏	覆土 底部片	厚・0.5	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。並。やや軽。白粒、白鉍物含	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り、不明墨字、内黒、研磨あり。	太田か 墨書-80

第137号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
302-1	土師器 坏	掘方、覆土 口縁部片	口・(11.8)	酸化。軟。にぶい黄橙10YR5/4。並。軽。白・褐粒、鉍物粒含。	口縁部は直立気味。外面下半は斜方向の撫。口縁部・器内面は横撫で整形。	
302-2	土師器 甕	掘方、覆土 頸部片	口・(13.0)	酸化。並。暗褐7.5YR3/3。並。白粒含。	「コ」の字状口縁。型作り。外面は篋削り、内面は撫で、口縁部は横撫で、外面に煤付着。	
302-3 176-4	土師器 台付甕	掘方、覆土 底部片	脚くびれ部・ (4.0)	酸化。並。橙7.5Y6/6。粗。やや軽。鉍物粒含。	外面篋削り。内面篋当痕。脚部欠損する。外面被熱色変。	煙付着。
302-4	須恵器 坏	覆土 口縁部片	口・(12.2) 底・(6.4)	還元。軟。灰5Y6/1。並。やや軽。白・黒粒含、鉍物粒少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。器面消耗。	粘
302-5 176-5	須恵器 坏	№2 1/5	口・(14.0) 底・(7.4)	還元。軟。灰5Y6/1。並。軽。白粒含、他鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は不定方向の篋削り。内・外面に轆轤目条数多い。	粘

第138号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
303-1	土師器 台付甕か	覆土 口縁部片	口・(19.8)	酸化。硬。黒褐10YR3/2。並。やや重。褐粒含、鉍物粒少。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は篋削り、口縁部は横撫で、外面煤付着。	
303-2	須恵器 坏	覆土 口縁部片	口・(14.4)	還元。硬。暗灰黄2.5T5/2。密。やや重。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部旧欠。口縁部に重焼色変か。	太田か

第169号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
304-1 176-6	須恵器 坏	No.2 1/2	口・(12.3) 底・7.0	還元。並。灰7.5Y5/1。密。重。 白粒含、鉍物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。底際外面、挽出しの稜。	笠懸
304-2 176-9	須恵器 坏	No.1 3/4	口・13.2 底・7.6	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。鉍物粒、細砂多。	口縁部は直線的に外傾。底部は轆轤右回転糸 切り。体部外面に不明墨字あり。	墨書-81

第139号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
305-1	土師器 甕	覆土北側竈 口縁部片	口・(18.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。金雲母、他粒含。	口縁部の内・外面横撫で。外面被熱色変小剥 落。割れ口消耗あり。	
305-2	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(17.8)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。軽。褐粒含、他少。	口縁部は横撫でを施す。内・外面割れ口など の消耗少。内面に被熱のためか小ハゼあり。	

第140号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
306-1	須恵器 坏	掘方 破片	口・(13.0) 底・(7.5)	還元。並。灰黄褐10YR6/2。 並。やや重。白粒、黒鉍物含。	口縁部は外傾。轆轤成形で体部外面に轆轤目 あり。割れ口消耗少しあり。	粘
306-2	須恵器 坏	覆土 破片	口・(13.5)	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。密。 重。白粒含黒粒少、他鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は切り離 し不明。割れ口少し消耗。	埼玉か
306-3	須恵器 坏 底部	覆土 破片	底・(6.2)	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。内面少し摩擦。割れ口少し消耗。	粘

第142号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
307-1 176-7	土師器 坏(平底)	床直 1/2	口・(11.8) 底・(5.0)	酸化。硬。にぶい赤褐2.5YR 4/4。並。重。鉍物微。	口縁部は外反する。型作り。底部は篋撫、体 部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	粘・陶
307-2 176-10	土師器 坏	覆土+床直 2/3	口・((12.8) 底・6.1	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。鉍物少。	口縁部外面に紐作痕。底部と外面下方に篋削。 体部はしっかりと厚い。口縁部・内面は横撫。	接合6片
307-3 176-8	土師器 坏	床直 完形	口・12.9 底・4.8	酸化。並。黄橙10YR7/8。並。 白色粒微、鉍物微。	口縁部粘土帯か。型作り。底部は篋削り、体 部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
309-1 176-11	土師器 坏(平底)	床直 一部欠損	口・13.4	酸化。硬。橙7.5Y7/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	内面に不明墨字。底部は篋削り、不明墨字。 体部に指圧痕・篋削。口縁部・器内面は横撫。	接合2片 墨書-82
309-2 176-22	土師器 内黒・堦	床直 ほぼ完形	口・14.1 底・6.7	酸化。並。灰褐5YR6/1。粘。 やや重。鉍物含。	口縁部粘土帯。型作り。上半部に型膚を残す。 内面わずかに研磨あり。	粘
309-3 176-25	須恵器 堦	覆土 4/5	口・14.6 底・7.2	酸化。並。浅黄2.5Y7/3。並。 褐粒含、鉍物少。	轆轤成形か。口縁部周辺から内面撫。外面部 分篋整形。付け高台。内面黒色燻。	接合8片 粘
309-4 176-12	土師器 台付甕	貯蔵穴 覆土 4/5	口・10.0 底・7.3	酸化。並。赤10R5/6。粗。 やや軽。茶褐粒少、鉍物微。	口縁部の内・外面横撫。外面篋削。脚部内・ 外横撫。外面から脚部内面まで被熱、外面煤。	接合6片
309-5 176-13	土師器 甕	床直 口縁部周辺	口・(18.4)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。重。白・褐粒含、他鉍物含。	口縁部下に2条の凹線。外面は篋削り、内面 は篋撫で、接合面。口縁部は横撫で。	接合5片
309-6	須恵器 坏	覆土 破片	口・(12.4) 底・(5.6)	酸化。硬。黒褐2.5Y3/1。並。 やや軽。鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面に煤付着。	接合2片 粘か
309-7 176-14	須恵器 坏	床直 1/4	口・(12.8) 底・5.4	酸~還元。硬。灰オリーブ6/2。 並。軽。鉍物粒少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。全体に2次吸炭あり。	接合2片 粘・陶
309-8 176-15	須恵器 坏	床直 1/4	口・(13.3) 底・6.0	酸化。軟。暗灰黄2.5Y4/2。並。 やや軽。白・黒粒含、他微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。全体に浅い燻あり。	接合2片 粘
309-9 176-16	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.2) 底・5.0	酸化。並。黄褐2.5Y5/3。並。 やや重。鉍物粒少。	口縁部は外反。轆轤成形。底部は右回転糸切 り。内面工具類の轆轤目。外面部分燻	粘・陶
309-10 176-17	須恵器 坏	掘方+覆土 3/4	口・13.0 底・5.0	酸化。並。にぶい褐7.5Y5/3。 並。軽。白・褐粒含、他少。	底部は轆轤右回転糸切り。体部外面に不明墨 字もしくは墨痕あり。内・外面被熱吸炭。	墨書-83 粘
309-11 176-18	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(5.6)	酸化。並。黄褐2.5Y5/3。並。 軽。鉍物少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。粘土硬そう。内・外2次吸炭。	粘
309-12 176-19	須恵器 坏	床直 1/4	口・(13.5) 底・5.0	還元。軟。黄灰2.5Y6/1。並。 軽。黒粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部 外面に不明墨字あり。使用時の吸炭あり。	接合2片 墨書-84
309-13 176-20	須恵器 坏	覆土 1/2	口・13.5 底・5.7	還元。並。灰白5Y7/1。並。 やや軽。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面重焼痕。	粘・陶

第142号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
309-14 176-21	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(14.0) 底・(6.7)	酸化。並。暗灰黄2.5Y4/2。並。 やや重。鉍物粒少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面油煙付着。	接合3片 粘・陶
310-1 177-1	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(6.8)	還元。軟。灰オリープ5Y6/2。 粗。軽。白粒含、鉍物微。	口縁部は外反。轆轤成形(右回転)。高台付け 高台。底部は回転糸切。内・外吸炭斑あり。	接合2片 粘
310-2 177-2	須恵器 坏	覆土 1/2	口・13.2 底・6.6	還元。並。浅黄2.5Y7/3。粗。 やや軽。鉍物粒微。	轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回 転糸切後撫、内・外面部分的にいぶされる。	接合3片 粘
310-3 176-26	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(13.7) 底・(6.5)	還元。硬。黄褐2.5YR5/3。並。 やや重。鉍物微。	轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回 転糸切り。内・外面強い燻。	接合3片 粘・陶
310-4 176-24	須恵器 坏	覆土 2/3	口・(14.2) 底・6.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR5/4。 並。白・褐粒微。鉍物少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転指整形。	接合7片 粘・陶
310-5 176-23	須恵器 坏	床層 1/3	口・14.5 底・6.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや軽。鉍物粒微。	口縁部は外反。轆轤成形(右回転)。高台付高 台。底部回転糸切。内面ウルシ状の付着物。	粘・陶
310-6 176-27	須恵器 坏	床直 1/2	口・15.4	還元。硬。灰7.5Y6/0。粗。軽。 白粒微、鉍物粒微。	轆轤成形(右回転)。高台は欠損するがその後 も使用したらしい。内面工具の轆轤目。	接合2片 粘
310-7	須恵器 坏	床直 口縁部片	口・(14.0)	還元。並。粗。軽。白粒含。	轆轤成形(右回転)。内・外面少し燻かかる。 外面に不明墨字。	粘 墨書-85
310-8	土師器 坏	覆土 破片	底・(7.0)	酸～中性。軟。灰黄褐10YR6/2。 並。やや軽。鉍物粒少。	外面に轆轤目不明墨字あり。割れ口消耗あり。 全体に燻吸炭あり。	墨書-86
310-9	須恵器 瓶	床直 体部片	厚・0.7	還元。しめ。灰白5Y7/1。密。 重。白鉍物含。他少。	内面に轆轤目あり。外面に自然釉。胎土の目 緻密。割れ口消耗微。	東海搬入
310-10 177-3	須恵器 瓶	覆土 破片	最大径・(16. 0)	還元。硬。灰7.5Y4/1。密。重。 白鉍物含、他鉍物は細粒多。	内・外面轆轤成形。轆轤右回転。把手旧欠。 内・外面小ハゼあり。上方に漆付着。	接合2片 太田か
310-11 178-1	須恵器 瓶	覆土 口縁部欠損	高・(22.7) 底・(12.5)	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 やや重。鉍物少。	紐作後轆轤整形(左回転)。外面工具の轆轤目 後、回転篋後、撫。内・外面ハゼ。外面煤。	接合21片 粘・陶
311-1 177-4	須恵器 壺	覆土 頸部～胴部	高・(13.25)	還元。軟。灰白7.5YR7/1。並 やや重。鉍物少。	紐作後轆轤整形。内・外面ハゼ。剥落。外面 平行叩と小ハゼ。内・外面消耗大。	接合5片 粘・陶
311-2 178-2	須恵器 甕	覆土+床直 破片	口・(29.4) 最大・(48.6)	還元。締。紫灰5P6/1。密。重。 白鉍物、長石・石英微粒多。	外面は平行叩き、内面宛具は青海波文。外面 上方自然釉。口縁は小破復元。	接合29片 東海西毛
311-3 177-6	石器 砥石	床層+覆土 ほぼ完形	粗粒輝石安山岩 1320g	長・27.6cm	全体に使用摩耗(研磨主体は柔らかい)あり、 さらに被熱割れ、同色変煤付着。	接合4片
312-1 177-5	須恵器 大甕	覆土+床直 口縁部片	口・48.6	還元。並。灰10Y5/1。密。重。 白色鉍物含。	内・外面に轆轤目。口縁部の一端に布疋痕(衣 服か)あり、少し燻される。	笠懸・太 田
312-2 177-7	土製品 土錘	不明 ほぼ完形	長・2.7 1.37g	還元。並。赤黒2.5YR2/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形近円形。	
312-3 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・2.9 1.72g	還元。並。黒褐7.5YR3/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形は正円に近い。	
312-4 177-7	土製品 土錘	不明 完形	長・3.0 1.37g	還元。並。オリープ黒5Y3/1。 並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭黒色気 味。上方小口旧欠。穿孔形近円形。	
312-5 177-7	土製品 土錘	床直 ほぼ完形	長・3.2 1.40g	還元。並。オリープ黒5Y3/1。 並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形近円形。	
312-6 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.1 1.47g	還元。並。黒褐7.5YR3/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形近円形。	
312-7 177-7	土製品 土錘	覆土	長・3.2 2.02g	還元。並。黒2.5Y2/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形は円形。	
312-8 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.2 2.24g	還元。並。黒褐7.5YR3/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形は正円。小ハゼあり。	
312-9 177-7	土製品 土錘	不明 ほぼ完形	長・(3.3) 2.43g	酸～中性。並。褐灰10YR6/1。 並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭やや甘 い。穿孔形近円形。小径。	
312-10 177-7	土製品 土錘	床直 完形	長・3.4 2.26g	酸～中性。並。褐7.5YR5/3。 並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、黒色味弱く、 やや酸化。穿孔形楕円形。	
312-11 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・3.4 2.57g	還元。並。褐灰10YR4/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。上方小口旧欠。穿孔形近円形。	
312-12 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.5 2.07g	還元。並。暗赤灰7.5R4/1。並。 やや軽。	質は土師質に近い。滑らか、吸炭あり、黒色 気味。穿孔形近円形。	
312-13 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.5 2.26g	還元。並。赤灰2.5YR4/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。吸炭あり、黒色気味。外 面滑らか、穿孔形はやや楕円。	
312-14 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.5 2.32g	還～中性。並。灰黄褐10YR5/2。 粗。軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭甘く、 暗褐色味あり。穿孔形近円形。	

第142号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
312-15 177-7	土製品 土錘	床直 完形	長・3.5 2.07 g	還元。並。褐灰7.5YR4/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。吸炭、黒色気味。外面滑 らか、穿孔形近円形。	
312-16 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.5 1.90 g	還元。並。褐灰5YR4/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形は少し楕円。	
312-17 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.6 1.90 g	還元。並。黒褐5YR2/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形は正円に近い。	
312-18 177-7	土製品 土錘	覆土	長・(3.5) 2.70 g	還元。並。黒褐7.5YR3/1。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。欠損旧欠。穿孔形正円気味。	
312-19 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・(3.6) 2.04 g	還元。並。黒褐7.5YR3/1。並。 やや軽。鉍物含。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。欠損は旧欠。穿孔形楕円気味。	
312-20 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・3.6 2.26 g	還元。並。赤黒7.5R2/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形楕円形。	
312-21 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.7 2.21 g	還元。並。赤灰2.5YR4/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形楕円気味。	
312-22 177-7	土製品 土錘	不明 完形	長・3.9 2.74 g	還元。並。褐灰5YR5/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形楕円。	
312-23 177-7	土製品 土錘	床直 完形	長・3.8 2.14 g	酸～中性。並。にぶい楕7.5YR 7/3。並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭甘い。 穿孔形近円形、小径。	
312-24 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.8 2.97 g	還元。並。灰黄褐10YR5/2。 並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭甘く、 少し褐色。小口篋仕立て、穿孔形、円。	
312-25 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・3.9 2.56 g	還元。並。褐灰5YR4/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形は近円形。	
312-26 177-7	土製品 土錘	床直 完形	長・3.7 2.56 g	還元。並。黒褐10YR3/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形近円形。	
312-27 177-7	土製品 土錘	床直 完形	長・3.8 2.41 g	酸～中性。並。灰黄褐10YR6/2。 並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、燻甘い。穿 孔形近円形。	
312-28 177-7	土製品 土錘	床直 完形	長・4.0 2.84 g	還元。並。赤灰2.5YR4/1。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形やや楕円形。	
312-29 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・4.0 2.75 g	還元。並。赤黒2.5YR1.7/1。 並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形楕円形。	
312-30 177-7	土製品 土錘	床直 完形	長・4.0 2.59 g	還元。並。黒褐2.5Y3/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。穿孔形楕円形。	
312-31 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・4.1 2.51 g	還元。並。褐灰7.5YR4/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。形状下太り。穿孔形近円形。	
312-32 177-7	土製品 土錘	覆土 完形	長・4.3 3.22 g	還～中性。並。灰黄2.5Y6/2。 並。やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭甘い。 小口丸い。穿孔小さく丸い。	
312-33 177-7	土製品 土錘	床直 完形	長・(3.2) 2.31 g	還元。並。黒褐2.5YR3/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。両小口旧時小欠。穿孔形近円形。	
312-34 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・(2.9) 1.94 g	還元。並。赤黒7.5R2/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。上方小口旧欠。穿孔形近円形。	
312-35 177-7	土製品 土錘	床直 1/2	長・(2.0) 1.06 g	中～還元。並。赤灰2.5YR4/1。 並。やや軽。鉍物微。	全体に吸炭あり、黒味強い。上方小口は旧時 欠損。穿孔形はほぼ正円。	
312-36 177-7	土製品 土錘	不明 1/3	長・(2.5) 1.38 g	還元。並。褐灰10YR5/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。上方小口旧欠。穿孔形近円形。	
312-37 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・(3.4) 2.44 g	還元。並。黒褐5YR2/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は近土師質。外面滑らか、吸炭あり、黒色 気味。上小口欠損後使用消耗あり。孔近円。	
312-38 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・(3.4) 2.45 g	還元。並。暗赤灰10R3/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。奥の小口は旧欠。穿孔少し楕円。	
312-39 177-7	土製品 土錘	不明 ほぼ完形	長・(3.5) 2.34 g	還元。並。灰褐7.5YR6/2。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。上方小口旧欠。穿孔近円形。	
312-40 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・(3.3) 2.44 g	還元。並。灰褐5YR5/2。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。欠損は旧欠。穿孔形は円形気味。	
312-41 177-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・(3.9) 2.64 g	還元。並。黒褐7.5YR3/1。並。 やや軽。鉍物微。	質は土師質に近い。外面滑らか、吸炭あり、 黒色気味。欠損は旧欠。穿孔形楕円気味。	

第143号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
313-1 178-1	土師器 坏(平底)	床直 2/3	口・(11.6) 底・7.6	酸化。並。褐7.5Y4/4。粗。軽。 鉾物粒微。	口縁部は外傾する。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	
313-2 178-4	土師器 坏(平底)	床直 一部欠損	口・12.2 底・7.4	酸化。並。橙7.5Y7/6。並。 やや重。鉾物粒微。	口縁部は外傾する。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	接合4片
313-3	土師器 甕	覆土 破片	口・(12.5)	酸化。並。褐7.5YR4/4。並。 やや重。白・褐粒微。鉾物少。	口縁に接合面2カ所。型作りか。外面は篋削り、 内面は篋撫、口縁部は横撫。	
313-4	土師器 甕	覆土 破片	口・(18.6)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや軽。白粒含、他鉾物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削り、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
313-5	土師器 甕	覆土 破片	口・(19.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白・褐粒含、鉾物少。	「コ」の字状口縁。型作り。外面は篋削り、 内面は篋撫で、口縁部は横撫で、外面に煤。	
313-6	須恵器 碗	竈内 1/2	底・(8.3)	還元。並。灰黄褐10YR6/2。 並。軽。白・褐粒含、鉾物少。	口縁部欠損する。轆轤成形(右回転)。高台付 け高台。底部は回転糸切り。割れ口消耗。	接合
313-7	土師器 台付甕	覆土 脚部1/2	底・(10.1)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 軽。白・褐粒含、他鉾物少。	内・外に撫跡あり。被熱色変、内・外ともに あり。割れ口少し消耗。上方割れ口は接合面。	接合2片

第144号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
314-1 178-6	土師器 甕	掘方覆土 破片	口・(13.5)	酸化。並。暗赤褐5Y3/2。並。 白・褐粒含、鉾物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は篋削り、 内面は篋撫で、口縁部は横撫で。外面煤。	接合4片
314-2 178-5	土師器 甕	床直 破片	口・(15.1)	酸化。並。黒褐7.5YR3/2。並。 軽。褐粒含、鉾物少。	型作りか。外面は篋削り、内面は篋撫で、口 縁部は横撫で、外面少し吸炭。	接合3片
314-3	土師器 甕	床直 破片	高・(11.9)	酸化。並。灰褐7.5YR4/2。	胴部片、器厚は薄い。器外面は縦位方向の篋 削りを施す。	
315-1 178-7	須恵器 碗	覆土+床直 3/4	口・14.8 底・8.0	中～還元・硬。鈍黄2.5YR6/8。 並。白色粒、灰鉾物含、他含。	高台付け高台。底部は轆轤右回転糸切り、「山 田」墨字。内・外面重ね焼に伴う吸炭あり。	墨書・87 粘・陶
315-2	須恵器 内黒坏	竈覆土 1/2	底・7.0	酸化。硬。灰褐5YR4/2。並。 やや重。白粒微、鉾物微。	口縁部欠損。器内面は研磨を施す。底部は手 持篋削り。体部外面に轆轤目あり。	接合2片
315-3 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	粗粒輝石安山岩 2.2g	横・1.5	黒味強く、陰の碁石。使用摩耗光沢となる。 側部、表・裏加工研磨あり希少碁石。	
315-4 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	不明 2.5g	横・1.5	黒味強く、陰の碁石。円形加工がされ表・裏・ 側部の区分あり、光沢あり。加工碁石で希少。	
315-5 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	粗粒輝石安山岩 2.6g	横・1.6	黒味強く、陰の碁石。円形加工がされ表・裏・ 側部の区分あり、光沢あり。加工碁石で希少。	
315-6 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	不明 2.9g	横・1.6	黒味があるが、自然材で河原石。陰の碁石か。 光沢あり。	
315-7 178-8	石製品 碁石か	覆土 完形	チャート 3.6g	横・1.7	黒味強いが自然材で河原石。陰の碁石か。光 沢あり。	
315-8 178-8	石製品 碁石か	覆土 完形	粗粒輝石安山岩 3.0g	横・1.8	黒味強く、陰石・碁石か。使用痕不明。やや 不整形。	
315-9 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	石英 1.6g	横・1.0	自然材で茶味があり、双六などの用途か。光 沢あり。	
315-10 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	石英 4.3g	横・1.6	自然材で、茶味あり、双六などの用途か。光 沢あり。	
315-11 178-8	石製品 碁石	覆土 完形	石英 2.0g	横・2.0	表・裏・側面とも研磨痕あり。加工された希 少個体。透明感弱く、表面は曇る。	正円状

第146号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
316-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.6)	酸化。硬。にぶい褐7.5YR6/3。 並。やや重。鉾物含、他微。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
316-2 178-9	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.0)	還元。縮。灰N5/0。縮。重。 白鉾物含、他鉾物微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺 を不定に篋削り。重ね焼色変。	接合3片 太田
316-3 178-10	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.8)	還元。縮。灰5Y5/1。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転篋削り。口縁に重焼色変。	接合2片 笠懸
317-1 178-11	須恵器 坏	覆土 2/3	口・13.3 底・7.6	還元。並。浅黄5Y7/3。並。重。 白・黒粒含、他鉾物少。	轆轤成形(右回転)。底部は右回転篋削り。 内・外面に火燻痕あり。	接合2片 笠懸か

第146号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
318-1 178-15	土師器 甕	床直 口～胴部片	口・(24.4)	酸化。並。明黄褐10Y6/6。並。 やや重。白粒含。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、器内面 は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合28片
318-2	須恵器 坏	覆土 破片	口・(13.1) 底・(8.3)	酸化。並。にぶい赤褐2.5YR5/ 3。並。軽。白・褐粒含、鉾物少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削り。全体に色ムラ大。	粘
318-3 178-12	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(7.0)	還元～酸化。並。にぶい黄2.5Y6/ 3。並。軽。白・褐粒含、他含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り、「主」 かの墨字あり。割れ口少し消耗。	粘 墨書-88
318-4	須恵器 瓶把手	覆土 破片	縦・(5.3)	還元。締。褐灰10YR4/1。密。 やや軽。白・褐粒含、他含。	外面に自然釉か不明釉あり。内側篋削りあり。 割れ口の消耗ほとんど見えず。	東海搬入
318-5	須恵器 瓶か	覆土 破片	頸径最小・ (3.9)	還元。締。灰N6/0。密。重。 黒粒含。他少。	轆轤成形(右回転)。内・外面轆轤目多。頸部 3段接合か。外面に自然釉。	東海搬入

第147号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
319-1 178-13	須恵器 坏	床直 1/4	口・(13.2) 底・(6.9)	酸～還元・軟。オリープ黄5Y6/ 3。並。やや重。白粒微、鉾物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。口縁部周辺重焼色変。	粘・陶
319-2	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.9)	還元・並。灰オリープ7.5YR 6/2。並。軽。鉾物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 欠損のため切り離し技法不詳。	粘
319-3 178-14	須恵器 埴	掘方 1/2	口・(14.7) 底・7.0	還元。並。灰5Y6/1。粗。軽。 鉾物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。内・外摩耗。	粘
319-4	土師器 甕	掘方覆土 破片	口・(18.45)	酸化。並。にぶい赤褐5Y5/4。 並。軽。雲母、鉾物微。	口縁部下に接合面。型作りか。器外面は篋削り、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
319-5	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(19.2)	酸化。並。橙5YR7/6。並。軽。 白・褐粒微、他鉾物微。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削り 、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
319-6	土師器 甕	床直 破片	口・(23.0)	酸化。並。橙5YR7/4。並。軽。 白・褐粒微、他鉾物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削り 、器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
319-7	施釉陶器 灰釉皿	覆土 口縁部片	口・(14.2)	還元。硬。釉灰黄緑(釉)。 胎土灰白5Y7/1。	内・外面に灰釉。口縁部外面側、削り出される。 割れ口消耗少ない。	東海搬入
319-8	施釉陶器 灰釉皿	竈 破片	厚・0.3	還元。硬。釉黄灰(灰釉)。 胎土灰黄2.5Y6/2。	内面に刷毛掛に見える施釉。外面にも施釉あり、 剥落気味。器肉薄い。割れ口消耗少。	東海搬入
319-9	施釉陶器 灰釉	掘方覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。釉暗黄緑(灰釉)。 胎土灰5Y6/1。	外面に古様な色調の厚い、灰釉あり。内面に 轆轤の回転条痕。割れ口の消耗少。	9Cか 東海搬入
319-10	施釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。釉暗淡黄緑(灰釉)。 胎土灰黄2.5Y7/2。	内面に轆轤目。外面にわずかに灰釉見える。割 れ口の消耗少ない。	東海搬入
319-11	石製品 小円礫	覆土 完形	チャート 重・6.17g	長・2.4 巾・1.9 厚・0.9	色調は赤褐をおびる。旧状はそのままの河原 石、全体に使用擦痕らしき痕跡。	

第150号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
320-1	土師器 小形甕	覆土 破片	口・(14.3)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。褐粒含、鉾物少。	口縁部は外反する。外面は篋撫、器内面も篋 撫で。割れ口少し消耗。	6C前
320-2	土師器 甕	掘方覆土 破片	口・(18.8)	酸化。並。橙10YR6/2。並。 やや軽。白・褐粒含、他鉾物含。	口縁部に接合痕あり。器外面は篋削り、器内 面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片
321-1 179-1	須恵器 坏	覆土 1/3	口・12.6 底・5.0	還元。並。灰白5YR7/1。密。 やや重。鉾物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。回転おそい。	接合5片 太田か
321-2 179-2	須恵器 坏	掘方 1/3	口・(12.3) 底・4.8	酸化。並。橙7.5YR/2。並。 やや重。白色粒、鉾物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面下方轆轤目特徴的。	接合2片 笠・太か
321-3 179-3	須恵器 坏	床直 3/5	口・12.7 底・5.0	還元。並。灰白N7/0。粗。軽。 白色粒、鉾物微。シルト質。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底回 転糸切り。内面の轆轤目立つ。	接合2片 粘
321-4 179-4	須恵器 坏	床直 一部欠損	口・13.9 底・4.7	還元。並。にぶい褐7.5YR6/3。 並。やや重。白・褐粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	粘・陶
322-1 179-5	土師器 甕	貯蔵穴 破片	口・(18.6)	酸化。並。硬。鈍橙5YR6/4。 並。褐粒含、鉾物少。	口縁部は外反。外面は篋削り、内面は篋撫で、 口縁部は横撫でを施す。接合面2カ所。	接合3片
322-2	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(19.2)	酸化。並。褐灰7.5YR5/1。並。 やや軽。白・褐粒含、鉾物微。	口縁部は尖る。器外面は篋削り、器内面は 篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片
322-3	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(20.3)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 やや軽。褐粒含、他鉾物少。	口縁部は外反。外面は篋削り、内面は篋撫で、 口縁部は横撫でを施す。割れ口少し消耗。	接合3片

第150号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
322-4 179-7	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(21.4)	酸化。並。灰黄褐10YR6/2。並。 やや軽。白・褐粒含、鉍物微。	口縁部は外反する。外面篋削り、内面は篋撫 で、口縁部は横撫でを施す。下方煤付着。	接合6片
322-5 179-7	土師器 甕	床直+覆土 胴部1/2	最大径・21.4 底・4.0	酸化。硬。橙7.5YR7/6。並。 やや重。白色粒含、鉍物含。	内面に紐痕(型作)。外面に化粧塗か再器肉か 不明ながら、前者篋削目、後ササラ状削痕。	接合18片
322-6 179-6	土師器 甕	覆土 底部周辺	底・(5.0)	酸化。並。鈍赤褐2.5YR4/3。 並。やや軽。褐粒含、鉍物少。	外面は篋削り、篋撫で。内面は篋撫で施す。 外面被熱色変、煤付着あり。	接合11片
322-7 179-8	須恵器 埴	床直+覆土 一部欠損	口・13.7	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。 密。重。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 は欠損する(付高台)。鉍物に発泡質含。	接合4片 粘・陶
322-8 179-9	須恵器 埴	掘方 覆土 3/4	口・13.8 底・6.4	還元。軟。灰黄2.5Y7/2。粗。 軽。鉍物粒微。シルト質。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合4片 粘
322-9 179-10	須恵器 埴	床直+貯蔵穴 1/2	口・14.0 底・6.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 粗。軽。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合4片 粘
322-10 179-11	須恵器 埴	床直 完形	口・14.2 底・6.5	酸化。並。赤褐2.5YR4/8。並。 やや重。鉍物含。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	粘・陶
322-11 179-13	須恵器 埴	掘方 覆土 3/4	口・14.8 底・6.6	還元。並。灰白2.5Y7/1。並。 やや重。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合7片 粘
322-12 179-12	須恵器 埴	床直 3/4	口・15.7 底・(7.5)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。 密。重。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。高台付け高台。 底部は右回転糸切り。轆轤目多い。	接合7片 笠・太か
323-1 179-14	須恵器 埴	掘方覆土 1/4	口・(16.0)	酸化。軟。にぶい黄橙10Y6/3。 密。重。白・褐粒含、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 は欠損する(付け高台)。黄斑あり。	接合2片 笠懸
323-2 179-15	須恵器 皿	床直 破片	口・13.4	酸化。並。褐7.5YR4/4。並。 やや重。白粒、鉍物微。	口縁部は外反。轆轤成形(右回転)。高台付高 台。底部は回転糸切り。内面ウルシカ付着。	接合16片 粘・陶
323-3	施釉陶器 灰釉埴	覆土 破片	口・(15.0)	還元。締。釉淡黄灰(灰釉) 胎土灰。	内・外面に浸し掛により灰釉施釉。外面下方 露胎となる。割れ口消耗少。	東海搬入
323-4	施釉陶器 埴	掘方覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。締。釉淡黄緑(灰釉)。 胎土灰白5Y7/1。	内・外面に施釉。施釉は少し厚い。全体に薄 作。割れ口の消耗少ない。	東海搬入
323-5	施釉陶器 灰釉 瓶	覆土 破片	厚・0.5	還元。締。釉暗黄緑(灰釉)。 胎土灰白5Y7/1。	外面施釉。内面無釉と轆轤回転条痕。異色物 質含。割れ口の消耗少ない。	東海搬入
323-6	施釉陶器 灰釉 瓶	掘方覆土 破片	厚・0.4	還元。締。釉暗黄緑(灰釉)。 胎土灰白5Y7/2。	外面灰釉施す。内面に轆轤の回転条痕あり。 割れ口少し消耗。	東海搬入
323-7 179-16	石製品 甕材か	床直 2/3	デイサイト質 凝灰岩 1830g	縦・28.6 横・11.7 厚・5.7	袖材か。表・裏、側部に削りの工具痕らしき 跡あり。最上部被熱。鉍物・粘土粒多く含。	接合2片
323-8 179-17	石製品 甕材か	床直 1/2	デイサイト質 凝灰岩 1700g	長・18.8+ α 幅・15.2 厚・5.1	架材か。表・裏と側部に削目らしき工具痕あり。 堆積物か焼物か不明。鉍物多、被熱痕。	
323-9 179-18	甕材 粘土板	竈掘方覆土	長・14.7+ α 幅・ 16.0+ α 厚・3.8	酸化。並。赤褐5Y4/8。並。 やや重。白・褐粒含、鉍物微。	竈天井材か。質は土師器。細かな乾燥ヒビ割 れあり。表面にスノコ様の圧痕。上・下旧欠。	接合2片 1800g
323-10 179-19	石製品 砥石	掘立覆土 完形	砥沢石 65g	長・7.8 幅・3.2 厚・1.7	使用は、表・裏・側部の4面。両小口は欠損 か旧材の面か不明。裏面の上方は転用の面。	

第148号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
324-1 180-1	須恵器 坏	不明 1/2	口・12.5 底・6.0	還元。硬。灰7.5Y5/0。密。重。 白色粒、鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面に浅い轆轤目あり。	接合5片 笠懸か
324-2	須恵器 坏	覆土 破片	口・(16.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/4。並。 軽。白粒含、他鉍物少。	口縁部は外反する。轆轤成形。底部は欠損す る。金雲母含。	
324-3 180-2	須恵器 埴	覆土 高台一部 欠損 ほぼ完形	口・15.6 底・(5.5)	酸化。並。淡赤橙2.5YR7/4。 並。重。褐粒含、鉍物少。	轆轤成形(右回転)か。高台付け高台。底部 は篋整形。体部外面轆轤目多。	粘・陶 産不明
324-4 180-4	須恵器 埴	覆土 台部片	底・(7.5)	酸化。並。褐7.5YR6/3。粗。 軽い鉍物微。	内・外面に撫跡あり。回転方向右。底面に黒 色物質付着。土師質。	粘
326-1 180-3	須恵器 内黒 埴	竈覆土 2/3	口・(16.7) 底・8.5	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。鉍物少。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨。付け高台。 破損後被熱のため黒色は部分的。	接合7片
326-2 180-5	土師器 羽釜	床直+竈覆土 1/4	口・21.0	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。重。金雲母。暗褐粒含。	外面下方に縦撫がくり返され部分的に銕下ま で達する、内面轆轤右回転。	接合19片 粘
326-3	須恵器 羽釜	覆土 破片	銕・(22.7) 口・(20.7)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。軽。白・褐粒、褐粒含。	口縁部の内・外面横撫。割れ口に紐作痕あり。 外面色変あり、被熱か。	
326-4	須恵器 羽釜	覆土 破片	口・(21.2) 銕・(23.7)	酸化。並。褐7.5YR4/4。並。 軽。白・褐粒、褐粒含。	口縁部の内・外面横撫。銕以下刷毛撫。割れ 口に接合面見える。紐作らしい。	

第148号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
326-5	須恵器 羽釜	竈覆土 破片	口・(23.2) 鏝・(25.7)	酸化・並。褐 YR4/3。並、やや重。白・褐粒含、鉍物少。	内・外面に轆轤右回転の回転条痕。外面煤付着。	粘・陶
326-6	須恵器 羽釜	床直 破片	口・(30.0) 鏝・(31.1)	酸化・硬。明赤褐2.5YR5/6。密、重。白粒、他鉍物微。	紐作りの接合2カ所。作調粗雑。外面撫と、1条の工具条痕。内面にも工具条痕あり。	市付近か
326-7	施釉陶器 灰釉瓶	掘方覆土 破片	頸・(6.2)	還元・硬。釉淡黄緑(灰釉)。胎土灰白2.5Y7/1。	外面に透明感の強い灰釉。一部は内面にもおよぶ。内面轆轤目あり。	東海搬入
326-8 180-6	石製品 砥石	覆土 1/2	砥沢石 40g	長・5.5。横・3.5。厚・1.7。	使用面は図表と左側部。欠損は調欠。小口面は転石面、右側部は旧材料面。	
326-9	石造品 陰陽石か	覆土 完形	凝灰質砂岩 4.7g	横・2.1	使用摩耗はつきりせず。灰色で、白味があり、陽石か。碁石か。	自然材か
326-10	石造品 陰陽石か	覆土 完形	チャート 4.6g	横・1.8	使用摩耗はつきりせず。黒色味が強く、陰石か。碁石か。	
326-11 180-8	石製品 紡錘車	不明 完形	砥沢石 50g	遺存長・3.7。幅・3.4。 厚・2.6。	砥石の転用か、平面形は隅丸方形を呈す。穿孔は表・裏ほぼ同じ直径。使用消耗目立ず。	

第149号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
327-1 180-7	須恵器 坏(墨書)	甕付近 3/4	口・12.8 底・5.7	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。並。軽。黒粒多、白粒少、他少。	底部は轆轤右回転糸切り。体部外面に「百」墨字あり。割れ口消耗少。	墨書-89 粘
327-2 180-9	須恵器 塊	ピット内 1/2	口・(15.0) 底・6.2	還元。灰白5Y7/2。並。軽。鉍物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。内面煤付着。	接合5片
327-3 180-12	土師器 破片	竈覆土 破片	口・(19.4)	酸化。並。にぶい橙7.5YR。粗。軽。褐粒含、他鉍物少。	口縁部に粘土帯。外面は篋削り、内面は篋無で、口縁部は横撫でを施す。旧欠ご被熱色変。	接合3片
327-4	土師器 甕	ピット内 破片	口・(20.8)	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/3。並。軽。雲母、褐粒、鉍物少。	口縁部に粘土帯接合あり。器外面は篋削り、器内面は篋無で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片

第151号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
328-1 180-10	須恵器 坏	掘方覆土 1/3	口・12.8 底・8.0	還元。並。灰5Y6/。並。やや重。白粒微、鉍物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面底部境明瞭。	接合2片 粘・陶
328-2 180-11	須恵器 坏	掘方床直 1/2	底・(6.6)	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。粗。軽。白粒含、他鉍物少。	底面は大剥落。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面少吸炭。割れ口消耗。	粘

第152号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
329-1	須恵器 坏	覆土 口縁部片		還～中性。並。灰黄2.5Y6/2。並。やや重。白、黒粒少。	体部外面に轆轤目。割れ口消耗。外面墨字。轆轤成形。底に見える吸炭あり。	陶か

第154号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
330-1	土師器 坏	覆土 1/5	口・(13.0)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。褐粒含、シルト質。	型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合2片
330-2	土師器 坏	覆土 破片	口・(14.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。やや軽。褐粒含、鉍物少。	口縁部下外面に接合痕。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・内面は横撫で整形。外面黒斑。	
330-3	土師器 甕	覆土 破片	口・(20.9)	酸化・並。鈍赤褐2.5YR4/4。並。やや重。白・雲母粒含、鉍少。	型作りか。器外面は篋削り、指圧痕、器内面は篋無で、口縁部は横撫でを施す。	接合6片
332-1 180-13	須恵器 坏(墨書)	覆土 破片	口・(11.8) 底・(7.0)	還元。並。灰5Y5/1。並。やや重。白・黒粒含、他鉍物含。	轆轤成形右回転。底部は回転糸切り。体部外面に墨痕、字か不明。内面底に墨痕、字か不明。	墨書-90
332-2 180-14	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(12.5) 底・(6.4)	酸～還元。硬。灰黄褐10Y5/2。密。やや重。白粒含、鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縁部周辺重焼色変。	接合4片 県外か
332-3 180-15	須恵器 坏	178住覆土 3/4	口・(13.1) 底・(7.4)	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。並。軽。白粒含、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外面に吸炭あり。	接合4片
332-4	須恵器 坏	覆土 破片	口・(17.4)	還元。軟。灰5Y6/1。並。軽。白・褐粒含、他鉍物少。	口縁部は直線的に外傾する。轆轤成形。内・外に轆轤目。割れ口消耗。	粘

第154号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
332-5	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(7.0)	還元。硬。灰5Y4/1。密。重。 白粒含、他微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転篋削。内・外面吸炭。割れ口消耗ほとんどなし。	西毛〜埼玉
332-6	須恵器 碗(墨書)	覆土 底部片	底・(10.4)	還元。並。灰5Y6/1。並。軽。 白粒・鉾物多、他鉾物多。	高台貼付後、周囲撫。底面に「王」かの墨字あり。全体に消耗大	墨書-91
332-7	須恵器 碗	覆土 底部片	底・(10.2)	還元。軟。灰5Y5/1。並。やや軽。 白粒、灰鉾物含、他含。	轆轤成形(右回転)。付け高台後、回転篋、撫整形。外面黒色化。割れ口消耗。	粘
332-8 180-16	須恵器 碗	覆土 1/4	口・(11.0)	還元。硬。灰10Y5/1。密。重。 白粒含、他鉾物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転篋整形。内面使用摩耗。墨痕なし。	接合2片 笠懸
332-9 180-17	須恵器 鉢か	覆土 1/4	底・(11.0)	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。 粗。軽。白・褐粒含、鉾物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺回転篋削。割れ口消耗。	粘
332-10	須恵器 甕	覆土 口縁部片	厚・1.2	還元。硬。灰N6/0。密。重。 白鉾物含、他鉾物含。	紐作り後轆轤成形。外面にゆるい波状文。内面に轆轤目あり。口縁部端部小割れ旧欠。	太田か
332-11	須恵器 大甕	覆土 口縁部片	厚・1.1	還元。締。暗灰N3/0。密。重。 白粒含、他鉾物含	紐作り後轆轤成形。外面に自然釉。内・外面に轆轤の回転条痕。割れ口消耗少ない。	太田か
332-12	施釉陶器 碗	覆土 口縁部片	口・(14.0)	還元。締。釉淡黄灰(灰釉)。 胎土灰白N7/0。	口縁部付近使用消耗。内・外面灰釉あり。外面釉剥落あり。割れ口少し消耗。	東海搬入

第178号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
333-1	土師器 坏	覆土 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。褐粒含、鉾物少。	口縁部は内湾気味。型作りか。底部は篋削り後撫、口縁部・器内面は横撫で整形。	
333-2	土師器 坏(平底)	覆土 口縁部片	口・(11.8)	酸化。並。赤褐5YR4/6。並。 並。やや重。白粒含、鉾物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	
333-3	土師器 坏(平底)	覆土 口縁部片	口・(11.8)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。白・褐粒含、他鉾物少。	口縁部は直立気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚を残し、口縁部・器内面は横撫で。	
333-4	土師器 内黒坏か	覆土 口縁部片	口・(15.0)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや軽。白粒含、他鉾物少。	器内面に研磨を施す。器外面には紐作接合痕3条あり。割れ口少し消耗。	
333-5	土師器 内黒坏か	覆土 口縁部片	口・(16.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。白粒含・金雲母含。	型作り。体部に型膚。外面は横撫で。内面の黒色化は一部外面口縁におよぶ。	
333-6	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(12.0)	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 軽。褐粒含、鉾物少。	頸部中位外面に接合痕。型作りか。外面篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	
333-7	須恵器 坏	覆土 1/3	口・(12.0) 底・(7.4)	還元。硬。褐灰10YR5/1。並。 重。	口縁部は焼け歪む。底部は回転糸切り後、周辺を轆轤右回転篋削りを行う。	笠懸
333-8	土師器 碗	覆土 底部片	底・(6.4)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白粒含、鉾物少。	体部外面に接合痕、指圧痕、篋削後の撫。底面篋削。内面回転の撫痕あり。	
334-1 180-19	須恵器 碗	床直 1/2	口・(15.2) 底・8.3	還元。並。灰黄10YR6/2。粗。 軽。白色粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。	接合4片 粘
334-2	須恵器 皿	覆土 1/3	口・(14.4) 底・(6.4)	還元。軟。黄灰2.5YR6/1。並。 軽。黒褐粒多、他鉾物少。	口縁部は外反気味。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・外面割れ口少し消耗。	粘
334-3	土師器 内 黒 台付皿	覆土 底部片	底・(7.1)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 金雲母、白粒含、他少。	器内面に暗文黒色を施し、ハゼが多い。器外面に撫整形痕を残す。器面、割れ口消耗大。	内黒
334-4 180-18	須恵器 坏蓋	覆土 1/4	口・(17.4)高 3.8 摘・3.0	還元。硬。灰5Y6/1。密。 やや軽。白色粒微、鉾物微。	轆轤成形(右回転)。上半部は右回転篋削り。端部の尖り弱い。	笠・太田 外か
334-5	須恵器 坏蓋	覆土 1/3	摘み径・2.1	還元。並。灰5Y5/1。並。 白・褐円粒多、他鉾物少。	轆轤成形(右回転)。外面上半部は回転篋削り、下半に轆轤目。摘み形態異風、胎土異風。	粘・陶 県外か
334-6	須恵器 坏蓋	覆土 摘み部	摘み径・4.0	中性。並。灰黄2.5YR6/2。 粗軽。黒・褐粒含、他少。	轆轤成形。摘み端部はやや丸い。全体に消耗の極み。	粘
334-7	須恵器 高坏か	覆土 脚部か	口・(13.0)	還元。締。灰N5/0。密。重。 白鉾物多、大粒含、他少。	瓶口縁か不明。外面に轆轤目あり。回転方向不明。石英粒目立つ。	太田か

第179号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
335-1	土師器 甕	覆土 破片	口・(19.0) 高・(6.5)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部下外面に接合痕。型作りか。外面は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	
335-2 180-20	土師器 台付甕	覆土 脚部片	底・9.6	酸化。並。明赤褐5YR5/8。粗。 軽。白色粒含、礫多い。	内・外面轆轤状横撫で。回転早い。内面篋撫痕あり。外面被熱色変。	接合4片 粘

第179号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
335-3	施釉陶器 瓶	覆土 破片	厚・0.3	還元。締。灰オリーブ7.5Y4/2。 密。重。鉍物粒見えず。	外面全体自然釉、暗淡緑色で当遺跡最良。内 面轆轤目。割れ口消耗少しあり。	東海搬入
335-4 180-21	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(11.0) 底・(7.2)	還元。硬。灰5/6。密。重。 白粒、白鉍物粒多い。	轆轤成形(左回転)。底部糸切り。外面に重焼色 変。	太田か
335-5 180-22	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(12.3) 底・7.8	還元。硬。灰N4/0。密。重。 白色粒微、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面に強い轆轤目。	笠・太田 外か。
335-6 180-23	須恵器 坏	覆土 ほぼ完形	口・12.5 底・7.2	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。重。 白色粒微、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面に強い轆轤目。	笠・太田 外か
335-7 180-24	須恵器 坏	覆土 3/4	口・13.4 底・7.8	中性。並。灰白5Y7/1。密。 やや重。鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面に轆轤目立つ。	笠・太田 か
335-8 180-26	須恵器 坏	覆土 3/4	口・(12.7) 底・7.2	還元。並。灰白5Y7/2。密。重。 白色粒微、鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。底面に糸切しこね痕。	笠・太田 か
335-9 180-25	須恵器 坏	覆土 破片	口・(13.5) 破片	還元。軟。灰黄2.5Y7/2。並。 やや軽。白・黒粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後、周辺部を手持ち篋整形。	太・笠か
335-10 180-27	須恵器 坏	覆土 1/3	口・(14.0) 底・(6.8)	還元。並。灰10YR6/1。密。 重。白・黒粒含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。大ま かな轆轤目。少し内面使用摩耗ハゼあり。	接合5片 太田か
335-11	須恵器 坏	覆土 底部1/4	底・(7.0)	還元。硬。灰5Y5/1。並。軽。 白粒少・黒粒多、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口消耗大。 粘	
335-12	須恵器 坏	覆土 底部	底・10.2	還元。硬。灰褐7.5YR4/2。密。 重。白粒含、他少。	轆轤成形。右回転糸切り後周辺を回転篋削り。 割れ口消耗少ない。	笠
335-13 180-28	須恵器 塊	床直 底部片	底・(10.0)	還元。軟。灰黄褐10YR6/2。 並。やや重。白色粒微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底面は回転篋整形。欠損旧時。	笠懸か
335-14 181-1	土師器 内黒	覆土 1/4	口・(13.4) 高・(3.9)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。 鉍物粒少。	器内面に暗文を施す。器外面には指頭痕・撫 痕。外面被熱色変。	接合4片
336-1	土師器 鉢形	覆土 破片	口・(18.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。鉍物少、シルト質。	外面上方に横撫、下方不定方向の撫。内面横 撫。割れ口消耗。	
336-2	土師器 鉢	覆土 破片	口・(20.2)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他鉍物含。	口縁部の内・外面横撫。外面下方不定方向の 撫と篋撫。器肉厚い。割れ口少し消耗。	
336-3	須恵器 蓋か	覆土 小片	口・(15.2)	中性。軟。灰白5Y7/1。並。軽。 鉍物粒微、シルト質。	轆轤成形。内・外面轆轤目顕著でない。割れ 口消耗。	粘
336-4 181-2	須恵器 長頸瓶	覆土 破片	頸径・(6.0)	還元。締。褐灰10YR6/1。密。 重。黒・白粒含、他微。	外面厚い自然釉。内面に3段接合、右回転轆 轤目あり。割れ口に粘土板の接合面見える。	県外か
336-5	須恵器 甕	覆土 破片	口・(28.0)	還元。軟。灰5Y6/1。並。やや重。 白粒少、黒粒多、他含。	紐作り後撫で整形か。内面小ハゼ多い。口縁 端部消耗、割れ口消耗。	粘・陶
336-6 181-5	須恵器 甕	覆土 破片	底・(18.8)	還元。締。灰5Y6/1。密。重。 白粒含、他鉍物微。	内面に青海波当て目、外平行叩撫で消し。底 面底内面轆轤右回転撫。内面使用摩耗。	陶 西毛 ～県外
336-7	粘土板状 竈材	覆土 破片	90g	遺存長・5.5+α 巾・4.35+α 厚・4.7	袖か天井架材の粘土板片か。細砂を含み、焼 成の甘いレンガ様。表・裏のみ残存。	酸化。焼 成甘い
336-8 181-6	土製品 土錘	覆土 完形	長・5.0 幅・ 2.0 12.31g	酸化。並。明褐灰7.5YR7/2。 並。重。白粒含、他鉍物なし。	外面撫整形で器面緻密。穿孔形は小さい。重 みあり。欠損はない。消耗顕著でない。	粘・陶

第180号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
337-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(11.0)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 金雲母、褐粒含、シルト質。	型作りか。底部は篋削り。口縁部・器内面は 横撫で整形。体部外面に不明墨字あり。	墨書-92
337-2 181-11	須恵器 坏	覆土 2/3	口・(13.7) 底・7.4	還元。硬。灰5Y6/1。密。 鉍物粒極少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は右回転 糸切り。内面轆轤目特徴的。	接合8片 県外か
337-3 181-12	土製品 土錘	覆土 完形	長・4.2 幅・1.9	酸化。並。暗灰黄2.5YR4/2。 並。重。鉍物粒見えず。	小口の欠損なし。燻少しかかり褐色味おびる。 外面撫。他の土錘より、質に重みあり。	

第156号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
338-1 181-3	土師器 坏	床直 3/4	口・(12.8) 底・(9.5)	酸化・並。橙5YR6/8。粗、軽。 白・褐粒含、鉍物少。	型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・ 器内面は横撫で整形。焼成上の黄斑あり。	接合2片
338-2 181-4	土師器 坏(平底)	覆土 一部欠損	口・13.1 底・6.4	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。白粒含、他鉍物含。	口縁部は直線的に外傾。型作り。底部は篋削 り砂付着。体部に型膚と不明墨字。	墨書-93

第156号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
338-3 181-7	土師器 坏(平底)	床直 1/4	口・(14.1) 底・(7.6)	酸化。硬。橙7.5YR7/6。並。 白・褐粒含、他鉱物含。	口縁部は外傾。型作り。底部篋削り砂付着、 体部型膚不明墨字。口縁部・内面横撫で。	墨書-94
340-1 181-8	土師器 坏	覆土 1/3	口・(13.8) 底・(6.4)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。白粒含、鉱物含。	口縁部は大きく外傾する。底部は篋削り、体 部に指圧痕を残し、口縁部・器内面は横撫で。	
340-2 181-9	土師器 内黒 坏	床直 1/4	口・(12.4) 底・(6.0)	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 やや重。白・褐粒含、褐粒含。	器内面に暗文。横撫篋削りあり。黒色化は口縁 部下外面にもおよぶ。底面篋削り。	接合 3片
340-3 181-10	土師器 内黒 坏	床直 1/2	口・11.6 底・6.0	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。鉱物含。	器内面に暗文。器外面に指頭痕、篋削りを残す。 底面手持篋削り。その中央に細砂付着部あり。	接合 4片 粘
340-4 181-13	土師器 坏(平底)	床直+掘方 3/4	口・12.8 底・ 6.5 高・4.2	酸化。硬。にぶい褐10YR5/3。 並。軽。白・黒鉱物含、他鉱物少。	底部は石目状の膚。体部外面不明墨字、口縁 部は横撫で。内面黒色化と研磨。	接合 6片 墨書-95
340-5 181-14	土師器 内黒 台皿	床直 一部欠損	口・13.9 底・7.2	酸化。軟。橙5YR6/6。並。 やや重。角礫鉱物含。	器内面に研磨を施す。器外面には篋削り目、指 頭痕を残す。研磨は入念。	粘
340-6 181-15	土師器 甕	床直 口縁部片	口・20.4	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒、鉱物含。	口縁部粘土帯。型作りか。器外面は篋削り、 器内面は横撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合 7片
340-7 181-20	土師器 台付甕	床直 小片	底・(9.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並。やや軽。鉱物微。	脚部外反、体部下半篋削り、脚部の接合部以 下、内・外面横撫。	接合 2片 粘
340-8 181-21	土師器 台付甕	床直 底部片	底・8.6	酸化。硬。赤褐5YR4/6。粗。 やや軽。白粒、鉱物含。	全体に摩耗し、ハゼあり。外面指頭痕あり。 内面被熱ハゼ。外面煤付着。	接合 3片
340-9 181-22	土師器 台付甕	床直 台部片	底・10.0	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや軽。鉱物微。	台部外反気味で、内・外面ともに横撫あり。 端部上方少しめくれ傾向あり。	粘
340-10 181-16	須恵器 坏	床層 一部欠損	口・13.2 底・6.2	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 密。やや重。鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。底部小粘土塊付着。	内面油煙 太田か
340-11 181-18	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(6.0)	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 やや重。鉱物少。	底部は右回転糸切り後周辺を篋削り。さらに 「主」か不明墨字あり。内面底摩耗。	墨書-96
340-12 181-17	須恵器 埴	床直 3/4	口・15.1 底・7.5	還元。並。灰7.5Y1/6。並。 やや重。鉱物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。	接合 6片 粘
340-13 181-19	須恵器 埴	床直 1/3	底・(7.0)	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並。 金雲母含、白・黒粒含、他含。	口縁部は外傾。高台付け高台。底部は回転糸 切り。体部外面不明墨字。	粘 墨書-97

第155号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
341-1 181-23	土師器 坏	覆土+床直 2/3	口・(11.6)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。鉱物少。シルト質。	口縁部は外反する。型作りか。底部は篋削り、 口縁部・器内面は横撫で整形。外面煤付着。	接合 2片
341-2	土師器 甕(小型)	覆土 破片	口・(10.4)	酸化。並。灰赤2.5YR4/2。並。 白粒含、他鉱物微。	「コ」の字状口縁。頸部に接合面。器外面は 篋削り、器内面は横撫で、口縁部は横撫で。	接合 4片
341-3	土師器 甕	竈覆土 破片	口・(19.0)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。白粒微、鉱物微。	「コ」の字状口縁。型作り。器外面は篋削り、 器内面は横撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合 3片
341-4	土師器 甕	覆土 破片	口・(21.0)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削り 、器内面は横撫で、口縁部は横撫でを施す。	
342-1	須恵器 坏	覆土 破片	口・(12.2)	還元。締。灰 N6/0。	口縁部は外傾する。底面は丸底気味。底部は 轆轤右回転の篋削り。外面に自然釉。	
342-2 181-24	須恵器 坏	床直 1/2	口・12.4 底・6.0	還元。並。灰7.5YR5/0。密。 やや重。白粒、鉱物粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面に浅い轆轤目あり。	笠懸か
342-3 181-25	須恵器 坏	床直 完形	口・12.5 底・5.6	還元。硬。灰10YR4/。並。 やや軽。白色粒・鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は右回転 糸切りで切りそこね跡あり。	粘
342-4 181-26	須恵器 坏	床直 完形	口・12.8 底・5.6	還元。並。灰5Y6/0。粗。軽。 白色粒・軽石含	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は右回転 糸切り。体部に轆轤目。底少し摩耗。	接合 2片 粘
342-5 181-27	須恵器 坏	掘方 完形	口・13.0 底・6.5	還元。硬。灰7.5Y6/1。並。 白・黒粒含、他鉱物含。	底部は轆轤右回転糸切り。体部外面に「百口」 と不明墨字あり。重焼色変。内面摩耗あり。	墨書-98
342-6 181-28	須恵器 坏	竈 1/3	口・(13.2) 底・(6.7)	中性。並。黄灰2.5Y6/2。並。 軽。白粒含、他少。シルト質	口縁部は外傾。底部は轆轤右回転糸切り。内 面底に黒色物質(漆・油煙)付着と不明墨字。	接合 2片 墨書-99
342-7	須恵器 坏	覆土 破片	底・(9.0)	還元。並。灰黄2.5Y6/2。密。 やや軽。白粒含、他微。	底部は右回転篋削り整形。割れ口消耗。外面下 方に挽出しの稜あり。	笠懸
342-8	須恵器 坏	覆土 破片	底・(9.0)	還元。並。灰白5Y7/2。並。軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は篋削り。体部上方の外面に轆 轤目。割れ口消耗。	粘
342-9 181-29	須恵器 埴	床直 底部片	底・8.2	酸化。並。灰 N5/0。粗。軽。 鉱物微。	轆轤成形。高台付け高台。底部は右回転糸切 り。内面ハゼ、外面少し燻される。	粘

第155号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
342-10	須恵器 広口甕	覆土 破片	口・(35.0)	還元。硬。灰7.5YR5/1。密。重。白色鈳物多、他鈳物少。	砂粒は轆轤右回転。内・外面回転条痕。器内やや薄い。白色鈳物のうち石英粒目立つ。	太田

第157号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
343-1 181-30	須恵器 坏	覆土 破片	底・(6.7)	還元。硬。浅黄2.5Y7/3。密。重。白粒・鈳物含、他微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切後周囲を回転篋削。外面火瘃痕。	陶、周辺 県～市外
343-2 181-31	須恵器 碗	掘方覆土 破片	底・(7.0)	還元。軟。灰5Y5/1。並。やや重。白粒含、他鈳物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台は欠損する。(付高台)。重焼色変。	粘

第158号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
344-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(11.8)	酸化。並。橙5YR7/8。並。軽。金雲母、褐粒含、鈳物少。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
344-2	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。並。軽。白褐粒含、鈳物含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
344-3	須恵器 台付皿	掘方覆土 1/4	口・(15.0) 底・(10.0)	還元。並。灰黄褐10YR5/2。並。軽。鈳物粒微。少しシルト質。	割れ口消耗。内面に重焼色変。外面篋削目あり。外面に被熱色変と少し煤付着。	接合2片 粘
344-4 182-1	須恵器 坏蓋	竈付近+竈掘方 1/3	口・18.3 高・4.0	酸化。並。灰黄褐10YR5/2。並。やや重。白・褐粒含、鈳物少。	上半部は糸切後、周辺部を右回転篋削り。重ね焼き色変あり。その径は15.8と11.2cm。	接合4片
344-5	須恵器 甕	掘方 胴部片	厚・0.8	還元。硬。黄灰2.5Y4/1。密。重。白鈳物含、他鈳物含。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩きとカキ目条痕。内面宛具は青海波文。割れ口消耗。	太田か

第159号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
345-1	土師器 坏	掘方覆土 1/5	口・(12.2)	酸化。並。褐7.5YR4/4。	型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。内・外面少し燻かかる。	接合2片
345-2	土師器 坏	竈覆土 破片	口・(12.0)	酸化。硬。にぶい黄橙10YR6/3。並。やや重。褐粒含、他少。	型作りか。底部は篋削り篋撫、不明墨字、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	近県搬入 墨書-100
345-3	土師器 坏	床層 1/4	口・12.95	酸化。並。にぶい黄褐10YR5/4。並。軽。褐粒多、他鈳物微。	内面少し燻される。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
345-4	須恵器 台付皿	覆土 1/5	口・(15.0) 底・(9.7)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。並。軽。鈳物粒微。	割れ口消耗。全体的に酸化味あり。高台貼付。高台部外面少し燻しかかる。	接合2片 粘
345-5	須恵器 坏	覆土 破片	底・(7.0)	還元。硬。灰黄2.5YR6/2。密。やや重。白・黒粒少、他少。	底部は轆轤右回転篋削り。体部外面に不明墨字あり。内面平滑で摩耗少。	笠 墨書-101
345-6 182-2	須恵器 坏蓋	覆土 一部欠損	口・13.9 高・2.8	還元。並。灰白7.5Y7/2。並。やや重。白色粒、鈳物含。	轆轤成形(右回転)。外面上半部は回転篋削。口縁部にはぶく尖る。外面重焼色変。	笠・太田 か
345-7 182-3	須恵器 碗(双耳)	床直 3/4	口・15.3 底・10.8	中性。硬。黄2.5Y6/1。密。重。白色粒、鈳物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転篋削整形。耳口欠。	笠懸か

第160号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
348-1	土師器 坏	掘方 破片	口・(10.8)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。軽。白粒含、他鈳物少。	口縁部は外反気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合2片
348-2	土師器 坏	竈 破片	口・(13.2) 高・3.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。並。やや重。褐粒微。	口縁部は外傾気味。型作りか。底部は篋削。外面口縁部下墨痕、文字ではないかもしれない。	接合2片 墨書-102
348-3	須恵器 坏	覆土 底部片	厚・0.5	中性。軟。灰黄2.5Y6/2。並。軽。鈳物粒少。	底部は回転篋削り、不明墨字あり。内面回転条痕。	墨書-103
348-4	土師器 甕か	覆土 胴部片	厚・0.3	酸化。並。赤褐5YR4/8。	外面に篋削、内面に撫と墨字らしき吸炭か墨痕あり。甕内面の墨痕は疑問もあり。	7～9前C 墨書-104
348-5	土師器 坏	覆土 底部片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。並。軽。白・褐粒含、他鈳物少。	底部篋削り、内面指などによる掻ならし、ふ明墨字あり。割れ口消耗。	墨書-105
348-6 182-5	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.8) 底・7.5	酸化。軟。橙5YR6/6。並。やや重。白色粒微、茶褐粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後回転篋削整形。少し燻。	接合3片 笠懸か

第160号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
348-7 182-6	須恵器 坏	竈 1/2	口・(13.3) 底・7.9	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや重。茶褐粒含。	口縁部は外傾。底部は右回転糸切り後、周辺 回転篋削り。鉍物粒微。漆付着か。	接合2片 笠か
348-8 182-7	須恵器 坏(墨書)	竈+竈内 3/4	口・13.9 底・8.0	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 重。褐粒多、白粒少、他少。	底部は轆轤右回転糸切後周辺を回転篋削り。体 部外面に「一」と「王」の墨字、墨質に差。	笠 墨書-106
348-9	須恵器 坏	竈掘方覆土 底部片	底・(7.4)	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2。並。 やや重。白・褐粒含。	底部は回転糸切り後右回転篋削り、焼成針書 「十」あり。	
348-10	須恵器 瓶	覆土 口縁部片	口・(15.0)	還元。硬。黄灰2.5Y4/1。密。 重。白鉍物多、他含。	薄作。内・外面轆轤回転条痕あり。割れ口の 消耗少ない。	近接果
348-11	須恵器 甕	竈+竈内 胴部片	厚・0.4	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2。並。 重。白鉍物多含、他少。	紐作轆轤成形。外面に叩は見えない。内面にも 見えず撫あり。割れ口少し消耗。	太田か
348-12	施釉陶器 碗	覆土 体部片	厚・1.0	還元。締。釉灰淡緑(灰釉)。 胎土灰。	内面全体、外面上方に灰釉あり。外面下方に 轆轤目あり。施釉は刷毛塗か。	東海搬入
348-13 182-8	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・3.7 巾・ 1.7 重・8.5g	酸化。並。にぶい黄褐10YR5/3。 並。白粒含、他鉍物少。	外面緻密に仕上げられている。片方の小口は 旧時欠損。少し燻加わり、暗い色調。	
348-14 182-14	土製品 土錘	覆土 完形	長・4.8 巾・ 1.8 重・12.1	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白粒微、他少。	表面細かな研磨がなされ、緻密。穿孔は2mm 弱。完存であるか、小口面少し摩耗、旧時か。	
348-15 182-10	石造品 甕材	竈内 3/4	デイスাইト質 凝灰岩 2290g	縦・25.2 横・10.5 厚・7.0	図上方は旧状を残し、削り工具らしき痕跡、下 方は被熱消耗か。側部に堆積物らしい目あり。	

第161号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
349-1 182-11	土師器 坏	覆土 1/4	口・12.4	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒、金雲母含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り明 墨字。体部に型膚。	接合6片 墨書-107
349-2 182-12	土師器 坏	覆土 1/2	口・(12.9) 底・(8.5)	酸化。軟。橙7.5YR7/6。並。 軽。小褐粒多、鉍物少。	口縁部粘土帯。型作り。底部は篋削り、体部 に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合5片
349-3	土師器 坏	覆土 破片	口・(13.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。軽。 褐粒多、他鉍物含。	口縁部は外傾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合3片
349-4	土師器 内黒 坏	覆土 破片	口・(14.0)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白粒含、他鉍物含。	型作り。器内面に研磨。器外面に篋撫あり。 黒色化は一部外面にもおよぶ。	接合3片
349-5	土師器 坏	覆土 底部片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並。やや 重。金雲母、灰鉍物含、他少。	底部篋削り、内面に撫と不明墨字あり。割れ 口消耗微。	墨書-108
349-6	土師器 坏	覆土 底部片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。鉍物粒微。	内・外面に不明墨字あり。底面篋削り、内面撫。 割れ口消耗。	墨書-109
350-1 182-13	土師器 坏(墨書)	覆土 2/3	口・12.8 高・4.0	酸化。硬。にぶい褐5YR5/4。	型作り。底部は篋削り、戯書らしき墨書。体 部に型膚。内面「未」か墨字あり。	接合6片 墨書-110
350-2 182-14	須恵器 坏	床直 一部欠損	口・12.7 底・7.2	還元。硬。灰10Y4/1。密。 やや重。白色粒含、鉍物含。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切後、回転篋整形。底際に挽出稜あり。	笠懸か
350-3 182-16	須恵器 小塊	床直 ほぼ完形	口・10.5 底・6.4	還元。締。灰N4/0。密。重。 白色粒含、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。自然釉。	太田
350-4	土師器 内黒 坏	覆土 底部片	厚・0.8	酸化。硬。にぶい褐5YR5/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	器内面に暗文と吸炭の黒色化。底面糸切後轆 轤右回転篋削り、不明墨字あり。	墨書-111
350-5	須恵器 坏蓋	覆土 1/4	厚・1.0	還元。硬。灰N6/0。密。重。 白鉍物多、灰鉍物含、他含。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。摘 み内面に不明墨字あり。内面は轆轤目多。	墨書-112
350-6 182-15	石製品 紡錘車	覆土 完形	重・42.6	横・4.4 縦・4.7 厚・1.3	図上平面側、および側部は消耗があり、使用 時か風化か不明。文字、文様なし。	

第162号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
352-1 182-17	土師器 坏	覆土+床直 1/4	口・(14.4) 高・(3.8)	酸化。軟。褐灰7.5YR1/4。粗。 軽。	口縁部に粘土帯。底部は篋削り、体部に指圧 痕。口縁部・器内面は横撫で。	接合8片
352-2	土師器 甕	床直 口縁部片	口・(16.1)	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	頸部内面に紐作痕あり。器内面は撫で、口縁 部は横撫でを施す。	接合7片
352-3 182-19	土師器 甕	床直+その他 1/4	口・(18.6) 高・(23.6)	酸化。硬。暗褐7.5YR3/3。並。 白・褐粒含、他含。	外面は篋削り、内面は篋撫で、接合面あり。 口縁部は横撫でを施す。外面に煤。	接合14片
352-4 182-22	土師器 甕	南竈、覆土 破片	口・(18.8)	酸化。並。橙5YR7/6。並。軽。 褐・白粒含、鉍物少。	口縁部に粘土帯。外面は篋削りと撫。内面は 篋撫でと接合面、口縁部は横撫でを施す。	接合3片

第162号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
352-5	土師器 甕(小形)	覆土 破片	口・(13.2)	酸化。並。黒褐10YR3/2。並。 やや重。白粒含、鉍物少。	頸部内面に接合面あり。口縁部の内・外面横 撫。体部外面篋削。内・外面少し燻される。	
352-6	土師器 甕	覆土 破片	口・(15.5)	酸化。硬。にぶい赤褐2.5YR 5/4。並。白・褐粒含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
352-7	土師器 甕	覆土 破片	口・(12.0)	酸化。硬。暗褐7.5YR3/3。並。 やや重。金雲母、鉍物少。	内面横撫、篋撫。外面篋削、篋撫。口縁部下 外面に沈線一条。外面煤付着。	
352-8 182-20	土師器 甕	覆土 破片	口・(21.7)	酸化。硬。にぶい赤褐5/4。並。 重。白・褐粒多。他少。	口縁部下外面に三条の沈線帯、接合面。外面 は篋撫、接合面。口縁部は横撫。	
352-9 182-21	土師器 甕	床直+覆土 破片	胴最・(21.3)	酸化。硬。褐7.5YR4/3。並。 白・褐粒多、他鉍物少。	胴部片、器厚はやや厚い。器外面は縦位方向 の篋削りを施す。内面篋撫、接合面1カ所。	接合10片
352-10 182-23	土師器 甕	床直+覆土 破片	底・(5.0)	酸化。硬。褐7.5YR4/3。並。 重。白・褐粒含、鉍物少。	外面に篋削目あり。内面に篋撫あり。底面は 篋削。外面に煤と被熱。	接合2片
352-11 182-26	土師器 甕	床直 底部片	底・4.0	酸化。硬。灰褐5YR4/2。並。 やや重。鉍物含、他鉍物少。	外面篋削り。底部砂付着。内面に指頭圧痕。 篋当痕を残す。	接合9片
352-12 182-24	須恵器 坏	覆土 3/4	口・13.0 底・5.3	中性。並。にぶい黄褐10YR5/3。 並。やや重。粒子・鉍物少。	底部は回転糸切り。外面の轆轤目位置低い。 黒斑あり。	接合7片 市外か
352-13 182-18	須恵器 坏	床直+覆土 1/2	口・(12.8) 底・(7.5)	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。白粒含、鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面に工具の轆轤目。	接合4片 粘・陶
352-14 182-25	須恵器 壺	竈(北) 1/2	口・14.0 底・6.7	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや軽。黒粒含、鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。轆轤目多	接合6片
353-1 182-27	須恵器 壺	床層+床直 1/3	口・(14.0) 底・6.8	中性。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並。白色粒、鉍物含。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。高台付け 高台。底部は回転糸切り。少し燻される。	接合2片 粘
353-2 182-28	須恵器 壺	床直 3/4	口・14.3 底・(6.3)	中性。並。にぶい黄橙10YR6/4。 粗。やや重。白色鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り。少し燻あり。	粘
353-3 183-1	須恵器 壺	覆土、竈(北) 1/2	口・(14.5)	酸化。軟。暗灰黄2.5Y4/2。並。 やや重。白粒微、鉍物少。	高台部は欠損する。底部は右回転糸切り。内・ 外面に重焼色変、吸炭あり。	接合7片
353-4 183-2	須恵器 壺	床直 一部欠損	口・13.8	酸化。軟。灰黄褐10YR6/2。並。 やや重。白粒・鉍物含。	口縁部は外傾。高台欠損再用。底部は右回転 糸切り。内面に重ね乾燥痕。	粘
353-5	須恵器 瓶	不明 口縁部片	口・(14.8)	還元。締。黄灰2.5Y6/1。密。 重。白・黒鉍物含。	全体に薄作りで、内・外面に自然釉かかる。 端部は尖り、作調端正。	東海搬入 か
353-6	須恵器 瓶台付	覆土 破片	底・(12.0)	還元。硬。明褐灰7.5YR7/1。 密。重。白鉍物多、他少。	紐作り後轆轤成形(右回転)。外面に回転篋削 目あり。内面轆轤目。高台貼付。	太田
353-7 183-3	須恵器 広口瓶	覆土 1/2	最大径・(28.7) 底・(14.5)	還元。硬。灰白7.5Y7/1。並。 黒円・灰円粒多、他鉍物含。	紐作り後轆轤成形。回転方向不明瞭。内面に 紐作痕と轆轤目、底は撫か。	接合14片
353-8 183-4	施釉陶器 壺	覆土 1/3	口・(17.6) 高・4.8	還元。締。釉淡黄暗緑。胎土灰。 胎土淡黄灰。	高台低く古様。釉刷毛掛。内面底無釉。外面 轆轤目。底面篋削後右回転整形。	9C後 東海
353-9	施釉陶器 皿	覆土 口縁部片	口・(16.0)	還～中性。締。釉淡灰白。 胎土淡黄灰。	内・外面に淡い灰釉施釉。器肉薄い。割れ口 の消耗少ない。内面の使用擦痕少ない。	接合3片 東海搬入
353-10	施釉陶器 灰釉瓶	覆土 破片	最大径・(16.4)	還～中性。締。釉淡黄灰緑(灰 釉)。胎土黄灰。	外面上方に轆轤目、下方に回転篋削。内面轆 轤目。外面施釉。内面自然釉。	東海搬入
353-11	土師器 埴輪	覆土 円筒片	径・(27cm前後)	酸化。硬。明赤褐2YR5/0。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	朝顔形状に外反して立ち上がる。	太田
353-12 183-5	石製品 砥石	覆土 砥石	砥沢石 64	長・7.6 巾・3.5	使用は表・裏、側部の4面、手前小口は節理 面、奥の小口は削面か。	

第163号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
354-1 183-6	土師器 坏(平底)	床層 3/4	口・(12.6) 底・(8.5)	酸化。硬。橙7.5YR3/4。並。 軽。褐粒含、シルト質、鉍物少。	口縁部は内湾する。型作り。底部は篋削り、 体部外面に指頭痕。口縁部・内面は横撫で。	接合3片
354-2 183-7	土師器 坏(平底)	床直 3/4	口・12.5 底・6.8	酸化。並。橙5YR6/8。粗。軽。 白・茶粒含、鉍物微。	口縁部に粘土帯。型作り。底部は篋削り、中 心に細砂。体部に型膚。口縁部・内面は横撫。	
354-3	土師器 坏	床直 破片	口・(13.0) 高・3.0	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並。やや軽。白・褐粒少、他微。	底部は篋削り、篋撫。体部に型膚、小ハゼ。 口縁部・内面は横撫で整形。	
354-4	土師器 甕	床直 破片	底・(5.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他鉍物含。	胴部片、器厚は薄い。器外面は縦位方向の篋 削りを施す。外面被熱色変。	接合2片
354-5	須恵器 甕	覆土 胴部片	厚・1.0	還元。締。黄灰2.5Y5/1。密。 重。白粒・鉍物、黒粒含。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き、内面宛 具は素文。外面叩後撫あり。	太田か

第171号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
355-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(13.1) 底・(6.4)	酸化。硬。橙7.5YR6/8。並。 やや重。白・褐粒含、他鈹物含。	型作りか。体部外面下方から底部は篋削り、 口縁部・器内面は横撫で。内面に研磨あり。	
355-2	須恵器 提瓶	覆土 破片	径・(約20.0)	還元。締。灰白 N7/0。密。重。 黒粒多。白鈹物含、他少。	轆轤成形。内面に接合面、轆轤目。外面上方 轆轤目と下方回転篋削。	東海搬入

第164号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
356-1 189-9	施釉陶器 灰釉瓶	掘方 覆土 頸部片	頸・(12.2)	還元。締。釉淡緑透明調。胎土 灰。	内・外面に刷毛塗らしき灰釉かかり、轆轤目 あり。内面に部分的ハゼ。頸部接合面あり。	接合1片

第165号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
357-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(16.0)	酸化。並。黄橙7.5YR7/8。	口縁部は外傾気味。口縁部・器内面は横撫で 整形。割れ口は消耗。	
357-2	土師器 内黒 坏	覆土 破片	口・(13.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/2。 並。金雲母、白・褐粒含、他少。	器内面に研磨。器外面には横撫、篋撫あり。 黒色化は外面にもおよぶ。	
357-3	土師器 甕	覆土 破片	口・(12.8)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫で、撫、口縁部は横撫で。	
357-4	土師器 甕	不明 底部片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	底部片。器厚は薄い。器外面は篋削り。内面 に判読不明の墨字あり。	9Cか 墨書-113
357-5	土師器 坏	不明 底部片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。金雲母粒含、他含。	底面に篋削と篋撫あり。内面に判読不明の墨 字あり。9C前半頃の坏か。	墨書-114
357-6	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.6) 底・(7.2)	中性。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 並。やや重。鈹物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削り。全体に消耗。	接合2片 笠懸か
357-7	須恵器 坏蓋	覆土 1/2	口・17.4 高・3.7	中性。並。にぶい黄6/3。密。 やや軽。白色粒・鈹物微。	轆轤成形。外面上半部は右回転篋削り。端部 の尖り、にぶい。内面重ね焼高台径10cm色変。	接合2片 笠・太か
357-8	石造品 甕材	覆土	デイスাইト質 凝灰岩 1630g	長・16.6 幅・15.2	自然材らしく、節理の目あり。表・裏に削り 目あり。酸化部少しあり、全体に黄灰色。	左側袖材 か

第166号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
358-1	土師器 坏(平底)	覆土 1/5	口・(13.0) 底・(7.6)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。重。金雲母微、他鈹物少。	口縁部は外傾。型作り。底部片は篋削、体部 に指圧痕と撫を残り、口縁部・内面は横撫。	
358-2	土師器 坏(平底)	床直 1/2	口・(13.2) 底・6.0	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。白粒、鈹物少。	型作りか。底部・体部下方は篋削り。底面中 央砂付着、隅に墨痕	墨痕 墨書-115
358-3	土師器 台付甕	床直 脚部周辺	高・(6.1) 底・7.0	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 粗。軽。鈹物粒微	甕部外面は篋削と篋撫あり。内面篋撫。脚部 内・外面横撫。	
358-4	須恵器 坏	床直 1/2	底・5.8	中性。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。白粒、灰鈹物、他含。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切。内・外面被熱色変。全体に消耗大。	
359-1	土師器 小甕	床直 1/4	口・(14.8) 最・(16.0)	酸化。硬。赤褐5YR4/6。並。 やや重。鈹物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片
359-2	土師器 1/3	床直 1/3	口・18.6 高・(12.9)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。金雲母含、暗赤鈹物含。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は篋削、 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合3片
361-1	土師質土器 皿	覆土 口縁部片	口・(10.0)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 粗。軽。白粒含、他少。	轆轤成形。轆轤の回転方向不明。特徴的に肉 厚。割れ口の消耗少。	17~19C
361-2	土師器 坏	覆土+掘方 1/3	口・(13.0)	酸化。軟。明赤褐2.5YR5/6。	口縁部は外反気味。型作り。底部は撫、体部 に型膚。口縁部・内面は横撫でとハゼ。	
361-3	土師器 坏	床直+掘方破 片	口・(9.6)	酸化。並。橙5YR6/8。	型作り。外面底部は撫とハゼ。口縁部・器内 面は横撫で整形か。全体消耗大。	接合6片
361-4	土師器 坏	掘方+覆土 3/4	口・(16.1)	酸化。軟。にぶい赤褐4/3。並。 やや重。褐粒多、鈹物含。	口縁部は内湾気味。底部は篋削り、内・外面 ハゼ多く、被熱うけ、外面煤あり。	接合7片
362-1	土師器 壺	床直 破片	口・(18.6)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや軽。褐粒多、他鈹物少。	外面撫、小ハゼ。内面ハゼ剥落多く、上半に 撫、横撫紐作痕あり。口縁部内・外面横撫。	
362-2	紐作痕 甕	掘方	底・(7.5)	酸化。硬。赤黒2.5YR1.7。並。 白・褐粒含、他鈹物少。	胴部片、器厚はやや厚い。外面は縦位方向の 篋研磨様の篋撫。底面も同様。外面吸炭強い。	接合2片

第170号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
364-1	土師器 坏	竈 1/4	口・(12.0) 高・2.9	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 金雲母、白・褐粒含、他少。	底部は篋削り・篋撫、「主」の墨字あり。口縁部・内面は横撫で。	墨書-116
364-2 183-19	須恵器 坏	床直+覆土一 部欠損	口・12.2 底・(7.2)	還元。硬。灰5Y6/1。密。やや重。 黒色粒含、鉍物含。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部は回 転篋削り。外面底際挽出稜あり。	接合6片 笠懸か
364-3 183-20	須恵器 坏	掘方 1/2	口・(12.4) 底・(7.0)	還元。硬。灰白5Y7/2。密。重。 白粒微、鉍物粒微。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り後回転部分篋削。外面部分被熱。	接合2片 笠懸
364-4 184-2	須恵器 坏	覆土 1/2	口・(12.5) 底・(7.8)	中性。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。白・黒粒含、褐粒少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後周辺を回転篋調整。	接合5片 笠か
364-5 184-3	須恵器 坏	床層 破片	口・(13.0) 底 (7.8) 高・3.7	還元。軟。灰7.5Y6/1。並。軽。 金雲母、白・灰鉍物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋整形、不明墨字あり。	笠か 墨書-117
364-6	土師器 甕口縁部片	覆土 破片	口・(20.0)	酸化。並。にぶい黄褐10YR5/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部下外面に接合面あり。内面に篋撫、そ の頸部に浅い刷毛目。外面煤付着。	
364-7 184-1	須恵器 坏蓋	覆土 3/4	口・15.7 高・3.4	中～酸化。軟。鈍黄2.5Y6/3。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	上半部は轆轤右回転篋削り。下半に轆轤目と 不明墨字あり。端部尖る。	8C、笠か 墨書-118

第173号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
366-1	須恵器 坏	覆土 口縁部片	口・(14.0) 底 (7.6) 高・3.6	還元。軟。暗灰黄2.5Y5/2。並。 軽。白粒含、他鉍物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(回転方向不明) 底部は消耗のため切り離し不明。	
366-2 184-4	石製品 砥石	床直	砥沢石 390	長・13.1 幅・6.2	使用は表・裏・側部の4面、奥の小口面は整 形削面。手前小口は旧材面か人為欠か不明。	

第174号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
367-1	土師器 甕	覆土 口縁部片	口・(23.0)	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。白・褐粒含、他鉍物少。	口縁部下外面に粘土接合あり。外面は篋削り、 内面は篋撫と小ハゼ。口縁部は横撫を施す。	
367-2 184-6	須恵器 坏	床直 完形	口・12.4 底・ 7.9 高・3.8	還元。並。灰5Y5/1。並。やや重。 白粒多、灰鉍物含、他少。	底部は右回転糸切り後周辺を手持篋削。体部 外面「主」墨字。口縁部、内面底研磨。	墨書-119
367-3 184-7	須恵器 坏	床直 完形	口・12.9 底・7.0	中性。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並。やや重。白粒少、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り、不明墨字あり。	接合3片 墨書-120
367-4 184-8	須恵器 盤高台付	床直+覆土1/ 3	口・(20.2) 底 (13.4) 高・3.9	還元。硬。灰5Y6/1。並。軽。 白粒多、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。内面底は使用の研摩耗し ている。高台付け高台。底部回転篋調整。	接合12片 笠か
367-5 184-5	石製品 砥石	覆土 完形	砥沢石 140g	長・8.1 幅・3.75 厚・3.6	下砥として未完通孔あり。使用は表・裏・側 部の4面。小口は旧材面	

第175号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
368-1	須恵器 坏	覆土 底部1/4	底・(9.0)	酸化。軟。黄褐2.5YR5/3。密。 やや重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は篋削整形。割れ口 消耗。	笠か
368-2	須恵器 円面硯	覆土 脚小片	厚・0.7	還元。硬。灰N4/0。密。締。 白鉍物粒多、他少。	轆轤成形か。底外面に円形透、2条の縦沈線 あり。内面回転条痕。割れ口消耗少。	太田か
368-3	土師器 高坏か	覆土 小片	厚・0.6	酸化。軟明赤褐5YR5/6。並。 軽。白粒多、褐粒含、他少。	小片のため高坏か後世土師質脚付の破片か不 明。割れ口消耗大。	
368-4	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(8.0)	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白・黒粒含、他少。	底部は回転篋削り、回転方向不明。内面底と 底に不明墨字あり。全体に消耗。	墨書-121

第176号住居跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
369-1 184-11	土師器 小壺	覆土+竈内他 2/3	口・(11.8) 底・5.6	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。白・褐粒含、鉍物粒少。	口縁部は横撫で。器外面は大半を撫で整形、 下部に篋削り様の痕跡。内面摩耗大。被熱。	接合12片
369-2 184-13	土師器 小甕	床直+覆土 2/3	口・12.3 高・9.2	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。褐粒、他鉍物少。	内面黒色化と篋研磨。外面下方に篋削整形を 残すが上方ハゼが、被熱剥落、紐作痕見える。	接合13片
369-3 184-9	土師器 小壺	床直 ほぼ完形	口・13.0 高・12.8	酸化。並。橙5YR7/6。並。 軽。褐粒含、他鉍物含。	口縁部は横撫で、器外面は斜位の篋削、ハゼ が多い。内面に紐作痕と指圧痕、ハゼあり。	接合18片

第176号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
369-4 184-14	土師器 小壺	床直 1/4	口・(12.0) 高・(6.8)	酸化。並。にぶい橙5YR5/4。 並。軽。褐粒含、他鉱物少。	外面ハゼ剥落。内面篋撫。外面の剥落面上に 紐作単位見える。全体に被熱色変。	接合 8片
369-5 184-15	土師器 小壺	竈覆土+床直 1/2	口・(14.4) 底・6.6	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。	外面刷毛撫後、さらに全体に横撫か。外ハゼ が剥落、被熱色変。内小ハゼ、欠損後被熱。	接合18片
369-6 184-10	土師器 甕	竈覆土 口縁部上半	口・16.9 高・(9.7)	酸化。並。にぶい褐7.5YR7/4。 並。軽。白・褐粒含、鉱物少。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、器内面 にハゼ多。口縁部は横撫で、外面煤付着。	接合16片
370-1 184-18	土師器 甕	竈内他 胴~底部	底・7.1	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒、他鉱物含。	外面は斜位方向の篋撫。内面は篋撫。底部は 篋整形。内・外ともハゼが多い。欠損後被熱。	接合10片
370-2 184-12	土師器 高坏	床直 脚部欠損坏部	口・18.2	酸化。並。橙2.5YR6/6。並。 やや軽。褐粒多、他鉱物含。	口縁部横撫で器内面は放射状暗文状。内面底 にハゼ、外面にもあり。器内・外消耗気味。	接合 6片
370-3 184-17	土師器 高坏	竈内 脚部	底・13.0	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 褐粒含、鉱物少。	脚部は紐作り巻き上げ。外面に研磨、ハゼ横 撫あり。内面に紐作り接合面、ハゼあり。	接合 6片
370-4 184-16	土師器 高坏	覆土 脚部1/2	底・(14.9)	酸化。並。5YR6/6。並。軽。 白含褐粒多、鉱物少。	脚部は紐作り、整形は刷毛目を研磨状に化し、 脚内面は粘土巻き上げ痕と吸炭斑あり。	接合 7片
370-5 184-19	石製品 砥石	覆土	デイスイト 332	長・10.5 幅・4.7	使用は表・裏、側部の4面。奥小口は川原石 面。手前小口は旧時欠損。手持砥。	砥沢砥か

第181号住居跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
372-1 184-20	土師器 甕	床直 口縁~肩部	口・19.2 高・(10.4)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。白色粒子含	口縁部は外反する。器外面は篋撫。器内面は 篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合 5片 粘

1号掘跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
2-1	軟質陶器 手焙か	旧河道 95G 破片	口・(33.0)	酸化・硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。鉱物粒微。	内外面に研磨状の轆轤右回転条痕、内外黒灰 色の燻焼で割れ口は、芯黒色で5層気味。	17~19C 小泉焼か
2-2	軟質陶器 鉢	旧河道 5-95G 破片	口・(32.8)	還元・硬。灰7.5Y6/1。 密、重。白色粒含、他微。	内面摩擦あり。県内産にしては硬質。割れ口 少し消耗。割れ口に紐痕。轆轤右回転。	13・14C 県外両国
2-3	陶器 瓶	旧河道 1号 掘破片	厚・0.5	還元・締。釉暗黄緑灰(灰釉)。 胎土灰。	内面に轆轤目。外面灰釉と釉だれ、回転篋削 目あり。割れ口の消耗少。	東海搬入
2-4	陶器 皿か	旧河道 覆土 破片	厚・0.5	中性・締。釉淡黄灰(透明調)。 胎土灰。	形状は、端返り皿か。内外面に施釉あり。割 れ口少し消耗。	17C・瀬 戸美濃か
2-5	磁器 碗	旧河道 375G 破片	厚・0.7	還元・締。釉淡暗青緑(青磁釉)。 胎土灰。	外面に鎬蓮弁あり。内面圏界劃文一条。施釉 内外、貫入あり。割れ口消耗少。	13C 龍泉窯か
2-6 213-1	土師器 坏(内黒)	旧河道 6-315G 1/3存	口・(13.0) 底・一	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4。 並。褐粒含、鉱物少	口縁部は外反気味。底部側は篋撫。口縁部・ 研磨整形。内面黒色化外面口縁にもおよぶ。	接・4片
2-7 213-2	須恵器 坏	1号掘 覆土 ほぼ完形	口・12.7 底・6.0	還元・硬。灰オリーブ5Y2/6。 密、重。鉱物。	外面口縁に重ね焼痕。轆轤成形(右回転)。底 部は回転糸切り後、篋整形。内面に漆付着。	接・3片 笠・太田
2-8 213-3	須恵器 坏	5-155G 覆土 1/2	口・(13.0) 底・(6.4)	還元・軟。灰オリーブ5Y7/2。 粗、軽。白色・褐粒、鉱物含。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り。外 面被熱色変。全体消耗。	2片 粘
2-9 213-4	須恵器 内黒 碗	Gトレ P-1 1/3	口・一 底・7.1	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4。 鉱物粒少。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。高 台は付け高台と回転撫整形。	接・2片
5-1	須恵器 甕	旧河道 1号 掘破片	厚・1.3	還元・硬。灰5Y6/1。密、 やや軽。黒粒多、他少。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き、内面当 具は素文気味。割れ口の消耗少。	秋・乗か
6-1 213-5	土師器 坏(平底)	旧河道 P1・2 一部欠損	口・12.4 底・6.2	酸化・硬。橙5YR7/6。 密、やや重。鉱物粒含。	口縁部は外傾する。底部は篋削り、外面は指 圧痕、篋削あり。口縁部・器内面は横撫。	14層中 漆付着
6-2 213-6	土師器 坏(平底)	旧河道 P-1 4/5	口・12.2 底・6.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4。 並。軽。白・褐粒、他鉱物含。	口縁部下粘土帯接合。型作り。底部篋削り、 体部指圧痕。口縁部・器内面内面油煙横撫。	燈火皿 シルト縞
6-3 213-7	土師器 坏(平底)	旧河道 P-1 2/3	口・13.1 底・7.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4。 並。軽。白・褐粒含、鉱物少。	口縁部は外反。底部は篋削り、体部に型膚と 2段の接合面。口縁部・器内面は横撫で。	接・7片 14層中
6-4	須恵器 坏	旧河道 294G他 1/4	口・(12.6)	還元・締。灰7.5Y5/1。並。 やや軽。白粒含、他鉱物微。	轆轤成形(右回転)。内外ともに轆轤目多い。 底部欠損のため切り離し技法不詳。	14層中 粘・陶
6-5 213-8	須恵器 坏	旧河道 6-245G 1/3存	口・(12.5) 底・一	酸化・並。淡赤橙2.5YR7/4。 白・褐粒、他鉱物多。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は欠損。被熱のためか色変。	接・5片 14層中
6-6 213-9	須恵器 坏	旧河道 6-314G 2/3存	口・12.7 底・5.4	中性・並。鈍黄橙10YR7/2。 並。やや重。鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面燻斑あり。全体に少し消耗。	接・5片 14層中

1号掘跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
6-7 213-10	須恵器 坏	旧河道 6-315G 1/2	口・13.4 底・6.2	還元・軟。灰白7.5Y8/2。 並。鉾物粒微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面摩耗あり。	笠・太田
6-8	須恵器 坏	D-D'トレンチ 1/4	口・(12.8) 底・(6.0)	還元・硬。灰N5/0。密、重。 白色鉾物含、他鉾物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。体部の轆轤目多い。	太田か 14層中
6-9 213-11	須恵器 坏	旧河道 6-314G 1/2	高・2.5 底・5.3	還元・並。灰白10Y8/1。 粗、やや軽。鉾物粒含。	口縁部は欠損のため不明。轆轤成形(右回転)。 底部は回転糸切り。全体に摩耗。	粘 14層中
6-10 213-15	須恵器 碗	旧河道 6-295G 脚部周辺	高・2.45 底・8.8	酸化・硬。橙5YR7/6。 粗、やや軽。鉾物粒微。	上方欠損。轆轤成形。高台付け高台。底部は 回転糸切り。稲モミ痕。	粘 14層中
6-11	須恵器 瓶	1号掘下面 1/4	最大(13.9)	還元・硬。灰7.5Y5/1。密、 重。白色粒大粒含、他鉾物少。	紐作り後轆轤整形か(右回転)。体部の轆轤目 状条痕は、篋削後の整形か。内面黒色物附着	太田 14層中
7-1 213-13	土師器 坏(平底)	床面直上層 1/2	口・12.2 底・7.9	酸化・硬。橙5YR7/6。 密、やや重。鉾物粒含。	口縁部は外傾する。型作り。底部は篋削り、 口縁部・器内面は横撫で。	接・3片
7-2	土師器 甕	底面直上層 破片	口・(13.0) 底・(6.0)	酸化・硬。橙5YR6/8。 並、やや重。白色粒、鉾物含。	外面は篋削り、内面は撫で、接合痕、口縁部 は横撫でを施す。	接・2片
7-3	土師器 甕	底面直上層 底部片	口・(22.0) 底・(6.0)	酸化・硬。鈍橙7.5Y7/4。 並、軽。白色・褐粒含、他含。	外面に篋削、底面篋削。内面篋撫あり。割れ 口少し消耗、色調少し漂白気味。	
7-4	土師器 甕	底面直上層 口縁部片	口・(22.0)	酸化・並。明黄褐10Y7/6。 粗、軽。褐粒含、他鉾物微。	「コ」の字状口縁。シルト質。器外面は篋削、 器内面は篋撫、口縁部は横撫を施す。	
7-5	須恵器 碗	底面直上層 1/4	口・(13.3) 底・(8.9)	還元・軟。10Y 灰白8/1。 並、軽。鉾物含。	付高台後、底部は回転篋削・撫整形。底に「三」 の墨字。筆到に勢いがあり「主」ではなさそう。	粘 墨書-1
7-6 213-16	須恵器 碗	底面直上層 1/3	口・(14.8) 底・10.0	還元・硬。灰7.5YR6/1。 密、重。白色粒含、鉾物少。	口縁部は外反。右回転轆轤成形。付け高台。 底部は回転整形。内面の使用摩耗顕著。	墨液なし
7-7 213-12	須恵器 碗	底面直上層 1/2	口・(13.4) 底・9.2	還元・並。橙5YR7/6。 粗、軽。鉾物粒含。	口縁部再整形。轆轤成形(左回転)。高台付け高 台。底部は回転糸切り後、篋整形。	接・2片 笠懸か
7-8 213-17	木製品 加工木	底面直上層 部分材	サクラ属	遺存長・56.0、巾・9.4 樋状の巾・3.3	丸太材の中心を縦位に樋状に彫り込む。	
8-1	土師器 坏	西斜面一括 1/4	口・(11.6)	酸化・並。橙Y6/6。粗、軽。 白色粒微、他鉾物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
8-2	土師器 坏	西斜面一括 1/4	口・(12.8)	酸化・並。橙5Y6/6。並、 やや軽。金雲母含、鉾物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接・2片
8-3	土師器 坏	西斜面一括 破片	口・(13.0)	酸化・並。橙7.5Y6/6。並、 やや軽。褐粒含、他鉾物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	油煙附着
8-4	土師器 坏	西斜面一括 破片	口・(13.2)	酸化・並。橙7.5Y6/6。並、 やや軽。金雲母含、鉾物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
8-5	土師器 坏	西斜面一括 破片	口・(11.0)	酸化・硬。明褐7.5Y5/6。並、 やや軽。金雲母少、他鉾物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部篋削り、体部 型膚。口縁部・器内面横撫整形。割れ口消耗。	
8-6	土師器 坏	西斜面一括 破片	口・(13.8) 底・(13.0)	酸化・並。鈍黄橙10Y6/4。 並、軽。金雲母・褐粒、鉾物微。	口縁部は直口気味。型作り。底部撫様の篋削 体部型膚。口縁部・器内面横撫整形。	接・2片
8-7	土師器 坏	西斜面一括 破片	口・(12.2)	酸化・硬。橙7.5Y6/6。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	油煙附着
8-8	土師器 坏	西斜面一括 破片	口・(12.6)	酸化・硬。橙7.5Y6/6。並、 やや軽。白色・褐粒含、他微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部篋削、体部 型膚。口縁部・器内面横撫整形。割れ口消耗。	
8-9	土師器 坏	西斜面一括 1/4	口・(13.3)	酸化・並。橙7.5Y6/2。並、 軽。金雲母・褐粒含、鉾物微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫整形。	接・2片
8-10	須恵器 坏	西斜面一括 1/4	口・(11.5)	還元・硬。灰5Y5/1。密、 やや重。白色粒含、他鉾物微。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部欠損、 切り離し技法不詳。轆轤目大まか。	接・2片 太・笠か
8-11 213-14	須恵器 坏	西斜面一括 1/2	口・14.0 底・8.0	還元・並。灰白7.5Y7/2。 並。鉾物粒なし。	轆轤成形(右回転)。底部は手持篋削り。外面 底際に挽出し稜あり。	笠懸か

竪穴状遺構

第17号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
373-1 186-9	土師質土器 皿	No18 2/3	口・(9.8) 底・4.95	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。 並。やや重。褐粒含、他鉾物少。	底部は右回転糸切り。内・外面に浅い轆轤目 口縁部に油煙痕。	接合4片 中世か
373-2 186-10	土師質土器 皿	No32 1/2	口・(11.2) 底・5.6	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。 並。やや重。褐粒含、他鉾物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り後、撫 で整形。内面底一方の撫。底面板状圧痕。	接合3片 中世か
373-3	軟質陶器 塀	覆土 破片	厚・1.0 底・(21.8)	酸化。暗灰黄2.5Y5/2。粗。軽。 白色粒、黒褐粒含、他含。	内面に撫痕。底面滑らか。体部外面燻あり。 割れ口消耗大。	15・16C

第17号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
373-4	石造品 擦石	床直 完存	粗粒輝石安山岩 6550 g	長・24.7 巾・16.5 厚・11.7	端部に集中打痕が認められる。平坦面が摩滅。	
373-5	石器 擦石	床直 1/2	粗粒輝石安山岩 1541 g	長・10.0 巾・18.0 厚・5.9	平坦面に集中打痕。片面の平坦面が摩滅。	
373-6	石器 凹石	床直 破片	粗粒輝石安山岩 5100 g	長・18.6 巾・21.4 厚・10.4	平坦面に集中打痕。片面の平坦面が摩滅。	

第3号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
377 185	施釉陶器 大甕常滑	底面 一部欠損	口・(46.4) 底・14.6	酸化。締。硬。にぶい赤褐5YR 4/4。白色鉱物粒 (石英)。	紐作後叩き整形。叩は5段に施す。内面当具 痕は素文。口唇部は丸味を帯び尖る。	常滑焼

第8号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
383-1	軟陶か 不明	覆土 破片	厚・1.2	還元～酸化。硬。灰5Y6/1。密。 やや重。白、褐粒含。	器種不明。内面に撫整形痕。外面整形条痕あ るものの、消耗大で不明確。	陶か

第10号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
384-1	須恵器 埴	覆土 底部1/4	底・(8.5)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 密。やや重。白・褐粒含、他少。	酸化気味、燻し加わる。内面右回転轆轤目、 底面高台貼付後撫で整形。内面摩耗あり。	

第11号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
385-1	土師器 坏	覆土 破片	口・(11.6)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾気味。体部は篋削り、体部上方 に型膚。口縁部・内面は横撫で。	接合2片
385-2 186-1	須恵器 坏	№2、覆土 ほぼ完形	口・12.1 底・6.4	中性。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 粗。軽。褐粒含、鉱物少。	轆轤成形(右回転)。底部は手持篋削り。轆轤 目高く異様。内・外面吸炭。	接合2片 粘
385-3	須恵器 坏底	覆土	厚・0.7	還元。軟。灰オリープ Y6/2。 並。やや軽。白黒粒含、他微	轆轤成形(右回転か)。底面糸切痕と不明墨字。 割れ口消耗。	粘 墨書-122
386-1 186-6	土師器 甕	覆土 口縁部周辺	口・(18.7)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 白色粒含、他鉱物少。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、器内面 は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合2片
386-2	須恵器 瓶	№3 破片	厚・0.8	還元。並。灰 N4/0。密。やや重。 白鉱物多。	紐作り後轆轤成形(右回転)。外面上方指匠痕、 下方回転削と撫。内面指痕、ハゼ多、摩耗。	太田
386-3 186-7	土製品 土錘	覆土 ほぼ完形	長・(5.2) 5.91 g	酸化。並。灰黄2.5Y7/2。並。 やや重。鉱物少。	酸化強くない。表面滑らか。上の小口小欠損 あり。穿孔形は近円形。	
386-4 186-8	土製品 土錘	№4 ほぼ完形	長・4.7 5.60 g	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。鉱物少。	酸化強くない。表面滑らか。上の小口小旧欠 損あり。穿孔形は近円形。	
386-5	土製品 土錘	破片	長・1.5 0.79 g	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。鉱物少。	両小口側は旧時欠損。表面滑らか。穿孔形は 近円形。器面消耗。	

第14号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
388-1	施釉陶器 鉢	覆土 破片	厚・1.3	中性。締。釉暗茶褐 (鉄釉にぶ い光沢)。胎土黄灰。	内・外面に施釉。内面に卸し目。外面に回転 篋削目あり。割れ口の消耗少。	17・18C 美濃
388-2	石造品 石臼	覆土 破片	安山岩 180 g	遺存長・(23.0)	石質は硬く重い。石臼、茶臼形上白か。外面 整形は丁寧。上部の平部は平滑。	

第18号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
391-1	土師質土器 皿	№1 1/3	口・(10.6) 底・5.2	酸化。並。橙7.5YR7/6。粗。 軽。白・褐粒含、他鉱物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に不定方向の指撫で。焼成3層気味。	14後～15 前C

第18号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
391-2 186-2	土師質土器 皿	No.2 1/4	底・(5.8)	酸化。並。浅黄2.5Y7/3。並。 軽。白・褐粒含、鉍物少。	轆轤成形。底部は回転糸切り痕と板状圧痕。 内面底に一方の撫であり。	接合3片
391-3	焼締 甕	No.6 体部片	厚・1.2	還元～酸化。締。褐10YR4/4。 密。重。白鉍物多。他含。	外面に自然釉少しかかる。内面に紐作痕と手 拳、指などの圧痕、整形痕、割れ口消耗少。	常滑
391-4	石製品 殻白、下 破片	No.4 破片	粗粒輝石安山岩 1830g	高・(9.2) 巾・(27.0)	上面は目なし。整形は裏面も整い別に使用摩 耗している。軸穴はわずか残存。割れ口旧欠。	

第22号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
395-1 186-3	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.7	酸化。軟。浅黄2.5Y7/3 白色粒・白色鉍物・赤褐色粒	波状口縁。隆帯間に LR 原体を充填する。	
395-2 186-5	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・1.0	酸化・硬。淡黄2.5Y8/3 黄褐粒・角粒粗粒砂・白色粒	口唇直下に横線を施し直下に縦位に条痕文を 施文する。	
396-1 186-4	縄文土器 深鉢	覆土 破片	厚・0.9	酸化。軟。浅黄2.5Y7/3 白色粒子・粗粒砂	逆「U」字の沈線文内に RL 原体を縦位施文す る。	
396-2 186-11	石器 凹石	覆土 破片	溶結凝灰岩 5150g	遺存長・10.0、幅・14.8、 厚・6.2、	平坦面に集中打痕。片面の平坦面が摩滅。	

第23号竪穴状遺構

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
397-1 186-14	縄文土器 深鉢	部分欠損 床直	厚・1.1	酸化。並。橙7.5YR7/6。粗。 白色粒子・細砂粒	外反状に立ち上がる口縁にRL原体を施文し、 胴中位に三角形隆帯文とキャタピラ文を施文。	
398-1 186-12	縄文土器 深鉢	部分欠損 床直	厚・0.7	酸化・並。浅黄橙7.5YR1/4 金雲母・細粒砂・赤褐色粒子	波状口縁。口縁部区画文。体部に橋状把手を 持ち、下半は懸垂文構成で上位は区画化する。	
398-2 186-13	縄文土器 深鉢	部分欠損 床直	厚・0.8	酸化・並。浅黄橙7.5YR1/4 金雲母・細粒砂・赤褐色粒子	長胴状の体部形態。頸部は横位波状沈線。体 部は楕円区画文の多段構成。刻み目列が沿う。	

掘立柱建物跡

第4号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
437-1	土師器 坏か	(8区6ピット) 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	傾き不明。底部は寛削り、内面撫あり、割れ 口消耗少。	
437-2	土師器 甕	(8区23ピット) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白・褐粒含、他含。	外面寛削り、撫あり。内面撫あり。割れ口消耗 あり。	
437-3	須恵器 坏	(8区5ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.3	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。褐粒微、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形、内・外面回転 条痕。割れ口消耗少。	粘
437-4	須恵器 坏	覆土 破片	底・(8.0)	還元。並。浅黄2.5Y7/3。並。 黒粒含、他鉍物含。	回転糸切り後轆轤右回転寛削りと「長」かの 墨字。内面轆轤目と不明か「未」かの墨字。	粘・笠か 墨書-123
437-5	須恵器 埴	(8区20ピット) 覆土 底部片	底・(7.9)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。白・褐粒少、他多。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転撫。内面摩耗。割れ口消耗。	
437-6	須恵器 皿	(8区23ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y6/1。並。軽。	口縁部は大きく外傾する。轆轤成形。内・外 面に回転条痕。割れ口消耗。	粘
437-7	須恵器 坏蓋	(8区5ピット) 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。白色粒含、他少。	轆轤成形。内・外面撫あり。外面は回転寛削り。 割れ口消耗。	笠か
437-8	須恵器 坏蓋	(8区6ピット) 覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白褐粒含、他微。	土師質。轆轤成形。上半部は回転寛削り。内 面回転寛削り。内面に吸炭微。消耗少。	粘
437-9	須恵器 甕か	(8区12ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.7	還元。硬。灰10Y5/1。密。 やや重。白色粒含、他微。	内・外面回転条痕あり。端部少し丸い。割れ 口の消耗大。	笠か
437-10	石製品 砥石	21P・覆土 完形	デイサイト 50g	遺存長・5.6 幅・2.4 厚・2.2	使用は表・裏、左側部の3面。右側部、奥小 口未使用面であるか整形不明。手前小口旧欠。	中砥級

第8号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
438-1	土師器 甕	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。褐7.5YR4/3。並。 軽。鉍物微。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は縦 位方向の寛削りを施す。割れ口消耗少あり。	粘

第8号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
438-2 186-15	須恵器 鉢	覆土 1/4	口・(21.3) 底・(8.5)	酸～還元。軟。黒褐10YR3/2。 粗。軽。褐粒含、鈳物微。	口縁部は肥厚する。底部は右回転糸切り。全 体に燻され、内面ハゼ、体部外面轆轤目多。	粘
438-3	須恵器 坏か	覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰 N5/。密。やや重。 白色粒含、白鈳物多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に回 転条痕。割れ口消耗少。	笠、太田
438-4	須恵器 坏か	覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。にふい褐7.5YR5/4。 並。やや軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に回 転条痕。割れ口の消耗あり。	笠か

第9号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
439-1	土師器 甕	破片	厚・0.6	酸化。並。橙5YR6/8。密。 やや軽。鈳物含。	傾き不明。外面、擦痕。内面撫痕。割れ口の 消耗あり。	
439-2	土師器 坏	破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。褐粒含、他少。	口縁部は外傾気味。底部は篋削り、体部に型 膚。内面は横撫で。割れ口消耗あり。	

第10号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
440-1	土師器 坏	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にふい褐7.5YR6/3。 並。やや軽。白・褐粒微、他微。	内面に撫。外面に撫と型膚。割れ口消耗大。	

第11号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
441-1	土師器 坏	(6区1114ピット) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含。	内・外面に撫あり。割れ口少し消耗。外面色 変あり。	
441-2	土師器 甕か	(6区1118ピット) 覆土 破片	厚・0.8	酸化。硬。赤黒7.5R2/1。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	外面、黒色吸炭あり。内側は欠。割れ口消耗 大。ハゼ割れ片か。	
441-3	土師器 甕	(6区1113ピット) 破片	厚・0.7	酸化。硬。灰褐5YR5/2。並。 やや重。褐粒多、白色粒含。	胴部片、器厚はやや厚い。外面は縦位方向の 篋削り。割れ口消耗あり。	
441-1	須恵器 坏	(6区1115ピット) 覆土 底部片	底・(7.7)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他含。	口縁部は旧時欠損。轆轤成形。内・外回転条 痕。底部は回転糸切。内・外吸炭、割れ口消耗。	割れ口少 し消耗。
441-5	須恵器 坏	(6区1115ピット) 底部片	底・(7.2)	酸化。並。にふい橙7.5YR6/4。 並。軽。白・褐粒含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口は少し消耗。	

第12号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
442-1	軟質陶器 内耳	覆土 口縁部片	厚・1.2	酸～還元。硬。黒 N2/0。 白、褐粒含、鈳物少。	内面右端に耳部の末端あり。口縁部の内・外 面に横撫。外面下方に押圧痕と燻付着。	接合3片 小泉か
442-2	施釉陶器 変形皿	覆土 破片	厚・0.5	還元。締。釉透明調。胎土灰。	曲率が正円でなく変形皿。外面下方の露胎部 を除いて透明調釉。割れ口消耗少。	18・19C 産不明

第13号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
443-1	須恵器 坏	(8区2047ピット) 破片	口・(11.8)	還元。硬。灰5Y6/1。並。軽。 白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外に轆轤 目あり、割れ口少し消耗。	粘
443-2	須恵器 碗	(8区2051ピット) 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。黄灰2.5Y4/1。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は轆 轤右回転糸切り。消耗微。	笠
443-3	須恵器 坏	(8区2047ピット) 覆土 底部片	底・(8.0)	還元。硬。灰白5Y7/1。並。軽。 白・黒褐粒含、他多。	口縁部は旧時欠損する。底部は回転糸切り後、 左回転篋削。内面摩耗。割れ口消耗。	粘

第14号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
444-1	土師器 高坏・甌	覆土	厚・0.8	酸化。橙7.5YR6/6。	透し6方にあり、高坏・器台・甌など種不明 瞭。内面被熱吸炭。底面被熱少。消耗あり。	6C前半 か

第14号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
444-2	土師器 甕	(8区2119ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。金雲母他含。	内・外面横撫あり。外面下方に指圧痕あり。 割れ口消耗大。	
444-3	土師器 甕	(8区2119ピット) 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。赤褐2.5YR4/6。 並。やや軽。金雲母他含。	傾不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は縦位 方向の篋削り、撫を施す。割れ口消耗大。	
444-4	土師器 甕	(8区2118ピット) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。褐7.5YR4/4。並。 やや重。白・褐粒含。	胴部外面側削り、器厚は薄い。外面は縦位方 向のササラ様の篋削り。消耗あり。	
444-5 186-16	土師器 台付甕	覆土 1/4	底・(9.0)	酸化。並。にぶい赤褐2.5YR 5/4。並。白色粒含、鉍物含。	内・外面横撫あり。外面少し被熱色変し燻さ れる。内・外面割れ口少し消耗。	接合3片
444-6	須恵器 坏 口縁	覆土 5/1	口・(13.3)	還元。灰。灰 N6/0。密。 やや重。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は欠損。 割れ口消耗少。	笠か
444-7 186-20	須恵器 坏	No11・8-2137P 1/2	口・12.2 底・7.1	還元。硬。5Y 灰6/1。密。やや 軽。白・褐粒含、他鉍物少。	底部は回転糸切り後轆轤右回転篋削り。体部 外面「主」の墨字あり。	笠か 墨書-124
444-8	須恵器 坏 底	覆土 1/4	底・(7.0)	還元。硬。灰5Y5/1。密。やや重。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り。内面使用摩耗。割れ口消耗。	笠
444-9	須恵器 埴	覆土 破片	厚・0.8	酸化。軟。にぶい黄橙10YR6/4。 密。やや重。白粒含、他微。	口縁部は欠損する轆轤成形(右回転)。内面に わずか轆轤目。割れ口消耗大。	粘
444-10	須恵器 甕	覆土 破片	厚・0.6	還元。締。灰 N5/0。密。 やや重。白鉍物含。他少。	外面は平行叩き、内面当具は素文気味。割れ 口の消耗少。	太田

第15号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
445-1	土師器 坏	(8区2071ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。褐粒含、他含。	口縁部は外傾気味。体部に型膚篋削。口縁部・ 器内面は横撫で。	
445-2	土師器 台付甕	(8区2108ピット) 覆土 破片	厚・0.9	酸化。並。橙5YR7/6。並。粗。 軽。褐粒含、他少。	脚部片に見える。器肉厚い。内面に撫あり。 外面は消耗のため整形不明。消耗大。	
445-3	土師器 台付甕	(8区2071ピット) 覆土 底部片	厚・0.6	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	脚内面黒色。甕部内面篋撫。外面被熱色変あ り。割れ口少し消耗。	
445-4	須恵器 坏	(8区2071ピット) 覆土 底部片	厚・0.7	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 軽。褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は轆轤右回転糸 切り。割れ口消耗あり。	粘

第16号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
446-1	土師器 坏	(9区313土坑) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。黒粒・鉍物含。	底面篋削あり。内面撫あり。割れ口の消耗大。	
446-2	土師器 甕	(9区321土坑) 口縁部片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白色粒含、他少。	「コ」の字状口縁。外面は篋削り目、器内面 は撫で、口縁部は横撫で。割れ口消耗あり。	
446-3	土師器 台付甕	(9区1695ピット) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/4。 並。やや重。鉍物少。	甕部内面撫。脚部内面も篋撫で、外面撫、黒 色吸炭あり。割れ口少し消耗。	
446-4	須恵器 坏	覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。締。灰5Y5/1。密。重。 白色粒含、他少。	内・外面轆轤目あり。口縁部周辺に重焼色変。 割れ口消耗少。	近接県か
446-5	須恵器 内黒 坏	覆土 破片	底・(6.8)	酸化。並。にぶい黄2.5Y6/3。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。 底部は回転糸切り。	
446-6	須恵器 埴	(9区324土坑) 覆土 底部片	底・(6.6)	還元。並。灰白5Y7/2。並。軽。 白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損。轆轤成形。高台付け高台。 割れ口の消耗。	粘
446-7	須恵器 埴	(9区473土坑) 覆土 底部片	厚・0.9	還元。硬。浅黄2.5Y7/3。並。 粗。白・黒粒含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は篋 削。内面摩耗。割れ口消耗。	粘
446-8	須恵器 坏 内黒	覆土 体部片	厚・0.6	酸化。軟。橙5YR6/6。並。軽。 白・褐粒含、他含。	体部の外面に回転条痕。内面研磨と黒色処理。 割れ口消耗大。	

第17号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘 要
447-1	土師器 甕	(9区375土坑) 破片	厚・0.3	酸化。硬。黒褐5YR2/2。並。 軽。鉍物含。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外面は縦位 方向の篋削り、吸炭あり。割れ口の消耗あり。	
447-2	土師器 甕	口縁部片	厚・0.4	酸化。軟。橙5YR6/8。並。軽。 白・褐粒含、他微。	「コ」の字状口縁。内・外面横撫。割れ口の 消耗あり。	9 C

第17号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土 (石素材の度目)	形状・技法等の特徴	摘要
447-3	土師器 甕	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 白・褐粒含、他少。	外面に撫で、工具撫条痕。内面横撫あり。割れ口少し消耗。	
447-4	須恵器 坏	覆土 口縁部片	口・(12.0)	還元。硬。灰N5/0。密。やや重。 白色粒含、白鈹物含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部付近に重焼色変吸炭あり。割れ口消耗少	太田か
447-5	須恵器 坏	覆土 破片	口・(12.9)	還元。硬。灰白7.5Y7/1。並。 やや重。白・黒粒、シルト質。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に浅い轆轤目。割れ口消耗大。	粘
447-6	須恵器 坏	覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。	口縁部は外反する。轆轤成形。内・外面に轆轤目多い。外面に不明墨字。割れ口消耗少。	墨書-125
447-7	須恵器 坏	覆土 破片	底・(8.1)	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。 やや重。白色粒含、他鈹物少。	轆轤成形(右回転)。体部は回転糸切り後周辺を篋削。割れ口少し摩耗。	笠・太田 墨書-126
447-8	須恵器 坏	覆土 体部片	底・(8.9)	還元。硬。灰5Y5/1。密。 やや重。白色粒含、他含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。体部は回転糸切り。割れ口消耗少。	太田か
447-9	須恵器 坏	(9区382土坑) 覆土 底部片	厚・0.5	還元。硬。灰白5Y7/1。密。 やや重。白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。内面回転撫。底部は回転篋削。割れ口消耗。	笠か
447-10	須恵器 双耳坏	覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。灰10Y5/1。密。重。 白鈹物含、他少。	内・外面回転撫あり。外面に耳付着。底面回転篋削。割れ口少し消耗。	太田か

第18号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
448-1	土師器 坏	(9区346土坑) 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR7/6。並。軽。 白色粒含、他少。シルト質。	口縁部は外傾気味。体部に型膚。口縁部・内面は横撫。割れ口消耗微。	
448-2	土師器 坏(平底)	覆土 破片	底・(7.1)	酸化。硬。橙7.5YR7/6。並。 軽。白・褐粒含、他含。	底部は篋削り、内面に横撫痕。割れ口消耗。器内面は横撫で。	
448-3	土師器 甕	覆土 口縁部片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。白・褐粒微、他少。	口縁部は外反する。外面に小ハゼあり。口縁部は横撫でを施す。消耗少しあり。	
448-4	土師器 甕	(9区1740ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	内・外面に横撫あり。外面中位に工具撫、下方未整形部あり。割れ口消耗微。	
448-5	土師器 甕	(9区1748ピット) 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並。並。 軽。褐粒含、シルト質。	内・外面に横撫あり。割れ口少し消耗。酸化味強い。	
448-6	須恵器 坏	(9区1566ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰N5/0。密。重。 白色粒含、他微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に轆轤目あり。割れ口少し消耗。	太田か
448-7	須恵器 坏	(9区1748ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。並。 軽。白色粒多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面轆轤目。割れ口消耗。	粘
448-8	須恵器 坏	覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。並。軽。 白・黒粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面轆轤目。割れ口消耗あり。	粘
448-9	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(7.0)	還元。硬。灰5Y5/1。密。 やや重。白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は轆轤右回転糸切り。割れ口消耗少。	笠か
448-10	須恵器 坏	(9区347土坑) 覆土 底部片	底・(7.7)	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。 やや重。白鈹物少。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。内面轆轤目あり。底部は回転糸切り。消耗あり。	太田か
448-11	須恵器 碗	(9区347土坑) 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。密。 やや重。白色粒含、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り。消耗大。	粘
448-12	須恵器 坏か	破片	厚・0.4	還元。並。灰5Y5/1。並。 やや重。白色粒少、鈹物少。	内・外面に回転条痕あり。割れ口の消耗あり。	粘

第19号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
449-1	土師器 坏(平底)	覆土 口～底部片	口・(10.2)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は直立気味。型作り。底部は篋削り、体部に型膚。割れ口少し消耗。	
449-2	土師器 小形甕	覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。褐7.5YR4/3。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	「コ」の字状口縁。外面に吸炭あり、器内面は撫で。W少し消耗。	
449-3	土師器 台付甕	覆土 台くびれ部	厚・0.7	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや重。白色粒多、他少。	内・外面の残存少ない。撫あり。割れ口消耗大か。土製円盤に加工か。	
449-4	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(8.6)	還元。並。案灰黄2.5Y5/2。並。 軽。白色粒含、他少。	口縁部は欠損。轆轤成形。外面下方は轆轤右回転の篋削。割れ口少し消耗。	粘
449-5 186-22	須恵器 碗	覆土 3/4	口・(14.3) 高・(4.1)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 密。やや重。鈹物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。高台は欠損する。(付け高台)。内面うるし付着。被熱。	欠損使用 粘・陶

第19号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
449-6 186-19	須恵器 埴	No 1 1/2	口・15.2 底・8.3	還元。並。灰白5Y7/1。並。 白粒含、他鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。付け 高台。回転糸切り。底面に不明墨字あり。	墨書-127 笠か
449-7 186-21	須恵器 埴	覆土 3/4	底・8.5 高・5.7	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。金雲母含、白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。付け 高台後撫整形。底部に「木」かの墨字。	接合2片 墨書-128
449-8	須恵器 釜	覆土 底部片	底・(5.8)	酸化。並。灰黄褐10YR4/2。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	底面篋削。体部外面篋撫様の削り。外面全体 に吸炭。内面に撫。割れ口消耗あり。	粘

第20号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
450-1	須恵器 坏か	破片	口・(11.0)	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。 やや重。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。割れ口の消耗 少。	笠か
450-2	須恵器 坏	破片	口・(11.8)	還元。硬。黄灰2.5Y6/2。密。 重。黒・白色粒含、他微。	器肉厚い。口縁部は少し外反する。轆轤成形。 消耗微。	隣接県か
450-3	須恵器 蓋	破片	摘・(7.4)	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 やや重。白色粒多、他少。	外面下方轆轤目。上方轆轤右回転篋削。割れ 口の消耗あり。	笠か

第21号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
451-1	須恵器 坏	(9区1801ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 密。やや重。褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。作調上手。割 れ口消耗少。	県外搬入
451-2	須恵器 坏か	(9区1801ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰5Y5/1。並。粗。 白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内面滑らか。 割れ口消耗大。	粘
451-3	須恵器 坏	(9区387土坑) 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。灰N5/0。密。 やや重。白色粒少、他微。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。内・外面 に回転条痕。割れ口消耗微。	西毛~埼玉か
451-4	須恵器 坏	(9区1740ピット) 覆土	厚・0.5	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	外面に回転篋削り、糸切痕あり。さらに「主」 の墨字あり。割れ口消耗。	粘、笠 墨書-129
451-5	須恵器 埴	(9区1562ピット) 底部片	底・(9.0)	還元。並。灰白5Y8/1。並。 やや軽。黒・白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は高台貼付後右 回転篋削。割れ口消耗。	粘
451-6	須恵器 埴	(9区1740ピット) 覆土 底部片	底・(9.8)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 軽。褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は高台貼付後轆 轤目右回転篋削。割れ口消耗少。	粘・陶か
451-7	須恵器 坏蓋	(9区391土坑) 破片	厚・0.4	還元。硬。灰7.5Y4/1。並。 やや軽。白色粒微。	轆轤成形。内・外面に横撫あり。割れ口消 耗大。	粘
451-8	土師質土器 皿	(9区385土坑) 覆土 底部片	底・(5.4)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。軽。白色粒含、黒鉱物含。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内面に浅い轆 轤目。割れ口消耗大。	中世か

第23号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
452-1	土師器 甕	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	内・外面に横撫、外面下方に篋削目あり。割 れ口の消耗少ない。	接合2片
452-2	土師器 甕	(9区1589ピット) 破片	厚・0.4	酸化。並。浅黄2.5Y7/3。並。 軽。鉱物少。	頸部片。内・外面に撫痕あり。割れ口の消耗 大。外面被熱色変あり。	
452-3	軟質陶器 焙烙か	(9区1832ピット) 覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。にぶい褐7.5YR6/3。 並。軽。白・褐粒含、他少。	内面撫痕、底面に石目状の膚あり。割れ口の 消耗少。	

第24号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
453-1	土師器 台付甕	(9区1533ピット) 破片	厚・0.6	酸化。硬。橙5YR6/6。並。軽。 白色粒含、他少。	内面撫。外面撫あり。割れ口の消耗あり。上 方は甕の接合部至近。	
453-2	土師器 台付甕	(9区1708ピット) 覆土 脚部片	底・(10.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。軽。白・褐粒含、他少。	内・外面撫痕、被熱色変の感あり。割れ口消 耗ややあり。	
453-3	須恵器 坏蓋	(9区1537ピット) 摘み部	厚・1.0	還元。硬。灰5Y6/1。密。重。 白・褐粒含、他含。	摘み部片。内面使用摩耗あり。周囲を打ち欠 き円盤利用か。	粘

第25号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
454-1	須恵器 埴	覆土246G 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	内面と外面口縁部付近に轆轤回転撫。外面下半 篋削、割れ口消耗少。	粘
454-2	土師器 甕	覆土 破片	厚・0.2	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。白色粒含、他少。	体部片。器厚は薄い。外面は斜位方向の篋削 り。割れ口消耗。	
454-3	土師器 甕	覆土 破片	底・(4.6)	酸化。硬。褐7.5YR4/4。並。 やや重。鈹物含。	外面に篋削、吸炭あり。底面も篋削。内面篋 撫あり。割れ口少し消耗。	
454-4	須恵器 坏	底部片	底・6.4	還元。並。灰5Y6/1。並。軽。 白色粒多、褐粒含、鈹物含。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り。内面は摩耗。割れ口消耗。	

第42号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
455-1	土師器 甕	(9区1538ピット) 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。赤灰2.5YR5/1。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	内・外面横撫あり。外面被熱色変あり。割れ 口消耗あり。	
455-2	土師器 甕	(9区402土坑) 頸部破片	厚・0.6	酸化。硬。橙2.5YR6/6。並。 やや軽。褐粒含、他少。	内・外面撫あり。外面に工具による撫痕。割 れ口の消耗大。	
455-3	土師器 甕	(9区1711ピット) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。軽。白・褐粒含、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は厚い。外面は縦位 方向の篋削り。割れ口消耗少。	
455-4	土師器 坏	(9区402土坑) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。橙5YR6/6。並。軽。 鈹物微。	傾き不明。外面篋撫か篋削。割れの消耗大。	
455-5	土師器 甕	(9区1538ピット) 破片	厚・0.4	酸化。硬。黒褐7.5YR2/2。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は縦 位方向の篋削り。外面煤付着。消耗大。	
455-6	粘土塊か 覆土	(9区1711ピット) 覆土	厚・2.6	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。シルト質。	外面に旧状の整形面らしき個所不明瞭。粘土 塊とした場合の捏ね目も見えず。	

第27号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
456-1	土師器 坏(平底)	覆土 口縁部片	口・(12.0)	酸化。硬。橙2.5YR6/8。並。 軽。鈹物微。少しシルト質。	口縁部は外傾する。底部は篋削り。体部に型 膚。口縁部・内面は横撫で。割れ口消耗大。	
456-2	須恵器 坏	覆土 破片	底・(7.1)	還元。硬。にぶい黄橙10YR6/3。 並。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。底部は回転糸切り。内面 轆轤目あり。割れ口消耗。	笠か
456-3	須恵器 坏	覆土 底部片	底・(7.0)	酸化。硬。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。褐粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後周辺 を回転篋削。消耗あり。	笠か
456-4	須恵器 埴	覆土 底部片	底・(9.05)	還元。硬。灰白5Y7/2。並。軽。 黒粒多、他少。	口縁部は旧時欠損する。付け高台。底部は回 転糸切り後整形。割れ口消耗。	粘

第28号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
457-1	土師器 甕	9区206G・233土 破片	厚・1.0	酸化。硬。橙2.5YR7/6。並。 軽。白・褐粒含、他少。	一端に新しい焼成後の削りあり。調査時の削 りか。外面篋削。内面撫。	
457-2	土師器 甕	(9区305土坑、 19掘立)底部片	底・(4.8)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。重。鈹物含。	外面に篋削。被熱吸炭。底面篋削。割れ口消 耗あり。	
457-3	須恵器 坏	(9区529土坑) 口縁部片	厚・0.4	還元。並。黄灰2.5Y6/1。並。 軽。鈹物少。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。底部は回転糸 切り。割れ口消耗大。	粘
457-4	須恵器 坏	(9区307土坑)	厚・0.5	還元。硬。にぶい黄橙10YR6/3。 並。軽。鈹物少。	口縁部は外傾し、油煙付着、燈芯痕あり。轆 轤成形。割れ口消耗あり。	粘
457-5	須恵器 円面硯	(9区529土坑) 覆土 破片	口・(18.0)	還元。密。灰N4/0。密。重。 黒粒含、他鈹物少。	轆轤成形(右回転)。内・外面回転条痕。可塑 性高い。割れ口消耗。	

第29号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
458-1	須恵器 坏	覆土 破片	厚・0.4	還元。並。灰白6Y7/1。並。軽。 白・黒粒含。他少。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。割れ口消耗少。	

第30号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
459-1	土師器 坏	No.6、覆土 1/5	口・(12.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。褐粒含、鉍物少。	口縁部は直立気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
459-2	土師器 坏	覆土 破片	口・(12.2)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。軽。褐粒含、鉍物少。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は篋削り、 体部に型膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	接合 2片
459-3	土師器 坏	覆土 破片	口・(14.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他含。	口縁部は内湾気味。体部は篋撫、体部に型膚。 口縁部・内面は横撫で、消耗少。	
459-4	土師器 坏	覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他含。	口縁部に横撫。口縁部至近と内面に横撫。底 部は篋削り、体部に型膚。割れ口消耗大。	
459-5	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(11.3) 底・(6.5)	還元。並。灰白5Y7/2。並。 やや重。褐粒含、鉍物含。	轆轤成形(右回転)。外面下方から底面は回転 篋削。	
459-6 186-17	須恵器 坏	覆土 破片	口・(12.0) 底・(5.6)	還元。軟。灰白5Y7/1。並。軽。 白色粒含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。底部は轆轤右回転篋削。 内・外面轆轤目少ない。	墨書-130 粘
459-7	須恵器 坏	覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。褐灰10YR5/1。並。 やや重。白色粒多、他少。	轆轤成形。外面に大きな轆轤目一条。割れ口 消耗あり。	粘
459-8 186-23	土製品 土錘	覆土 完形	縦・4.7 横・ 1.6 1460g	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。鉍物微。	外面滑らか。部分的に吸炭あり。使用摩耗あ り。消耗少。	
460-1	須恵器 甕	No.1 破片	厚・0.7	還元。硬〜締。褐灰10YR4/1。 密。重。針状物質多。白鉍物少。	紐作り後叩き整形。外面は細かな平行叩き、 内面当て具は素文。割れ口の消耗微。	北埼玉
460-2 186-24	土製品 紡錘車	覆土 完形	縦・7.1 横・6.7	還。軟。灰黄2.5Y7/2。並。やや 重。白粒含、灰鉍物含。他少。	塊の転用で側部は研磨、内面側使用摩耗。底 面右回転篋削。	笠か

第31号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
461-1	須恵器 坏 底	覆土 1/6	厚・0.5	還元。締。褐灰10YR5/1。密。 やや軽。白色粒多、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後篋削。 割れ口の消耗少。	粘

第32号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
462-1	土師器 坏	覆土 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや軽。褐粒含、他少。	口縁部周辺内・外面横撫。外面下半に型膚様 の凹み。割れ口少し消耗。	
462-2	土師器 坏	(9区20土坑) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。 並。軽。白・褐粒含、他少。	外面篋撫・削あり。内面撫あり。割れ口消耗 あり。	
462-3	土師器 甕	(9区218ピット) 覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。灰褐5YR5/2。並。 軽。白・褐粒含少、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外面は縦位 方向の篋削り。消耗大。	
462-4	土師器 甕	(9区218ピット) 覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。黒・褐粒含、他少。	内面篋撫。外面篋削。割れ口消耗少。外面被 熱色変。	
462-5	須恵器 坏	(9区8土坑) 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。青灰5B5/1。密。 やや重。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部の外面 下に重焼色変あり。	笠か
462-6	須恵器 坏蓋	(9区11土坑) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。橙2.5YR6/6。並。 軽。黒粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。内・外面に回転条痕あり。 割れ口少し消耗。	粘
462-7	須恵器 不明	(9区11土坑) 覆土 破片	厚・0.6	酸化。硬。黒7.5YR1.7/1。並。 やや軽。鉍物少。	轆轤成形。内面研磨あり。部分的に酸化斑。 口縁部外面、回転条痕あり。消耗少。	粘
462-8	須恵器 坏蓋	(9区218ピット) 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰7.5Y5/1。	轆轤成形(右回転)。上半部は轆轤右回転篋削 り。割れ口消耗大。	粘
462-9	須恵器 坏蓋	(9区20土坑) 1/4	口・(16.2)	還元。硬。灰5YR5/1。並。 やや軽。白微粒含、鉍物含。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。	笠懸か 粘・陶
462-10	須恵器 坏蓋	(9区20土坑) 1/4	口・(18.0)	還元。並。灰5Y6/1。密。 やや重。白微粒含、他鉍物少。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転篋削り。 内・外面に重焼色変あり。端部やや丸い。	笠懸か西 毛

第33号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
463-1	土師器 甕	(9区19ピット) 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。にぶい赤褐5YR4/3。 並。軽。褐粒含、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外面は縦位 方向の篋削り、内面撫。割れ口消耗少。	
463-2	土師器 甕	(9区30ピット) 覆土 底部片	底・(4.7)	酸化。並。橙5YR6/8。並。軽。 褐粒含、他少。	器肉薄い。外面に篋削、内面に撫あり。割れ 口の消耗大。	

第33号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
463-3	須恵器 坏蓋	(9区30ピット) 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。灰白5Y7/2。並。 やや軽。黒粒含、他少。	轆轤成形。端部やや尖る。内・外面に回転痕。 割れ口の消耗少。	

第34号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
464-1	土師器 鉢	破片	厚・0.6	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。褐粒含、他少。	口縁部の内・外面に横撫あり。外面下方篋削。 割れ口消耗少あり。	
464-2	土師器 坏	(9区32ピット) 覆土 口縁部片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。褐粒少、シルト質。	口縁部は外傾気味。底部は篋削り、体部に型 膚。口縁部・内面は横撫。消耗あり。	
464-3	土師器 甕	(9区13ピット) 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。にぶい黄褐10YR5/3。 並。やや重。白・褐粒含。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外面は縦 位方向の篋削り。内面撫。割れ口消耗少。	

第35号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
465-1 186-18	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(12.5) 底・(7.0)	還元。軟。淡黄5Y8/3。並。 鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転篋削。口縁部に重焼吸炭あり。	墨書-131 笠か

第37号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
466-1	土師器 坏	(9区1705ピット) 覆土 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。白・鉍物含。他少。	内・外面の口縁部に横撫あり。外面に型膚。 篋削あり。割れ口少し消耗。	
466-2	土師器 甕	1534G 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白色粒含、他含。	外面に横撫、篋削目あり。内面に撫。割れ口 消耗大。	

第38号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
467-1	土師器 坏 口	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。鉍物微、シルト質。	口縁部は外傾。型作りか。体部は篋削り。口 縁部・内面は横撫で整形。割れ口消耗。	
467-2	土師器 甕	覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや重。白・黒粒、他含。	外面ササラ状の横撫、削。内面に撫。割れ口 少し消耗。	
467-3	土師器 甕	覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや軽。白色粒含、他少。	口縁部片で、薄作り。内・外面横撫。割れ口 消耗大。	
467-4	須恵器 坏	覆土 破片	厚・0.4	還元。灰。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。白色粒・白鉍物含。	口縁部は外傾気味。轆轤成形。内・外面轆轤 目あり。割れ口消耗。	粘
467-5	須恵器 高坏・盤	覆土 破片	厚・0.4	還元。並。黄灰2.5YR6/1。並。 やや重。白・黒粒含、他少。	器種不明瞭。内・外に回転条痕。割れ口消耗 少。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。	笠・太田
467-6	陶器 塊	覆土 体部片	厚・0.5	中性。灰白10YR8/1。並。 やや軽。鉍物微。	内・外面透明調の釉あり。貫入あり。割れ口 消耗少。	美濃 18C

第41号掘立柱建物跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
468-1	須恵器 内黒 蓋	覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや軽。白色粒含、他少。	外面回転撫。内面黒色化と研磨あり、割れ口 消耗あり。	

地下式土坑

第1号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
469-1 187-2	石器 砥石	覆土	砥沢石 160g	長・9.0+α 厚・3.1 幅・3.4	使用は表・裏・右側部。手前は旧欠。奥小口 は削り面。被熱のためか部分的に黒い。	
469-2 187-1	焼締陶器 火甕	覆土 体部片	厚・1.4	還～酸化。にぶい黄褐10YR 5/3。密。重。白鉍物多、他含。	外面に工具擦痕、叩あり。内面に紐作痕と指 圧痕、回転条痕あり。消耗少ない。	常滑 13・14C

第2号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
470-1 187-3	土師質土器 皿	No.38 完形	口・8.0 底・4.1	酸。並。にぶい黄橙10YR6/3。 粗。軽。金雲母、褐粒、鈳物含。	底部は左回転糸切り。全体被熱吸炭し、燈火皿か皿か。内面円形工具状凹み。	燈火皿か粘
470-2 187-4	土師質土器 皿	No.17 完形	口・9.0 底・5.2	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。金雲母・褐粒含、鈳物少。	轆轤成形(左回転)。底部は左回転糸切り。内石円形工具状凹み。内面に酸化色火燻一条。	中世粘
470-3 187-5	土師質土器 皿	No.10 2/3	口・10.4 底・4.8	酸化。並。橙5YR6/8。粗。軽。 白褐粒含、鈳物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に不定方向の指撫。黄斑あり。底肉厚。	中世粘
471-1 187-6	土師質土器 皿	No.27 一部欠損	口・10.6 底・5.8	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。軽。白・褐粒含、鈳物少。	底部は左回転糸切り。内面底に円形工具状の凹みあり。黄斑あり。	中世粘
471-2 187-7	土師質土器 皿	No.7 2/3	口・(10.6) 底・(5.6)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒、鈳物含。	底部は左回転糸切り後乾燥時の板状圧痕。内面に不定方向の撫。	中世粘
471-3 187-8	土師質土器 皿	No.26 完形	口・10.6 底・5.8	酸。並。橙7.5YR7/6。粗。軽。 金雲母、白・褐粒含、鈳物少。	底部は左回転糸切りと乾燥時の板状圧痕らしき条痕。	中世粘
471-4 187-9	土師質土器 皿	No.8 1/2	口・(10.8) 底・(4.8)	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。軽。褐粒含、鈳物少。	底部は右回転糸切り。内・外面黄斑、外面重焼色差あり。白黄に近い。	粘、中世重焼
471-5 187-10	土師質土器 皿	No.9・12・13 ほぼ完形	口・11.1 底・5.2	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。 白・褐粒少、鈳物多。	底部は左回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。内面底、不定方向の撫。	接合3片粘 中世
471-6 187-11	土師質土器 皿	No.1 3/4	口・(11.2) 底・(5.4)	酸化。並。橙5YR6/8。並。 やや重。褐粒含、鈳物多。	底部は左回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。内面不定方向の指撫。	中世粘
471-7 187-12	土師質土器 皿	No.37 3/4	口・(11.2) 底・(6.0)	酸化。並。灰黄2.5Y6/2。粗。 軽。金雲母、褐粒含、鈳物含。	底部は左回転糸切り。内面底に円形工具状凹み。内・外面少し消耗気味。	中世粘
471-8	土師質土器 皿	一括 破片	口・(11.0)	酸化。並。淡橙5YR8/4。 軽。金雲母、褐粒含、鈳物含。	轆轤成形(右回転)。内・外面に轆轤目。黄斑あり。	中世
471-9	土師質土器 皿	一括 破片	口・(11.2) 底・(6.1)	酸化。硬。にぶい橙5YR7/4。 粗。軽。白・褐粒、他微。	轆轤成形(左回転)。外面轆轤目は工具様。割れ口は少し消耗。	接合2片中・近世
471-10 187-13	土師質土器 皿	No.30 ほぼ完形	口・11.3 底・5.0	酸化。並。明黄褐10YR6/6。 並。やや重。白・褐粒、鈳物微。	底部は左回転糸切り。内面に不回転指撫。焼成後穿孔。黄斑あり。	中世粘
471-11 187-14	土師質土器 皿	No.6 2/3	口・(11.4) 底・(5.0)	酸化。並。橙5YR6/8。並。 白・褐粒含、鈳物多。	底部は回転糸切り後乾燥時の板状圧痕。内面底に指の一方方向撫。	接合5片中世、粘
471-12 187-15	土師質土器 皿	地下坑一括 1/2	口・(11.5) 底・5.3	酸化。並。にぶい橙、5YR7/4。 褐粒含、他鈳物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に不定方向の撫あり。体部外面轆轤目。	接合3片中・近世
471-13 187-16	土師質土器 皿	地下坑一括 1/3	口・(11.6) 底・(6.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。白・褐粒含、鈳物少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内・外の轆轤目浅い。割れ口旧欠。	接合3片中・近世
471-14 187-17	土師質土器 皿	No.9 3/4	口・(11.6) 底・5.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 軽。白・褐粒含、鈳物多。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。内面底一方方向の指撫で。	中世粘
472-1 187-18	土師質土器 皿	No.3 3/4	口・(11.6) 底・5.4	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。 白・褐粒含、鈳物多。	底部は左回転糸切り後の乾燥時の板状圧痕。内面底不定方向撫。	中世粘
472-2 187-19	土師質土器 皿	一括 No.2 ほぼ完形	口・11.8 底・6.6	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並。軽。白・褐粒含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面不定方向撫。肌色味強い。	接合8片近世か
472-3 187-20	土師質土器 皿	No.24 2/3	口・(11.8) 底・(6.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 やや重。白・褐粒含、鈳物微。	底部は左回転糸切りか。さらに板状圧痕が密に付着。内面底の撫乱れる。	接合3片近世か
472-4 187-21	土師質土器 皿	No.29 ほぼ完形	口・11.9 底・5.6	酸化。並。明黄褐10YR6/6。 並。白・褐粒含、鈳物微。	底部は左回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。内面底不定方向指。油煙痕。	中世シルト質
472-5 187-22	土師質土器 皿	No.34 ほぼ完形	口・12.0 底・6.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 白・褐粒含、鈳物微。	底部は左回転糸切り。内面に不定方向の撫。器面少し荒れる。焼成色差あり。	接合3片中世
472-6 187-23	土師質土器 皿	No.15 完形	口・12.2 底・6.1	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒微、鈳物少。	底部は右回転糸切り。黄斑あり。全体的に轆轤目多い。板状圧痕不明。	
472-7 187-24	土師質土器 皿	一括 1/4	口・(12.2) 底・(6.6)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。粗。 軽。白・褐粒、鈳物多。	体部は轆轤左回転。内面底は不定方向の指撫。割れ口消耗。	接合2片中世、粘
472-8 187-25	土師質土器 皿	No.18 ほぼ完形	口・12.2 底・6.0	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒、鈳物少。	底部は右回転糸切り。黄斑あり。轆轤目多い。底面の板状圧痕不明瞭。	中世粘
472-9	土師質土器 皿	一括 破片	口・(12.5) 底・(7.7)	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。 粗。軽。鈳物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。黄斑あり。内・外面轆轤目あり。	15Cか
472-10	土師質土器 皿	一括 底部片	底・(5.0)	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。 金雲母含、他鈳物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に「」墨字あり、割れ口少し消耗。	墨書-132
472-11 187-26	土師質土器 皿	No.23 1/2	底・(5.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。金雲母・褐粒、鈳物含。	底部は左回転糸切り後板状圧痕らしき条線あり。内面円形工具状の凹みあり。	中世粘
472-12 187-29	土師質土器 皿	一括 1/4	底・(5.4)	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。 金雲母、白・褐、鈳物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。欠損旧欠。割れ口少し消耗。	中世粘

第2号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
472-13	土師質土器 鉢	No35 体部片	厚・1.4	還元。並。黄褐2.5Y5/3。並。 やや重。褐粒多、他少。	内・外面ともに小ハゼあり。内面に卸し目と 使用摩耗あり。焼成5層気味。	16・17C 在地
472-14	軟質陶器 内耳焙烙	一括 口縁部片	厚・1.3	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2。粗。 軽。白・褐粒含、	外面に横撫、指圧痕、煤付着。内面撫、内耳 貼付の凹み。割れ口消耗。焼成芯黒3層気味。	18~20C 小泉焼か
472-15	軟質陶器 内耳	一括 破片	厚・1.3	還元。硬。黄灰2.5Y4/1。並。 軽。鈹物少。	外面に紐作痕、石目状の型膚。煤。内面に横 撫。焼成は3層気味。	18・20C 小泉焼か
473-1	軟質陶器 内耳焙烙	一括 口縁部片	厚・1.3	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 粗。軽。白・褐粒含、他鈹物少。	内耳の残存なし。外面に横撫で、石目状の型 膚は底面に続く。器肉厚い。外面少し煤。	17・18C 小泉焼か
473-2	軟質陶器 内耳焙烙	No40 破片	口・(33.0) 厚・0.9	還元。並。オリブ黒5Y3/1。 並。軽。白・褐粒含、鈹物少。	外面に指圧痕、石目状の型膚。内面に撫痕。 割れ口、器面消耗。	17・18C 小泉焼か
473-3	軟質陶器 焙烙	No25 破片	口・(34.2) 底・(31.6)	還元。硬。黄灰2.5Y4/1。並。 軽。白・褐粒含、他鈹物少。	内面に回転条痕。外面に指圧痕、工具整形痕。 底面石目状の型膚。焼成3層気味。	小泉焼か
473-4 187-30	軟質陶器 内耳鍋	一括 破片	口・(35.8) 底・(31.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 やや軽。白・褐粒含、	底面と、体部外面下方に石目状の型膚あり。 外面口縁部下に接合痕。外面少し煤付着。	接合7片 17Cか
473-5 187-28	軟質陶器 内耳焙烙	一括 破片	口・(37.10) 底・(32.0)	酸化。並。黄灰2.5YR1/4。並。 白・褐粒含、鈹物少。	外面指圧痕。口縁部と内面横撫。底面の石目 状型膚不明瞭。外面煤付着。	接合3片 小泉焼か
474-1 187-27	軟質陶器 内耳鍋	No31 一括 破片	口・(37.0) 底・(34.5)	酸化。並。灰褐7.5YR4/2。並。 軽。白色粒含、鈹物少。	内耳2つあり。外面に粘土帯の接合面。外面 に煤付着。内耳の耳小作り。口縁付近横撫。	17・18C 小泉焼か
474-2	軟質陶器 内耳焙烙	No32	口・(37.6)	中~還元。並。黒褐2.5Y3/2。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	内耳あり。外面に接合面、横撫、型膚様の凹 凸あり。外面に煤あり。焼成の燻は浅い。	小泉焼か
474-3 187-31	軟質陶器 火入か	No28 1/2か	長・13.8	中性。並。黄2.5Y8/6。並。 やや軽。褐、白色粒、鈹物微。	内面上方側に煤付着。底に石目状の型膚痕。 内面底刷毛目。口縁部使用消耗。焼成3層。	在地か 粘

第3号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
475-1	軟質陶器 壺	覆土 胴部片	厚・0.9	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。白・黒粒、鈹物含。	外面に縦方向の全面研磨、内面に轆轤左回転 の轆轤目あり。胎土中鈹物角粒。消耗少。	粘 14C
475-2	施釉陶器 鉢	覆土 破片	厚・0.5	中性。締。釉茶褐(鉄釉錆色)。 並。やや重。鈹物微。	内・外面に錆色の鉄釉。口縁部は使用摩耗が あり、釉剥れる。内面の摩耗顕著でない。	17・18C 美濃

第6号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
479-1	土師質土器 皿	覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。 粗。軽。鈹物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。	
479-2	石器 砥石	覆土 破片	砥沢石 50g	幅・3.5	使用面は表・裏・両側部の4面。奥小口は削 面、手前は旧時の欠損。	
479-3 187-33	石器 砥石	覆土	砥沢石 100g	長・10.1+α 幅・2.5	使用面は表・裏と両側部の4面。手前の小口 は削り面。奥の小口は旧消耗のため整形不明。	

第8号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
481-1 188-1	土師質土器 皿	覆土 ほぼ完形	口・10.8 底・6.5	酸。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。軽。白・褐粒微、鈹物少。	底部は右回転糸切りと板状の圧痕あり。外面 に火罨様の吸炭痕あり。内面に指撫。	中・近世 粘
481-2 188-2	土師質土器 皿	No17 一部欠損	口・10.9 底・5.2	酸。並。にぶい黄橙6/3。粗。 軽。白・褐粒微、鈹物少。	底部は右回転糸切りと板状圧痕あり。内面一 方向の指撫。桃色斑文あり。割れ口消耗。	中世 粘
481-3 188-3	土師質土器 皿	No15 2/3	口・(11.2) 底・(6.2)	酸。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。白・褐粒含、鈹物少。	底部は左回転糸切りと底面に板状圧痕。内面 底一方向の指撫。割れ口少し消耗。	中世 粘
481-4	軟質陶器 鉢	覆土 口縁部片	口・(30.5)	還。軟。黄灰2.5Y4/1。粗。 やや重。白・褐粒含、他少。	内面ハゼ剥落多、外面もハゼ多い。内面の卸 目不明瞭。割れ口消耗あり。	
481-5	軟質陶器 鉢	覆土 口縁部片	口・(32.0)	酸。酸化。灰褐7.5YR4/2。粗。 やや軽。白・褐粒含、他含。	内面ハゼ剥落多。卸目条痕。摩耗不明。外面 は口縁部周辺のみ小ハゼ、燻。割れ口消耗。	16・17C
481-6	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 口縁片	厚・1.2	酸。並。褐10YR4/4。粗。軽。 褐粒多、他鈹物少。	外面に横撫、口縁部粘土帯の接合面、燻かか る。内面に横撫。	16~18C 地方産
481-7 188-4	軟質陶器 内耳焙烙	No13 破片	口・(37.4) 底・(33.0)	中~酸。並。暗灰黄2.5YR5/2。 並。褐粒微、鈹物含。	内耳貼付至近。底と体部外面下半に石目状の 型膚。外面中位から口縁内外横撫。焼3層。	17~19C 小泉焼か

第8号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
481-8	軟質陶器 内耳盤形	覆土 胴部片	厚・0.9	酸～還。並。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。軽。白・褐粒含、他鉱物含。	外面に指圧痕、上方に横撫、下方に回転寛削。 内面耳跡、横撫。外面に燻かかる。	17・18C 小泉か
481-9	陶器 碗	覆土 体部下半片	厚・0.7	還。締。釉暗茶褐（鉄釉光沢あり）。胎土淡灰。	外面に上方と内面に光沢透明感があり、茶味 がかかる施釉あり。	17・18C 瀬戸か
481-10 188-7	石製品 穀臼(下)		粗粒輝石安山岩 2450 g	口・(27.4) 底・(27.9)	挽目は大まかな溝らしいが使用摩耗のため目 無しに近い。裏面は溝状の整形。割れ旧欠。	
482-1 188-5	石製品 穀臼(上)		粗粒輝石安山岩 8100 g	口・27.0 底・25.4	物くばり孔、挽手穴、軸穴あり。目無し白と なる。側部上部に削り工具痕。	
482-2 188-6	石製品 砥石	完形か	粗粒輝石安山岩 1500 g	長・19.0 巾・7.0	石臼の転用か不明。使用面は表・左側部のみ。 両小口とも旧欠面。荒砥で主体は金属。	荒砥

第10号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
483-1 188-8	土師質土器 皿	覆土 2/3	口・12.1 底・5.3	酸化。硬。橙5YR7/6。粗。軽。 白、褐粒含、鉱物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に一方指撫。黄斑あり。口縁旧時削目。	接合4片 中世
483-2	軟質陶器 香炉	覆土 口縁部片	口・(9.8)	酸。軟。にぶい黄橙10YR7/4。 並。軽。金雲母、他鉱物少。	外面に雷文印文あり。頸部接合面鋭い。内面 吸炭あり。口縁部平縁。	15～17C か
483-3	軟質陶器 香炉	覆土 破片	厚・0.7	還。並。褐灰10YR5/1。粗。 軽。白・黒・褐粒含、他微。	外面に横撫、接合痕、内面に回転条痕、口縁 部内側小当りあり。割れ口消耗少。	接合2片
483-4	軟質陶器 焙烙	覆土 破片	厚・0.8	還～中性。硬。にぶい黄橙10YR 6/3。並。褐粒含、鉱物少。	外面に接合面。内外横撫。焼成は、内外に燻 かかり芯灰色で3層気味。	17～19C 小泉か
483-5	軟質陶器 鉢	覆土 口縁片	厚・1.3	中性。硬。浅黄2.5Y8/3。粗。 軽。鉱物少。シルト質。	内面に少し摩耗の感あり。さらに全体も消耗。 内外面轆轤目。	粘 15Cか
484-1	軟質陶器 内耳鍋	覆土 破片	口・(33.2) 底・(30.8)	還～中性。硬。にぶい黄橙10YR 6/3。並。褐粒含、鉱物少。	外面下方から裏面にかけ石目状の型膚あり。 外面下方指圧痕、横撫、煤付着。	小泉焼か
484-2 188-9	軟質陶器 内耳焙烙	覆土 破片	口・(36.2) 底・(31.0)	中～酸。にぶい黄橙10YR6/3。 並。軽。金雲母、鉱物含。	外面底から体部下半にかけ石目状の型膚。外 面中位箇の当り跡。口縁内外横撫。	17～19C 小泉焼か
484-3	軟質陶器 内耳 埴	覆土 破片	口・(37.8)	還～中。硬。にぶい黄橙10YR 6/3。粗。軽。金雲母、他鉱物含。	外面に煤付着。外面下方に石目状の型膚。口 縁部下内外面撫。外面に燻。焼3層気味。	小泉焼
484-4 188-11	軟質陶器 内耳 埴	覆土 破片	口・(35.5) 底・(28.6)	還～酸。並。黒褐7.5YR3/1。 並。やや重。鉱物多。	耳部付近か歪む。口縁部付近外面から内面横 撫。外面指圧痕。煤付着。最下部寛回転整形。	接合2片 粘
484-5 188-10	軟質陶器 埴	覆土 1/2	口・28.8	酸～還元。並。灰白7.5Y7/1。 並。白・褐粒、鉱物含。	紐作りか。頸部に接合面。口縁部の内外横撫。 内面体部に指圧痕。内面撫痕。外面燻。	接合7片 15～16C
485-1 188-12	軟質陶器 埴	覆土 破片	口・(34.0)	酸～還。硬。明黄褐10YR6/6。 並。重。灰・黒鉱物、他鉱物含。	内面に2つの内耳あり。割れ口に紐作痕。外 面横撫、指など圧痕、回転削。内面回転撫。	接合2片 16・17C
485-2	焼締陶器 鉢	覆土 体部片	厚・1.1	還。締。灰白5Y7/1。密。重。 白鉱物多、多少。	外面轆轤目。下方箇削加わる。内面滑らか、 自然釉あり。割れ口消耗少。	13～15C 常滑
485-3	焼締陶器 甕	覆土 破片	厚・0.9	酸化。締。にぶい赤褐2.5YR 5/3。密。重。白色粒多、他少。	外面に叩目あり。内面に紐作痕と撫痕あり。 割れ口に紐作痕。割れ口の消耗微。	常滑 14～16C
485-4	施釉陶器 德利	覆土 破片	厚・0.8	還。締。釉赤褐（鉄釉光沢強）。 胎土灰。	外面鉄釉施釉。内面コテ轆轤目。割れ口消耗 微。	19～20C 産不明
485-5 188-16	石製品 砥石	覆土 一部欠損	デイサイト 25 g	遺存長・5.5 巾・2.8 厚・1.4	使用は表裏と左側部。裏面の使用が最も顕著。 全体形状は、礫か利用低か。	

第9号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
486-1 188-14	土師質土器 皿	No.2 完形	口・7.4 底・3.8	酸化。硬。にぶい橙5YR6/4。 並。やや軽。白・褐粒、鉱物微。	底部は左回転糸切り。板状圧痕見えず。内面 指撫。焼き割れ内外完通。	中世 粘
486-2 188-13	土師質土器 皿	覆土 ほぼ完形	口・7.4 底・3.8	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。 白・褐粒微、鉱物微。	底部は左回転糸切り、板状圧痕見えず。内面 轆轤目あり。赤味が強い。	中世 粘
486-3 188-15	土師質土器 皿	覆土? 3/4	口・(9.8) 底・(4.6)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/3。 粗。軽。白・褐粒・鉱物少。	底部は右回転糸切り、板状圧痕。内面に一方 向の指撫。黄桃色斑あり。割れ口消耗少。	中世 粘
486-4	軟質陶器 内耳鍋	No.3・覆土 口縁片	口・(29.0)	還。並。暗褐10YR3/3。粗。 やや軽。白・褐粒入、他含。	内面に内耳付着、下方少し摩耗。外面に指圧 痕、横撫、煤付着。割れ口消耗。焼3層。	接合2片 15・16C
488-1	焼締陶器 甕	覆土 底部片	厚・1.2	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	35～40cm級の甕か。外面寛削後、撫。内面紐 作後の指などの圧痕と撫。	常滑か

第9号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
488-2	石製品 石鉢		粗粒輝石安山岩 505g	長・13.8	割れ口は旧欠で消耗している。内面使用摩耗。底も摩耗あり。側面整形不明瞭。	

第11号地下式土坑

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
489-1	土師質土器 皿	覆土 口縁片	口・(8.2) 底・(5.0)	酸化。硬。明赤褐2.5Y5/8。粗。軽。白・褐粒含、他微。	轆轤成形。内面は少し摩耗。外面の轆轤目立ず。酸化味強い。	接合2片 中世か
489-2	土師質土器 皿	覆土 1/4	口・(8.4) 底・(4.8)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。粗。軽。褐粒含、他鉱物少。	底部は回転糸切りがあり、さらに板状圧痕。割れ口消耗気味。	接合3片 15・16C
489-3	土師質土器 皿	覆土 1/4	口・(11.8) 底・6.8	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。褐粒多、金雲母含、鉱物少。	底部は回転糸切り。内面平滑。割れ口消耗。内外とも轆轤目立ず。	接合4片 16~17C
489-4 188-17	土師質土器 皿	覆土 1/3	口・(12.4) 底・(6.8)	酸化。並。橙5YR7/6。粗。軽。白・褐粒含、他鉱物少。	轆轤成形。底部は左回転糸切り。内面底に工具の轆轤目。黄斑あり。	接合3片 中世
489-5 188-18	軟質陶器 内耳鉢形	Na2 破片	口・(35.2) 底・(26.0)	酸~中。並。にぶい黄2.5Y6/3。並。鉱物少。	口縁部の内外面横撫。外面下方指の圧痕。割れ口紐作痕。底面何かの圧痕。焼成3層。	16・18C 在地か
489-6 188-19	軟質陶器 火鉢	Na2・覆土 破片	高・(10.7)	還。並。にぶい黄橙7/2。並。やや重。白・黒・褐粒、鉱物少。	底面に粘土時のヒビあり。外面格子目篋書、内面撫整形。焼成3層で芯側黒色。	接合3片 16・17C
489-7	陶器 鉢	覆土 体部片	厚・0.8	還~中。締。釉茶褐(鉄釉光沢弱)。胎土黄灰。	外面轆轤目と工具条痕あり。内外鉄釉。内面卸目。割れ口消耗少ない。	16・17C 美濃
490-1 188-20	加工材		粗粒輝石安山岩 12300g	巾・28.6 高・19.3	隅部に転石面と小欠があり、被熱か。裏面の整形が荒く、基部として使用されたい。	

井戸跡

2区第2号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
493-1	磁器 塊	埋土 口縁部片	口・(13.6)	還元。締。釉明緑灰5G7/1(青磁釉)。胎土白	内・外面砧手の青磁釉施釉、貫入あり。口縁部肥厚する。上手の製品。	龍泉 14Cか
493-2	軟質陶器 埴内耳か	埋土 口縁部片	厚・0.8	還元。硬。黒褐2.5Y3/1。粗。軽。白色粒含、雲母粒含	内・外面横撫。外面吸炭。焼成吸炭様燻、割れ口灰色で3層。	16~17C
493-3	軟質陶器 鉢	埋土 口縁部片	厚・0.8	還元。硬。灰5Y6/1。粗。軽。白色粒含、鉱物少。	片口部あり。内面に小ハゼがあり、下方に使用摩耗あり。割れ口消耗。	接合2片 14・15C
493-4	軟質陶器 鉢	埋土 破片	口・(30.0)	中~還。硬。褐灰10YR5/1。粗。軽。白粒・黒鉄物含、他少。	口縁部の内・外面ハゼあり。外面、内面に横撫あり。内面摩耗少しあり。内・外面少し燻。	粘 15Cか
493-5	軟質陶器 内耳	埋土 破片	口・(34.4) 底・(30.4)	還元。硬。オリーブ黒7.5Y2/2。粗。軽。白粒・黒鉄物含、他少。	口縁部粘土帯接合面。下方から底面に石目状の型膚。外面上手から内面横撫。焼5層。	18・19C 小泉焼か
494-1	石造品 穀臼(下)	埋土 1/2	粗粒輝石安山岩 6900g	径・28.6 高・10.9	硬く重みあり。表面に左回転推定6分割の目あり。芯穴あり。裏面整形は荒い。	
494-2	石製品 凹石	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 1290g	口・(21.8) 底・18.3	石臼の転用で表面に刻み。軸穴見えず、大きさも改変か。凹面は荒い摩耗。側面整形良。	石臼転用
494-3	石造品 石鉢	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 580g	底の厚さ・6.8	石質は硬く、重い。内面の摩耗少ない。底面の整形不明瞭。割れは旧欠。	

3区第1号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
497-1 189-1	土師質土器 皿	埋土? 2/3	口・(8.4) 底・(5.6)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。粗。軽。金雲母、鉄物含。	底部は左回転糸切り。内面底一方向の指撫。口縁部の先尖る。	中世 粘
497-2 189-2	土師質土器 皿	埋土? 1/2	口・(9.4) 底・(5.6)	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。軽。白・褐粒含、鉄物多。	轆轤成形(左回転)。回転糸切り。底部の割れ方は底裏側からの打力で穿孔か不明。	粘
497-3 189-3	土師質土器 皿	埋土? 完形	口・9.6 底・6.0	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。並。白・褐粒含、鉄物少。	底部は左回転糸切り。底面に焼成後の穿孔3穴あり。中央に旧時ヒビあり。	粘
497-4 189-4	土師質土器 皿	埋土? 完形	口・9.9 底・6.2	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。並。白・褐粒含、鉄物少。	底部は左回転糸切り。内面にシャープな轆轤目。底部2カ所に焼成前穿孔あり。	近世以降
497-5	土師質土器 皿	埋土 底部片	底・5.4	酸化。並。にぶい橙5YR7/4。粗。やや軽。白・褐粒含、他含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に一方向の撫あり。割れ口消耗大。	
497-6	土師質土器 皿	埋土 1/2	底・6.2	酸化。硬。橙5YR6/8。粗。軽。白色粒含、黒鉄物多、他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕あり。焼成黄斑あり。	接合2片 14Cか

3区第1号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
497-7	軟質陶器 火鉢角形	口縁部片	厚・1.3	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含、他含。	角形の接合部あり。内面に撫痕。外面に隆帯 2条、雷文印文あり。割れ口の消耗大。	粘
497-8 189-5	土師質土器 皿	埋土 1/3	口・(11.2) 底・(5.2)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。少し重。白・褐粒、鉍物多。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 に工具様の轆轤目あり。胎土荒い。	接合2片 16~19C
497-9 189-8	施釉陶器 壺	埋土 3/4	口・(11.9) 底・5.8	還元。締。釉黒褐(濃い鉛釉)。 胎土灰。	外面下方の露胎的な個所まで淡い鉄釉を施 釉。ほか内・外面に鉄釉。口縁付近青灰の釉重。	18C 瀬戸か
497-10 189-7	施釉陶器 壺	埋土 1/2	底・5.4	中性。締。釉黒褐、淡褐。胎土 淡黄灰。	体部外面下方から高台全体に淡褐釉か、全体 は黒褐、部分的に白がかる釉の釉流。	18C 美濃
497-11 189-6	施釉陶器 壺	埋土 底部片	高台径・5.3	中性。締。釉淡黄灰で透明調。 胎土淡黄灰。	高台端部を除き施釉。釉は薄く細貫入あり。 高台は貼付か。	18C 京焼系
497-12	焼締陶器 揃鉢	埋土 破片	厚・0.9	還~酸。締。明赤褐5YR5/6。 密。重。白色鉍物多、他含。	内面に卸目あり。外面に轆轤目あり。内面磨 耗少しあり。割れ口消耗少。	信楽か
497-13	施釉陶器 皿	埋土 破片	底・(16.0)	中性。締。釉灰、暗褐(鉄釉)、 緑(銅釉)。胎土黄灰	内・外面に地灰色の釉、内面に鉄絵と緑斑あ り。外面下半のみ露胎となり、削目あり。	18C 瀬戸美濃
497-14	軟質陶器 火鉢	埋土 口縁部片	厚・1.3	還元。並。灰5Y5/1。粗。軽。 鉍物微。	外面に研磨あり。口縁部の縁部は、摩耗。内 面に轆轤目あり。焼成は芯黒色で5層気味。	小泉焼か
498-1	軟質陶器 内耳	埋土 破片	口・(30.0) 底・(27.3)	還元。硬。灰5Y4/1。粗。軽。 白色粒少、他鉍物微。	底部に石目状の型膚。内・外面に回転艶無あ り。焼成は芯黒色で外面に燻あり。5層気味。	17~19C 小泉焼か
498-2	軟質陶器 内耳	埋土 破片	口・(32.3) 底・(28.6)	中~還。硬。黒10YR2/1。粗。 軽。白・黒粒含、他鉍物少。	外面下方から底面に石目状の型膚あり。外面 上方~口縁部、内面に横撫。	18・19C 小泉焼か
498-3	軟質陶器 火鉢	埋土 破片	口・(38.8)	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや重。鉍物含。	外面荒い研磨。内面回転右の轆轤目。口縁部 の上面煤・燻痕。	接合3片
498-4	石製品 砥石	埋土 1/2	砥沢石 95g	長・5.5 厚・3.5	使用面は奥小口と図表面のみ。3面削整形面。 手前小口は旧欠面。使用は浅い。	接合2片
498-5	瓦 女瓦	埋土 破片	厚・1.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。やや重。白・黒粒含、他少。	全体に消耗。表面に撫らしき痕跡あり。側部 は篋による面取り。裏面整形不明。	粘・陶
498-6 189-9-1・2・3	木製品 椀	1/2	ブナ属 径≒13.5	口縁周辺、高台部欠損。欠損は 調査時が多い。	器面に黒漆下地、上面に朱漆、部分的に黒塗 斑が浮き出る。椀の腰部に浅い稜あり。	
498-7 189-10-1・2	木製品 椀	欠損大	ブナ属 径・12.0	多くが旧時の欠損。高台部端側 も全部欠損している。	内外面に下地黒漆、上面赤漆の塗りあり。外 面腰部に稜あり。高台はさらに延びる。	
498-8 189-11-1・2	木製品 椀	欠損大	ブナ属 径・(11.25)	全体に消耗大。	器面の下地に黒漆、上面に赤漆を塗る。腰部 に稜あり。全体に薄作り。	
498-9 189-13	木製 籬材	埋土 残片	マダケか 長・14.0	端部は調査時以降の欠損。	端部、断面形状から籬と推定される。マダケ 様の凸状を見る。	
498-10 189-12-1・2	木製品 側板	埋土 欠損大	ヒノキ 巾・2.85	全体に少し消耗。	全体に曲物としての曲り残る。平面下端に小 孔2あり。側部には面仕立てあり。	
498-11 189-14	木製品 加工木	埋土 小欠あり	広葉樹 長・7.2	調査時以降の小欠が小口に、傷 が側部にあり。	年輪は良く見えないが、10本以下。小口は切 断法不明瞭。表面樹皮下。	
499-1	石造品 石鉢	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 170g	口・(29.0)	内面摩耗。口縁著しく摩耗。外面整形痕不明 瞭。割れ口旧時欠損。	
499-2	石造品 石鉢	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 170g	底・(15.6)	石質重く硬い。内面に使用摩耗あり。割れは 旧欠。底面も旧時摩耗あり。	14~16C か
499-3	石造品 石鉢	埋土 小片	粗粒輝石安山岩 400g	器肉・5.7	内面の摩耗大。旧欠。割れ口は古いらしく、 消耗大。石質は硬く重い。	
499-4	石造品 石鉢	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 360g	底・(13.0)	内面に摩耗と叩打痕あり。底面は平らでなく 傷状の段あり。器面整形痕不明瞭。	中世か
499-5	石製品 茶白(上)	埋土	粗粒輝石安山岩 1440g	径・8.1+α	欠損は旧欠で、消耗あり。目の条は太く大ま か。石質は硬く重い。	
499-6	石製品 茶白(下)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 310g	はんぎり部径・(40.0)	石材硬質、重い。内面~口縁部摩耗。割れ口 旧欠、被熱、吸炭あり。	
499-7	石製品 茶白(下)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 240g	口・(41.0)	はんぎり部、縁の作行は端正。内面に使用摩 耗あり。整形丁寧。石質は硬質、重い。	
499-8	石製品 穀白(上)	埋土	粗粒輝石安山岩 1890g	径・(27.8)	外面に挽手穴、上面に物くぼり孔、裏面に挽 き溝あり。石質は重く硬い	
499-9	石製品 石白	埋土	粗粒輝石安山岩 1480g	径・(30.4)	挽手穴、物くぼり孔らしき穴あり。挽目溝は 大まかで浅い。石質硬く重い。旧欠。	
499-10	石製品 穀白(上)	埋土 小片	粗粒輝石安山岩 630g	径・(15.6)	物くぼり孔あり。割れ口旧欠、消耗あり。石 材は硬く、重い。	

3区第1号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
499-11	石製品 穀臼(上)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 700g	長・(33.8) 厚・6.0	挽手穴あり。挽目見えず。整形は整う。おそらく厚さが消耗し、使用不能か。	
499-12	石製品 穀臼(下)	埋土	粗粒輝石安山岩 4700g	径・(28.8)	挽目6分割か、軸受け穴あり。割れ口旧欠。石質硬質で重い。外面被熱割れか。	

3区第2号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
500-1	軟質陶器 鉢	埋土 体部片	厚・1.6	還元。並。灰 N5/0。並。 やや重。白・黒褐粒含、他少。	内面に使用による摩耗痕、接合痕あり。外面は滑らか。割れ紐作痕と消耗あり。	笠・太田 中世

6区第1号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
506-1	軟質陶器 手焙	埋土 口縁部片	口・(21.4) 底・(15.6)	還元。軟。灰7.5Y4/1。粗。軽。 白色粒含、他含。	内面に轆轤目あり。外面に絡状様の施文あり。焼成は外面に燻かかき3層気味。	接合2片 小泉か
506-2	軟質陶器 火鉢	埋土 口縁部片	口・(29.0)	酸化。硬。にぶい橙5YR7/4。 粗。軽。黒鉄物含、他少。	口縁部内面に煤付着。外面に沈線2条による隆線あり。内面に横撫痕。全体に消耗気味。	小泉焼か
506-3	軟質陶器 瓦燈	埋土 体部片	厚・1.4	還元。並。灰 N4/。粗。軽。 白色粒・黒鉄物含、他少。	内面に紐作痕、轆轤目。外面に研磨。透しあり。焼成は外面少し燻、芯黒で5層気味。	小泉焼か
506-4	軟質陶器 瓦燈	埋土 底部片	底・(21.0)	還元。並。灰 N4/。粗。軽。 白色粒・黒鉄物含、他少。	内面に紐作痕、轆轤目、篋削。外面に研磨。焼成外面燻で芯黒く、5層気味。少し消耗。	小泉焼か
506-5	施釉陶器 蓋	完形	直径・7.5	中性。締。釉透明調。胎土灰白。 2.5Y8/1。	茶入の蓋か。外面と内面天上部のみ施釉。釉は細貫入あり。胎土軽い。	京焼系か 楽焼
506-6 189-15	施釉陶器 碗	埋土 1/2	口・(11.2) 高・7.4	中性。締。釉淡褐(淡飴釉調)。 胎土黄灰。	外面下方が露胎。それを除き施釉。口縁部下内・外面に白青灰の施釉あり。	18C 美濃
506-7	施釉陶器 灰釉	埋土	底・4.4	中～酸。締。釉掛分鉄錆(鉄釉)、 淡黄灰(透明)。胎土灰。	内・外面に掛分による施釉あり。高台端部は無釉。外面に回転篋削後の轆轤目あり。	18C 伊万里系
506-8 189-16	施釉陶器 灰釉	埋土 1/3	底・(5.2)	中性。締。釉外面茶褐(飴～鉄 釉)、内面透明調。胎土黄灰。	外面篋削あり。高台端部を除く外面に飴釉調施釉。内面に透明調あり。	18C 美濃
506-9 189-17	施釉陶器 香炉	埋土 1/2	口・(10.8) 底・(9.0)	中性。締。釉黄褐(淡明な飴釉 調)。胎土黄灰。	内面に目跡3カ所か。外面下方を除き施釉。外面劃花。口縁摩耗。底外面右回転篋削。	18C 美濃
506-10	施釉陶器 皿	埋土 破片	口・(27.3)	酸化。締。釉白土様。胎土にぶ い赤褐2.5YR4/3。	内面に印文があり、上段は剣先文様、下段は波状。内・外面に白土様塗布あり。	18C 唐津系
506-11	軟質陶器 搦鉢	埋土 破片	口・(32.4)	中性。締。釉茶褐(鉄釉)。胎土 黄灰。	内・外面に鉄釉。外面上方轆轤目、下方に右回転の篋削。内面12条単位の卸目。少し摩耗。	17・18C 瀬戸美濃
506-12	磁器 碗	埋土 破片	口・(12.0) 底・(6.0)	還元。締。釉紺(染付)、白磁釉 淡青。胎土白。	外面に細かな連続半円形の型紙印判あり。内面にも環珞文あり。	明治 伊万里系
506-13 189-18	磁器 碗	埋土 3/4	口・(11.2) 底・(6.0)	還元。締。釉青(染付)、白磁釉 青白。胎土白。	広東碗。外面に界線区分による唐草文、内面に花文・圏線染付。高台端部を除き白磁釉。	19C初か 伊万里系
507-1	瓦 十能瓦	埋土 破片	厚・1.0	酸化。硬。にぶい橙5YR7/3。 粗。軽。白・褐粒含、黒鉄物含。	表面に撫痕あり。裏面には石目状の型膚あり。型膚は小口下半におよぶ。	接合2片 小泉焼か
507-2	石製品 砥石	埋土 3/4	砥沢石 240g	長・14.0 横・3.3	使用は表・裏のみ、右側部猫掻目、左側部削、小口整形不明。形状は刃付砥。	18C以降
507-3	石製品 砥石	埋土 2/3	砥沢石 120g	長・8.7 厚・2.6	刃付砥。使用面は表・裏のみ。側部に猫掻状のナラシ跡あり。小口は旧小欠あり。	
507-4 189-19-1・2	木製品 桶 側板	埋土 自然消耗少。	ヒノキ属	図平面側が表面で、裏側が平滑 である。自然消耗。	外面下方に籬跡一致の傷あり。それより上方に摩耗あり。	
507-5 189-19-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完形	ヒノキ 長・19.8	表側は消耗あり。内面は滑らか。 自然消耗少ない。	表面に2条の籬らしき痕跡あり。図右上に持手穴あり。全体に下半の方が黒づく。	
507-6 189-19-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ属 長・20.0	表面荒れ、内面滑らか。調査欠 損あり。その中の遺存はよい。	表面側に2条、籬らしき痕跡あり。それを除き摩耗あり。	
507-7 189-19-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ 長・20.0	調査時以降の欠損が図右下にあ り、全体に自然消耗少。	表面に荒れ多く内面に少ない。表面2条に籬跡があり、それを除いて摩耗あり。	
507-8 189-19-1・2	木製品 桶 側板	埋土 自然消耗少。	ヒノキ 長・19.8	部分的に調査時以降の欠損あ り。表面荒れ、内面滑らか。	表面側に籬らしき痕跡が2条あり。それを除く個所の荒れあり。表面に刃傷数条あり。	
508-1 189-19-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ属 長・19.8	調査時欠損小破あり。表面荒れ 多く、内面滑らか。	表面に籬の痕跡らしき個所が上方に1カ所あり、それを除いて摩耗の感あり。	

6区第1号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
508-2 189-19-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完形	ヒノキ 長・19.8	外面荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	表面に籬の痕跡らしき色の变化2単位あり。それを除き表面は摩耗の感あり。	
508-3 190-1-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ 長・17.9	虫喰は旧時。図右が裏面でやや荒れている。	寄木の底板の1単位で、釘留あり。釘は竹か不明。厚手の底板。	
508-4 190-2-1・2	木製品 桶 底板	埋土 自然消耗有	スギ 直径・18.6	縁部は自然消耗あり。表面荒れ少なく、裏面の荒れ多い。	桶底板の一部で寄木の釘2本あり。竹か他材か釘種不明。	
508-5 190-3-1・2	木製品 桶 底板	埋土 小欠あり	ヒノキ 径・19.6	表面の荒れ少なく、裏面の荒れ多い。裏面に調査傷と割れ口。	表面は面として平滑であるが旧時の虫喰痕多く、さらに図表右上に2条の旧円弧傷あり。	
509-1 190-4-1・2	木製品 底板		ヒノキ 径・19.2	近完存で、周囲表・裏面は少し消耗気味。	内・外面に切傷痕あり。木取りは柁、年輪は156条前後。	
509-2 190-5-1・2	木製品 底板	埋土 欠損少	ヒノキ属 径・21.5	調査時欠損少ない。木目つき、年輪358本。	表・裏面に漆らしき付着物あり。表面に刃物傷多く粗転用か。本来盥小形か。裏に轆轤穴。	

6区第2号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
510-1 191-1-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完存	ヒノキ 長・21.2	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少ない。	外面に籬を思わせる2条の色変あり。持手材受け柄穴の裏面に円形断面の持手の消耗あり。	
510-2 191-3-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完存	ヒノキ 長・18.9	両小口少し消耗。	最下部と、上方にタガ痕らしき色変と消耗の少ない箇所あり。その他少し荒れあり。	
510-3 191-2-1・2	木製品 桶 側板	埋土 2/3	ヒノキ 長・17.0	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少ない。欠損は調査時。	下方に籬を思わせる色変あり。それを除く箇所との摩耗差は少ない。釘穴は内に細くなる。	
510-4 191-1-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ 長・16.6	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少ない。小欠は調査時。	外面に籬を思わせる2条の色変と、それを除く箇所に摩耗あり、釘穴は外から内に細い。	
510-5 191-1-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	スギ 長・16.9	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少ない。小欠は調査時欠損。	外面に籬を思わせる色変2条あり。それを除く箇所の摩耗あり。釘穴は外から内へ細い。	
510-6 191-1-1・2	木製品 桶 側板	埋土 上方欠損	スギ 長・17.7+ α	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少ない。上方調査時欠損。	上方が肉厚となり1.1cmを測る。年輪は大まか。上方に節目あり。	
510-7 191-2-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	スギ 長・17.0	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗やや多。欠損は調欠・旧欠。	籬の色変不明瞭。外面は特に荒れ、年輪浮き出す。	
510-8 191-1-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完存	スギ 長・16.6	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	外面に籬を思わせる2条の色変あり。それを除く箇所は消耗あり。	
510-9 191-2-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	ヒノキ 長・17.4	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。欠損は調査時。	外面に籬を思わせる色変2条あり。それを除く箇所に摩耗あり。	
510-10 191-2-1・2	木製品 桶 側板	埋土 半欠	ヒノキ属 長・16.3	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。上方調査時欠損。	外面に籬を思わせる色変あり。それを除く箇所でも摩耗少ない。	
510-11 191-1-1・2	木製品 桶 側板	埋土 半欠か	スギ 長・16.9	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。欠損は旧時。	欠損しているかは不明確。表に2条の籬跡あり、それを除く表面は摩耗気味。	
510-12 191-2-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完存	スギ 長・17.1	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	外面に籬を思わせる色調の変化あり。側板の単位とすれば狭いが側部は旧材面。	
510-13 191-2-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完存	スギ 長・17.2	外面側荒れ、内面滑らか。自然消耗少。	外面に籬を思わせる色変2条あり。幅の狭い材であるが、欠損品ではない。	
511-1 191-4-1・2	木製品 製作台	埋土 完存	アカマツ 長・23.1	全体に旧態をとどめる。図奥小口面は樹皮の残存なし。	製作台であつたらしく表面に細・太の刃傷、裏面に叩きの凹みのような痕跡あり。	
511-2 192-1	木製品 箱材か	埋土 半欠か	サワラ 長・45.2	全体に消耗あり。時に図右側部は自然消耗か。	櫃などの箱材か。下小口、左側部に鉄釘あり。下小口は受けの板厚を示唆。	
511-3 192-1	木製品 板状	埋土 半欠か	ケヤキ 長・47.1	全体に消耗あり。下方は旧態。表裏に摩耗あり。	年輪の目つむ。上方右端部に使用摩耗か不明の消耗あり。図右中央に刳込み。下方削目。	
512-1 190-6	木製 扱	埋土 小欠あり	広葉樹 長・84.0+ α	上方の小部分は調査時欠損。樹皮は旧時に削られている。	丸木状であるが削目が各所にあり、下方に柄穴が丁寧に設けられ、小口に受け刳込みあり。	建築材か
512-2 192-9	木製 建築材か	埋土 部分欠損	広葉樹 長・23.5	上・下に調査時欠損あり。約半分は黒色変化あり。自然消耗少。	樹皮は旧時に剥され、部分的に削目あり。多くに使用摩耗があり、日常的な箇所の部材か	
512-3 192-4-1・2	木製品 底板	埋土 1/4	針葉樹 長・28.6	全体に消耗大。木理は浮き出る。両小口は旧状以上に丸い。	木理浮き出る。小口の一部に削目あり。年輪は5条前後。	
513-1 191-5-1・2	木製品 軸木か	埋土 先端欠損	クリ 長・25.4	図上方は新古の欠損か不明。全体に消耗少しあり。	柄平部中央に小部分炭化あり。軸部には削面らしき痕跡あり。やや堅木を思わせる。	
513-2	竹 籬	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた箇所を認め、まとまっていたという。	513-4図と同じ	

6区第2号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
513-3	竹 籬	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 図と同じ	
513-4 193-4	竹 籬	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	図は、最長材と籬材最端部を選択。一部籬材 端部は、黒味強く、製作時の熱処理か。	
513-5	竹 籬	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 図と同じ	
513-6 193-3	竹 籬	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 図と同じ	
513-7 193-5	竹 タガ	埋土 部分材	竹 長・18.2	節1カ所。出土時は縮まれてい たという。	端部は炭化し尖る。横断面形楕円状をなす。 表皮しっかり残存。	
513-8 193-1	竹 籬	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 図と同じ	
513-9	竹 籬	埋土 部分材	マダケか 部分残存	出土時は編まれた個所を認め、 まとまっていたという。	513-4 図と同じ	
513-10 192-4-1・2	木製品 底板	埋土 1/3	ヒノキ 長・26.7	器面、全体消耗大。両小口は旧 状以上に丸みおびる。	両側部に木か竹状の釘痕あり。器表面の残存 状態不良。表面の状態やや良。	
513-11 192-2-1・2	木製品 板	埋土 破片	カヤ 長・11.8	全体に消耗。下部は大きく欠損。 破片	上方に2つ釘穴あり。木取りは表・裏とも平 らで木理は柾状。	
513-12 192-4-1・2	木製品 側板	埋土 破片	カヤ 長・12.9+ α	周囲上方は旧時欠損。全体に消 耗顕著。	内外面ともに黒っぽい。左側部のみ旧形状側 部を残し、右側は欠損面。	
513-13 192-3	木製品 加工木	埋土 上下欠損	クリ 長・12.3+ α	上下端調査時以降欠損。部分的 に樹皮残存。	図の上方に割り込み様の刻みあり。便宜的に 利用の材か。	
513-14 192-4-1・2	木製品 加工木	埋土 破片	スギ 長・15.0	図平面側に樹皮の残存なし。両 小口新様で調査時欠損か。	拓影側に割り込みの感あり、人為材か。図平 面側はやや新鮮。	
513-15	木製品 側板	埋土 破片	ヒノキ 長・13.05+ α	全体に大きく消耗あり。	外面表中央より上方に消耗の凹みがあり、周 囲は旧時欠損。	
513-16 192-4-1・2	木製品 側板	埋土 下端欠損	ヒノキ 長・19.5+ α	下方新しい欠損で調査時欠損 か。	外面中程より上方に1カ所、最下方にタガ痕 様の色変あり。木理は細かい。	
514-1 192-8-1・2・3	木製品 椀	埋土 部分残存	ブナ属	器面、全体消耗大。両小口は旧 状以上に丸みおびる。	全面に朱漆を塗布。外面底部に「花」の黒漆 の文字を施す。	
514-2 193-2	竹製 筒か	埋土	竹 長・6.4	竹か篠竹か不明。両小口は旧状。 発掘後の乾燥ヒビ内面にあり。	筒状をなし他に13点の同類があり、おそらく 同一個体で筒状をなしていたか。	
514-3 192-6-1・2	竹 筒状	埋土	竹 長・8.6	筒状の部材片。側部、両小口際 人為摩耗。	内面側、側部に人為による割り目あり。旧形 筒で、割って再使用の可能性あり。	
514-4 192-5-1・2	木製 筒状	埋土 長・5.5	ハチクか 小欠あり	2つに分かれ、半欠品。	中央部に摩耗あり。器肉は少しそがれている。	
514-5 192-5-1・2	木製 筒状	埋土 長・5.5	ハチクか 小欠あり	8個に割れ、接点に小欠あり。	上方に方形の割り込みあり。中央に摩耗部あ り。器肉は少しそがれている。	
514-6 192-7-1・2	木製品 板	埋土 旧欠小欠	サワラ 長・7.4	大きく旧時に割れた小片で、部 分調査時欠損あり。	側部・小口・表・裏は旧状面。側部・表・裏 面は極めて平坦。	

6区第3号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
515-1 193-9	軟質陶器 焙烙内耳	埋土 1/4	口・(36.2) 底・(35.8)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4。 粗。白色粒含。	内耳付着。内面撫で。口縁部周辺撫で。底面 石目状の型痕。底煤なし。	19・20C 小泉焼か
516-1	軟質陶器 火鉢	埋土 破片	口・(22.0)	還元。並。黒7.5Y2/1。並。 やや軽。鉾物含。	各面に印文(絡条か)あり。内面轆轤目。口 縁部研磨、全体に黒色燻かかり、焼成3層。	破片 小泉焼か
516-2 193-10	軟質陶器 手焙	埋土 底部1/2	底・(16.4)	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。白・褐粒含、鉾物少。	内面に轆轤右回転の轆轤目あり。外面に印文 (絡状か)。篋削り痕。内・外黒色燻、焼3層。	接合4片 小泉焼か
516-3 193-8	軟質陶器 手焙	埋土 底部1/4	底・(16.0)	還元。並。黄灰2.5Y4/1。並。 やや粗。黒褐粒、白粒含、他微。	内面に轆轤目あり。底面に石目状の型腐あり。 体部外面に絡状疑似の施文あり。内・外面燻。	小泉焼か
516-4 193-12	軟質陶器 こね鉢か	埋土 1/4	口・(35.2) 底・(23.4)	酸～還。並。黒褐10YR3/1。並。 並。やや重。鉾物含。	黒色塗が内面～口縁にあり。内面研磨。轆轤 の回転方向左右あり。焼成5層気味。煤付着。	接合6片 小泉焼か
517-1	軟質陶器 火鉢	埋土 破片	口・(38.0)	酸化。硬。黒褐2.5Y3/1。並。 やや重。白・褐粒含、鉾物少。	口縁～内面漆状黒色・内面研磨あり。外面口 縁外側周辺横撫。轆轤右回転。焼成5層。	破片 小泉焼か
517-2	軟質陶器 火鉢	埋土 破片	口・(40.4)	酸化。硬。黄灰2.5Y4/1。並。 やや重。白・褐粒含、鉾物少。	内面上方～口縁外面ハゼ。内面下方研磨痕と 黒色吸炭。外面下方轆轤右回転篋削。焼5層。	粘、2片 小泉焼か

6区第3号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
517-3 193-13	軟質陶器 火鉢	口縁部片	口・(46.0) 底・(36.0)	還元・酸。硬。 並。やや重。白色粒・鈳物微。	轆轤左回転か。外面下方石目状。口縁部周辺 回転研磨・黒漆塗。焼成5層で外面燻強い。	昭和初か 小泉焼か
517-4 193-11	軟質陶器 火鉢台付	1/4	底・(31.0)	還元。並。暗オリーブ灰2.5GY 3/1。	底面に石目状の型膚。台部の接合は体部側に 同心円溝を3条刻む。脚部外面研磨。全体燻。	接合2片 小泉焼か
518-1 194-1	軟質陶器 火鉢	埋土 底・脚部	底・35.2	還元・酸・並。オリーブ黒5Y3/2。 並。やや重。鈳物含。	内面に●の符号押印。裏面は石目状の型膚。 高台外面回転研磨。焼成5層。外面光沢燻。	接合15片 小泉焼か
519-1	軟質陶器 釜輪	1/4	径・(32.8) 高・3.6	還元。並。暗灰黄2.5YR5/2。 粗。軽。白・褐粒含、他鈳物少。	外面に燻と煤付着。平縁に押銘「小林」。割れ 口にも煤付着し、破損後も使用。	小泉焼か 19・20C
519-2	軟質陶器 釜輪	1/4	径・(34.8) 高・3.2	還元。並。橙5YR7/6。並。 やや重。鈳物少。	内面にやや酸化あり。それを除き全体に煤付 着。割れ口にも燻があり。破損後も使用。	19・20C 小泉焼か
519-3	軟質陶器 釜輪	小片	径・(34.8) 高・4.1	還元。並。褐灰10YR6/1。並。 やや重。白色粒含、鈳物少。	全面に煤付着。焼成は胎土側が3層気味で表 面に煤、燻あり。	小泉焼か 19・20C
519-4	軟質陶器 釜輪	小片	径・(35.4) 高・3.0	還元。並。灰黄褐10YR6/2。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	内面と平部に煤付着。焼成は、外面の煤と燻 を加え、芯黒色、その外面酸化となる。	19・20C 小泉焼か
519-5	軟質陶器 釜輪	小片	径・(36.6) 高・3.4	還元。並。にぶい黄褐10YR7/4。 粗。軽。褐粒含、他少。	内面、平部に煤付着。破損後も使用。割れ口 に煤付着。	19・20C 小泉焼か
519-6	軟質陶器 釜輪大形	1/4	径・(47.0) 高・3.4	還元。並。にぶい褐7.5YR5/4。 粗。やや重。白粒含、他鈳物少。	「●岩崎」の押銘が5連続してあり。内・平 部に煤付着。内面に接合面あり。	接合2片 小泉焼か
520-1 193-7	軟質陶器 燈火皿	埋土 破片	口・8.7 底・3.9	酸化。締。釉透明調。胎土灰黄 2.5Y7/2。	内・外面口縁付近に透明調釉。外面下半から 底面轆轤右回転の篋削。	18C以降 産不明
520-2	磁器 香炉	埋土 破片	口・(7.0)	還元。硬。釉濃紺(ベロ藍調)。 胎土白。	内面釉境、鉄足状に発色。ルリ釉調は厚く生 掛様にじむ。外面端部など釉厚で明暗あり。	中国・国 産不明
520-3	陶器 皿	底部	底・(7.2)	中。締。釉淡青(ベロ藍)、淡黄 灰(透明調)。胎土暗褐灰。	内面に梅花文の染付あり。透明調の釉は内面 のみ。外面無釉。外面被熱吸炭。	19・20C 地方窯
520-4	施釉陶器 瓶	埋土 底部片	口・(15.0)	酸化。締。釉茶褐(鉄釉光沢) 黒。胎土黄灰。	内・外面に鉄釉。体部上方に轆轤目あり。2 単位の黒釉流掛あり。内面トチン痕。	18~20C 美濃か
520-5	施釉陶器 鉢	破片	口・(32.8)	還元。硬。釉淡褐(灰白5Y7/2)、 淡青緑(銅か)。胎土灰。	外面に淡青緑釉の掛け流し。内・外面の地は 淡褐釉。内・外轆轤目。片口部分は見えない。	接合2片 産不明
520-6 194-6	施釉陶器 鉢か	埋土 底部片	底・(15.5)	中性。締。釉茶褐。胎土黄灰。	鉢か瓶か。外面下方と高台部を除き施釉。高 台は貼付。	18~20C 美濃
520-7	施釉陶器 灰釉瓶	埋土 破片	高・(6.6) 底・(9.7)	中性。締。釉茶褐(鉄)・黒。 胎土黄灰。	高台付近を除き施釉。茶褐釉中に黒色釉の釉 流あり。高台貼付。	18~20C 美濃
520-8 194-2	陶器 灰釉	埋土 1/2	口・(16.0) 底・(8.8)	中性。締。釉透明調。胎土黄灰。	藍受け、外面下方~底を除き施釉。露胎部煤 付着。持手は空洞。割れは旧欠。	18・19C 美濃か
520-9 193-6	施釉陶器 し瓶	埋土 2/3	最大・19.0 高・(15.0)	還元・中。締。釉淡暗茶緑(鉛釉 調)。胎土淡黄灰。	底面を欠くが、意識的かは不明。体部に轆轤 目発達している。天井に把手あり。	18・19C 美濃か
521-1	磁器 盃	埋土 1/4	口・(6.4) 底・(3.0)	還元。硬。釉白磁釉のみ淡々青 緑。胎土白。	外面に小隆線あり。高台端部を除き白磁釉。 型か挽物か不明。	19・20C
521-2 194-3	磁器 坏	埋土 1/4	口・(6.4) 底・(2.7)	還元。締。釉外青磁釉(クロム か)・黒(鉄)、内白磁。	胎土白色。外面に文字を黒、地は青磁釉。内 面に白磁釉。高台端部は無釉。	19・20C 伊万里系
521-3 194-4	磁器 坏	埋土 ほぼ完形	口・6.7 底・3.2	還元。締。釉濃紺(染付)。 白磁透明。胎土白。	外部は部分的に6面取りあり。染付はベロ藍。 高台端部を除き施釉。	19・20C 伊万里系
521-4	磁器 猪口	埋土 破片	口・(7.0)	還元。締。釉淡緑(青磁釉か)、 暗緑、黒。胎土白	外面に梅花様を磁土で、葉文を暗緑で、他に 黒釉を用い、外面に青磁釉、内面に白磁釉。	20C 伊万里系
521-5 194-5	磁器 坏	埋土 1/2	口・(7.0) 底・(2.7)	還元。締。釉染付青、白磁色淡 青白。胎土白。	外面に染付施文あり。白磁釉は高台端部を除 き施釉。	19C 伊万里系
521-6 194-7	磁器 坏	埋土 2/3	底・3.2 口・(7.8)	還元。締。釉淡緑(クロムか)。 胎土白。	高台裏を除き青磁釉。外面に飛ガンナ様の彫 り込み施文あり。釉は厚みあり。	19・20C 伊万里系
521-7 194-8	磁器 小碗	埋土 1/2	口・7.3 底・3.6	還元。締。染付暗淡青、白磁色 白灰。胎土淡灰。	外面に菊花・星文、内面に斜格子ほか染付施 文。白磁釉は高台端部を除く。	18・19C 瀬戸か
521-8 194-9	磁器 小碗	埋土 1/2	口・9.0 底・3.2	還元。締。釉朱(赤絵)、空、黒、 黄以上上絵。胎土白。	外面に赤絵を中心に4色の色絵が施される。 内面赤1条。高台端部を除き白磁釉施される。	18・19C 伊万里系
521-9 194-10	磁器 染付	埋土 1/2	口・11.0 底・3.5	還元。締。釉染付濃紺、白磁釉 白。胎土白淡灰。	内・外面に型紙印判による染付刷絵あり。高 台端部を除き白磁釉。	明治 瀬戸か
521-10 194-11	磁器 皿	埋土 2/3	口・11.8 底・4.1	還元。締。釉染付濃紺、白磁色 白。胎土白。	外面に唐草、雷文など、内面に桜花の型紙印 判刷絵あり。白磁釉は高台端部を除く。	明治 伊万里系
521-11 194-12	磁器 水滴	埋土 破片	長・4.3+α	還元。締。釉淡青(染付)、透明。 胎土白。	裏面に細かい布目付着し、型押か。表面に型 押施文あり。内面無釉。表面に染付。	国産か 16C以降

6区第3号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
521-12	施釉陶器 卸皿	埋土 破片	厚・0.8	還元。硬。釉茶褐(光沢のある鉄釉)。胎土灰白5Y7/2。	底面に布目付着し、型物。内面に鉄釉かかる。平線は平滑で部分的に鉄釉(布拭)。	19・20C 産不明
521-13 194-13	磁器	埋土 1/3	口・(12.1) 底・(7.5)	還元。縮。釉染付濃紺、白磁釉白。胎土白。	内面に臨海図を染付。外面に文字ほかの染付あり。高台端部を除き白磁釉を施す。	大正 伊万里系
521-14 194-14	磁器 染付	埋土 1/4	口・15.5 底・8.5	還元。縮。染濃紺、白磁釉淡青白。胎土白。	内・外面に型紙印判染付あり。白磁釉は高台端部、高台内面側を除き施釉。	明治 伊万里系
521-15 194-15	磁器 皿	埋土 2/3	口・14.9 底・9.0	還元。縮。染付濃紺、白磁色淡黄灰。胎土白。	内面三友・加飾ほか、外面宝尽の型紙印刷絵染付あり。高台内面蛇目。	明治 伊万里系
521-16 194-16	磁器 皿	埋土 3/4	口・13.8 底・9.0	還元。縮。釉染付淡青、白磁釉青白。胎土白。	内面に菊花ほか加飾、外面唐草を染付施文。底面は蛇目。内面に使用傷多い。	18C 伊万里系
521-17 194-17	磁器 染付	埋土 3/4	口・14.6 底・8.5	還元。縮。釉濃紺、白磁淡青白。胎土白。	内面に楼閣臨水を染付。口縁部に口錆あり。高台端部から沿う内側無釉。口縁菊花稜。	19・20C 伊万里系
522-1 194-20	磁器 菓子重	埋土 小片	径・(16.0)	還元。縮。釉淡青(染付、ペロ藍)、白磁釉白、胎土白。	内・外面白磁釉。外面に濃青色の染付あり。割れ口消耗微。	19・20C 伊万里系
522-2 194-22	磁器 盒合子	埋土 ほぼ完形	口・15.3 底・14.3	還元。縮。釉濃紺、白磁淡青白。胎土白。	外面に扇文を中心に染付施文。口縁端部、下方端部を除いて白磁釉施釉。	明治 伊万里系
522-3 194-21	磁器 徳利	埋土 1/2	高・(16.3) 底・10.0	還元。縮。釉暗濃紺、白磁淡青。胎土淡灰。	外面に草文らしき染付。内面・高台端部を除いて施釉。内面の轆轤目は右回転。	19C 瀬戸か
522-4 194-19	磁器 口折深皿	埋土 1/6	口・24.0 底・11.7	還元。縮。釉染付濃紺、白磁釉白。胎土白。	内・外面に型紙印刷刷絵による染付施文あり。高台端部と高台裏蛇目部を除き無釉。	明治 伊万里系
522-5 194-24-1~3	瓦 棧軒瓦	埋土	長・29.2	還元。硬。灰5Y4/1。並。やや重。白・褐粒含、他鉱物少。	瓦表面に雲母状の光沢あり。他はなし。内・外面に燻かかる。裏面は型状のざらつき。	深谷か
522-6 194-23-1~2	瓦 棧軒瓦	埋土 瓦当部	径・7.2	還元。並。褐灰10YR4/1。並。やや重。褐円粒含。	雲母状の光沢材掛けあり。外面に燻少しあり、棧瓦部とのつき合わせはカキヤブリ。	20Cか 藤岡か
522-7 194-18	施釉陶器 皿	埋土 ほぼ完形	口・12.9 底・4.0	酸化。縮。釉黒(鉄絵)、暗灰(長石か)。胎土暗赤褐。	内面に4カ所の目跡あり。内面に蝶文らしき施文ほか鉄絵。外面下方~高台裏まで露胎。	16後~17C。唐津
523-1 195-1・2	瓦 棧瓦	埋土 1/2	幅・26.3+ α	還元。並。灰N4/0。並。やや重。灰粒含、鉱物微。	表面は雲母状の光沢あり。内面に型痕様の圧痕。焼成は燻がきき、5層気味。	19・20C 深谷か
523-2 195-3-1~2	瓦 棧瓦	埋土 1/2	幅・21.2+ α	還元。並。灰7.5Y4/1。並。やや重。黒褐粒多、鉱物含。	表面に雲母状の光沢あり。裏面型様に少し凹凸、押しヒビあり。黒色燻かかる。	19・20C 藤岡か
523-3 195-5-1~2	瓦 棧瓦	埋土 1/2	厚・1.3	還元。硬。灰N4/0。並。白粒、白鉱物含、他少。	表面に雲母状光沢と研磨光沢あり。裏面にざらつきと燻あり。全体に黒色燻あり。	藤岡か
524-1 195-7-1~2	瓦 女瓦	埋土 1/2	厚・1.4	還元。硬。灰N4/0。粗。やや軽。白色粒、黒鉱物含、他少。	表面雲母様付着し、滑らか。裏面ざらつき、撫あり。焼成芯黒色、表面燻で5層気味。	小泉焼か
524-2 196-1-1~2	瓦 女瓦	埋土 1/2	幅・23.2	還元。並。灰7.5Y5/1。並。やや重。灰粒含、鉱物少。	黒色燻瓦が、二次原因により灰色に。表面すこし消耗。裏面に水アカ様多。	19・20C 深谷か
524-3 196-2-1~2	瓦 本女瓦	埋土 1/3	幅・24.8	還元。並。暗オリブ灰2.5G3/1。並。やや重。白・灰粒、鉱物微。	凹面は雲母状の光沢あり。裏面に型痕らしき圧痕。焼成は燻かきき5層気味。	19・20C 深谷か
525-1 196-4-1~2	瓦 種不詳	埋土	長・23.3+ α	還元。並。灰7.5Y6/1。並。軽。黒粒、鉱物多。	棟化粧瓦か。凹面撫痕とその下に型膚状痕。凸面撫。作瓦時完通穿2.燻かかる。	19。20C 小泉焼か
525-2 196-6-1~2	瓦 種不明	埋土 1/3	長・28.4	還元。並。明褐7.5YR5/8。並。軽。黒粒含、鉱物少。	棟化粧瓦か、土管か。凹面回転条痕。凸面尻に重ね痕。突帯接合面見え、裏面浅い縦研磨。	19・20C 深谷藤岡
526-1 197-1-1~2	瓦 種不明	埋土 1/2か	長・30.7	還元。軟。褐灰10YR4/1。粗。軽。角閃石他、鉱物含。	焼成は外面燻焼で割れ口は5層。凸面は石目状の型膚あり。隅に焼成前の穿孔あり。	19・20C 小泉焼か
526-2 197-3-1~2	瓦 種不明	埋土 1/2	長・30.2	還元。並。オリブ黒5Y3/1。並。やや軽。白・褐粒、鉱物含。	大棟飾り瓦か。隅に、焼成前孔1。裏面に石目状の型膚、砂付着。焼成表面燻で5層状。	19・20C 小泉焼
527-1 197-4-1~2	瓦 十能瓦	埋土 3/4	縦・27.0 幅・30.8	還元。中。並。にぶい黄2.5Y6/3。粗。軽。白・褐粒含、鉱物含。	裏面に石目状の型膚痕。表面に撫痕。側部・小口は横撫整形。焼成は芯黒色3層気味。	接合16片 小泉焼
527-2 197-5-1~2	瓦 十能瓦	埋土 3/4	縦・27.2 幅・(29.9)	還元。中。並。にぶい黄2.5Y6/3。粗。軽。白・褐粒含、鉱物含。	裏面に石目状の型膚痕。表面に撫痕。側部・小口は横撫整形。焼成は芯黒色3層気味。	接合8層 小泉焼
528-1 198-2-1~2	瓦 十能瓦	埋土 2/3	縦・28.3 幅・31.8	還元。中。並。灰黄2.5Y6/2。粗。軽。白・褐粒含、鉱物含。	裏面に石目状の型膚痕。表面に撫痕。側部・小口は横撫整形。焼成は芯黒色3層気味。	接合9片 小泉焼
528-2 198-1-1~2	瓦 十能瓦	埋土 1/2	幅・27.2	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。やや軽。白・黒粒、鉱物含。	凹面は縦撫。裏面に石目状の型膚と離れ砂付着。焼成は芯が黒色気味で、表面灰色の3層。	19・20C 小泉焼
529-1 198-3-1~2	瓦 十能瓦	埋土 3/4	縦・27.1 幅・23.5+ α	還元。中。並。黄褐2.5Y5/3。粗。軽。白・褐粒含、鉱物含。	裏面に石目状の型膚痕。表面に撫痕。側部・小口は横撫整形。焼成は芯黒色3層気味。	接合5片 小泉焼
529-2	瓦 十能瓦	埋土 1/2	長・26.7	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。軽。白・黒粒、鉱物含。	凹面は縦撫。裏面に石目状の型膚と離れ砂付着。焼成は芯黒色で3層気味。	19・20C 十能瓦

6区第3号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
529-3 198-4-1・2	瓦 十能瓦	埋土 1/3	長・27.7	還元。並。黒N2/。並。軽。 白色粒・鈳物含。	凹面は縦撫。凹面に石目状の型膚と離れ砂付着。焼成は燻強く、5層気味。	19・20C 十能瓦
529-4	瓦 十能瓦	埋土 1/4	長・14.5	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。白・黒粒、鈳物含。	表面に縦撫。裏面に石目状の型膚と離れ砂付着。焼成は、芯黒色気味で3層。	19・20C 十能瓦
530-1 195-2-1・2	石器 硯	埋土 1/2	凝灰質砂岩 140g	長・9.0 横・6.5 厚・2.5	陸部の多く旧欠。残存部には墨痕多く付着。陸部中央に摩耗の凹部生じる。裏面平沢。	接合2片
530-2 195-4-1・2	石器 硯	埋土 1/2	シルト岩 130g	長・7.6 厚・1.8	欠損は旧時。さらに網目の吸炭あり被熱らしい。陸部中央凹む。凹部除き黒っぽい。	
530-3 195-6	石器 砥石	埋土 一部欠損	砂岩 1930g	遺存長・12.9 幅・9.1 厚・10.75	使用は、表・裏の2面。両小口と側部の整形は異なり、その際右側部が割り込み面。	荒砥 転用材か
530-4	石製品 石臼 上臼	埋土 1/4	溶結凝灰岩 3960+α	径・32.0	挽手穴あり。裏面に目跡あり。大きな挽目で分割少か。割れ口は消耗大である。	挽手穴
530-5 195-9	石製品 石臼 上臼	埋土 1/2	溶結凝灰岩 6040+α	径・36.4	物くばり孔、挽手穴、軸受けの凹み、周縁などあり、目なし気味。割れ口大きく消耗。	挽手穴
531-1	石造品 五輪 地輪	ほぼ完形	角閃石 安山岩 13700g	遺存長・19.35 幅・20.1 厚・17.0	石割り荒く、下方と裏面に残存。上面に回転石面あり。整形側部・上面が整い裏面荒い。	
531-2	石造品 五輪 地輪	埋土	粗粒輝石安山岩 1400g	縦・21.5 横・21.5 高・16.6	表面は摩耗あり。両使用。裏面荒い整形で他の5面はナラシの整形。表面旧割れあり。	角閃石多 硬 重
532-1	石造品 五輪 地輪	埋土 近完存	粗粒輝石安山岩 10680g	長・20.5 厚・18.3	基面は粗加工のまま。その他4面はナラシの整形、上面が最も整う。小欠は製作時か不明。	風化不明
532-2	石造品 五輪 地輪	埋土 1/3	粗粒輝石安山岩 7150g	長・21.4 幅・20.8 高・12.5+α	角閃石を多く含み、硬質、重い。基面を除き4面は整形あり、基面やや凹み。	
533-1	石造品 五輪 地輪	ほぼ完形	粗粒輝石安山岩 14900g	遺存長・21.5 幅・21.3 厚・16.9	裏面整形最も荒く、上面は研磨の形跡があり、旧時転用か。裏面の一部にも研磨痕。	
533-2	石造品 五輪 地輪	埋土 完存	粗粒輝石安山岩 20550g	縦・23.0 横・23.2 高・18.3 粗粒でも重い。	底面の粗整形を除く5面は整形。隅部に小欠損あり。少し風化削耗を感じる。	
534-1	石造品 五輪 地輪	埋土 完存	粗粒輝石安山岩 20550g	長・23.2 幅・23.0 高・18.5	硬質、重い。基面を除き5面に整形あり。基面はやや中凹み。上面はいく分使用摩耗あり。	
534-2	石造品 五輪 火輪	埋土 2/3	溶結凝灰岩 13110g	長・25.2 厚・14.5	2次転用されており、旧材面の遺存部は少ない。裏は浅い凹溝状を呈するが転用機能不明。	
535-1 195-8	石造品 灯籠台	覆土 近完形	粗粒輝石安山岩 22800g	最長・41.7 厚・12.2	側部は六面体をなし、各面に梵字を刻む。面整形は裏面が荒く粗。作調は端正。	
536-1 196-3-1~3	木製品 木端	埋土	アカマツ 幅・8.6	各面とも旧状。木理細かい。	片小口は鋸挽目跡あり。片面に樹皮の残存なく、割れ目発達。	
536-2 196-9-1・2	木製品 木端	埋土 乾燥割あり	スギ 長・10.2	乾燥割れは、調査時以降。そのほか丸みは自然消耗。	旧材は建築材らしく釘穴様の小穴あり。組木状の作り出しは人為。裏面は平滑。	
536-3 196-5-1・2	木製品 木端	埋土 近完存	スギ 長・5.2	隅部、端部は自然消耗。木目浮き出す。	旧状が製品かは不明。針葉樹材のため掲げた。厚さは、旧材か板状であったかもしれない。	
536-4 196-7	木製品 木端	埋土 完存	アカマツ 長・5.7	全体の自然消耗は少ないものの、裏面節端が切断面か不明。	図表面の節端部は、刃物切断面。全体的には節部の抜け落ち材のようである。	
536-5 196-8	木製品 棒状	埋土	針葉樹 長・18.2	全体に消耗少ない。木理芯部残存。	天小口は削り面をなす。下部の尖部の削り目は不明瞭。樹皮残存なし。	
536-6 196-10-1・2	木製品 板状	埋土	スギ 長・21.0+α	欠損小口は旧欠消耗。小口は虫喰い穴状。器面荒少。	片小口、両側部残存。薄板で製品部材の可能性あり。	
536-7 197-2-1・2	木製品 板状	埋土 自然消耗	マツ属複雑維管束 亜属 長・27.8	全体の丸味は自然消耗か炭化による。	旧材は柱目の板材であった可能性があるが、自然消耗に見える状態のため旧状不明。	
536-8 198-5	木製品 底板	埋土 近完存	ヒノキ 径・20.1	旧状とどめる。平面が外面。外面は木理浮き出す。	寄せ木で合せ目と木か竹釘あり。木理は平面上は柱目。裏側に近芯部の板目あり。	

6区第4号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
537-1 199-1	施釉陶器 甕か鉢	埋土 底1/2	底・(23.3)	還元～酸。釉暗赤褐(鉄釉)。 胎土白灰色。	内面にトチン痕あり。外面底と体部最下端を除き施釉。内面体部、外面体部轆轤目多。	19・20C 産不明
537-2	石造品 穀臼(上)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 1770g	口・26.2 高・8.4	溝不明瞭、各面の整形整う。軸穴あり。割れ口旧欠。石質はそう重くなく、硬くもない。	
537-3 199-5-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完存	スギ 長・22.6	全体に消耗少なく、摩耗状態明瞭。	内面側持手孔の摩耗顕著。外面下方には、箍の痕跡が摩耗部との差で2条みえる。	

6区第4号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
537-4 199-2-1・2	木製品 軸状	埋土 近完存	ウツギ 長・9.4	小口に調査時以降の小欠があるがほぼ完存。幼年材。	軸状で横断面円形。小口鋸挽目、円孔は、途中で完通せず。わずかに削目あり。機能不明。	
537-5 199-3	木製品 木端	埋土 完存	トネリコ属 長・12.3	新しい欠損は少ない。目の約んだ材質のため消耗も少ない。	図表面側は割れた箇所。天側の小口は鋸挽目らしき条痕あり。	
537-6 199-4-1・2	木製品 桶 側板	埋土 完存	ヒノキ 長・13.8	全体に消耗少ない。裏面の方がやや消耗。外面は下方遺存良。	外面下方に籐跡に見える色の黒味と木目遺存良の状態あり。年輪21本。	
537-7 199-6-1・2	木製品 桶 側板	埋土 小欠あり	スギ 長・13.7	図平面右下は調査時欠損。全体に消耗し、遺存悪い。	図平面表面側で裏面より消耗多い。下端は旧部で小口部に見え、浅い桶用の側板か。	
537-8 199-8-1・2	木製品 桶 側板	埋土	針葉樹 長・5.6+ α	全体に消耗の感あり。裏面は荒れている。年輪は4本以上。	桶底板なら寄木の一単位相当であるが溝過ぎる。側部、小口は旧状の面。	
537-9 199-9-1・2	木製品 桶 側板	埋土 多く欠失	針葉樹 長・5.2+ α	調査以降の欠損を除き、旧状、裏面は荒れ、消耗多い。	底板とすれば寄木材であるが釘穴見えず。厚さも薄手である。	
538-1 199-7-1・2	木製品 容器か	埋土 欠損微良好	モミ属 長・11.0	表面は乾燥時の木質に被われる。部分的に、その剥がれあり。	空洞部を利用した製品らしい。加工箇所は明瞭でない。	

6区第12号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
542-1	土師質土器 皿	埋土 口縁部片	口・(10.4) 底・(5.3)	酸化。硬。橙7.5Y7/6。粗。軽。褐粒、鈹物含。	轆轤成形。底部は回転糸切り。体部外面に轆轤目立ず。黄斑あり。割れ口消耗。	17~19C
542-2	軟質陶器 鉢か	埋土 口縁部片	厚・1.0	酸化。硬。橙7.5Y6/6。粗。軽。褐粒微。	内面下方摩擦。外面に轆轤目、指圧痕。口縁部周辺横撫あり。焼成は芯黒色の3層気味。	粘 15~18C
542-3	軟質陶器 火鉢か	埋土 口縁部片	口・(38.2) 底・(29.2)	還元。硬。灰5Y4/1。並。やや重。白・黒粒含、他少。	内面と外面上方に研磨。外面の中~下方に轆轤目。焼成芯黒色、表面燻で5層気味。	18・19C 小泉焼か
542-4	陶器 香炉	埋土 底部片	底・(11.0)	中性。締。釉黄褐。胎土黄灰。	底面に足が1つ残存。底面は回転篋削。体部内・外面と内面底に施釉あり。	18C前 瀬戸美濃
542-5 199-10	施釉陶器 皿	埋土 底部	底・6.2	酸化気味。締。釉白土、黄灰透明調。胎土黄灰	内面に白土の波状文(象嵌不明)と外面に薄い透明調釉。蛇目内はベンガラで唐津写し。	17・18C 美濃
542-6	陶器 鉢	破片	底・(12.0)	酸化。締。釉白土象嵌。透明釉。緑(銅釉)。胎土赤褐。	内面に波状の櫛搔中を白土象嵌し、篋撫され、さらに、緑と透明の釉流れあり。	17・18C 唐津系
542-7	磁器 碗	埋土 口縁部片	口・(11.3)	還元。締。釉淡青(染付)。白磁釉淡々青。胎土白。	外面草花文の染付施文あり。白磁釉はやや青みをおび、光沢にふい。	18C 伊万里系
542-8	磁器 碗	口縁部片	口・(12.0)	還元。締。釉淡青(染付)、白磁釉。白乳濁。胎土淡々灰。	外面に淡青の呉須を用いた海鳥様の施文あり。白磁釉にふい光沢。	18C 伊万里系
542-9	石製品 茶臼(上)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 70g	口・(18.0)	各面の整形は丁寧。割れ口は旧欠。器面が整っているのは茶臼のためか。	
542-10	石製品 穀臼(上)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 850g	口・(26.8) 底・(24.5) 高・(8.9)	石質は重く硬い。溝は見えず目無し。周縁少し摩擦。割れ口は旧欠。	
542-11	石造品 火輪	埋土 完形	粗粒輝石安山岩 16360g	径・25.7 高・18.3	硬質安山岩で重い。白味の強い色調。整形は、裏面がやや荒く、他は整う。	
543-1 200-5	石造品 板碑	埋土 左側部片	緑色片岩 1250g	長・29.6 厚・2.0	表面に蓮台、以下に正和□6月□日とあり、蓮台の彫りは浅いU字状。割れ口旧、尖る。	
543-2 200-4	石造品 板碑	埋土 左側部片	緑色片岩 985g	長・19.9 厚・1.9	脇持の彫り込みあり。梵字の彫りはU字状。割れ口は旧割れ、少し消耗。背面に煤付着。	

6区第14号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
544-1	土師器 甕	埋土 口縁部片	口・(21.0)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。	頸部に接合面あり。器外面は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	接合3片
544-2	石造品 石臼	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 3865g	底径・26.5 高・15.5	硬質、重く、角閃石入る。欠損旧時で割れ口少し消耗。挽き溝端正さあり。	
544-3	石造品 石臼の転用	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 2700g	遺存長・23.5 幅・12.0	中世穀臼に見える下臼の転用で、用途不明。裏面に再加工部、割れ口に旧打ち欠き。	
544-4	石 加工石材	埋土 一部欠損	溶結凝灰岩 26600g	遺存長・46.8 幅・27.5 厚・4.3	硬質の石材で、片小口を除き整削。一部を除き吸炭。赤色彩色があり、石室石材転用か。	塗り境目あり。

6区第15号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
545-1 200-2	土師質土器 皿	埋土 ほぼ完形	口・10.7 底・5.9	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。軽。褐粒含、鉾物多。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後、板状圧痕。内・外面黄斑あり。	粘 中世
545-2 200-3	土師質土器 皿	埋土 3/4	口・(11.0) 底・(5.8)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、鉾物少。	底部は左回転糸切り後板状圧痕。内面に一方 向の指撫。	接合2片 粘 中世
545-3 200-8	土師質土器 皿	埋土 ほぼ完形	口・11.1 底・6.4	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒微。	底部は左回転糸切り。内・外面、内面底轆轤 目あり。	粘
545-4 200-6	土師質土器 皿	埋土 3/4	口・(11.2) 底・(6.4)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/3。 並。やや重。白・褐小粒多含。	轆轤成形。底部は左回転糸切り。全体に厚手 の作り。鉾物多く粗様。	接合2片 粘
545-5 200-7	土師質土器 皿	埋土 1/2	口・(11.4) 底・(5.4)	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 軽。白・褐粒含、鉾物少。	底部は左回転糸切りで、板状圧痕あり。内面 底に指による一方向の撫。	粘 中世
545-6 200-9	土師質土器 皿	埋土 一部欠損	口・12.6 底・6.5	酸。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。軽。褐・白色粒含、鉾物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 不定方向指撫。全体に少し燻かかる。	粘
545-7 200-12	土師質土器 皿	埋土 一部欠損	口・12.4 底・6.0	酸。並。にぶい黄橙10YR7/2。 粗。軽。褐粒含、鉾物多。	底部は右回転糸切り後板状圧痕。内面撫状の 暗褐色あり。内面底一方向指撫。	接合3片 粘 中世
545-8 200-11	土師質土器 皿	埋土 一部欠損	口・(12.0) 底・(5.7)	酸。並。にぶい橙7.5YR6/4。並。 やや軽。白・褐粒少、鉾物微。	底部は左回転糸切り後、乾燥時の板状圧痕。 内面少し使用摩耗。	粘
545-9 200-14	軟質陶器 播鉢	埋土 一部欠損	口・29.2 底・12.2	酸～還。軟。橙5YR6/8。密。 重。白色粒、鉾物多。	内面に波状文・卸目、使用の顕著な摩耗、ハ ゼ剥落あり。底面穿孔、切離法不明。	16Cか 粘・陶
545-10	軟質陶器 鉢	埋土 口縁部片	厚・1.2	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。 やや重。白・褐粒・鉾物含。	内面上方にハゼ、下方少し摩耗。口縁部の内・ 外面横撫、外面中位以下、撫と指圧痕。	14・15C 粘
545-11	軟質陶器 焙烙	埋土 口縁部片	厚・1.3	酸化。硬。黒褐2.5Y3/1。粗。 軽。黒褐粒含、鉾物少。	外面にハゼ、横撫、指圧痕あり。内面回転条 痕あり。焼成内・外燻の芯黒色で5層気味。	
546-1 200-13	軟質陶器 鉢	埋土 底部欠損	口・28.0	酸。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 並。やや重。褐、白粒・鉾物含。	片口残存。内面使用摩耗顕著。ハゼ剥落も多 い。片口部は指による押圧。焼は外面少燻。	接合10片 県内産か
546-2 200-10	軟質陶器 鉢	埋土 口縁部1/2	口・(29.2)	酸化。軟。橙5YR6/6。並。軽。 褐小粒多、鉾物含。	内・外面ハゼ剥落多。内面使用摩耗。外面上 方に旧状面残存。外面少し燻。片口一部あり。	接合3片 県内産か
546-3	軟質陶器 播り鉢	埋土 口縁部片	口・(30.4)	還元。硬。灰10Y4/0。粗。軽。 白色粒、黒鉾物含、他含。	剥落口縁を凹化。口縁付近内面までハゼ剥落。 内面6+α条単位卸目。外面指圧痕。	接合2片 16C
546-4	軟質陶器 播鉢	埋土 底部片	底・(15.0)	還元。並。にぶい褐7.5YR5/4。 粗。やや軽。褐粒、黒鉾物含。	内面に7+α条の卸目あり。使用摩耗顕著。 外面ハゼ多く、指圧痕、撫あり。消耗。	15・16C
546-5 200-15	施釉陶器 仏花瓶	埋土 1/3	最大径・4.7	還元。締。釉灰釉で少し酸化。 胎土黄灰。密。重。	仏花瓶の転用で、下の欠損を部分的に研磨。 内面紐痕、外面いく分酸化と篋削目あり。	14C 瀬戸美濃
546-6	施釉陶器 碗	埋土 1/4	口・(13.4) 底・(5.2)	還元。締。釉黒少し茶がかかる。 (鉄釉)。胎土黄灰～灰。	外面上方と内面に鉄釉。外面上方に轆轤目様 以下轆轤右回転の篋削目あり。	18C前 瀬戸美濃
546-7	石製品 穀臼 上白	埋土 1/3	粗粒輝石安山岩 4500g	口・27.6 高・10.5	石質は重く、硬い。割れ口は旧欠。軸穴あり。 溝は6分割らしい目と旧溝あり。煤付着。	
546-8	埴輪 朝顔形か	埋土 破片	厚・1.4	酸化。硬。明黄褐10Y6/6。並。 やや重。褐粒含、他少。	全体の消耗大。外面突帯、ハゼ、細剛毛目。 内面指などによる整形痕。	
546-9 200-16・12	木製品 加工木	欠損多い	アカマツ 長・6.4	欠損は新古欠か不明。器面の荒 れ少ない。	残存各面に削目と鋸目あり。穴部内面黒色炭 化状に色変と光沢あり。	
546-10 200-17・12	木製品 割物か	小片	アカマツ 長・7.2	内外面の荒れ少ない。欠損の新 古不明。	内面側に割込みを思わせる面状態あり。さら に円弧状をなす。	
546-11 200-18	木製品 加工木	埋土 旧状残存	クマノミズキ類 長・8.7	部分的に調査時の小傷あるもの の、樹皮全周残存し、遺存良。	上方は、杭状に尖るが、小口面の端部は、極 めて丁寧な平らに削られ、何かの道具か。	

6区第17号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
547-1	軟質陶器 鉢	埋土 1/4	口・(28.8) 底・ (12.2) 高・10.6	中性。軟。浅黄2.5Y7/3。粗。 軽。鉾物少、シルト質。	外面上方に轆轤目、下方に指圧痕と撫痕。底 面に轆轤右回転糸切痕。内面に摩耗痕と煤。	14C 市付近
547-2	軟質陶器 鉢	埋土 破片	口・(29.4)	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。 やや軽。石英(白)、鉾物少。	器肉やや厚。内面下方摩耗痕微、上方撫。外 面上方撫痕、下方研磨状の撫。	太田市付 近 陶
547-3	軟質陶器 鉢	埋土 破片	口・(30.4)	還元。硬。灰5Y6/1。並。 やや重。黒粒、鉾物含。	外面口縁部周辺回転横撫、下方撫。内面上方 横撫、下方指撫か、さらに摩耗痕。外面燻。	粘
547-4	軟質陶器 鉢	埋土 口縁部片	厚・1.4	酸～還元。硬。灰7.5Y5/1。 やや重。白・褐粒含、	内面の摩耗微。外面轆轤目あり。片口部は内 面側指1本、外面側指2本で曲げか。	片口部 粘
547-5	軟質陶器 鉢	埋土 口縁部片	厚・1.4	還元。硬。灰7.5Y5/1。粗。軽。 白・灰鉾物含、他鉾物含。	口縁部外面から内面にかけ横撫。内面摩耗目 立ず。	14C 粘

6区第17号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
547-6	軟質陶器 鉢	埋土	厚・1.4	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。 やや重。黒粒多、他含。	内面使用摩耗顕著。外面紐作痕、撫整形痕。 割れ口消耗微。	
547-7	軟質陶器 鉢	埋土 底部片	底・(13.0)	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。並。 やや重。白・黒粒、他含。	内面使用摩耗。外面工具擦痕、撫痕。底面切 り離し不明。割れ口少し消耗。	
547-8	軟質陶器 焙烙	埋土 破片	底・(32.0)	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。白色粒含、鉍物含。	内面は撫整形。外面下端を除き上方に煤付着。 底面は何かの圧痕、撫整形様あり。	小泉焼か

6区第18号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
548-1 200-19	土師質土器 皿	埋土 2/3	口・(10.0) 底・(5.2)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/3。 粗。軽。褐粒含、鉍物少。	底部は左回転糸切り。内面底一方の指撫。 内・外面煤付着。	粘 中世
548-2	土師質土器 皿	埋土 口縁部片	口・(11.2) 底・(6.0)	酸化。並。にぶい黄橙10Y7/4。 並。軽。白・褐粒含。	轆轤成形(左回転か)。底部は回転糸切り。 焼成上黄斑あり。割れ口消耗。	15Cか
548-3	軟質陶器	埋土 底部片	底・(14.0)	酸化。軟。にぶい褐7.5Y5/4。 並。やや重。白・褐粒含。多。	外面燻かかり黒褐色、撫あり。内面摩耗あり。 底面糸切。割れ口消耗。	粘
548-4	軟質陶器 内耳鍋	埋土 破片	口・(36.0)	還～中性。硬。黒10YR2/1。 並。やや重。黒鉍物多。	内・外面横撫。口縁部付近に接合痕は疑問。 外面に燻。焼成は芯が黒く4層状。	16・17C
548-5	軟質陶器 内耳	埋土 破片	厚・0.6	還～中。硬。黒褐2.5Y3/1。並。 やや重。白色粒含、黒鉍物多。	口縁部の内・外面横撫。外面下方指圧痕。割 れ口接合痕。焼成外面燻、芯黒色で4層状。	粘 16・17C
548-6 200-21	軟質陶器 内耳焙烙	埋土 破片	口・(39.0) 底・(33.4)	酸～還元。並。黄灰2.5Y6/1。 並。重。金雲母粒含、鉍物少。	外面に横撫、指圧痕、篋撫、型膚あり。内面 刷毛目、横撫。外面煤。焼成は5層気味。	接合3片 小泉焼か
548-7 200-20	軟質陶器 埴内耳		底・(29.8)	還元。硬。黒褐5YR2/1。粗。 軽。白・黒粒含、黒鉍物含。	内面に内耳、撫整形あり。外面に煤付着し、 撫、指圧痕。底部の石目状の型膚不明瞭。	
549-1 201-1	石造品 板碑	埋土 1/2	緑色片岩 4550g	長・45.5+ α 幅・21.7	表面にキリーク、蓮台、以下3行に貞和、 \square 年か、二月刻銘あり。裏面消耗大。	
549-2 201-2	石造品 板碑	埋土 破片	緑色片岩 3400g	長・35.3+ α 幅・25.75	小形の一部、両側部の一部残存。表面にキリ ークらしき刻みあり。全体に消耗顕著。	
549-3	石造品 板碑	埋土 破片	緑色片岩 1250g	縦・24.0 厚・2.5 横・10.0	部分的に側部遺存、表・裏は風化剥落気味。 片側の側部は再加工作もみられない。	
549-4 201-4	石造品 板碑	埋土 破片	緑色片岩 2120g	長・35.7	図平面左端は旧側部らしい。表・裏とも消耗。 色調変化があり、被熱らしい。	

7区第3号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
551-1 201-4	土師質土器 皿	埋土 一部欠損	口・10.2 底・5.7	酸化。橙7.5YR7/6。並。鉍物 多。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 に一方の撫がわずかに見られる。	粘
551-2	軟質陶器 埴か	埋土 小片	底・(20.5)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 粗。やや軽。白・褐粒含、	内面に轆轤目。内面底摩耗あり。外面煤付着。 焼成は煤付着。内耳鍋かは不明。	15～18C
551-3 201-5	軟質陶器 鉢	埋土 1/2	底・(14.2)	還元。並。褐灰10YR6/1。並。 やや重。鉍物含。	使用摩耗顕著。外面接合痕。外面燻かかるが、 割れ口の色は焼5層状態。切離し、荒れ不明。	接合2片 産不明
552-1 201-6	軟質陶器 内耳焙烙	埋土 1/3	口・(35.2) 底・(32.8)	還～酸。並。にぶい褐7.5YR 5/3。並。やや軽。金雲母、鉍含。	底面から体部外面下方に石目状の型膚あり。 口縁部粘土帯接合面、内面摩耗。焼成5層。	接合10片 小泉焼か
553-1	軟質陶器 内耳焙烙	体部片	口・(35.0) 底・(30.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。軽。白・褐粒含、	底～体部外面下方にかけ型膚痕あり。同上方 に煤付着。外面下方に指圧痕。	19・20C 小泉焼か
553-2	焼締か陶器 甕	埋土 体部片	厚・0.9	中～酸。締。褐10YR4/4。密。 重。白・黒鉍物含。	外面に自然釉に見える光沢。内面に紐作痕と 指などの圧痕あり。	中世 常滑
553-3	陶器 搦鉢	埋土 破片	厚・1.5	中性。締。褐灰10YR5/1。並。 やや重。鉍物少。	内面に卸目があり、少し使用摩耗。外面轆轤 目あり。割れ口消耗あり。	美濃 17。18C
553-4	施釉陶器 搦鉢	埋土 底部片	底・(10.4)	酸化。締。浅黄橙7.5YR8/4。 並。やや軽。白粒含、他鉍物微。	内・外底面に施釉。底面に糸切あり。内面に 13+ α 条を単位とする卸目あり。外面轆轤目。	美濃
553-5	石器 砥石	1/2	砥沢石 250g	長・10.5 厚・3.0	使用は、表・裏・右側部の3面。奥小口と左 側部は荒削面。手前小口は旧時欠損。	
554-1	石造品 蓮台	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 18200g	長・38.6+ α 高・18.2	宝篋印塔、灯籠部材か。側部のみ荒い研磨あ り。上面やや粗、さらに裏・背面は粗整形。	硬 重

8区第1号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
555-1	土師器 甕	埋土 小片	口・(20.4)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	頸部に接合面。外面は篋削り、器内面は撫で、 口縁部は横撫でを施す。外面に少し燻。	
555-2	土師器 坏	埋土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/3。 並。軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は内湾気味。体部に型膚、指圧痕。口 縁部・器内面は横撫で。割れ口消耗。	

8区第2号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
555-3	須恵器 坏	埋土 破片	厚・0.3	酸化。軟。橙7.5YR6/6。並。 軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。切り離し技法 不詳。割れ口消耗あり。	
555-4	施釉陶器 埴	埋土 破片	厚・0.4	還元。締。灰白2.5Y8/1。密。 重。鉍物見えず。	内面に灰釉施釉。外面に工具挽の轆轤目。割 れ口消耗少。	東海搬入

8区第3号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
555-5	須恵器 小埴	埋土 破片	底・(6.8)	還元。締。灰5Y5/1。密。 やや重。白・鉍物含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転篋整形。	笠懸か

9区第1号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
557-1	土師器 坏	埋土 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾。底部は篋削り、体部に型膚。 口縁部・内面は横撫で。消耗あり。	
557-2	土師器 甕	埋土 口縁部片	厚・0.6	酸化。並。橙5YR7/6。粗。軽。 黒粒含、他少。	口縁部は外反する。極めて軽い胎土。口縁部 は横撫でを施す。割れ口消耗大。	
557-3	須恵器 坏	埋土 破片	底・(7.0)	還元。並。灰黄2.5YR7/2。並。 軽。褐粒含、他少。シルト質。	部分被熱か色変酸化あり。底面回転篋削。体 部外面轆轤目あり。消耗大。	粘
557-4	須恵器 内黒大埴	埋土 破片	厚・0.9	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。軽。白・褐粒含、他含。	鉢か大形埴。質は土師器に近い。轆轤成形。 器内面に研磨を施す。外面回転篋削。細砂含。	粘
557-5	須恵器 蓋	埋土 口縁部片	厚・0.5	還元。軟。灰7.5YR6/1。並。 軽。白・黒粒含、他少。	端部やや尖り、内面に轆轤目。外面に上方回 転篋削あり。割れ口消耗少。	粘

9区第2号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
557-6	土師器 甕	埋土 破片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 軟。白色粒含、鉍物少。	「コ」の字状口縁。器外面は篋削り指圧痕。 器内面は篋撫で、口縁部は横撫でを施す。	
557-7 201-7	須恵器 坏	埋土 1/2	底・5.3	還元。軟。灰5Y6/1。粗。軽。 白色粒微。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は右回転 糸切り。少し消耗気味。	接合3片 粘
557-8	須恵器 埴	埋土 底部片	底・6.6	還元。並。黄褐2.5Y5/3。粗。 軽。白・褐粒含。	内面ハゼ剥落。底面に轆轤右回転の糸切痕あ り。全体に消耗大。外面燻あり。	粘
557-9	須恵器 埴	埋土 底部	底・(8.5)	還元。並。灰7.5YR6/1。並。 軽。白・褐粒含、他少。	高台は旧時に剥落。割れ口消耗大。底面に轆 轤右回転の糸切痕あり。	粘
557-10 201-8	須恵器 埴	埋土 底部片	高・(3.6) 底・7.9	還元。硬。灰黄褐10YR5/2。 並。白色粒多。	轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は右 回転糸切り後回転篋整形。	粘
557-11	須恵器 大甕	埋土 破片	厚・1.4	還元。締。灰N6/0。密。重。	外面に叩目あり。内面に回転撫痕あり。外面 に自然釉あり。	西毛~県 外
557-12	須恵器 甕	埋土	厚・1.3	還元。締。灰5Y6/1。密。重。 白・鉍物多、黒粒含。	外面に自然釉。割れ口に紐作痕、消耗あり。 内面篋撫、回転撫。	

9区第3号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
557-13	土師器 坏	埋土 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。	口縁部は外傾気味。底部は篋削り、体部に型 膚。口縁部・器内面は横撫で整形。	
557-14 201-9	須恵器 埴	埋土 1/2	口・(10.8) 底・(7.7)	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 白色粒含。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転篋削り。	接合2片 笠・太か

9区第3号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
557-15	土師器 埴	埋土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/5。並。 軽。褐粒含、他少。	質は土師器に近い。高台貼付後内面側回転。内面滑らか。割れ口消耗大。	粘
557-16	須恵器 内黒 坏	埋土 底部片	底・(8.0)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや軽。白・褐粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。器内面に研磨を施す。底部は回転糸切り後周辺回転斲削。	笠懸周辺 粘
557-17	須恵器 鉢 内黒	埋土 破片	口・(25.4)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 金雲母、褐粒、砂粒含。	細かな砂粒の夾雑目立つ。外面は斲削に伴う工具痕か。内面に研磨は横方向主。	粘

9区第4号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
558-1	施釉陶器 播鉢	埋土 破片	口・(32.0)	酸～中。締。釉にぶい黄橙10YR 7/2。(鉄釉)、胎土黄灰。	内・外面にぶい光沢の鉄釉あり。内面に少し卸目が見える。割れ口新鮮。	17・18C 美濃
558-2	施釉陶器 壺	覆土 1/4	底・15.0	酸化。締。釉・暗茶(鉄釉、焼 締色様)。胎・灰白鉄物少。	56-1に同。双方での接合。	17C 常滑か
558-3	竹 竿状	両小口欠損	篠竹か 長・55.0+ α	小口欠損の新古欠損は不明。節 2条あり。	中央部に使用摩耗があり、径少し細く、表皮はがれる。節至近部に色変2カ所あり。	
559-1	施釉陶器 瓶	埋土 破片	底・(8.4)	中性。締。釉灰黄(外)、失透質 (内)。胎土黄灰。	外面の下方を除き施釉。外面回転斲削。内面工具の轆轤目と旧内容物付着。	18・19C 瀬戸美濃
559-2 201-10	施釉陶器 香炉	埋土 破片	高台径・6.3	締。釉黒褐、胎土黄灰、酸化。	三足の香炉で内面無釉。外面下方に露胎部あり。内面に墨書あるが字不明。	18C瀬戸 美濃か
559-3 201-12	施釉陶器 壺	埋土 口縁部片	口・(12.6)	還元。締。釉茶褐(鉄)。胎土灰 色で重い。	外面に釉掛に見える鉄釉あり。胎土硅化の強い陶土。内面紐作痕。	16・17C 産地不明
559-4	石 不詳		二ツ岳軽石 重・102	長・8.0	旧形は円形・穿孔の道具かもしれない。裏面・側部滑らか。割れ口も摩耗、研磨あり。	
559-5	石造品 砥石	埋土 小欠あり	砥沢石 112g	長・9.5+ α 幅・4.0	使用面は表・裏、側部の4面。形状は小口側が薄くなり、片側は刃付砥か。欠損旧時。	
559-6 201-11	木製品 杭か	欠損あり。	アカマツ 長・24.1	樹皮一部残存。放射組織も残存 尖部、上方とも旧欠。	三分一截され、尖部に削目あり。割り木は人為による。削り目シャープ。	

9区第6号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
559-7	土師器 甕	埋土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・黒粒、鉄物含。	「コ」の字型頸部か。内面整形は器面荒れ。割れ口少し消耗。	
559-8	須恵器 甕	埋土 破片	厚・0.9	還元。硬。褐灰10YR5/1。密。 重。白鉄物・黒粒含、他少。	傾き不明。外面平行叩き。内面当目あり。同心円か。割れ口消耗少。	太田か

9区第9号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
559-9 201-15	土師質土器 皿	埋土 完形	口・10.0 底・6.2	酸化。硬。橙5YR7/6。密。重。 鉄物微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に轆轤目あり。	粘
559-10 201-19	土師器 小形甕	埋土 1/2	口・9.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。白色粒含。	外面中～下位に斲削後無痕。口縁部周辺無痕。内面紐作痕。	接合17片 粘
559-11 201-13	土師器 高坏	埋土 脚部片	脚・3.5	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 密。重。鉄物含。	脚部外面に研磨あり。その上方は無整形され、無不明瞭となる。内面絞痕と下方紐作。	
559-12 201-14	土師器 高坏	埋土 脚部片	脚幅・4.7	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 密。重。鉄物微。	脚部外面に研磨あり。内面に工具による絞り目と下方に紐作痕あり。	
559-13 201-18	土師器 小形甕	埋土 底部片	最大・15.0 底・7.7	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 重。鉄物含。	外面斲削り、撫あり。内面撫で整形、ハゼ剥落多い。底面斲削り整形。	
559-14 201-17	土師器 小形甕	埋土 底部片	底・6.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 密。重。鉄物微。	外面は斲削り、撫整形。内面斲削とその当り傷。底面は斲削。	接合3片
559-15 201-16	土師器 小形甕	No 1 底部周辺	底・6.5	酸化。硬。にぶい黄橙10YR 7/3。並。鉄物含。	内面ほとんどハゼしている。外面斲削り、一部ハゼしている。底面斲削。	接合2片
560-1 202-1	土師器 壺	埋土 ほぼ完形	口・9.7 底・7.2	酸化。並。橙2.5YR7/6。並。 やや重。褐粒、鉄物含。	口縁部は「く」の字状。口縁・胴部に研磨を施し、接合痕。作調丁寧。遺存良。近未使用。	
560-2 202-2	土師器 丸底小形壺	No 3 ほぼ完形	口・14.6 底・7.1	酸化。並。橙2.5YR7/8。粗。 軽。赤褐粒微、鉄物少。	頸部に稜あり。口縁下胴部に研磨を施し接合痕。内面斲削。作調丁寧。遺存良。近未使用。	

9区第9号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
560-3 202-3	土師器 壺	No 4 口唇部欠損	最・19.4 底・5.0	酸化。並。橙5YR8/4。粗。並。 茶褐粒含、鉍物多。	口縁部は「く」の字状。胴不定気味の撫整形。 口縁部旧欠ながら、使用。外面下方小ハゼカ。	内面近未 使用。
560-4 202-4	土師器 甕	埋土 口縁～肩部	口・15.9 高・(8.4)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。白色粒含。	口縁部は外反する。器外面は篋削り、内面は 篋撫で、ハゼ多い。口縁部は横撫。	接合9片 粘
560-5	土師器 甕	埋土 破片	最大径・(30. 0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。重。白色粒含、鉍物少。	器は厚い。内・外面は縦位方向の刷毛目。頸 部内・外面横撫。内面紐作痕。	接合3片 黒斑あり
560-6	土師器 大形壺か	埋土 破片	口・(26.6)	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや重。白色粒、鉍物含。	器肉厚く壺であるか不明。内・外面暗文状研 磨。内面側に入念な刺突状の凹みの接合面。	

9区第10号井戸跡

挿図番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
565-1 202-6	土師器 環(平底)	No 3 3/4	口・12.3 底・8.0	酸化。硬。にぶい赤褐5YR4/4。 並。やや重。白・褐粒含。	型作り。底部は篋削り、体部型腐痕。口縁部・ 内面は横撫で。外面被熱色変。内・外小ハゼ。	内面黒褐 化漆燻?
565-2	土師器 台付甕	埋土 口縁部片	口・(11.0)	酸化。並。暗赤褐5YR3/2。並。 やや重。金雲母、白粒含、他少。	口縁部の内・外横撫。外面は篋削り。内・外燻、 外面被熱と小ハゼ。内面撫。割れ口消耗少。	接合2片
565-3 202-7	土師器 台付甕	埋土 脚のみ	底・(9.2)	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 金雲母、白粒、白・灰鉍物他含。	割れ口消耗。内・外面横撫。内面に篋撫痕。 外面に被熱色変、若干あり。	
565-4 202-5	土師器 甕	埋土・No 1 1/3	口・(20.5) 高・23.0	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並。やや重。金雲母・鉍物含。	口縁部粘土帯。型作り。胴部は縦位の篋削り、 肩部は斜位の篋削り、口縁部は横撫で。	接合14片
565-5	土師器 甕	埋土 破片	口・(21.0)	酸化。並。にぶい褐5YR5/4。 並。軽。白・褐粒含、鉍物少。	頸部外面に接合痕と指圧痕。型作りか。外面 は篋削り、内面は篋撫で、口縁部は横撫で。	接合2片
565-6	土師器 甕	埋土 口縁部片	口・(22.0)	酸化。軟。明褐7.5YR5/6。並。 やや軽。褐粒多、他少。	型作りか。外面は篋削り、内面は篋撫で、口 縁部は横撫で。口縁部粘土帯接合面あり。	
565-7 202-8	須恵器 環	埋土 3/4	口・(12.0) 底・(6.0)	還元。締。灰7.5Y4/1。密。重。 白色粒微、黒粒含、鉍物微。	焼きじわあり。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り。轆轤目条数少なく、良土。	接合2片 太田か
565-8 202-9	須恵器 環	埋土 3/4	口・(12.5) 底・5.55	還元。硬。灰10Y6/1。並。 やや重。白・黒粒含、鉍物少。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り。外 面に「路」の墨字あり。	太田か 墨書-134
565-9 202-10	須恵器 環	埋土 1/2	口・(12.6) 底・(7.0)	還元。締。灰7.5Y4/1。並。重。 白色粒多、鉍物微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・ 外面轆轤目多い。内面底摩擦。	太田か
565-10 202-11	須恵器 環	埋土 一部欠損	口・13.0 底・5.7	還元。締。灰7.5Y4/1。密。重。 白・黒粒多、鉍物含。	少し焼歪む。轆轤成形(右回転)。底部は回転 糸切り。外面轆轤目多い。火瘃痕。	太田か
565-11 202-12	須恵器 環	埋土 1/3	口・(13.3) 底・(7.1)	還元。並。灰白5Y7/1。並。 やや軽。白色粒含、他鉍物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面底使用摩擦あり。	粘
565-12 202-13	須恵器 環	埋土 破片	口・(13.4) 底・(7.0)	還元。硬。灰5Y6/1。並。 やや重。白色粒含、他鉍物少。	口縁部は外傾する。底部は右回転糸切り。外 面に判読不明の墨字あり。内面使用摩擦。	墨書-135 粘・陶
565-13 202-14	須恵器 環	埋土 3/4	口・13.4 底・6.4	還元。並。灰オリープ5Y5/2。 粗。軽。暗褐粒多、鉍物少。	口縁部は大きく外傾する。底部は右回転糸切 り。内・外面轆轤目多い。	粘
565-14 202-15	須恵器 環	埋土・No 4 2/3	口・(13.6) 底・(6.6)	酸。軟。にぶい黄橙10YR6/4。 並。重。白・褐粒微、鉍物含。	底部は右回転糸切り。内・外面ハゼあり。全 体に被熱色変あり。	太田か
565-15 202-16	須恵器 環	埋土 2/3	口・(13.6) 底・(6.4)	還元。硬。灰10Y6/1。並。 やや重。白色粒含、灰鉍物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。体部 外面に「一王」か、「主」の墨字あり。	太田か 墨書-136
565-16	須恵器 環	埋土 破片	厚・0.7	中性。軟。浅黄2.5Y7/3。並。 軽。白色粒含、他鉍物少。	底部は回転糸切り後、回転篋整形と判読不明 の墨字あり。	粘 墨書-137
566-1 202-17	須恵器 環 内黒	埋土 底部1/4	底・(10.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。白色粒多、鉍物多。	轆轤成形(右回転)。器内面に研磨を施す。 外面に回転篋削り。ハゼ。内面に内黒と研磨。	
566-2 202-18	軟質陶器 壺	埋土 底部1/2	底・(14.6)	酸化。並。褐7.5YR4/6。並。 重。白・褐粒微、鉍物微。	底面轆轤右回転糸切。内・外面轆轤目あり。 外面の一部に縦撫であり。内面底少し旧摩擦。	14C 陶 市付近
566-3	須恵器 瓶	埋土 口縁部片	口・(10.2)	還元。締。灰N6/0。密。重。 白鉍物含、他少。	内・外面に暗緑色の自然釉あり。内・外面轆 轤目多い。作調上手。割れ口消耗微。	東海搬入
566-4	須恵器 瓶	埋土 破片	厚・1.0	還元。硬。灰N5/0。密。 やや重。白鉍物少、他少。	外面に撫、下方に回転篋削り。内面に紐作痕、 指圧痕あり。割れ口の消耗少。	太田か
566-5	須恵器 甕	埋土 破片	最大径・(30.5)	還元。締。灰N5/0。密。重。 白鉍物含。他少。	紐作り後叩き整形。外面は平行叩き自然釉、 内面当具は素文と撫。割れ口消耗微。	接合2片 太田
567-1	須恵器 甕	埋土 体部片	厚・0.9	還元。硬。灰10Y5/。並。重。 白鉍物含。他鉍物少。	紐作り後外面に格子目叩、内面に当て具擦り 消し。割れ口消耗微。	太田
567-2	須恵器 甕	埋土 破片	厚・1.0	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。 やや重。透明鉍物含。他少。	外面に平行叩、内面に素文の当て目紐作痕。 内面旧欠後使用摩擦あり。消耗少。	

9区第10号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
567-3	須恵器 甕	埋土 破片	厚・0.9	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。 やや重。白磁物含。他少。	外面に平行叩、回転篋削目。内面素文当て目、 旧欠後使用摩耗。消耗少。	太田か

9区第11号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
568-1	軟質陶器 内耳鍋	埋土 破片	厚・1.0	酸～還。黄灰2.5Y4/1。並。やや 重。透明・黒磁物含、磁物微。	透明粒・黒色磁物含、作調も少し異風。底～外 面下方に石目状の型膚あり。上方に接合面。	県外搬入 か
568-2 202-19	軟質陶器 焙烙内耳	埋土 破片	厚・0.8	酸化。硬。黒褐7.5YR3/1。粗。 軽。白色粒含、他磁物微。	底面に石目状の型膚。外面に煤付着。口縁部 周辺内・外は横撫。	19・20C 小泉焼か
568-3	軟質陶器 釜輪	埋土 破片	口・(38.0) 底・(33.6)	酸。硬。にぶい黄橙10YR6/3。 並。軽。白色粒含、磁物少。	内・外面に、轆轤回転糸痕あり。上面の平部 は製作時の平滑さあり。	粘 小泉焼か
569-1	須恵器 羽釜か	口縁部片	口・(22.5)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 粗。軽。磁物含。	内・外面ハゼ剥落多い。外面に突帯あり。焼 成は芯黒く、外面黄灰色で3層気味。	小泉焼か 18～20C
569-2	軟質陶器 壺	破片	厚・1.0	還元。硬。黒5Y2/1。並。 やや重。黒粒含、他磁物多。	外面に篋削あり。さらに荒い研磨あり。内面 に紐作後回転無整形。割れ口少し消耗。	小泉焼か
569-3 202-20	軟質陶器 火入か	埋土	底・(13.0)	還元。並。灰5Y4/1。並。軽。 磁物含。	外面に絡状施文様文様あり。底面糸切、足貼 付。内面轆轤目。内・外燻かかる。	19・20C 小泉焼か
569-4 202-22	軟質陶器 手焙	埋土 底部片	底・(20.4)	酸化。並。黄褐10YR5/6。粗。 軽。磁物微。	内面轆轤整形、外面石目状凹凸。底部3個の 半円形の足付着。焼成3層気味。小泉焼か。	接合2片 18・19C
569-5 202-21	軟質陶器 手焙	脚部1/3	底・18.8	還元。硬。暗灰N3/0。並。 やや軽。白色粒・磁物微。	轆轤使用。底部粘土板。脚部貼付。底面に板 状圧痕、内面轆轤目明瞭。焼成5層気味。	接合1片 18・19C
569-6 202-23	軟質陶器 火鉢か	破片	底・(36.6)	還元。硬。黒2.5Y2/1。並。 やや軽。磁物微。	内面研磨あり。外面接合面あり。内・外黒色 燻あり。底面石目状の型膚あり。	接合3片 小泉焼か
570-1 203-1	軟質陶器 火入	埋土 1/4	横・21.0 高・9.5	還元。並。灰5Y4/1。粗。 やや軽。白色粒少、他磁物少。	底面に石目状の型膚。足貼付。内面撫。外面 体部に研磨。焼成芯黒く、外燻で5層気味。	接合5片
570-2 203-2	施釉陶器 鉢	埋土	口・(19.0) 高・11.0	還元。締。釉淡褐(鉛釉)。胎土 灰。	外面下方と高台裏を除き、内・外面施釉。本 来は片口鉢か。内面に目跡。外面右回転篋削。	18・19C 瀬戸美濃
570-3	施釉陶器 片口	口縁部片 破片	口・(22.0)	中。締。釉淡黄灰透明調、淡黄 緑(胴か)。胎土黄灰。	内・外面に施釉。外面上方に淡黄緑の釉斑文 あり。下方は露胎となる。割れ口消耗微。	18C 美濃
570-4 203-4	施釉陶器 鉢		底・16.3	還～酸。締。釉茶褐(鉄)、黒(鉄)。 胎土灰。	内・外面施釉。底面に「○○○○」の墨字あ り。内面底にトチン痕4カ所あり。	墨書-138 18・19C
570-5	陶器 鉄釉土塙		口・(15.0)	酸～還。締。釉茶褐(鉄釉)。胎 土黄灰。	内面にやや赤味の鉄釉。外面茶味の強い鉄釉 かかり飛び鉋様の施文。把手内轆轤目。	19・20C 産不明
570-6 203-6	施釉陶器 瓶	埋土 底部片	底・(6.4)	還元。締。釉淡灰透明調。胎土 灰。	体部上方と内面施釉。露胎部に煤付着。外面 は○○底気味。	19・20C 地方窯か
570-7	施釉陶器 大鉢	埋土 破片	底・(17.0)	還元。締。釉淡黄灰(透明調)。 胎土黄灰。	内面に目跡3カ所あり。釉は内面と外面高台 際から上方にかけ。底面は轆轤右回転削。	18・19C 美濃
571-1	施釉陶器 皿	口縁部片	口・(38.0)	還元。締。釉暗黄灰透明調。胎 土黄灰。	内・外面施釉。外面に大きな轆轤目、内面滑 らか。使用擦り傷微。割れ口消耗微。	18C 美濃
571-2 203-3	施釉陶器 葉瓶か	埋土	最大径・12.2 高・25.0	酸化。締。釉茶褐(鉄釉)。光沢 あり。胎土灰。	外面に右上りの轆轤目あり。同下半は篋削か もしれない。	19C 産地不詳
571-3 203-5	施釉陶器 搦鉢	埋土 2/3	口・(29.2) 高・11.0	酸化。締。釉茶褐(鉄釉2.5YR 4/8)。光沢あり。胎土灰。	17+α状を単位とする卸目(金属工具か)あ り。底面に郭内銘「大平産」。外面施釉。	19Cか 大平製
571-4	施釉陶器 搦鉢	埋土 破片	厚・1.2	酸化。締。釉茶褐(鉄釉)。胎土 赤褐。	内面に卸目、少し摩耗。外面回転篋削。施釉。 割れ口消耗少。	信楽か 17・18C
571-5 203-7	磁器 小塊	埋土 底部片	高台・2.3	還元。締。白磁色白。胎土白。	高台端部を除き施釉。白磁部分の残存しかな いか本来は染付か。	20C
571-6 203-8	磁器 塊	埋土 1/2	口・(10.5) 高・5.5	還元。締。染付青、白磁色淡青 白。	外面に連弁とその間弁を染付。内面中央に施 文あり。高台端部を除き施釉。	19C
571-7 203-9	磁器 塊	埋土 口縁部片	口・(10.7) 底・(3.8)	還元。締。染付青、白磁色淡青 白。胎土白。	外面に連弁など、内面に加飾の染付あり。白 磁釉は端部を除き施される。	19・20C 伊万里系
571-8 203-10	磁器 塊	埋土 1/3	口・(11.0) 高・5.7	還元。締。染付青、白磁色淡々 青。胎土白。	外面に花文、丸文、加飾文など、内面に見込 み中央の施文、加飾など染付。	19C 伊万里系
571-9 203-11	磁器 塊	埋土 破片	底・(4.0)	還元。締。釉濃紺(染付、ベロ 藍)、白磁白。胎土白。	外面に麦ワラ手などを染付。高台端部を除き 白磁釉。釉の光沢強い。	昭和 伊万里系
572-1 203-12	施釉陶器 急須	埋土 口縁部片	口・(7.6)	還元。締。染付青、白土、透明 調。胎土灰。	陶胎染付。外面に梅花文あり。花卉白、同輪 郭、枝は染付。耳部欠。内面無釉。	19・20C 地方窯か

9区第11号井戸跡

挿図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
572-2 203-13	磁器 德利	埋土 底部片	底・(6.8)	還元。締。染付淡青、白磁色青白。胎土白。	内面、轆轤目発達。高台端部を除き施釉。染付は山呉須様。	18C 伊万里系
572-3	瓦 十能軒瓦		厚・1.2	還元。並。灰5Y6/1。粗。軽。黒鉱物多、他含。	瓦当面に唐草文。表・裏は石目状の型膚あり。各部横撫あり。焼きは表面のみ燻される。	小泉焼か 20C
572-4	瓦	埋土 破片	幅・11.0+ α 長・13.8+ α	中性。並。灰黄2.5Y7/2。並。やや軽。黒・褐粒含、他鉱物含。	裏面に石目状の型膚あり。表面に撫あり。焼成は、部分的に燻斑あるが芯は表面と同じ。	小泉焼か
572-5	石器 砥石	埋土	珪質粘板岩 30g	遺存長・8.4 幅・5.0 厚・0.55	合せ砥。割れ口は旧欠で少し消耗気味。側部に鋸目、奥小口少し挽目あり。表面平滑。	桐生の砥 石か
572-6	石製品 穀白 上白	埋土 1/5	溶結凝灰岩 2400g	径・(33.5)	表に縁、裏面に大まかな挽き溝、挽き導入の溝が刻まれ、石質は硬く重い。	
572-7	石製品 穀白 上白	1/4	溶結凝灰岩 4250g	口・32.9 高・11.0 底・33.6	裏面に大まかな挽目があるものの消耗。中央に軸穴、側部に挽手穴あり。	
572-8	石製品 穀白 上白	埋土 破片	角閃石 安山岩 1160g	口・34.0 高・8.5 底・32.6	石材は硬く重い。やや大まかな挽目あり、少し消耗。側部整形丁寧。供給孔あり。	
572-9	石製品 穀白 上白	埋土 1/6	溶結凝灰岩 2420g	径・34.2	整形やや荒い。挽き目大まか。割れ口旧時欠損。挽き目摩耗。石質は硬質、重い。	
573-1	石製品 穀白 上白	埋土 破片	溶結凝灰岩 1630g	径・(35.0)	挽き溝は荒く大まか。挽手穴あり。石質は硬く、重い。整形は整う。	
573-2	石製品 穀白 下白	埋土 1/2	粗粒輝石安山岩 4400g	径・22.5	表面に荒い挽目あり。中央に軸穴あり。裏面に粗整形痕あり。側部精整形。割れ口旧欠。	
573-3	石製品 穀白 下白	埋土 1/4	粗粒輝石安山岩 2320g	口・27.0 高・7.85 底・26.0	裏面に荒い溝状整形痕あり。軸穴あり。挽目消耗目無し。側部整形少し荒い。	
573-4	石製品 石白 下白	埋土 1/2	角閃石 安山岩 6500g	径・28.2	挽き溝ほとんど消耗。裏面の周辺に研磨痕。軸穴あり。石質は重く硬い。割れ口旧欠。	
573-5	石製品 穀白 下白	埋土 1/4	粗粒輝石安山岩 2750g	口・30.0 高・7.2 底・31.0	裏面溝状の整形あり。表面に大まかな挽目。消耗気味。中央は軸穴か不明。	
573-6	石造品 敷石か	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 2360g	遺存長・16.0 幅・13.35 厚・8.45	図平面に旧時摩耗あり。側部、小口面の一部が残存。裏面含め整形は大まかで基礎石か。	
574-1	石器 砥石	No15 一部欠損	3950g	遺存長・26.6 幅10.3 厚・8.25	荒砥級であるが、その中でも細かい目。使用面、表・裏と右側部。被熱煤付着。	荒砥・置 砥
574-2 203-15-1・2	木製品 椀	欠損大	モクレン属 径・10.6	欠損の大半は旧時のようである。	全体に黒漆付着、少し茶味おびる。器肉薄作り。腰部外面に稜あり。	
574-3 203-16-1・2	竹 篋	近完存	竹 長・12.7	欠損ほとんどなし。表皮残存。側部、小口、尖部消耗あり。	先端削り。裏面尖端面使用摩耗あり。削り目消耗のため不明瞭。	
574-4 203-21	竹 筒か	欠損大	篠竹	欠損は旧欠。	3カ所に穿孔。葛巻など加飾痕なし。上方に節あるが抜かれている。孔に大小巻あり。	
574-5 203-14-1・2	木製品 側板	欠損あり	スギ 長・10.8	旧時欠損大。	両側部と下方小口がやっとなり判別できる。内面側の残存の方が良い。	
574-6 203-18-1・2	木製品 板	小欠あり	ヒノキ 長・20.4	全体に消耗大。裏面木目浮き立つ。	木取り杵。裏面に刃傷あり。年輪は大まか。側部に釘穴見えず。	
574-7 203-19-1・2	木製品 側板	欠損多	スギ 長・15.5	側部残存するが旧欠大。小口欠損、消耗も旧時。	木理流れる木目で材は小径。器肉は少し厚い。図平面は底側。	
575-1 203-20-1・2	木製品 角棒状	欠損大。	ヒノキ属 長・13.5+ α	上方は旧時欠損。年輪はつみ細かい。裏面の消耗大。	下方に方形気味の釘穴あり。各面の削り目残存不明瞭。	
575-2 203-17-1・2	竹 加工材	小欠あり	竹 長・5.4+ α	下方は旧時欠損	天小口に削目。側部は割り込み後削りを加える。未成を思わせる。	
575-3 204-1-1・2	竹 加工材	欠損あり	竹 長・5.5	表皮残存。欠損旧時。	側部に割り込みと面加工あり。裏面は割り込み面として残存。	
575-4・5 204-1-1・2	竹 加工材	欠損あり	竹 長・10.1と8.7	2片とも端部は旧時欠損。表皮残存。	側部は割り込みのままで-4は裏面にまで割れおよぶ。	
575-6 204-1-1・2	竹 加工材	欠損あり	竹 長・5.2+ α	上下端とも旧時欠損。表皮消耗あり。	側部に割り痕と面加工あり。表皮の消耗は使用の摩耗か。	
575-7 204-1-1・2	竹 加工材	欠損あり	竹 長・8.8+ α	両端部は旧時欠損。表皮の消耗あり。	側部に割り痕と面加工あり。中央部の表皮は使用摩耗か。	
575-8 204-8	木製品 針状	完存	竹 長・14.4	節に高い特色あり。調欠なし。表皮残存。枝材か。	両端を尖らせ、端部黒びむ。針先状に加工された道具か。	
575-9 204-2	竹 篋	小欠損	竹 長・11.4	天小口旧欠。下方尖部の新古欠損不明。表皮残存。	尖部は削りによる。側部にも割り跡と削り目あり。尖部片切様は道具篋を思わせる。	